



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大坂発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由					
第1.13.2表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給、格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給) (3/2)															
分類	機能喪失想定とする設備基準事故(SS設備)	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順等	手順の分類									
炉心注水のための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピット(注水) (注)	N.o. 3 除水タンクから使用済燃料ピットへ排水し燃料取扱用海水ピットへの供給	N.o. 3 除水タンク	多様性 重大事故等対応設備	炉心注水設備	炉心注水設備	a	炉心注水設備	炉心注水設備	炉心注水設備					
		N.o. 2 除水タンクから燃料取扱用海水ピットへの供給	N.o. 2 除水タンク								N.o. 2 除水タンクから燃料取扱用海水ピットへの供給のための手順	SA所選 <sup>1)</sup>			
	海水ピットからの燃料取扱用海水ピットへの供給	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット					
	燃料取扱用海水ピット(注水又は給水)	N.o. 2 除水タンクから燃料取扱用海水ピットへの供給	N.o. 2 除水タンク	電動ポンプ	多様性	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保	a	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保					
燃料取扱用海水ピットからの海水切替	ディーゼル消火ポンプ	ディーゼル消火ポンプ	ディーゼル消火ポンプ	ディーゼル消火ポンプ							ディーゼル消火ポンプ	ディーゼル消火ポンプ	ディーゼル消火ポンプ		
格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取扱用海水ピットへの供給	燃料取扱用海水ピット(注水又は給水)	燃料取扱用海水ピットからのN.o. 2 除水タンクへの水戻切替	海水ピット	重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保	a	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保					
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
	燃料取扱用海水ピット(注水又は給水)	燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット	海水ピット	重大事故等対応設備	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保	ab	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保	格納容器注水のための水の確保				
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット
		燃料取扱用海水ピットからの海水切替	海水ピット	海水ピット								海水ピット	海水ピット	海水ピット	海水ピット

【大坂】  
 泊の比較箇所を再掲して比較する。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由							
第1.13.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順 (熱納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転)																												
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備		設備分類*	整備する手順書	手順の分類																					
格納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	熱納容器内循環ポンプ	重大事故等対応設備	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書															【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。						
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
			高圧注入ポンプ <sup>※1</sup>																									
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	代償再循環運転 <sup>※2</sup>	熱納容器内循環ポンプ	重大事故等対応設備	a,b	A熱納容器スプレィポンプを用いた代償再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書																					
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
			A熱納容器スプレィポンプ (RHS-CSS連動ライン使用) <sup>※3</sup>																									
			A熱納容器スプレィ冷却器																									
			熱納容器内循環ポンプ																									
			熱納容器内循環ポンプスクリーン																									
	全交電動力電源 又は 原子炉補機冷却水系	代償再循環運転 <sup>※2</sup>	B高圧注入ポンプ	重大事故等対応設備	a,b	B高圧注入ポンプ(海水冷却)を用いた代償再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び熱納容器損傷を防止する運転手順書																					
			海水冷却器																									
			空冷式冷却用発電機 <sup>※4</sup>																									
			大容量ポンプ																									
			燃料油貯蔵タンク <sup>※5</sup>																									
重油タンク <sup>※6</sup>																												
熱納容器内循環ポンプ	代償再循環運転 <sup>※2</sup>	熱納容器内循環ポンプ	必要経路	/	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代償再循環運転により原子炉を冷却する手順	S A所達 <sup>※7</sup>																						
		熱納容器内循環ポンプスクリーン																										
		A余熱除去ポンプ(空調用冷水)																										
		A余熱除去ポンプ(空調用冷水)																										

※1：大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための冷却に用いる所達  
 ※2：デューセル発電機等により駆動する  
 ※3：手順1「1.4 原子炉冷却回路内のポンプ及び配管に緊急用原子炉を冷却するための手順」にて整備する。  
 ※4：空冷式非専用発電機からの給電手順及び燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※5：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「1.6 原子炉熱納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※6：重大事故対応用として用いる設備の名称  
 ※7：当該表に適合する重大事故等対応設備 a：37 条に適合する重大事故等対応設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.4表 重大事故等における対応手段と整備する手順  
 (使用済燃料ピットへの水の供給)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
使用済燃料ピットへの水の供給	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	N <sub>0</sub> 、2次水タンクから使用済燃料ピットへの注水 <sup>b)</sup>	N <sub>0</sub> 、3次水タンク	多様化設備 格納設備	使用済燃料ピットの溢漏時の対応手順	設備及び設計基準事故に対する運転手順書
		N <sub>0</sub> 、2次水タンクから使用済燃料ピットへの注水 <sup>c)</sup>	N <sub>0</sub> 、2次水タンク			
		ポンプ車によるN <sub>0</sub> 、3次水タンクから使用済燃料ピットへの注水 <sup>d)</sup>	ポンプ車			
		ポンプ車によるN <sub>0</sub> 、2次水タンクから使用済燃料ピットへの注水 <sup>e)</sup>	ポンプ車			
		1次系統水タンクから使用済燃料ピットへの注水 <sup>f)</sup>	1次系統水タンク			
		1次系補給水ポンプ <sup>g)</sup>	1次系補給水ポンプ			
		雨水から使用済燃料ピットへの注水 <sup>h)</sup>	送水車 軽油ドラム缶 <sup>i)</sup>			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する手順。  
 ※2：予備は「11 使用済燃料貯蔵庫」の注記の「1」の手順等にて整備する。  
 ※3：予備は「13 11 使用済燃料貯蔵庫」の注記の「2」の手順等にて整備する。  
 ※4：送水車の燃料補給に使用する設備の注記の「1」の手順等にて整備する。  
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順  
 (使用済燃料ピットからの大量の水の漏れ発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵構内燃料体等)へのスプレイ及び放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
使用済燃料ピットからの大量の水の漏れ発生時の対応	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵構内燃料体等)へのスプレイ <sup>b)</sup>	送水車 スプレイヘッダ 軽油ドラム缶 <sup>c)</sup>	重大事故等対策設備	送水車を用いた燃料貯蔵用ピットへのスプレイのための手順	S/A所達 <sup>d)</sup>
		大容量ポンプ(放水用)	大容量ポンプ			
		大容量ポンプ(放水用)及び放水船による原子炉周辺建屋(貯蔵構内燃料体等)への放水 <sup>e)</sup>	放水船 燃料貯蔵タンク <sup>f)</sup> 重油タンク <sup>g)</sup> タンクローリー <sup>h)</sup>			
		大容量ポンプ(放水用)及び放水船による燃料貯蔵用ピットからの放水 <sup>i)</sup>	大容量ポンプ 放水船			
		大容量ポンプ(放水用)及び放水船による燃料貯蔵用ピットからの放水 <sup>j)</sup>	大容量ポンプ 放水船			
		大容量ポンプ(放水用)及び放水船による燃料貯蔵用ピットからの放水 <sup>k)</sup>	大容量ポンプ 放水船			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する手順。  
 ※2：予備は「11 使用済燃料貯蔵庫」の注記の「1」の手順等にて整備する。  
 ※3：予備は「13 11 使用済燃料貯蔵庫」の注記の「2」の手順等にて整備する。  
 ※4：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「10 原子炉施設内の注水等のための手順等」にて整備する。  
 ※5：送水車の燃料補給に使用する設備の注記の「1」の手順等にて整備する。  
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.6表 重大事故等における対応手段と整備する手順  
 (格納容器及びピニューズ部への放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
燃料貯蔵用ピットからの放水	燃料貯蔵用ピット(格納又は放注)	大容量ポンプ(放水用)	大容量ポンプ	重大事故等対策設備	放水船・シルトフェンスによる燃料貯蔵用ピットからの放水	S/A所達 <sup>b)</sup>
		放水船	放水船			
		燃料貯蔵タンク <sup>c)</sup>	燃料貯蔵タンク			
		重油タンク <sup>d)</sup>	重油タンク			
		タンクローリー <sup>e)</sup>	タンクローリー			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する手順。  
 ※2：予備は「12 11 使用済燃料貯蔵庫」の注記の「1」の手順等にて整備する。  
 ※3：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順は「10 原子炉施設内の注水等のための手順等」にて整備する。  
 ※4：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 a：当表と共に適合する重大事故等対応設備 b：37 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【大阪】  
 泊の比較箇所にて再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.1表より抜粋して掲載



※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の安全のための活動に関する手順」  
 ※2：「ディーゼル発電機等」以上の施設である。  
 ※3：手順は「1.2 原子炉格納容器圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：送水車の燃料補給に使用する貯蔵用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等対応策において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：OT条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
サプレッションチェンバ	復水貯蔵タンクを水源とした対応	原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレィ系（高圧炉心スプレィ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			復水貯蔵タンク 制御棒駆動水圧系（制御棒駆動水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復水貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
			復水貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（直流駆動軽圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			復水貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（直流駆動軽圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
原子炉格納容器代替スプレィ冷却系（常設） （復水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。			

※1：手順は「1.14 電線の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：本条文中【解釈】(b)項を満足するための代替水源（措置）

泊発電所3号炉

【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】

第1.13.1表 重大事故等における対応手段と整備する手順

対応手段、対処設備、手順書一覧（1/17）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
燃料貯蔵タンクを水源とした対応	燃料貯蔵タンクを水源とした対応	燃料貯蔵タンクを水源とした対応	燃料貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			燃料貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレィ系（高圧炉心スプレィ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			燃料貯蔵タンク 制御棒駆動水圧系（制御棒駆動水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
			燃料貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。
			燃料貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（直流駆動軽圧注水系ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
			燃料貯蔵タンク 軽圧代替注水系（常設）（直流駆動軽圧注水系ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の格納心を冷却するための手順等」にて整備する。

※1：重大事故等発生時において用いる設備の分類  
 ※2：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 a：OT条に適合する重大事故等対応設備 b：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。  
 ・泊は重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手段を整理。

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(2/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">復水貯蔵タンクを水源とした対応</td> <td rowspan="2">-</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(常設)(復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設)(復水移送ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉の注水への注水</td> <td>自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">サブプレッションチェンバを水源とした対応</td> <td rowspan="6">復水貯蔵タンク</td> <td>照時子の炉内冷却材圧力調整装置への注水</td> <td>重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)</td> <td>重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>照時子の格納容器内の注水</td> <td>重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※2：本条文中【解釈】1b)項を満足するための代替注水源(措置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	手順等	復水貯蔵タンクを水源とした対応	-	原子炉格納容器下部注水系(常設)(復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設)(復水移送ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉の注水への注水	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	サブプレッションチェンバを水源とした対応	復水貯蔵タンク	照時子の炉内冷却材圧力調整装置への注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	サブプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	照時子の格納容器内の注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧(2/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対処設備</th> <th>設置位置</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">燃料冷却用本体ピットを水源とした対応</td> <td rowspan="12">-</td> <td>燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="3">a, b</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td rowspan="3">a, b</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="3">a</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>重大事故等対処設備</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="3">a, b</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料の搬入の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td rowspan="3">a</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対策において用いる設備の分類                  a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 c：自主対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	設置位置	整備する手順書	手順書の分類	燃料冷却用本体ピットを水源とした対応	-	燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	a, b	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料の搬入の冷却等のための手順等」にて整備する。	a	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備	燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・泊は、水源ごとに                  対応手段及び設備を整理。                  ・泊は重大事故等                  対処設備(設計基準拡張)による                  対応手段を整理。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	手順等																																																																	
復水貯蔵タンクを水源とした対応	-	原子炉格納容器下部注水系(常設)(復水移送ポンプ) 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設)(復水移送ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																	
		原子炉の注水への注水	自主対策設備 手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																	
サブプレッションチェンバを水源とした対応	復水貯蔵タンク	照時子の炉内冷却材圧力調整装置への注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																	
		原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉圧力容器への注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																	
		サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対処設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																	
		サブプレッションチェンバ 代替循環冷却系(代替循環冷却ポンプ)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																	
		サブプレッションチェンバ 残留熱除去系(残留熱除去ポンプ)	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																	
		照時子の格納容器内の注水	重大事故等対処設備(設計基準事故) 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																	
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対処設備	設置位置	整備する手順書	手順書の分類																																																															
燃料冷却用本体ピットを水源とした対応	-	燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b																																																															
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備	a, b																																																																
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備		手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a																																																														
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 代替燃料冷却スプレイポンプ	重大事故等対処設備	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	a, b																																																															
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却スプレイポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備	手順は「1.11 使用済燃料の搬入の冷却等のための手順等」にて整備する。	a																																																															
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備																																																																	
		燃料冷却用本体ピット 燃料冷却ポンプ	自主対策設備																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">【比較のため1.13-1表(1/11)を再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順                      対応手段、対処設備及び手順書一覧(1/11)</p> <table border="1" data-bbox="761 207 1332 997"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">復水貯蔵タンクを本機として対応</td> <td rowspan="3">サプレッションチャンバ</td> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）</td> <td>手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）</td> <td>手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の冷却</td> <td>復水貯蔵タンク 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（常設）（軽水移送ポンプ）</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の喪失に備える手順等」にて整備する。                      ※2：本文文【解釈】(b)項を満足するための代替注水（指称）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	復水貯蔵タンクを本機として対応	サプレッションチャンバ	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内の冷却	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（常設）（軽水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(3/17)</p> <table border="1" data-bbox="1377 183 2004 1037"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の相違</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">精製軽水ポンプを本機とした対応</td> <td rowspan="10">サプレッションチャンバ</td> <td rowspan="10">原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水</td> <td>精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ</td> <td>精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ</td> <td>なし</td> <td>手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ</td> <td>精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ</td> <td>なし</td> <td>手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：重大事故等対策において用いる設備の分類                      ※2：設備形式に適合する重大事故等対策設備                      ※3：設備形式に適合する重大事故等対策設備                      ※4：自主的対策として整備する重大事故等対策設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順書の分類	精製軽水ポンプを本機とした対応	サプレッションチャンバ	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は、水源ごとに                          対応手段及び設備を整理。</li> <li>・泊は重大事故等                          対処設備（設計基準拡張）による                          対応手段を整理。</li> </ul>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																												
復水貯蔵タンクを本機として対応	サプレッションチャンバ	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 高圧代替注水系（高圧代替注水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																													
			復水貯蔵タンク 原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却系ポンプ） 高圧炉心スプレイ系（高圧炉心スプレイ系ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																													
			復水貯蔵タンク 精製軽水圧入系（精製軽水ポンプ）	手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																													
	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
		復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）	手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バベンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
		復水貯蔵タンク 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水ポンプ）	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の隔離心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														
原子炉格納容器内の冷却	復水貯蔵タンク 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（常設）（軽水移送ポンプ）	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。																																																																															
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順書の分類																																																																											
精製軽水ポンプを本機とした対応	サプレッションチャンバ	原子炉冷却材圧力バベンダリ配圧時の原子炉圧力容器への注水	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
			精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																											
精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	精製軽水ポンプ 電動精製軽水ポンプ タービン駆動精製軽水ポンプ	なし	手順は「1.1 緊急時に原子炉圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.3 原子炉冷却材圧力バベンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載

燃料取扱用水	No. 2 供水タンク	備
セプトから	電動的だがポンプ	
No. 2 供水タンクへの水供給設備	ディーゼル機がポンプ	

※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に実行する原子炉施設の保全のための活動に関する所節  
 ※2：ディーゼル発電機等により発電する。  
 ※3：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：空冷式冷却材循環装置からの冷却水供給（詳細については「1.14 冷却材循環に関する手順等」にて整備する。  
 ※5：電源車（中絶大代替機注水ポンプ用）が燃料供給に使用する。手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
 ※6：注水車の燃料供給に使用する設備のみのため。手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。  
 ※7：重大事故発生時に用いる設備の分類  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対処設備及び手順書一覧(3/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
サブプレッションチャンベ	—	原子炉格納容器冷却水供給設備内の圧力熱交換器及び	サブプレッションチャンベ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ）	重大事故等対応設備 手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧を防止するための手順等」にて整備する。
	復水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部への注水圧低下部	サブプレッションチャンベ 代替循環冷却系（代替循環冷却ポンプ） 原子炉格納容器下部注水系（常設）（代替循環冷却ポンプ）	重大事故等対応設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
ろ過水タンクを水取とした対応	復水貯蔵タンク サブプレッションチャンベ	原子炉格納容器冷却水供給設備内の圧力熱交換器	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器内の注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
ろ過水タンクを水取とした対応	復水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
		使用済燃料貯蔵タンクへの注水	ろ過水タンク ろ過水系（ろ過水ポンプ）	自主的対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却のための手順等」にて整備する。

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：本表文【解説】b)項を満足するための代替注水原（積置）

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧(4/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順等
燃料取扱用水セプト	—	原子炉格納容器冷却水供給設備内の圧力熱交換器	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
ろ過水タンクを水取とした対応	—	原子炉格納容器冷却水供給設備内の圧力熱交換器	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器内の注水に関する手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部への注水	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。
ろ過水タンクを水取とした対応	—	使用済燃料貯蔵タンクへの注水	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却のための手順等」にて整備する。
		—	ろ過水タンク 電動機駆動ろ過水ポンプ ディーゼル機駆動ろ過水ポンプ	自主的対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却のための手順等」にて整備する。

※1：重大事故発生時に用いる設備の分類  
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大飯】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・泊は、水源ごとに  
 対応手段及び設備を整理。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(4/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">淡水貯水槽を水源とした対応</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td rowspan="2">大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプ」による送水</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置の注水装置</td> <td rowspan="2">原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td>手順は「1.4 原子的炉冷却材圧力管パワゾウ圧注時に発電用原子的炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子的炉格納容器下部の液面中心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子的炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]</td> <td rowspan="2">原子的炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td>手順は「1.6 原子的炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子的炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]</td> <td rowspan="2">原子的炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td>手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を除去するための手順等」及び「1.7 原子的炉格納容器の過圧破壊を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※2：本表文【解釈】(b)項を満足するための代替送水源(消費)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	淡水貯水槽を水源とした対応	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水	重大事故等 対処設備	重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプ」による送水	自主対策設備	原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置の注水装置	原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.4 原子的炉冷却材圧力管パワゾウ圧注時に発電用原子的炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子的炉格納容器下部の液面中心を冷却するための手順等」にて整備する。	自主対策設備	原子的炉格納容器内の冷却	原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]	原子的炉格納容器内の冷却	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.6 原子的炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備	原子的炉格納容器内の冷却	原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]	原子的炉格納容器内の冷却	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を除去するための手順等」及び「1.7 原子的炉格納容器の過圧破壊を防止するための手順等」にて整備する。	自主対策設備	<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧(5/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の相違</th> <th>整備する手順等</th> <th>手順等の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">冷却材供給</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">重大事故等 対処設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> <td rowspan="2">冷却材供給用本ピット</td> <td rowspan="2">自主対策設備</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※2：本表文【解釈】(b)項を満足するための代替送水源(消費)                  ※3：設備名に適合する重大事故等対処設備 ※4：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順等の分類	冷却材供給	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備	自主対策設備	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・泊は、水源ごとに                  対応手段及び設備を整理。</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																																				
淡水貯水槽を水源とした対応	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水	重大事故等 対処設備	重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプ」による送水																																																																					
					自主対策設備																																																																				
	原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置の注水装置	原子的炉冷却材圧力管パワゾウの注水装置	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.4 原子的炉冷却材圧力管パワゾウ圧注時に発電用原子的炉を冷却するための手順等」及び「1.8 原子的炉格納容器下部の液面中心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																				
					自主対策設備																																																																				
原子的炉格納容器内の冷却	原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]	原子的炉格納容器内の冷却	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.6 原子的炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																				
					自主対策設備																																																																				
原子的炉格納容器内の冷却	原子的炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等]	原子的炉格納容器内の冷却	重大事故等 対処設備	自主対策設備	手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を除去するための手順等」及び「1.7 原子的炉格納容器の過圧破壊を防止するための手順等」にて整備する。																																																																				
					自主対策設備																																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の相違	整備する手順等	手順等の分類																																																																			
冷却材供給	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備																																																																			
							自主対策設備																																																																		
	冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備																																																																		
								自主対策設備																																																																	
冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備																																																																			
							自主対策設備																																																																		
冷却材供給用本ピット	冷却材供給用本ピット	重大事故等 対処設備	自主対策設備	自主対策設備	冷却材供給用本ピット	自主対策設備																																																																			
							自主対策設備																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
<p style="text-align: center;"><b>第 1.13.4 表より抜粋して掲載</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>ポンプ車による No. 3 淡水タンク からの使用済燃料ピット への注水*</td> <td>No. 3 淡水タンク</td> <td>多 様 性 に 基 づ き た り 得 る 注 水 機 構</td> </tr> <tr> <td>ポンプ車</td> <td>ポンプ車</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p style="font-size: x-small;">※1：「大飯発電所」重大事故等発生時における原子炉施設の状態のための活動に関する所庫                  ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。                  ※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。                  ※4：送水車の燃料補給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。                  ※5：重大事故等対策により用いる設備の分類                  a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：77 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	ポンプ車による No. 3 淡水タンク からの使用済燃料ピット への注水*	No. 3 淡水タンク	多 様 性 に 基 づ き た り 得 る 注 水 機 構	ポンプ車	ポンプ車		ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順			<p style="text-align: center;">対応手段、対処設備及び手順書一覧(5/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">淡水貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器冷却への注水</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>重大事故等対応設備</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡水貯水槽</td> <td rowspan="2">原子炉ウエルへの注水</td> <td rowspan="2">熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td rowspan="2">燃料プール代注水系（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等） 燃料プール代注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等） 燃料プールのスプレイズ（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等） 燃料プールのスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイズ等）</td> <td>重大事故等対応設備</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">淡水貯水槽</td> <td rowspan="2">淡水貯水槽</td> <td rowspan="2">淡水貯水槽（No. 1） ※2 淡水貯水槽（No. 2） ※2</td> <td>自主対策設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※2：本文文【解釈】1b)項を満足するための代替淡水源（貯蔵）</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等	淡水貯蔵タンク	原子炉格納容器冷却への注水	原子炉格納容器下部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重大事故等対応設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。	自主対策設備		淡水貯水槽	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	自主対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	自主対策設備		燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料プール代注水系（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等） 燃料プール代注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等） 燃料プールのスプレイズ（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等） 燃料プールのスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイズ等）	重大事故等対応設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。	自主対策設備		淡水貯水槽	淡水貯水槽	淡水貯水槽（No. 1） ※2 淡水貯水槽（No. 2） ※2	自主対策設備		自主対策設備		<p style="text-align: center;">【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p style="text-align: center;">対応手段、対処設備、手順書一覧（6/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対応設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉ウエルへの注水</td> <td rowspan="2">原子炉ウエルへの注水</td> <td rowspan="2">熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1</td> <td>自主対策設備</td> <td>手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機等への放射性物質の配給を制御するための手順等」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主対策設備</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1：手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類                  a：当該施設に適合する重大事故等対応設備 b：77 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。		自主対策設備			原子炉ウエルへの注水	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。		自主対策設備			燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。		自主対策設備			燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機等への放射性物質の配給を制御するための手順等」にて整備する。		自主対策設備			<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・泊は、水源ごとに                  対応手段及び設備を整理。</p>
ポンプ車による No. 3 淡水タンク からの使用済燃料ピット への注水*	No. 3 淡水タンク	多 様 性 に 基 づ き た り 得 る 注 水 機 構																																																																																										
ポンプ車	ポンプ車																																																																																											
ポンプ車による No. 3 淡水タンク から使用済燃料 ピットへの注水手順																																																																																												
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順等																																																																																								
淡水貯蔵タンク	原子炉格納容器冷却への注水	原子炉格納容器下部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	重大事故等対応設備	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																																								
			自主対策設備																																																																																									
淡水貯水槽	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	自主対策設備	手順は「1.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																																																								
			自主対策設備																																																																																									
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料プール代注水系（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等） 燃料プール代注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等） 燃料プールのスプレイズ（常設配管）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・スプレイズ等） 燃料プールのスプレイズ（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレイズ等）	重大事故等対応設備	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																																								
			自主対策設備																																																																																									
淡水貯水槽	淡水貯水槽	淡水貯水槽（No. 1） ※2 淡水貯水槽（No. 2） ※2	自主対策設備																																																																																									
			自主対策設備																																																																																									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																																																																																						
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																																							
			自主対策設備																																																																																									
原子炉ウエルへの注水	原子炉ウエルへの注水	熱水貯水槽（No. 1） ※1 淡水貯水槽（No. 2） ※2 原子炉格納容器上部注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整備する。																																																																																							
			自主対策設備																																																																																									
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																																																							
			自主対策設備																																																																																									
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	代注ポンプユニット 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース ホース延長・回収車（送水車用） 燃料補給設備※1	自主対策設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」及び「1.12 発電機等への放射性物質の配給を制御するための手順等」にて整備する。																																																																																							
			自主対策設備																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(6/11)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準等に対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ</td> <td rowspan="3">大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプ1) 注水用ヘッダ・接続口</td> <td>淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水用低圧注水ポンプ</td> <td>淡水タンク 低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.4 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内冷却装置</td> <td>淡水タンク 原子炉格納容器代替スプレッド系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器への冷却装置</td> <td>原子炉格納容器内冷却装置</td> <td>淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.5 最終セータシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水</td> <td>淡水タンク 原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>注水用ウェルへの注水</td> <td>注水用ウェルへの注水</td> <td>淡水タンク 原子炉格納容器内注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>自主対策設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 腐蝕の確保に関する手順等」にて整備する。          ※2：本条文【解釈】16)項を満足するための代替淡水源(措置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準等に対処設備	対応手段	対処設備	手順等	復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ(タイプ1) 注水用ヘッダ・接続口	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉格納容器下部注水用低圧注水ポンプ	淡水タンク 低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク 原子炉格納容器代替スプレッド系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。	-	原子炉格納容器への冷却装置	原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.5 最終セータシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水	淡水タンク 原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。	-	注水用ウェルへの注水	注水用ウェルへの注水	淡水タンク 原子炉格納容器内注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧(7/17)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準等に対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.12 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンク</td> <td>基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.14 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。          ※2：重大事故等発生において行う設備の点検          ※3：当該条文中適合する重大事故等対処設備 ※4：自主対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準等に対処設備	対応手段	対処設備	手順等	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.12 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。	-	-	-	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.14 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。	<p>【大飯】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)          ・泊は、水源ごとに          対応手段及び設備を整理。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準等に対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																						
復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ	大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	大容量送水ポンプ(タイプ1) 注水用ヘッダ・接続口	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」																																																						
		原子炉格納容器下部注水用低圧注水ポンプ	淡水タンク 低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.4 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
		原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク 原子炉格納容器代替スプレッド系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
-	原子炉格納容器への冷却装置	原子炉格納容器内冷却装置	淡水タンク 大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水系配管・弁 給排水処理設備配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.5 最終セータシンクへ熱を輸送するための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」にて整備する。																																																						
		原子炉格納容器下部注水	淡水タンク 原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.8 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
-	注水用ウェルへの注水	注水用ウェルへの注水	淡水タンク 原子炉格納容器内注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	自主対策設備 手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																						
分類	機能喪失を想定する設計基準等に対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																						
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.12 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
		燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
		燃料貯蔵タンク	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.13 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」及び「1.9 原子炉格納容器下部の腐蝕防止を冷却するための手順等」にて整備する。																																																						
-	-	-	基本槽 可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース・注水用ヘッダ・接続口 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.14 燃料貯蔵タンク内の冷却するための手順等」にて整備する。																																																						

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																													
第 1.13.4 表より抜粋して掲載		対応手段、対処設備及び手順書一覧(7/11)		【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】		【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。																																													
(情報又は図表)		対応手段、対処設備及び手順書一覧(7/11)		対応手段、対処設備、手順書一覧(8/17)																																															
トへの水の供給	<table border="1"> <tr> <td>ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水<sup>※2</sup></td> <td>N0、2 汲水タンク ポンプ車</td> <td>ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水手順</td> <td>SA所達<sup>※1</sup></td> </tr> </table>	ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水 <sup>※2</sup>	N0、2 汲水タンク ポンプ車	ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水手順	SA所達 <sup>※1</sup>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">海水タンクを水源とした対応</td> <td rowspan="2">—</td> <td>使用済燃料プールへの注水スプレイ</td> <td>汲水タンク 燃料プール代替注水系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等] 燃料プール代替注水系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等] 燃料プールのスプレイ系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインゾル等] 燃料プールのスプレイ系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等]</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールへの注水スプレイ</td> <td>汲水タンク 大型化学汚泥車 化学消防自動車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレインゾル 使用済燃料プール</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海水を水源とした対応</td> <td rowspan="2">復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプI) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)</td> <td>大容量送水ポンプ(タイプI) 大容量送水ポンプ(タイプII) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1</td> <td>重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	海水タンクを水源とした対応	—	使用済燃料プールへの注水スプレイ	汲水タンク 燃料プール代替注水系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等] 燃料プール代替注水系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等] 燃料プールのスプレイ系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインゾル等] 燃料プールのスプレイ系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等]	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	使用済燃料プールへの注水スプレイ	汲水タンク 大型化学汚泥車 化学消防自動車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレインゾル 使用済燃料プール	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	海水を水源とした対応	復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)	大容量送水ポンプ(タイプI) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)	大容量送水ポンプ(タイプI) 大容量送水ポンプ(タイプII) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵用ピット</td> <td rowspan="2">—</td> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵用ピット</td> <td rowspan="2">—</td> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵用ピット</td> <td rowspan="2">—</td> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1</td> <td>自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。
ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水 <sup>※2</sup>	N0、2 汲水タンク ポンプ車	ポンプ車による N0、2 汲水タンク からの起用済燃料 ピットへの注水手順	SA所達 <sup>※1</sup>																																																
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																															
海水タンクを水源とした対応	—	使用済燃料プールへの注水スプレイ	汲水タンク 燃料プール代替注水系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等] 燃料プール代替注水系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド等] 燃料プールのスプレイ系(常設配管) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレインゾル等] 燃料プールのスプレイ系(可搬型) [大容量送水ポンプ(タイプI)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド、スプレインゾル等]	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。																																															
		使用済燃料プールへの注水スプレイ	汲水タンク 大型化学汚泥車 化学消防自動車 ホース・接続口 ろ過水系配管・弁 新排水処理設備配管・弁 燃料プールの浄化系配管・弁 スプレインゾル 使用済燃料プール	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。																																															
海水を水源とした対応	復水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)	大容量送水ポンプ(タイプI) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・注水用ヘッド・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」																																															
		大容量送水ポンプ(タイプI) (各種注水による送水)	大容量送水ポンプ(タイプI) 大容量送水ポンプ(タイプII) ホース延長回収車 貯留罐 取水口 取水路 海水ポンプ車 ホース・接続口 燃料補給設備 ※1	重大事故等 対処設備 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」																																															
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																															
燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																
		汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。																																																
燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																
		汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。																																																
燃料貯蔵用ピット	—	汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。																																																
		汲水タンク 可搬型大容量送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水専用) 燃料補給設備 ※1	自主対策設備 手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉燃料貯蔵槽の過熱状態を抑制するための手順等」にて整備する。																																																
<p>※1：「大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉施設の保全のための活動に関する手順」</p> <p>※2：ディーゼル発電機等により駆動する。</p> <p>※3：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。</p> <p>※4：送水車の燃料補給に使用する装置のものである。手順は「1.6 原子炉燃料貯蔵槽内の冷却等のための手順等」にて整備する。</p> <p>※5：重大事故等発生時に必要となる設備の配置</p> <p>a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：27 条に適合する重大事故等対処設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>		<p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>※2：本表文【解釈】(h)項を満足するための代替汲水機(積置)</p>		<p>※1：手順は「1.11 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>※2：重大事故等発生時に必要となる設備の配置</p> <p>a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：27 条に適合する重大事故等対処設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																					
<p><b>第 1.13.4 表より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" data-bbox="224 255 694 414"> <tr> <td>1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水時</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ</td> <td>1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順</td> </tr> <tr> <td>N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時</td> <td>N0、3注水タンク</td> <td>使用済燃料ピットの最終時の対応手順 故障及び設計基準事故に對する運転手順書</td> </tr> </table> <p>※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する手順」          ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」          ※3：「手順は「1.11 使用済燃料貯蔵庫の冷却等のための手順等」にて整備する」          ※4：「送水車の燃料槽に使用済燃料ピット内での注水」          ※5：「重大事故等対応において用いる設備の分類」          a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順	N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	N0、3注水タンク	使用済燃料ピットの最終時の対応手順 故障及び設計基準事故に對する運転手順書	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p><b>【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】</b></p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（9/17）</p> <table border="1" data-bbox="1377 239 1993 1085"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機器名称を特定する設計基準事故発生時設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次系純水タンクからの注水時</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>—</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンクからの注水時</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2次系純水タンク 2次系補給水ポンプ</td> <td>自主対策設備</td> <td>—</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料ピット</td> <td rowspan="4">—</td> <td rowspan="4">—</td> <td>使用済燃料ピットへの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>—</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンクからの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>送水車の燃料槽からの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>送水車の燃料槽からの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">—</td> <td>送水車の燃料槽からの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>—</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>送水車の燃料槽からの注水</td> <td>自主対策設備</td> <td>「手順書」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：「大阪発電所等対応において用いる設備の分類」          ※2：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	分類	機器名称を特定する設計基準事故発生時設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	1次系純水タンクからの注水時	—	—	1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。	2次系純水タンクからの注水時	—	—	2次系純水タンク 2次系補給水ポンプ	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。	使用済燃料ピット	—	—	使用済燃料ピットへの注水	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。	2次系純水タンクからの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。	送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。	送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。	—	—	—	送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。	送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。	<p><b>【大阪】</b>          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。</p>
1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水手順																																																						
N0、3注水タンクから使用済燃料ピットへの注水時	N0、3注水タンク	使用済燃料ピットの最終時の対応手順 故障及び設計基準事故に對する運転手順書																																																						
分類	機器名称を特定する設計基準事故発生時設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類																																																		
1次系純水タンクからの注水時	—	—	1次系純水タンク 1次系補給水ポンプ	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。																																																		
2次系純水タンクからの注水時	—	—	2次系純水タンク 2次系補給水ポンプ	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。																																																		
使用済燃料ピット	—	—	使用済燃料ピットへの注水	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。																																																		
			2次系純水タンクからの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。																																																			
			送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。																																																			
			送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。																																																			
—	—	—	送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	—	「手順書」にて整備する。																																																		
			送水車の燃料槽からの注水	自主対策設備	「手順書」にて整備する。																																																			
<p><b>第 1.13.1 表より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" data-bbox="224 622 694 686"> <tr> <td>（注水又は取扱い）</td> <td>復水ピットから復水タンクへの水取り時</td> <td>復水タンク 電動注給水ポンプ</td> <td>蒸気発生器と冷却による水取りの手順</td> <td>中心の新しい指図及び最終確認用士の手順</td> </tr> </table> <p>※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する手順」          ※2：「ディーゼル発電機等により起動する」          ※3：「手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バランスタに使用済燃料ピットを冷却するための手順等」にて整備する」          ※4：「送水車の燃料槽に使用済燃料ピット内での注水」          ※5：「重大事故等対応において用いる設備の分類」          a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	（注水又は取扱い）	復水ピットから復水タンクへの水取り時	復水タンク 電動注給水ポンプ	蒸気発生器と冷却による水取りの手順	中心の新しい指図及び最終確認用士の手順	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>（注水又は取扱い）</p> <table border="1" data-bbox="1377 622 1993 686"> <tr> <td>（注水又は取扱い）</td> <td>復水ピットから復水タンクへの水取り時</td> <td>復水タンク 電動注給水ポンプ</td> <td>蒸気発生器と冷却による水取りの手順</td> <td>中心の新しい指図及び最終確認用士の手順</td> </tr> </table> <p>※1：「大阪発電所等対応において用いる設備の分類」          ※2：当該表文に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>	（注水又は取扱い）	復水ピットから復水タンクへの水取り時	復水タンク 電動注給水ポンプ	蒸気発生器と冷却による水取りの手順	中心の新しい指図及び最終確認用士の手順	<p>（注水又は取扱い）</p>																																											
（注水又は取扱い）	復水ピットから復水タンクへの水取り時	復水タンク 電動注給水ポンプ	蒸気発生器と冷却による水取りの手順	中心の新しい指図及び最終確認用士の手順																																																				
（注水又は取扱い）	復水ピットから復水タンクへの水取り時	復水タンク 電動注給水ポンプ	蒸気発生器と冷却による水取りの手順	中心の新しい指図及び最終確認用士の手順																																																				

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p><b>第1.13.2表(1/2)より抜粋して掲載</b></p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載。</p>	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(8/11)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重水貯蔵タンク サブプレッションタンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重水の減タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本表文【解釈】1b)項を満足するための代替注水系(設置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	重水貯蔵タンク サブプレッションタンク	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。	重水の減タンク	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。	<p>【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧(10/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重水貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水</td> <td>原子炉格納容器内への注水</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重水の減タンク</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンク</td> <td rowspan="2">燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵タンクへの注水</td> <td>燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)</td> <td>手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：本表文【解釈】1b)項を満足するための代替注水系(設置)</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	重水貯蔵タンク	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。	重水の減タンク	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。	燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、水源ごとに 対応手段及び設備を整理。 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																									
重水貯蔵タンク サブプレッションタンク	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。																																																									
		原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。																																																									
重水の減タンク	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。																																																									
		原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																									
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。																																																									
		燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。																																																									
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																									
重水貯蔵タンク	原子炉格納容器内への注水	原子炉格納容器内への注水	低圧代替注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.4 原子炉格納容器内への注水」にて整備する。																																																									
		原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.6 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。																																																									
重水の減タンク	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等」にて整備する。																																																									
		原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	原子炉格納容器下部注水系(可搬型)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。																																																									
燃料貯蔵タンク	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。																																																									
		燃料貯蔵タンクへの注水	燃料貯蔵タンクへの注水(常設配管)(大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッダ・接続口、スプレイズル等)	手順は「1.11 使用済燃料貯蔵タンクの冷却等」にて整備する。																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉

第1.13.2表(2/2)より抜粋して掲載

燃料供給用本ピットから海水への水取切替 <sup>a)</sup>	可燃式代替型圧入式ポンプ	公称流量が異なる ab	燃料供給用本ピットからの海水への水取切替 <sup>a)</sup>	心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書 SAJ所達 <sup>b)</sup>
	電機系(可燃式代替型圧入式ポンプ)			
	既設固定式水櫃			
	送水車			
	燃料供給タンク <sup>c)</sup>			
	直給タンク <sup>d)</sup>			
タンクローリー <sup>e)</sup>				
軽油ドラム缶 <sup>f)</sup>				

※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」  
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。  
 ※3：手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※4：緊急時対応用発電機等の故障や電源喪失時の稼働率低下防止のため、1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※5：電機系(可燃式代替型圧入式ポンプ)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※6：送水車の燃料供給に使用するが備用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※7：重大事故等発生時における対応手順  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.4表より抜粋して掲載

海水から燃料供給ピットへの注水 <sup>a)</sup>	送水車	対応設備 ab	海水を用いる燃料供給ピットの注水 手順
	軽油ドラム缶 <sup>b)</sup>		

※1：「大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」  
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。  
 ※3：手順は「1.11 燃料供給用設備の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※4：送水車の燃料供給に使用するが備用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事故等発生時における対応手順  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

【比較のため、1.13-1表(8/11)を再掲】

対応手段、対処設備及び手順書一覧(8/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
海水貯蔵タンク サブプレッションチャンバ	海水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	手順は「1.4 原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)」にて整備する。
		原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。
海水貯蔵タンク	海水貯蔵タンク	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心冷却するための手順等」にて整備する。
		原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	原子炉格納容器下部注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	手順は「1.10 水素発生による原子炉建屋等の損傷を防止するための手順等」にて整備する。
燃料供給用本ピット	燃料供給用本ピット	燃料プール代替型注水(常設型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替型注水(常設型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等発生時対応設備
		燃料プール代替型注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替型注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等発生時対応設備
燃料供給用本ピット	燃料供給用本ピット	燃料プール代替型注水(常設型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替型注水(常設型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等発生時対応設備
		燃料プール代替型注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	燃料プール代替型注水(可燃型) (大容量送水ポンプ(タイプ1)、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等)	重大事故等発生時対応設備

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：本条文中【対策】(b)項を満足するための代替注水(取替)

【比較のため、1.13-1表(9/11)より抜粋して掲載】

対応手段、対処設備及び手順書一覧(9/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
		原子炉格納冷却水(原子炉格納冷却水(原子炉格納冷却水ポンプ)及び原子炉格納冷却水ポンプ)	原子炉格納冷却水(原子炉格納冷却水(原子炉格納冷却水ポンプ)及び原子炉格納冷却水ポンプ)	重大事故等発生時対応設備 手順は「1.5 最終セータメントへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。

泊発電所3号炉

【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対処設備、手順書一覧(11/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備区分	整備する手順書	手順書の分類
燃料供給用本ピット	燃料供給用本ピット	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	a, b
		可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	
海水貯蔵タンク	海水貯蔵タンク	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	a, b
		可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	
燃料供給用本ピット	燃料供給用本ピット	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	a, b
		可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.8 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の過圧減圧を防止するための手順等」にて整備する。	
燃料供給用本ピット	燃料供給用本ピット	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	a, b
		可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	可燃式代替型圧入式ポンプ(可燃型ホース・接続口)	重大事故等発生時対応設備	手順書「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。	

※1：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等発生時における対応手順  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は、水源ごとに  
 対応手段及び設備を整理。  
 ・泊は流路使用する設備を記載。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

第1.13.5表及び6表を再掲

第1.13.5表 重大事故等における対応手段と整備する手順  
 (使用済燃料ピットからの大量の水の漏えい発生時の使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋(貯蔵罐内燃料体系等)へのスプレイ及び放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
使用済燃料ピットから大量の水が漏れ出す際の建屋内部燃料体系等への放射能汚染防止のための対応手段	-	-	送水車	重大事故等対応設備	a	原子炉周辺建屋への放水用・シールドファンによる放射性物質拡散抑制手順	SA所達 <sup>4)</sup>
			スプレイヘッダ				
			軽油ドラム缶 <sup>5)</sup>				
			大容量ポンプ(放水専用)				
			放水砲				
			燃料貯蔵タンク <sup>6)</sup>				
			重油タンク <sup>6)</sup>				
			タンクローリー <sup>6)</sup>				
			大容量ポンプ(放水専用)及び放水砲による原子炉周辺建屋(貯蔵罐内燃料体系等)への放水 <sup>7)</sup>				
			燃料貯蔵タンク <sup>6)</sup>				
タンクローリー <sup>6)</sup>							

※1：大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉周辺の取水のための活動に関する手順  
 ※2：手順は「1.11 使用済燃料貯蔵罐の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。  
 ※4：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※5：送水車の燃料供給に使用する車両用のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※6：重大事故等対応において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

第1.13.6表 重大事故等における対応手段と整備する手順  
 (格納容器及びピナキュラス前への放水)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
格納容器及びピナキュラス前への放水	-	-	大容量ポンプ(放水専用)	重大事故等対応設備	a	放水砲・シールドファンによる放射性物質拡散抑制手順	SA所達 <sup>4)</sup>
			放水砲				
			燃料貯蔵タンク <sup>6)</sup>				
			重油タンク <sup>6)</sup>				
			タンクローリー <sup>6)</sup>				

※1：大飯発電所 重大事故等発生時に必要となる原子炉周辺の取水のための活動に関する手順  
 ※2：手順は「1.12 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための手順等」にて整備する。  
 ※3：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整備する。  
 ※4：重大事故等対応において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

女川原子力発電所2号炉

対応手段、対応設備及び手順書一覧(9/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類	
格納容器及びピナキュラス前への放水	-	-	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)(原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故等対応)	a	緊急停止失敗時に発電用原子炉を全稼働にするための手順等 <sup>1)</sup> 及び「1.8 原子炉格納容器下部の冷却等に関する手順等」にて整備する。	SA所達 <sup>4)</sup>
			原子炉補機代替冷却水系(大容量送水ポンプ(タイプ1)、熱交換ユニット、ホース延長回収車、ホース・給熱用ヘッダ・接続口等)				
			大容量送水ポンプ(タイプ1) ホース延長回収車 ホース・給熱用ヘッダ・接続口 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			大容量送水ポンプ(タイプ2) ホース延長回収車 放水砲 貯留罐 取水口 取水路 潜水ポンプ室 燃料供給設備 添1				
			ほう酸水注入系(ほう酸水注入ポンプ)				

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：本条文中【緑字】110項を満足するための代替放水(貯留)

泊発電所3号炉

【大飯との比較対象箇所を青枠で示す。】

対応手段、対応設備、手順書一覧(12/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順書の分類
格納容器及びピナキュラス前への放水	-	-	可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1	重大事故等対応設備	a	手順は「1.11 原子炉格納容器下部の冷却等に関する手順等」及び「1.7 原子炉格納容器の放射能汚染を防止するための手順等」にて整備する。
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			可搬型大容量送水ポンプ 可搬型ホース・接続口 ホース延長回収車(送水専用) 非常用取水設備 燃料供給設備 添1			
			ほう酸水注入系(ほう酸水注入ポンプ)			

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等対象において用いる設備の分類  
 a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

相違理由

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は、水源ごとに  
 対応手段及び設備を整理。  
 ・泊は流路使用する設備を記載。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.13.3表を再掲

第1.13.3表 重大事故等における対応手段と整備する手順（格納容器再循環システムを水源とした再循環運転）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順書の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器再循環システム	a,b	高圧注入ポンプを用いた再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			高圧注入ポンプ <sup>82)</sup>			
	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	格納容器再循環システム	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSSS建機ライオン使用） <sup>84)</sup>			
			A格納容器スプレイ冷却器			
			格納容器再循環システムスクリーン			
	全交流動力電源 又は 原子炉再循環冷却系	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	格納容器再循環システム	a,b	B高圧注入ポンプ/海水冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器再循環システムスクリーン			
			B高圧注入ポンプ/海水冷却器			
			空冷式非常用発電機装置 <sup>85)</sup>			
			大容量ポンプ			
			燃料油貯蔵タンク <sup>86)</sup>			
			重油タンク <sup>87)</sup>			
タンクローリー <sup>88)</sup>						
格納容器再循環システム 格納容器再循環システムスクリーン A余熱除去ポンプ（空調用冷却）	自主的対応	A余熱除去ポンプ（空調用冷却）を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	c	S A所達 <sup>89)</sup>		

81：「大飯発電所 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための対応」に明記する所達。  
 82：「ディーゼル発電機」により駆動する。  
 83：手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順書」にて整備する。  
 84：空冷式非常用発電機装置からの発電手順及び燃料補給手順については、「1.14 電炉の損傷に際する手順書」にて整備する。  
 85：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉再循環冷却の冷却剤のための手順書」にて整備する。  
 86：重大事故等発生時に用いて、この設備の分類。  
 87：重大事故等発生時に用いて、この設備の分類。  
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：a) 類に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

女川原子力発電所2号炉

泊3号炉との比較対象なし

泊発電所3号炉

対応手段、対処設備、手順書一覧（13/17）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	
					整備する手順書	手順書の分類
格納容器再循環システムを水源とした再循環運転	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	再循環運転	格納容器再循環システム 余熱除去ポンプ	a, b	再循環運転 格納容器再循環システムスクリーン 高圧注入ポンプ	手順書「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順書」にて整備する。
			格納容器再循環システムスクリーン			
			高圧注入ポンプ <sup>82)</sup>			
			格納容器再循環システム			
			格納容器再循環システムスクリーン			
余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器 及び 高圧注入ポンプ	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	格納容器再循環システム 格納容器スプレイポンプ	a, b	再循環運転 格納容器再循環システムスクリーン A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSSS建機ライオン使用） <sup>84)</sup> A格納容器スプレイ冷却器	手順書「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順書」にて整備する。
			格納容器再循環システムスクリーン			
			A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSSS建機ライオン使用） <sup>84)</sup>			
			A格納容器スプレイ冷却器			
			格納容器再循環システムスクリーン			
全交流動力電源 又は 原子炉再循環冷却系	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	代替再循環運転 <sup>83)</sup>	格納容器再循環システム 格納容器再循環システムスクリーン B高圧注入ポンプ/海水冷却器	a, b	再循環運転 格納容器再循環システムスクリーン B高圧注入ポンプ/海水冷却器 空冷式非常用発電機装置 <sup>85)</sup> 大容量ポンプ 燃料油貯蔵タンク <sup>86)</sup> 重油タンク <sup>87)</sup> タンクローリー <sup>88)</sup>	手順書「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ破損時に発電用原子炉を冷却するための手順書」にて整備する。
			格納容器再循環システム			
			格納容器再循環システムスクリーン			
			B高圧注入ポンプ/海水冷却器			
			空冷式非常用発電機装置 <sup>85)</sup>			
			大容量ポンプ			
			燃料油貯蔵タンク <sup>86)</sup>			
重油タンク <sup>87)</sup>						
タンクローリー <sup>88)</sup>						
全交流動力電源 又は 原子炉再循環冷却系	自主的対応	自主的対応	格納容器再循環システム 格納容器再循環システムスクリーン A余熱除去ポンプ（空調用冷却）	a, b	再循環運転 格納容器再循環システムスクリーン A余熱除去ポンプ（空調用冷却）を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	手順書「1.14 電炉の損傷に際する手順書」にて整備する。 * 2：重大事故等発生時に用いて用いる設備の分類 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：当該表に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・泊は、水源ごとに  
 対応手段及び設備を整理。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 1.13.2 表を抜粋して再掲

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】

【大阪】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の反映）  
・泊は、水源ごとに  
対応手段及び設備を整理。  
・泊は管路に使用する設備を記載。

対応手段、対処設備及び手順書一覧(10/11)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等
復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応	燃料取扱用ウォーターピット (格納 6B)	No. 2 復水タンクから燃料取扱用ウォーターピットへの補給 No. 2 復水タンクから復水ピットへの補給	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 補給水配管・弁 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「復水貯蔵タンクから復水貯蔵タンクへの補給」
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水タンク 取水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 ※1	自主対策設備
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 補給水配管・弁 取水口 取水路 取水ポンプ室 燃料補給設備 ※1	重大事故等対応要領書 「高から復水貯蔵タンクへの補給」
			復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	自主対策設備

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※2：本文表【解釈】1b)項を満足するための代替水源（措置）

対応手段、対処設備、手順書一覧 (14/17)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書の相違	手順書の相違
燃料取扱用ウォーターピットへ水を補給するための対応	燃料取扱用ウォーターピット (格納 6B)	No. 2 復水タンクから燃料取扱用ウォーターピットへの補給 No. 2 復水タンクから復水ピットへの補給	復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 補給水配管・弁 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時における対応手順書	4 時限及び設計基準事象に 対応する運転手順書
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 ろ過水タンク 取水タンク 補給水配管・弁 ろ過水配管・弁 給排水処理装置配管・弁 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時における対応手順書	4 時限及び設計基準事象に 対応する運転手順書
			復水貯蔵タンク 大容量送水ポンプ (タイプ1) ホース延長回収車 ホース・注水用ヘッダ・接続口 補給水配管・弁 取水口 取水路 取水ポンプ室 燃料補給設備 ※1	2 次冷却材喪失事象発生時における対応手順書	4 時限及び設計基準事象に 対応する運転手順書
			復水貯蔵タンク 化学消防自動車 ホース 耐震性防火水櫃	2 次冷却材喪失事象発生時における対応手順書	4 時限及び設計基準事象に 対応する運転手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
※2：重大事故等対象において用いる設備の相違  
※3：表本文に適合する重大事故等対処設備 ※4：泊に適合する重大事故等対処設備 ※5：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																	
<p><b>第 1.13.2 表 (1/2) を抜粋して再掲</b></p> <table border="1"> <tr> <td>燃料取扱用水ピット (熱源) (図)</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</td> <td>後継性 確保</td> <td>原子炉圧力制御への注水のための水の確保するための手順 炉心の著しい損傷及び燃料格納容器損傷を防止する運転手順書</td> </tr> </table> <p>※1：「大飯発電所」重大事故等発生時に実行する原子炉施設の状態のための活動に関する手順。                  ※2：「プーアール」発電機等により給電する。                  ※3：手順は「1.4 原子炉の運転開始」の「原子炉の起動」に規定する。                  ※4：炉内非常用発電機からの給電手順及び燃料供給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。                  ※5：電源車（可搬式代替注水ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。                  ※6：注水水の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。                  ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類                  a：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備</p>		燃料取扱用水ピット (熱源) (図)	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	後継性 確保	原子炉圧力制御への注水のための水の確保するための手順 炉心の著しい損傷及び燃料格納容器損傷を防止する運転手順書	<p>対応手段、対処設備及び手順書一覧(11/11)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順等</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応</td> <td rowspan="3">-</td> <td>海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応要領書「格から取水貯水槽への補給」</td> </tr> <tr> <td>海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2</td> <td>自主的対策 設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水を切り替えるための対応</td> <td rowspan="2">-</td> <td>大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1</td> <td>重大事故等対応設備 「格から取水貯水槽への補給」</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替循環冷却器 (代替循環冷却ポンプ)</td> <td>重大事故等対応設備 手順は「1.4 原子炉の冷却材圧力制御」の「原子炉の冷却材圧力制御」に規定する。 手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納容器を冷却するための手順等」にて整備する。</td> </tr> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保」に関する手順等にて整備する。                  ※2：本条文中「解釈」1b)項を満足するための代替注水 (指注)</p>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等	燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書「格から取水貯水槽への補給」	海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2	自主的対策 設備		復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水	水を切り替えるための対応	-	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応設備 「格から取水貯水槽への補給」	復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替循環冷却器 (代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対応設備 手順は「1.4 原子炉の冷却材圧力制御」の「原子炉の冷却材圧力制御」に規定する。 手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納容器を冷却するための手順等」にて整備する。	<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/17)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備の分類</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応</td> <td rowspan="3">燃料取扱用水ピット</td> <td>海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する</td> <td>1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ</td> <td>自主的対策設備</td> <td>1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書</td> <td>炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書</td> </tr> <tr> <td>海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2</td> <td>自主的対策 設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)</td> <td>重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保」に関する手順等にて整備する。</p>		分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類	燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	燃料取扱用水ピット	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	自主的対策設備	1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書	炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書	海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2	自主的対策 設備				復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水				<p>【大飯】                  記載方針の相違 (女川審査実績の反映)                  ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。                  ・泊は管路に使用する設備を記載。</p>
燃料取扱用水ピット (熱源) (図)	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	後継性 確保	原子炉圧力制御への注水のための水の確保するための手順 炉心の著しい損傷及び燃料格納容器損傷を防止する運転手順書																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順等																																																			
燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	-	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応要領書「格から取水貯水槽への補給」																																																			
		海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2	自主的対策 設備																																																				
		復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水																																																				
水を切り替えるための対応	-	大容量送水ポンプ (タイプII) ホース延長回収車 ホース 貯留機 取水口 取水部 海水ポンプ室 燃料供給設備 ※1	重大事故等対応設備 「格から取水貯水槽への補給」																																																				
		復水貯蔵タンク サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) 代替循環冷却器 (代替循環冷却ポンプ)	重大事故等対応設備 手順は「1.4 原子炉の冷却材圧力制御」の「原子炉の冷却材圧力制御」に規定する。 手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧防止のための手順等」及び「1.8 原子炉格納容器下部の格納容器を冷却するための手順等」にて整備する。																																																				
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類																																																	
燃料取扱用水ピットへ水を補給するための対応	燃料取扱用水ピット	海水をポンプアップして注水ポンプへ供給する	1次系純水タンク 1次系補給ポンプ 加圧調整タンク 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ 燃料供給用ポンプ	自主的対策設備	1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 1次系補給ポンプ等発生時における対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書	炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書 炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順書																																																	
		海水貯水槽 (No. 1) ※2 海水貯水槽 (No. 2) ※2	自主的対策 設備																																																				
		復水貯蔵タンク 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ) サブプレッションチェンバ 高圧炉心スプレイ系 (高圧炉心スプレイ系ポンプ)	重大事故等対応設備 (設計基準事故対応設備) 非常時操作手順書「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系」ポンプによる原子炉注水																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">第 1.13.1 表を抜粋して再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">海水を用いた 取水ピットへの補給</td> <td style="width: 15%;">送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td style="width: 15%;">取水設備 a,b</td> <td style="width: 15%;">海水を用いた取水ピットへの補給のための手順</td> <td style="width: 15%;">止する運転手順書 SA所定<sup>c)</sup></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">給水の ための</td> <td style="width: 15%;">No. 3取水タンクから取水ピットへの補給</td> <td style="width: 15%;">No. 3取水タンク</td> <td style="width: 15%;">多 種 性</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">             注1：「大飯後継船 重大事故等発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する所達」              注2：デューセル使用機等により起動する。              注3：手順は「1.2 原子炉施設内力/ポンプ高圧時に発電用原子炉を起動するための手順等」にて整備する。              注4：送水車の燃費削減に使用される設備のものである。手順は「1.6 原子炉構内貯蔵内の含放射のための手順等」にて整備する。              注5：重大事故等対策において用いる設備の分類              a：当誌本文に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備         </p>		海水を用いた 取水ピットへの補給	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	海水を用いた取水ピットへの補給のための手順	止する運転手順書 SA所定 <sup>c)</sup>	給水の ための	No. 3取水タンクから取水ピットへの補給	No. 3取水タンク	多 種 性			<p style="font-size: 2em; border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">【大阪との比較対象箇所を青枠で示す。】</p> <p>対応手段、対処設備、手順書一覧（16/17）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機密性を想定する設計基準等/対象施設</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類等</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">精製前水ピットへの補給するための対応</td> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>取水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取水設備</td> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可 機密性を想定する設計基準等/対象施設</td> <td>送水車 軽便ドラム缶<sup>a)</sup></td> <td>取水設備 a,b</td> <td>取水設備</td> <td>発電用原子炉の冷却を維持する手順書等</td> <td>炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機密性を想定する設計基準等/対象施設	対応手段	対処設備	設備分類等	整備する手順書	手順書の分類	精製前水ピットへの補給するための対応	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	取水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	取水設備	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、水源ごとに対応手段及び設備を整理。 ・泊は管路に使用する設備を記載。</p>
	海水を用いた 取水ピットへの補給	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	海水を用いた取水ピットへの補給のための手順	止する運転手順書 SA所定 <sup>c)</sup>																																																							
給水の ための	No. 3取水タンクから取水ピットへの補給	No. 3取水タンク	多 種 性																																																									
分類	機密性を想定する設計基準等/対象施設	対応手段	対処設備	設備分類等	整備する手順書	手順書の分類																																																						
精製前水ピットへの補給するための対応	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	取水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						
	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						
	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						
	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						
取水設備	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						
	可 機密性を想定する設計基準等/対象施設	送水車 軽便ドラム缶 <sup>a)</sup>	取水設備 a,b	取水設備	発電用原子炉の冷却を維持する手順書等	炉心の新しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書																																																						



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p>第1.13.7表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>1.13 重大事故等の取束に必要なとなる水の供給手順等</p> <p>監視計器一覧（1/14）</p> <table border="1" data-bbox="112 263 716 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要なとなる監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(1) 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(3) 復水ピットから脱気器タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要なとなる監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等			(1) 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	操作	水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	判断基準	水源の確保	・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	(3) 復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	水源の確保	・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p>【大阪】                  泊の比較箇所に再掲して比較する。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要なとなる監視項目	監視計器																																						
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等																																								
(1) 復水ピットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																					
		水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
(2) A、B2次系純水タンクからNo. 3淡水タンクへの補給	判断基準	水源の確保	・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																					
	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・A、B2次系純水タンク水位計（CRT）																																					
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
(3) 復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	水源の確保	・A、B2次系純水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）																																					
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計 ・復水ピット水位計 ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）																																					
	操作	水源の確保	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
監視計器一覧（2/14）						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等						
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器補助給水流量計		【大阪】 泊の比較箇所に再掲して比較する。	
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・脱気器タンク水位計（CRT）			
	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。			
			(5) N o. 3 淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準		最終ヒートシンクの確保
	操作	水源の確保		・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT）		
(6) N o. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計		
	水源の確保		・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・N o. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・復水ビット水位計			
		操作	水源の確保	・N o. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT）		
			(7) 海水を用いた復水ビットへの補給	判断基準		最終ヒートシンクの確保
	水源の確保	・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・復水ビット水位計 ・N o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・A、B 2次系純水タンク水位計（CRT） ・N o. 2 淡水タンク水位計（CRT）				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（3/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(1) 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
(2) 燃料取替用水ピットからNo.2淡水タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)		
	操作	水源の確保	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)		
			「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。		
(3) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計		
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)		
(4) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計		
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計		
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計		
			「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1)b.(d)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。		
					【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（4/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・高压注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ローダウンホセモニタ		
			・高感度型主蒸気管モニタ		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・主蒸気圧力計		
			・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
			・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
		水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		
・格納容器ガスモニタ					
・燃料取替用水ピット水位計					
信号	・ほう酸タンク水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT）				
操作	・安全注入作動警報				
	・燃料取替用水ピット水位計				
	・ほう酸タンク水位計				
		・1次系純水タンク水位計（CRT）			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（5/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(6) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		【大阪】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		格納容器バイパスの監視	原子炉周辺建屋サンプタンク水位計（CRT）		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・高感度型主蒸気管モニタ ・主蒸気圧力計 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）			
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
		・炉内計装区域エリアモニタ			
		・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計			
		・ほう酸タンク水位計			
		・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計			
	信号	・安全注入作動警報			
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		
			・ほう酸タンク水位計		
・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(6/14)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(7) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを經由した燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽水器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ		
	原子炉格納容器内の放射線量率	・高感度型主蒸気管モニタ			
		・主蒸気圧力計			
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計			
		・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)			
	水源の確保	・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
		・炉内計装区域エリアモニタ			
		・格納容器じんあいモニタ			
		・格納容器ガスモニタ			
信号	・燃料取替用水ピット水位計				
	・1次系純水タンク水位計(CRT)				
	・No. 3淡水タンク水位計(CRT)				
操作	・使用済燃料ピット水位計(CRT)				
	・安全注入作動警報				
	・燃料取替用水ピット水位計				
	・No. 3淡水タンク水位計(CRT)				
		・使用済燃料ピット水位計(CRT)			
		・1次系純水タンク水位計(CRT)			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(7/14)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(8) No. 2淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・高压注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽し器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・高感度型主蒸気管モニタ ・主蒸気圧力計 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)			
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ			
		・炉内計装区域エリアモニタ			
		・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計			
		・No. 2淡水タンク水位計(CRT)			
		・No. 3淡水タンク水位計(CRT)			
	信号	・安全注入作動警報			
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計		
			・No. 2淡水タンク水位計(CRT)		
・No. 3淡水タンク水位計(CRT)					

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧(8/14)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等					
(9) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
		原子炉压力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却炉圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)		
		格納容器バイパスの監視	・原子炉周辺建屋サンプタンク水位計(CRT)		
			・排気筒ガスモニタ		
			・復水器空気抽出器ガスモニタ		
			・蒸気発生器ブローダウン水センサー		
			・高感度型主蒸気管モニタ		
		最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計		
			・余熱除去ポンプ吐出圧力計		
			・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器水位計(狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
・炉内計装区域エリアモニタ					
・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ					
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計				
	・江ノ川タンク水位計 ・復水ビット水位計				
	・1次系純水タンク水位計(CRT)				
信号	・安全注入作動警報				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (9/14)									【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(9) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	操作 水源の確保	・復水ピット水位計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(1) 燃料取替用水ピットからNo.2淡水タンクへの水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)							
	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)(b.6)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。								
(2) 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)							
(3) 燃料取替用水ピットから海水への水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 水源の確保	・格納容器スプレイ流量計 ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)(b.6)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。						
監視計器一覧 (10/14)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等										
(4) 1次系純水タンク及び(ほう)酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)							
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスメータ							
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)							
		信号	・安全注水作動警報							
	1.13.2.2(5)と同様。									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（11/14）					【大飯】 泊の比較箇所に再掲して比較する。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・炉内計装区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				
	・ほう酸タンク水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器遮りシタンク水位計				
信号	・安全注入作動警報				
操作	加圧器遮りシタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様、使用済燃料ピット脱塩ろ過経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。				
監視計器一覧（12/14）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			・格納容器じんあいモニタ		
			・格納容器ガステニタ		
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計				
	・1次系純水タンク水位計（CRT） ・No. 3淡水タンク水位計（CRT）				
	・使用済燃料ピット水位計（CRT）				
信号	・安全注入作動警報				
操作	1.13.2.2(7)と同様。				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
監視計器一覧（1.3/1.4）					
対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	- 加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内の圧力	- 1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	- 格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	- 格納容器圧力計（広域） - AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	- 格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	- 格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	- 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			- 格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			- 炉内計装区域エリアモニタ		
			- 格納容器じんあいモニタ		
		水源の確保	- 格納容器ガスモニタ		
- 燃料取替用水ピット水位計					
- No. 3 淡水タンク水位計（CRT） - No. 2 淡水タンク水位計（CRT）					
信号	- 安全注入作動警報				
操作	1.13.2.2 (8)と同様。				
監視計器一覧（1.4/1.4）					
対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器			
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等					
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	- 加圧器水位計		
		原子炉圧力容器内の圧力	- 1次冷却材圧力計		
		原子炉格納容器内の温度	- 格納容器内温度計		
		原子炉格納容器内の圧力	- 格納容器圧力計（広域） - AM用格納容器圧力計		
		原子炉格納容器内の水位	- 格納容器再循環サンプ水位計（広域）		
		原子炉格納容器内への注水量	- 格納容器スプレイ流量計		
		原子炉格納容器内の放射線量率	- 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）		
			- 格納容器エアロック区域エリアモニタ		
			- 炉内計装区域エリアモニタ		
			- 格納容器じんあいモニタ		
		水源の確保	- 格納容器ガスモニタ		
- 燃料取替用水ピット水位計					
- ほうげタンク水位計 - 復水ピット水位計 - 1次系統水タンク水位計（CRT）					
信号	- 安全注入作動警報				
操作	水源の確保	- 燃料取替用水ピット水位計 - 復水ピット水位計 - No. 2 淡水タンク水位計（CRT）			

【大飯】  
 泊の比較箇所に再掲して比較する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
<p><b>監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧(2/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・No.3淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・脱気器タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計	(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・No.3淡水タンク水位計(CRT)	・脱気器タンク水位計(CRT)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.2表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>監視計器一覧(1/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 b. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(6) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1) 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量計 ・高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 b. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量計	(6) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	操作	燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1) 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。		(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量計 ・高圧注入流量計	(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。		b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用)	(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。		<p>【大阪】記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  【女川】記載内容の相違                  炉型の相違による対応手段の相違</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																														
1.13.2.1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)のための代替手段及び復水ビットへの供給に係る手順等	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計(広域) ・蒸気発生器補助給水流量計																																														
(4) 1次冷却系のフィードアンドブリード	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																														
		・復水ビット水位計																																														
		・No.3淡水タンク水位計(CRT)																																														
		・脱気器タンク水位計(CRT)																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(1)「1次冷却系のフィードアンドブリード」にて整備する。																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																														
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (1) 燃料取替用水ビットを水源とした対応手順 b. 燃料取替用水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位(広域) ・補助給水流量計																																														
(6) 燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																														
	操作	燃料取替用水ビットを水源とした1次冷却系のフィードアンドブリード手順については、「1.2.2.1(1) 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却」にて整備する。																																														
(3) ろ過水タンクを水源とした対応手順 a. ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量計 ・高圧注入流量計																																														
(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																														
	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替心注水手順については、「1.4.2.1(1)b.(c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」にて整備する。																																														
b. ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量計 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AW用)																																														
(6) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内のスプレイ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・ろ過水タンク水位																																														
	操作	ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ手順については、「1.6.2.1(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b.(b) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																														
<p><b>監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対応手段</th> <th rowspan="2">判断基準</th> <th>原子炉圧力容器内への注水量</th> <th>・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)	(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	操作	水源の確保	・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT)	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																																					
対応手段			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計 ・高圧注入流量計																																											
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT) ・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																														
(2) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	操作	水源の確保	・ほう酸タンク水位計 ・1次系統水タンク水位計(CRT)																																													
		「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(1b.c)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水」にて整備する。																																														
<p><b>監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対応手段</th> <th rowspan="2">判断基準</th> <th>原子炉格納容器内への注水量</th> <th>・格納容器スプレイ流量計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替</td> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)	(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																																							
対応手段			判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																											
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・No.2淡水タンク水位計(CRT)																																														
(1) 燃料取替用水ビットからNo.2淡水タンクへの水源切替	操作	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1b.b)「電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																																														



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
<div data-bbox="203 582 613 624" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="768 512 1330 553" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; color: blue;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</div> <table border="1" data-bbox="736 563 1357 703" style="margin-top: 20px;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="font-size: small;">判断基準</td> <td style="font-size: small;">水源の確保</td> <td style="font-size: small;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">操作</td> <td style="font-size: small;">水源の確保</td> <td style="font-size: small;">淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順				a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水				重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）	<p>監視計器一覧（3/32）</p> <table border="1" data-bbox="1379 263 1995 810"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">対応手段</th> <th style="font-size: small;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="font-size: small;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="font-size: small;">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: small;">(4) 代替給水ビットを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: small;">d. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: small;">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="font-size: small;">判断基準</td> <td style="font-size: small;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="font-size: small;">・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">最終ヒートシンク</td> <td style="font-size: small;">・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">操作</td> <td style="font-size: small;">水源の確保</td> <td style="font-size: small;">・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="font-size: small;">i. 代替給水ビットを水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2" style="font-size: small;">判断基準</td> <td style="font-size: small;">原子炉格納容器への注水量</td> <td style="font-size: small;">・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">水源の確保</td> <td style="font-size: small;">・ 燃料取替用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: small;">操作</td> <td colspan="2" style="font-size: small;">代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(4) 代替給水ビットを水源とした対応手順			d. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		i. 代替給水ビットを水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。		<p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p>
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																									
(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順																																																									
a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																									
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																						
	操作	水源の確保	淡水貯水槽（No. 1） 淡水貯水槽（No. 2）																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																									
(4) 代替給水ビットを水源とした対応手順																																																									
d. 代替給水ビットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																																									
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																						
		最終ヒートシンク	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																						
	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																						
		代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) d. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																							
i. 代替給水ビットを水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																									
(a) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																						
		水源の確保	・ 燃料取替用ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																						
操作	代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (d)代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																								

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(5) 淡水タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 30%;">水源の確保</td> <td style="width: 45%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(5) 淡水タンクを水源とした対応手順				a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水				重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧（4/32）</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(5) 原水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(5) 原水槽を水源とした対応手順			a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。		<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p>
		1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																						
(5) 淡水タンクを水源とした対応手順																																																																								
a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水																																																																								
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																					
	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																								
(5) 原水槽を水源とした対応手順																																																																								
a. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																					
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																						
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																								
b. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 補助給水流量																																																																					
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																					
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																						
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																								
e. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水																																																																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量																																																																					
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																					
	操作	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1) b. (1) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <p>1.13.2.1 水源を利用した対応手順                  (5) 淡水タンクを水源とした対応手順                  a. 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水</p> <table border="1" data-bbox="739 590 1355 694"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要領書</th> <th>利用基準</th> <th>水源の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>監視</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要領書	利用基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	「大容量送水ポンプによる送水」	監視	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位	<p>監視計器一覧（5/32）</p> <table border="1" data-bbox="1377 255 1993 805"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">監視基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>燃料ヒートシントクの確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">水源の確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">監視基準</td> <td>原子炉格納容器への注水量                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ビット水位</li> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	監視基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	燃料ヒートシントクの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> </ul>	水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul>			f. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	監視基準	原子炉格納容器への注水量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>	水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ビット水位</li> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul>	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。			<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
重大事故等対応要領書	利用基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																					
「大容量送水ポンプによる送水」	監視	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																					
	操作	水源の確保	ろ過水タンク水位 純水タンク水位 原水タンク水位																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (5) 原水槽を水源とした対応手順 d. 原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水																																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	監視基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																						
		燃料ヒートシントクの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> </ul>																																						
水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul>																																								
f. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2) e. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																								
1. 原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	監視基準	原子炉格納容器への注水量 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器スプレイ流量</li> <li>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）</li> <li>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>																																						
		水源の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃料取替用水ビット水位</li> <li>・ 補助給水ビット水位</li> </ul>																																						
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1) b. (a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 15%;">(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ N o. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 脱気器タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="3">「1.2 原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	・ N o. 3 淡水タンク水位計 (CRT)	水源の確保	・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)	操作	「1.2 原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">水源の確保</td> <td style="width: 65%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(6) 海を水源とした対応手順				a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）				重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作		水源の確保	海を利用	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (6/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.3.2.1(2)b. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.4.2.2(1)a. (b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 海を水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順			a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.3.2.1(2)b. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位	操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.4.2.2(1)a. (b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。		(9) 海を水源とした対応手順			a. 海を水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水			判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計	操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>【大飯】記載方針の相違          (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】記載内容の相違          炉型の相違による対応手段の相違</p>
(3) 復水ビットから脱気器タンクへの水源切替			判断基準	最終ヒートシンクの確保		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																							
				水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																																								
	・ N o. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																												
水源の確保	・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)																																																																																												
	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)																																																																																												
操作	「1.2 原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)a、「電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																												
	1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																												
(6) 海を水源とした対応手順																																																																																													
a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																																																													
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																										
操作		水源の確保	海を利用																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																													
(8) 脱気器タンクを水源とした対応手順																																																																																													
a. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																													
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計																																																																																											
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位																																																																																											
操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)a. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																												
b. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																													
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計																																																																																											
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位																																																																																											
操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.3.2.1(2)b. 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																												
c. 脱気器タンクを水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																													
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計																																																																																											
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計 ・ 脱気器タンク水位																																																																																											
操作	脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水手順については、「1.4.2.2(1)a. (b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																												
(9) 海を水源とした対応手順																																																																																													
a. 海を水源とした原子炉冷却材圧カバウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水																																																																																													
判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量計																																																																																											
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位計																																																																																											
操作	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)c. 海を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(9/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 973 705 1181"> <tr> <td rowspan="2">(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。</td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替	判断基準	原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	操作	水源の確保	・復水ビット水位計	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧(1/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="739 750 1344 885"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(6) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>海を利用</td> </tr> </table>	1.13.2.1 水源を利用した対応手順				(6) 海を水源とした対応手順				a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）				重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	水源の確保	海を利用	<p>監視計器一覧 (7/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 430 1993 1181"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) 海を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の原子炉容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器への注水量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の蒸気発生器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(9) 海を水源とした対応手順			b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			e. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の原子炉容器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。			d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の蒸気発生器への注水			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却			(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。			<p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p>
(3) 燃料取替用水ビットから海水への水源切替		判断基準	原子炉格納容器内への注水量 ・格納容器スプレイ流量計																																																																																			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																																				
操作	水源の確保	・復水ビット水位計																																																																																				
「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)b.(c)「可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ」にて整備する。																																																																																						
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																						
(6) 海を水源とした対応手順																																																																																						
a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種注水）																																																																																						
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																			
	操作	水源の確保	海を利用																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																																																						
(9) 海を水源とした対応手順																																																																																						
b. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水																																																																																						
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量																																																																																				
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位																																																																																				
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																						
e. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の原子炉容器への注水																																																																																						
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 ・ 低圧注入流量 ・ 高圧注入流量																																																																																				
	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																				
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水手順については、「1.4.2.1(1)b. (d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて整備する。																																																																																						
d. 海を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ減圧時の蒸気発生器への注水																																																																																						
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量																																																																																				
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位																																																																																				
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水手順については、「1.2.2.1(2)e. 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																						
f. 海を水源とした原子炉格納容器内の冷却																																																																																						
(a) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却	判断基準	原子炉格納容器への注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）																																																																																				
	操作	水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																				
海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内の冷却手順については、「1.6.2.1(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」及び「1.6.2.2(1)b. (c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレイ」にて整備する。																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内の水位                      ・加圧器水位計                      原子炉圧力容器内の圧力                      ・1次冷却圧力計                      原子炉格納容器内の温度                      ・格納容器内温度計                      原子炉格納容器内の圧力                      ・格納容器圧力計(広域)                      ・AM用格納容器圧力計                      原子炉格納容器内の水位                      ・格納容器内循環リム水位計(広域)                      原子炉格納容器内の注水量                      ・格納容器スプレイ流量計                      原子炉格納容器内の放射線量率                      ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)                      ・格納容器エアロック区域エアモニタ                      ・炉内計装区域エアモニタ                      ・格納容器じんあいモニタ                      ・格納容器ガスモニタ                      水源の確保                      ・燃料取替用水ピット水位計                      ・ほう酸タンク水位計                      ・復水ピット水位計                      ・1次系純水タンク水位計(CRT)                      信号                      ・安全注入作動警報                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     燃料取替用水ピット水位計                      ・復水ピット水位計                      ・No. 2 排水タンク水位計(CRT)                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位計 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却圧力計 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度計 原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器内循環リム水位計(広域) 原子炉格納容器内の注水量 ・格納容器スプレイ流量計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) 信号 ・安全注入作動警報	操作	燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 排水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">判断基準</th> <th style="width: 20%;">水源の確保</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「排水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     復水貯蔵タンク水位                      排水貯水槽 (No. 1)                      排水貯水槽 (No. 2)                      復水貯蔵タンク水位                      排水貯水槽 (No. 1)                      排水貯水槽 (No. 2)                 </td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	水源の確保	監視計器	重大事故等対応要領書「排水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	復水貯蔵タンク水位 排水貯水槽 (No. 1) 排水貯水槽 (No. 2) 復水貯蔵タンク水位 排水貯水槽 (No. 1) 排水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧(8/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>                     信号                      ・RCS作動                      原子炉圧力容器内の温度                      ・炉心出口温度                      原子炉圧力容器内の水位                      ・加圧器水位                      原子炉圧力容器への注水量                      ・高圧注入流量                      ・低圧注入流量                      原子炉圧力容器内の圧力                      ・1次冷却材圧力(広域)                      原子炉格納容器内の温度                      ・格納容器内温度                      原子炉格納容器内の圧力                      ・原子炉格納容器圧力                      ・格納容器圧力(狭域)                      原子炉格納容器内の水位                      ・格納容器内循環サンプ水位(広域)                      ・格納容器内循環サンプ水位(狭域)                      最終ヒートシフトの確保                      ・補助給水流量                      ・蒸気発生器水位(広域)                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      水源の確保                      ・燃料取替用水ピット水位                      ・補助建屋サンプタンク水位                      ・排気筒ガスモニタ                      ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)                      ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)                      ・復水器排気ガスモニタ                      ・蒸気発生器ブローダウンホモニタ                      ・高感度型主蒸気管モニタ                      格納容器バイパスの監視                      ・蒸気発生器水位(狭域)                      ・主蒸気ライン圧力                      ・余熱除去ポンプ出口圧力                      ・余熱除去冷却器入口温度                      ・余熱除去冷却器出口温度                      ・加圧器過がしタンク水位                      ・加圧器過がしタンク圧力                      ・加圧器過がしタンク温度                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号 ・RCS作動 原子炉圧力容器内の温度 ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器への注水量 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(狭域) 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器内循環サンプ水位(広域) ・格納容器内循環サンプ水位(狭域) 最終ヒートシフトの確保 ・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助建屋サンプタンク水位 ・排気筒ガスモニタ ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・復水器排気ガスモニタ ・蒸気発生器ブローダウンホモニタ ・高感度型主蒸気管モニタ 格納容器バイパスの監視 ・蒸気発生器水位(狭域) ・主蒸気ライン圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去冷却器入口温度 ・余熱除去冷却器出口温度 ・加圧器過がしタンク水位 ・加圧器過がしタンク圧力 ・加圧器過がしタンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由④)                  【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																											
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																													
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位計 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却圧力計 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度計 原子炉格納容器内の圧力 ・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器内循環リム水位計(広域) 原子炉格納容器内の注水量 ・格納容器スプレイ流量計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT) 信号 ・安全注入作動警報																											
	操作	燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 排水タンク水位計(CRT)																											
	判断基準	水源の確保	監視計器																										
	重大事故等対応要領書「排水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	復水貯蔵タンク水位 排水貯水槽 (No. 1) 排水貯水槽 (No. 2) 復水貯蔵タンク水位 排水貯水槽 (No. 1) 排水貯水槽 (No. 2)																										
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																									
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																												
	1. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号 ・RCS作動 原子炉圧力容器内の温度 ・炉心出口温度 原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位 原子炉圧力容器への注水量 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力(広域) 原子炉格納容器内の温度 ・格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(狭域) 原子炉格納容器内の水位 ・格納容器内循環サンプ水位(広域) ・格納容器内循環サンプ水位(狭域) 最終ヒートシフトの確保 ・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域) 水源の確保 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助建屋サンプタンク水位 ・排気筒ガスモニタ ・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ) ・復水器排気ガスモニタ ・蒸気発生器ブローダウンホモニタ ・高感度型主蒸気管モニタ 格納容器バイパスの監視 ・蒸気発生器水位(狭域) ・主蒸気ライン圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去冷却器入口温度 ・余熱除去冷却器出口温度 ・加圧器過がしタンク水位 ・加圧器過がしタンク圧力 ・加圧器過がしタンク温度																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<p><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p>	<p><b>監視計器一覧(2/3)を再掲</b></p>	<p>監視計器一覧(9/32)</p>																																																																																																					
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器循環環リンパ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器循環環リンパ水位計(広域)	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計	復水ビット水位計	・復水ビット水位計	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	・復水ビット水位計			・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	操作	監視計器	重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)		操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>泊幹線1L電圧, 2L電圧</td> <td>・泊幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> <td>・後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>甲母線電圧, 乙母線電圧</td> <td>・甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>母-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> <td>・母-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(A用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量</td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)</td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンク水位</td> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の電感</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>高圧注入流量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	泊幹線1L電圧, 2L電圧	・泊幹線1L電圧, 2L電圧	後志幹線1L電圧, 2L電圧	・後志幹線1L電圧, 2L電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧	母-A, B, C1, C2, D母線電圧	・母-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(A用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	2次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の電感	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	操作	高圧注入流量	・高圧注入流量	低圧注入流量	・低圧注入流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)      【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																							
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器循環環リンパ水位計(広域)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																																				
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																				
		ほう酸タンク水位計	・ほう酸タンク水位計																																																																																																				
		復水ビット水位計	・復水ビット水位計																																																																																																				
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)	・安全注入作動警報																																																																																																				
	操作	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																			
			復水ビット水位計	・復水ビット水位計																																																																																																			
			・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																				
判断基準	操作	監視計器																																																																																																					
重大事故等対応要領書「淡水貯水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																					
	操作	復水貯蔵タンク水位 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																							
i. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																																				
		電源	泊幹線1L電圧, 2L電圧	・泊幹線1L電圧, 2L電圧																																																																																																			
			後志幹線1L電圧, 2L電圧	・後志幹線1L電圧, 2L電圧																																																																																																			
		甲母線電圧, 乙母線電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																				
		母-A, B, C1, C2, D母線電圧	・母-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																																																				
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(A用)																																																																																																				
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量																																																																																																				
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量(A用)																																																																																																				
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																				
		2次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位																																																																																																				
ii. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の電感	・炉心出口温度																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																					
	操作	高圧注入流量	・高圧注入流量																																																																																																				
		低圧注入流量	・低圧注入流量																																																																																																				
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																				
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 1.2em;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(10/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・前幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L電圧, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧, 乙母線電圧 ・0-1A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.13.2.2(1)a. (b)」: 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器への注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・前幹線1L電圧, 2L電圧	・後志幹線1L電圧, 2L電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧 ・0-1A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	「1.13.2.2(1)a. (b)」: 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。		<p>【女川】運用の相違(相違理由①)          【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																														
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																											
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																											
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																											
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																											
			・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																											
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																												
		・ほう酸タンク水位計																																																																												
		・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																												
	信号	・安全注入作動警報																																																																												
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																											
・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																														
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																														
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																														
b. 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																														
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・格納容器スプレイ流量																																																																											
		原子炉格納容器への注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																											
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																											
		原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																											
		電源	・前幹線1L電圧, 2L電圧																																																																											
			・後志幹線1L電圧, 2L電圧																																																																											
			・甲母線電圧, 乙母線電圧 ・0-1A, B, C1, C2, D母線電圧																																																																											
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																											
	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																													
	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																													
	操作	「1.13.2.2(1)a. (b)」: 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" data-bbox="100 247 705 997"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td></td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保		・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(2/3)を再掲</b></p> <table border="1" data-bbox="739 231 1355 406"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	監視項目	監視計器	重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(11/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 231 1993 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="24">i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="12">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(原用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助建屋サンパタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">格納容器バイパスの監視</td> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱タンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器過熱タンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給			i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(原用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助建屋サンパタンク水位	格納容器バイパスの監視	・排気筒ガスモニタ	・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・復水器排気ガスモニタ	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	・蒸気発生器水位(狭域)	・主蒸気ライン圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器出口温度	・加圧器過熱タンク水位	・加圧器過熱タンク圧力	・加圧器過熱タンク温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																											
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																													
(S) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																																										
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																										
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																										
	水源の確保		・燃料取替用水ピット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																										
		信号	・安全注入作動警報																																																																																										
		操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																									
	判断基準		監視項目	監視計器																																																																																									
	重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの補給」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																										
		操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																										
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																													
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																													
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																													
b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給																																																																																													
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(原用)																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																										
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助建屋サンパタンク水位																																																																																										
		格納容器バイパスの監視	・排気筒ガスモニタ																																																																																										
			・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																										
	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																												
	・復水器排気ガスモニタ																																																																																												
	・蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																												
	・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																												
	・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																												
	・主蒸気ライン圧力																																																																																												
	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																												
	・余熱除去冷却器入口温度																																																																																												
	・余熱除去冷却器出口温度																																																																																												
	・加圧器過熱タンク水位																																																																																												
	・加圧器過熱タンク圧力																																																																																												
	・加圧器過熱タンク温度																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="197 347 620 392" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(14/14)を再掲</div> <div data-bbox="853 376 1240 421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/3)を再掲</div> </div>																																																																																												
監視計器一覧(14/14)																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">信号</td> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	信号	水源の確保	・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	操作	水源の確保	・安全注入作動警報	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの供給」</th> <th>判断基準</th> <th>水源の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(12/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順                      a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給                      b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td rowspan="5">格納容器ガスモニタ</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・泊発電機1号電圧、2号電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1号電圧、2号電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・C-8A、B、C-1、C-2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td rowspan="2">原身</td> <td>・3CS作動</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給			i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	電源	格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ	・泊発電機1号電圧、2号電圧	・後志幹線1号電圧、2号電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・C-8A、B、C-1、C-2、D母線電圧	補機監視機能	操作	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	・燃料取替用水ピット水位	ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原身	・3CS作動	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の温度	・加圧器水位	・1次冷却圧力(広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・高圧注入流量	・低圧注入流量	原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の温度	操作	・格納容器内温度	・格納容器内温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)          【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																												
(8) 復水ピットから燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																									
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																										
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																									
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																									
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																									
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																									
信号	水源の確保	・格納容器ガスモニタ																																																																																										
		・燃料取替用水ピット水位計																																																																																										
		・ほう酸タンク水位計 ・復水ピット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																										
操作	水源の確保	・安全注入作動警報																																																																																										
		・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																																										
重大事故等対応要領書「海から復水貯蔵タンクへの供給」	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																									
	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を供給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を供給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給 b. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給																																																																																												
i. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(高レンジ)																																																																																									
			・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																									
			・エアロックエアモニタ																																																																																									
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																									
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																									
	電源	格納容器ガスモニタ	・格納容器ガスモニタ																																																																																									
			・泊発電機1号電圧、2号電圧																																																																																									
			・後志幹線1号電圧、2号電圧																																																																																									
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																									
			・C-8A、B、C-1、C-2、D母線電圧																																																																																									
補機監視機能	操作	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																										
		・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																										
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																										
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																																										
		・燃料取替用水ピット水位																																																																																										
ii. 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの供給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原身	・3CS作動																																																																																									
			・炉心出口温度																																																																																									
		原子炉圧力容器内の温度	・加圧器水位																																																																																									
			・1次冷却圧力(広域)																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・高圧注入流量																																																																																									
			・低圧注入流量																																																																																									
原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量																																																																																											
	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																											
原子炉格納容器内の温度	操作	・格納容器内温度																																																																																										
		・格納容器内温度																																																																																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
<p><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p>		<p><b>監視計器一覧(13/32)</b></p>																																																																		
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 減水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	信号	・安全注入作動警報	操作	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 減水タンク水位計(CRT)	<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機駆動機能</td> <td>補機駆動機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.13.2.2(i)a.、(b)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(I) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機駆動機能	補機駆動機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	「1.13.2.2(i)a.、(b)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)          【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																				
(8) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																	
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																	
	水源の確保	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・復水ビット水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																	
		信号	・安全注入作動警報																																																																	
		操作	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 減水タンク水位計(CRT)																																																																	
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																			
	(I) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																			
	a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																			
b. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																				
ii. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																	
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域) ・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																	
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																	
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																	
		電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																	
	補機駆動機能	補機駆動機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																	
		操作	「1.13.2.2(i)a.、(b)1. 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水中の場合)」の操作手順と同様である。																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																							
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計		ほう酸タンク水位計		復水ビット水位計		信号	・安全注入作動警報		操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(1/3)を再掲</b></p> <p>1.13.2.1 水源を利用した対応手順          (6) 海を水源とした対応手順          a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水(各種注水)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>海を利用</td> </tr> </tbody> </table>	判断基準	操作	監視計器	重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	海を利用	<p>監視計器一覧(14/32)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                  (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順                  a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給                  (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="24">1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="12">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・SCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">格納容器バイパスの監視</td> <td>補助凝縮タンクタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>復水器排気ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器連がシタンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器連がシタンク圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器連がシタンク温度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・SCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	格納容器バイパスの監視	補助凝縮タンクタンク水位		排気筒ガスモニタ		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)		復水器排気ガスモニタ		蒸気発生器ブローダウン水モニタ		高感度型主蒸気管モニタ		蒸気発生器水位(狭域)		主蒸気ライン圧力		余熱除去ポンプ出口圧力		余熱除去冷却器入口温度		余熱除去冷却器出口温度		加圧器連がシタンク水位		加圧器連がシタンク圧力		加圧器連がシタンク温度		<p>【女川】運用の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																								
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																										
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																																																							
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																																							
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計																																																																																																								
		ほう酸タンク水位計																																																																																																								
		復水ビット水位計																																																																																																								
	信号	・安全注入作動警報																																																																																																								
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																							
		判断基準	操作	監視計器																																																																																																						
	重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																							
	操作	海を利用																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																								
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																										
1. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・SCS作動																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																							
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・補助給水流量 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																							
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																							
		格納容器バイパスの監視	補助凝縮タンクタンク水位																																																																																																							
			排気筒ガスモニタ																																																																																																							
	排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																									
	排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																									
	復水器排気ガスモニタ																																																																																																									
	蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																									
	高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																									
	蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																									
	主蒸気ライン圧力																																																																																																									
	余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																									
	余熱除去冷却器入口温度																																																																																																									
	余熱除去冷却器出口温度																																																																																																									
	加圧器連がシタンク水位																																																																																																									
	加圧器連がシタンク圧力																																																																																																									
加圧器連がシタンク温度																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																								
<p><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p>	<p><b>監視計器一覧(1/3)を再掲</b></p>	<p>監視計器一覧(15/32)</p>																																																																																																									
<p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: middle;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環リンパ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">信号</td> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td></td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		・格納容器じんあいモニタ	信号		・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ビット水位計		・ほう酸タンク水位計	操作		・復水ビット水位計		・1次系純水タンク水位計(CRT)			・安全注入作動警報			・燃料取替用水ビット水位計			・復水ビット水位計			・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p>1.13.2.1 水源を利用した対応手順          (6) 海を水源とした対応手順          a. 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水(各種注水)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">判断基準</th> <th style="width: 35%;">水源の確保</th> <th style="width: 50%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>操作</td> <td>海を利用</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	操作	海を利用	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 70%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順                      a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給                      (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・液志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・信号</td> </tr> <tr> <td>・原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の注水量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・エアロックエリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	操作	電源	・格納容器ガスモニタ	・泊幹線1L電圧、2L電圧	・液志幹線1L電圧、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	判断基準	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量	・燃料取替用水ビット水位	ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・信号	・原子炉圧力容器内の温度	・原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位	・1次冷却材圧力(広域)	操作	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量	・低圧注入流量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・原子炉格納容器内の注水量	・原子炉格納容器内の温度	<p>【女川】運用の相違(相違理由①)          【大飯】運用の相違(相違理由②)</p> <p>【女川】運用の相違(相違理由①)          【大飯】運用の相違(相違理由②)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																											
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環リンパ水位計(広域)																																																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																								
		水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																							
				・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																							
				・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																							
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
	信号		・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
			・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																								
			・ほう酸タンク水位計																																																																																																								
	操作		・復水ビット水位計																																																																																																								
		・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																									
		・安全注入作動警報																																																																																																									
		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																									
		・復水ビット水位計																																																																																																									
		・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																																																									
判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																									
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	操作	海を利用																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給 (c) 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																											
i. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																																																																																								
			・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																								
			・エアロックエリアモニタ																																																																																																								
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																								
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																								
	操作	電源	・格納容器ガスモニタ																																																																																																								
			・泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																								
			・液志幹線1L電圧、2L電圧																																																																																																								
			・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																								
			・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																																								
判断基準	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用)																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量(AM用)																																																																																																									
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却高水流量																																																																																																									
		・燃料取替用水ビット水位																																																																																																									
ii. 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・信号																																																																																																								
			・原子炉圧力容器内の温度																																																																																																								
			・原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																								
			・加圧器水位																																																																																																								
			・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																								
	操作	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量																																																																																																								
			・低圧注入流量																																																																																																								
			・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																								
			・原子炉格納容器内の注水量																																																																																																								
			・原子炉格納容器内の温度																																																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(14/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(14/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">燃料取替用水ビット水位計</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・復水ビット水位計	・1次系純水タンク水位計(CRT)		信号	・安全注入作動警報	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 1.2em;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧(16/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシシクスの確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.13.2.2(1)a. (c)1. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(c) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給			(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)	最終ヒートシシクスの確保	・補助給水流量	・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)	操作	「1.13.2.2(1)a. (c)1. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)」の操作手順と同様である。	<p>【女川】運用の相違(相違理由④)          【大飯】運用の相違(相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																											
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位計(広域)																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																								
		水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																							
			燃料取替用水ビット水位計	・燃料取替用水ビット水位計																																																																							
				・ほう酸タンク水位計																																																																							
				・復水ビット水位計																																																																							
	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																										
	信号	・安全注入作動警報																																																																									
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																								
			・復水ビット水位計 ・No. 2 凝水タンク水位計(CRT)																																																																								
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																											
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																											
a. 可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																											
(c) 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給																																																																											
(S) 復水ビットから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																																																								
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環ポンプ水位(広域) ・格納容器内循環ポンプ水位(狭域)																																																																								
		最終ヒートシシクスの確保	・補助給水流量																																																																								
			・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気発生器水位(狭域)																																																																								
		水源の確保	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																							
			原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																							
				電源	・泊幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																						
					補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量(AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量(AM用)																																																																					
						操作	「1.13.2.2(1)a. (c)1. 水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給(原子炉格納容器への注水の場合)」の操作手順と同様である。																																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(13/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT) ・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (8)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT) ・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (8)と同様。		<p style="font-size: 24px; border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順                      (a) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給                      (b) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給                      (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (a) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・ 補助建屋サンプタンク水位	格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域)	・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度	・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ	<p style="color: red;">【大阪】運用の相違(相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																													
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																										
	水源の確保	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																										
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																										
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																										
	信号	・燃料取替用水ビット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計(CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計(CRT) ・安全注入作動警報																																																											
	操作	1.13.2.2 (8)と同様。																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順 (a) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (b) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給 (c) ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																													
(7) No. 2 淡水タンクを水源とした電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																										
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																										
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用)																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域) ・ 格納容器再循環サンプ水位(狭域) ・ 補助建屋サンプタンク水位																																																										
		格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ ・ 排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ) ・ 排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																										
			・ 復水器排気ガスモニタ ・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ ・ 高感度型主蒸気管モニタ ・ 蒸気発生器水位(狭域)																																																										
			・ 主蒸気ライン圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去冷却器入口温度 ・ 余熱除去冷却器出口温度																																																										
・ 加圧器過熱タンク水位 ・ 加圧器過熱タンク圧力 ・ 加圧器過熱タンク温度																																																													
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) ・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内計装区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																	
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(13/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧 (13/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)	信号	・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)	操作	・安全注入作動警報	<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧 (18/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">判断基準</td> <td rowspan="15">信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・2次系純水タンク水位	操作	水源の確保	・使用済燃料ピット水位	・ろ過水タンク水位	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域)	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ	原子炉格納容器内の放射線量率	・炉内計装区域エリアモニタ	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器ガスモニタ	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・2次系純水タンク水位	操作	・ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																				
(7) No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																	
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																	
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																	
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																	
		・格納容器じんあいモニタ																																																																																																		
・格納容器ガスモニタ																																																																																																				
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																			
	・No. 3 淡水タンク水位計(CRT)																																																																																																			
信号	・No. 2 淡水タンク水位計(CRT)																																																																																																			
操作	・安全注入作動警報																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																				
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																				
a. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																				
b. 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																				
c. ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																				
判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																		
		・2次系純水タンク水位																																																																																																		
操作	水源の確保	・使用済燃料ピット水位																																																																																																		
		・ろ過水タンク水位																																																																																																		
判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																	
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器圧力(AM用)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量																																																																																																	
		原子炉格納容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエリアモニタ																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																	
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器ガスモニタ																																																																																																	
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																		
		・2次系純水タンク水位																																																																																																		
操作	・ろ過水タンク水位																																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(11/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・加圧器逃がしタンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)		・格納容器エアロック区域エリアモニタ		・炉内計装区域エリアモニタ		水源の確保	・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ		・燃料取替用水ビット水位計		・ほう酸タンク水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		・加圧器逃がしタンク水位計		操作	・安全注入作動警報		加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。			<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧(19/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">6) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(5) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原身</td> <td>・RCCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力(狭用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器西側サンプ水位(広域) ・格納容器西側サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">格納容器バイパスの監視</td> <td>補助建屋サンプタンク水位</td> <td>・補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> <td>・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>復水器排気ガスモニタ</td> <td>・復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位(狭域)</td> <td>・蒸気発生器水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク水位</td> <td>・加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク圧力</td> <td>・加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク温度</td> <td>・加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			6) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給			(5) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原身	・RCCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力(狭用)	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西側サンプ水位(広域) ・格納容器西側サンプ水位(狭域)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	1次系純水タンク水位	・ほう酸タンク水位	格納容器バイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	・補助建屋サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・排気筒ガスモニタ	排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	復水器排気ガスモニタ	・復水器排気ガスモニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位(狭域)	・蒸気発生器水位(狭域)	操作	主蒸気ライン圧力	・主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・余熱除去冷却器出口温度	加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク水位	加圧器逃がしタンク圧力	・加圧器逃がしタンク圧力	加圧器逃がしタンク温度	・加圧器逃がしタンク温度	<p><b>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</b></p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																																								
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)																																																																																																																						
		・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																																						
		・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																																						
	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																						
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																																						
		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																						
		・ほう酸タンク水位計																																																																																																																						
信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																																							
	・加圧器逃がしタンク水位計																																																																																																																							
操作	・安全注入作動警報																																																																																																																							
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2(6)a.と同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)b.と同様。																																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																								
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																								
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																																								
6) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																																								
(5) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ビット浄化ラインを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原身	・RCCS作動																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																					
		原子炉圧力容器への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力(狭用)																																																																																																																					
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器西側サンプ水位(広域) ・格納容器西側サンプ水位(狭域)																																																																																																																					
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																					
		1次系純水タンク水位	・ほう酸タンク水位																																																																																																																					
	格納容器バイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	・補助建屋サンプタンク水位																																																																																																																					
		排気筒ガスモニタ	・排気筒ガスモニタ																																																																																																																					
		排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(低レンジ)																																																																																																																					
		排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)	・排気筒高レンジガスモニタ(高レンジ)																																																																																																																					
復水器排気ガスモニタ		・復水器排気ガスモニタ																																																																																																																						
高感度型主蒸気管モニタ		・高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																																						
蒸気発生器水位(狭域)		・蒸気発生器水位(狭域)																																																																																																																						
操作	主蒸気ライン圧力	・主蒸気ライン圧力																																																																																																																						
	余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																						
	余熱除去冷却器入口温度	・余熱除去冷却器入口温度																																																																																																																						
	余熱除去冷却器出口温度	・余熱除去冷却器出口温度																																																																																																																						
	加圧器逃がしタンク水位	・加圧器逃がしタンク水位																																																																																																																						
	加圧器逃がしタンク圧力	・加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																																						
加圧器逃がしタンク温度	・加圧器逃がしタンク温度																																																																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																					
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(11/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧（11/14）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計	信号	・安全注入作動警報	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。			<p style="text-align: center;"><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧（20/32）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順                      (イ) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給                      (ロ) 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給                      (ハ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給                      (ニ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="4">信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ii. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合）</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 (イ) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (ロ) 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (ハ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 (ニ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の注水量	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力（AM用）	・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	水源の確保	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	<p style="text-align: center;">【大飯】運用の相違（相違理由⑧）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																								
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																					
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																					
	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																					
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																					
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																					
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																					
			・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																					
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																					
・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT） ・加圧器逃がしタンク水位計																																																																								
信号	・安全注入作動警報																																																																							
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 (イ) 燃料取替用水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (ロ) 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (ハ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 (ニ) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																								
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																						
		・エアロックエアモニタ ・炉内計装区域エアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																						
操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																						
		・1次系純水タンク水位																																																																						
判断基準	信号	・ECCS作動																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																					
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																					
	原子炉格納容器内の注水量	・原子炉格納容器圧力																																																																						
		・格納容器圧力（AM用）																																																																						
		・格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																						
	水源の確保	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		・燃料取替用水ピット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位																																																																						
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																					
・エアロックエアモニタ																																																																								
・炉内計装区域エアモニタ																																																																								
・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(11/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	信号	・燃料取替用水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。			<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧(21/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="10">水源の確保</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（表域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="10">格納容器パイプの監視</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	水源の確保	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（表域）	判断基準	格納容器パイプの監視	・ 燃料取替用水ピット水位	・ 1次系純水タンク水位	・ ほう酸タンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位	・ 排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 復水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	・ 加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク圧力	・ 加圧器逃がしタンク温度	<p><b>【大飯】運用の相違（相違理由③）</b></p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																													
	操作	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）																																																																																													
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																													
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																													
水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																																															
	・格納容器ガスモニタ																																																																																															
信号	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																															
	・ほう酸タンク水位計																																																																																															
加圧器逃がしタンク経由の補給は1.13.2.2 (6)a.と同様。使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2 (6)b.と同様。																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																
c. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																
判断基準	水源の確保	信号	・ ECCS作動																																																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																													
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 低圧注入流量																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器内温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（表域）																																																																																													
判断基準	格納容器パイプの監視	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																														
		・ 1次系純水タンク水位																																																																																														
		・ ほう酸タンク水位																																																																																														
		・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																														
		・ 排気筒ガスモニタ																																																																																														
		・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																														
		・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																														
		・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																														
		・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																														
		・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																														
・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																
・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																
・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																
・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																
・ 加圧器逃がしタンク水位																																																																																																
・ 加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																
・ 加圧器逃がしタンク温度																																																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(11/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(11/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がシタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。</td> <td></td> <td>・加圧器逃がシタンク水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・格納容器エアロック区域エアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	水源の確保	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	信号	・安全注入作動警報	・1次系純水タンク水位計(CRT)	加圧器逃がシタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。		・加圧器逃がシタンク水位計	<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧(22/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位</td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位</td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="5">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(i) e. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給			判断基準	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	操作	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力(AM用)	・格納容器スプレイ流量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環サンプ水位(広域)	・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位	1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位	ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)	・エアロックエアモニタ	・炉内計装区域エアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	・格納容器ガスモニタ	操作	1.13.2.2(i) e. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。		<p><b>【大飯】運用の相違(相違理由⑦)</b></p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																							
(5) 1次系純水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																																																				
	操作	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																				
			・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																																				
			・格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																																				
			・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																				
水源の確保	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																						
	・格納容器ガスモニタ																																																																																																						
	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																						
	・ほう酸タンク水位計																																																																																																						
信号	・安全注入作動警報	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																					
加圧器逃がシタンク経由の補給は1.13.2.2(6)aと同様。使用済燃料ビット脱塩塔経由の補給は1.13.2.2(6)bと同様。		・加圧器逃がシタンク水位計																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																							
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																																							
e. 1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																							
b) 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																							
判断基準	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																																				
		・エアロックエアモニタ																																																																																																					
		・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																					
		・格納容器じんあいモニタ																																																																																																					
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																					
	操作	燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																				
		1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位																																																																																																				
		信号	・ECCS作動																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																				
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																				
		・格納容器圧力(AM用)																																																																																																					
		・格納容器スプレイ流量																																																																																																					
		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																					
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内循環サンプ水位(広域)																																																																																																				
		・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																					
		燃料取替用水ビット水位	・燃料取替用水ビット水位																																																																																																				
		1次系純水タンク水位	・1次系純水タンク水位																																																																																																				
		ほう酸タンク水位	・ほう酸タンク水位																																																																																																				
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																																					
		・エアロックエアモニタ																																																																																																					
		・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																					
		・格納容器じんあいモニタ																																																																																																					
		・格納容器ガスモニタ																																																																																																					
操作	1.13.2.2(i) e. (b) i. 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がシタンクを経由した燃料取替用水ビットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。																																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																								
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(12/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧 (12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内前部サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>安全注入作動警報</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内前部サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	水源の確保	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計	1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)	信号	安全注入作動警報	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (7)と同様。		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (23/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順                      (a) 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給                      (b) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水の場合)</td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECSC作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内前部サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前部サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">格納容器パイパスの監視</td> <td>補助建屋サンプタンク水位</td> <td>・ 補助建屋サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td>排気筒ガスモニタ</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>復水器排気ガスモニタ</td> <td>・ 復水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>高感度型主蒸気管モニタ</td> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位（狭域）</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器入口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器出口温度</td> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>加圧器過熱タンク水位</td> <td>・ 加圧器過熱タンク水位</td> </tr> <tr> <td>加圧器過熱タンク圧力</td> <td>・ 加圧器過熱タンク圧力</td> </tr> <tr> <td>加圧器過熱タンク温度</td> <td>・ 加圧器過熱タンク温度</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 (a) 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (b) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECSC作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内前部サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前部サンプ水位（狭域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位	格納容器パイパスの監視	補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位	排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ	排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ	蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度	余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	加圧器過熱タンク水位	・ 加圧器過熱タンク水位	加圧器過熱タンク圧力	・ 加圧器過熱タンク圧力	加圧器過熱タンク温度	・ 加圧器過熱タンク温度	<p>【大阪】運用の相違（相違理由㉞）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																											
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内前部サンプ水位計（広域）																																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																								
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																																								
	水源の確保	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																								
		1次系純水タンク水位計(CRT)	・1次系純水タンク水位計(CRT) ・No. 3淡水タンク水位計(CRT) ・使用済燃料ピット水位計(CRT)																																																																																								
	信号	安全注入作動警報	・安全注入作動警報																																																																																								
	操作	1.13.2.2 (7)と同様。																																																																																									
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 (a) 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (b) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																																										
	1. 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 (原子炉容器への注水の場合)	判断基準	信号	・ ECSC作動																																																																																							
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																																																								
原子炉圧力容器への注水量			・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																								
原子炉格納容器内の温度			・ 格納容器内温度																																																																																								
原子炉格納容器内の圧力			・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																								
原子炉格納容器内の水位			・ 格納容器内前部サンプ水位（広域） ・ 格納容器内前部サンプ水位（狭域）																																																																																								
水源の確保			・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ 使用済燃料ピット水位																																																																																								
格納容器パイパスの監視			補助建屋サンプタンク水位	・ 補助建屋サンプタンク水位																																																																																							
			排気筒ガスモニタ	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																							
			排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																							
			排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																							
			復水器排気ガスモニタ	・ 復水器排気ガスモニタ																																																																																							
			蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																							
	高感度型主蒸気管モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																									
	蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																									
	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																									
	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																									
余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																										
余熱除去冷却器出口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																										
加圧器過熱タンク水位	・ 加圧器過熱タンク水位																																																																																										
加圧器過熱タンク圧力	・ 加圧器過熱タンク圧力																																																																																										
加圧器過熱タンク温度	・ 加圧器過熱タンク温度																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(12/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧 (12/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロクック区域エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">信号</td> <td>燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>1次系純水タンク水位計（CRT）</td> <td>・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>安全注注入動作警報</td> <td>・安全注注入動作警報</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2(7)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）	原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロクック区域エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ	信号	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計	1次系純水タンク水位計（CRT）	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）	操作	安全注注入動作警報	・安全注注入動作警報	1.13.2.2(7)と同様。			<p><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧 (24/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順                      (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順                      d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給                      (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンク水位 使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td rowspan="4">信号</td> <td>ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>2次系純水タンク水位 格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.13.2.2(1)d.(a)」2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給			判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）	エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ	操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位	2次系純水タンク水位 使用済燃料ピット水位	判断基準	信号	ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	水源の確保	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（広域）	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）	燃料取替用水ピット水位	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	1次系純水タンク水位	2次系純水タンク水位 格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ	「1.13.2.2(1)d.(a)」2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。			<p><b>【大阪】運用の相違（相違理由⑧）</b></p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																												
(6) No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの供給	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域）																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・AM用格納容器圧力計																																																																									
		原子炉格納容器内の注水量	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																									
	水源の確保	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） ・格納容器エアロクック区域エアロモニタ ・炉内計装区域エアロモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器ガスモニタ																																																																									
		信号	燃料取替用水ピット水位計	・燃料取替用水ピット水位計																																																																								
			1次系純水タンク水位計（CRT）	・No. 3淡水タンク水位計（CRT） ・使用済燃料ピット水位計（CRT）																																																																								
		操作	安全注注入動作警報	・安全注注入動作警報																																																																								
1.13.2.2(7)と同様。																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順 d. 2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 (a) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給																																																																												
判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ）																																																																										
		エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ																																																																										
操作	水源の確保	燃料取替用水ピット水位																																																																										
		2次系純水タンク水位 使用済燃料ピット水位																																																																										
判断基準	信号	ECCS作動																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																									
	水源の確保	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（広域）																																																																									
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量 ・日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																									
	操作	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
			燃料取替用水ピット水位																																																																									
	操作	原子炉格納容器内の放射線量率	1次系純水タンク水位																																																																									
			2次系純水タンク水位 格納容器内高レンジエアロモニタ（低レンジ） エアロクックエアロモニタ 炉内計装区域エアロモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ																																																																									
「1.13.2.2(1)d.(a)」2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給（原子炉容器への注水中の場合）」の操作手順と同様である。																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(10/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・格納容器エアロック区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・安全注入作動警報</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2 (5)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	・格納容器エアロック区域エリアモニタ	・炉内計装区域エリアモニタ	・格納容器じんあいモニタ	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）	信号	・安全注入作動警報	操作	1.13.2.2 (5)と同様。		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(2/3)を再掲</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 10%;">判断基準</th> <th style="width: 30%;">水源の確保</th> <th style="width: 30%;">復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>		判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(25/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器への注水時の場合）</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（副用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 補助循環サンプタンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">格納容器バイパスの監視</td> <td>・ 排気筒ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・ 洩水器排気ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 高感度型主蒸気管モニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器入口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 加圧器逃がしタンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器逃がしタンク圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器逃がしタンク温度</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）</td> </tr> <tr> <td>・ エアロックエリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			f. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給			1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器への注水時の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（副用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	・ 1次系純水タンク水位	・ ほう酸タンク水位	・ 補助循環サンプタンク水位	格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ	・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）	・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）	・ 洩水器排気ガスモニタ	・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ	・ 高感度型主蒸気管モニタ	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 主蒸気ライン圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去冷却器入口温度	・ 余熱除去冷却器出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 加圧器逃がしタンク水位	・ 加圧器逃がしタンク圧力	・ 加圧器逃がしタンク温度	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）	・ エアロックエリアモニタ	・ 炉内計装区域エリアモニタ	・ 格納容器じんあいモニタ	・ 格納容器ガスモニタ	<p style="text-align: center; color: red;">【大阪】運用の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																																																																						
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																			
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																			
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																																																			
			・格納容器エアロック区域エリアモニタ																																																																																																			
			・炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																			
			・格納容器じんあいモニタ																																																																																																			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																				
		・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																																				
	信号	・安全注入作動警報																																																																																																				
	操作	1.13.2.2 (5)と同様。																																																																																																				
	判断基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																			
重大事故等対応要領書「耐震性防火水槽から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																						
(1) 燃料取替用水ビットへ水を補給するための対応手順																																																																																																						
e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																						
f. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給																																																																																																						
1. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給（原子炉格納容器への注水時の場合）	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																			
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																			
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																																			
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（副用）																																																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																			
			・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域）																																																																																																			
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																			
			・ 1次系純水タンク水位																																																																																																			
	・ ほう酸タンク水位																																																																																																					
	・ 補助循環サンプタンク水位																																																																																																					
	格納容器バイパスの監視	・ 排気筒ガスモニタ																																																																																																				
		・ 排気筒高レンジガスモニタ（低レンジ）																																																																																																				
・ 排気筒高レンジガスモニタ（高レンジ）																																																																																																						
・ 洩水器排気ガスモニタ																																																																																																						
・ 蒸気発生器ブローダウン水モニタ																																																																																																						
・ 高感度型主蒸気管モニタ																																																																																																						
・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																						
・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																						
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																						
・ 余熱除去冷却器入口温度																																																																																																						
・ 余熱除去冷却器出口温度																																																																																																						
原子炉格納容器内の放射線量率	・ 加圧器逃がしタンク水位																																																																																																					
	・ 加圧器逃がしタンク圧力																																																																																																					
	・ 加圧器逃がしタンク温度																																																																																																					
	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）																																																																																																					
	・ エアロックエリアモニタ																																																																																																					
	・ 炉内計装区域エリアモニタ																																																																																																					
・ 格納容器じんあいモニタ																																																																																																						
・ 格納容器ガスモニタ																																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(10/14)を再掲</b></p> <p>監視計器一覧(10/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器エアロック区域エアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>炉内計装区域エアモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器じんあいモニタ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・1次系純水タンク水位計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・安全注入作動警報</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.13.2.2(5)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等			(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)		格納容器エアロック区域エアモニタ		炉内計装区域エアモニタ		格納容器じんあいモニタ		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・ほう酸タンク水位計		信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)		操作	・安全注入作動警報		操作	1.13.2.2(5)と同様。		<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(2/3)を再掲</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>相違基準</th> <th>水源の確保</th> <th>復水貯蔵タンク水位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重大事故等対応要領書「耐震性別大水量から復水貯蔵タンクへの補給」</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	相違基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	重大事故等対応要領書「耐震性別大水量から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保		操作	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧(26/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td colspan="3">g. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td rowspan="14">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器再循環サンプ水位(狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・エアロックエアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・炉内計装区域エアモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器じんあいモニタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.13.2.2(i) e. (g) i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順			e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			g. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給			i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	操作	水源の確保	操作	・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位	ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力		・格納容器圧力(AM用)	原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域)		・格納容器再循環サンプ水位(狭域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位		・1次系純水タンク水位		・ほう酸タンク水位	原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ		・炉内計装区域エアモニタ		・格納容器じんあいモニタ		・格納容器ガスモニタ	操作	1.13.2.2(i) e. (g) i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。		<p>【大阪】運用の相違(相違理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.13.2.3 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等																																																																																																																			
(4) 1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域)																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の圧力	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内高レンジエアモニタ(低レンジ)																																																																																																																	
		格納容器エアロック区域エアモニタ																																																																																																																	
		炉内計装区域エアモニタ																																																																																																																	
		格納容器じんあいモニタ																																																																																																																	
	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																	
		・ほう酸タンク水位計																																																																																																																	
	信号	・1次系純水タンク水位計(CRT)																																																																																																																	
操作	・安全注入作動警報																																																																																																																		
操作	1.13.2.2(5)と同様。																																																																																																																		
相違基準	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
重大事故等対応要領書「耐震性別大水量から復水貯蔵タンクへの補給」	操作	水源の確保																																																																																																																	
	操作	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																																																																																			
(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順																																																																																																																			
e. 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																			
g. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給																																																																																																																			
i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)	操作	水源の確保																																																																																																																	
	操作	・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位																																																																																																																	
ii. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	信号	・ECCS作動																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)																																																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																
			・格納容器圧力(AM用)																																																																																																																
		原子炉格納容器への注水量	・格納容器スプレイ流量																																																																																																																
			・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																																																																																
			・格納容器再循環サンプ水位(狭域)																																																																																																																
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																																
			・1次系純水タンク水位																																																																																																																
			・ほう酸タンク水位																																																																																																																
		原子炉格納容器内の放射線量率	・エアロックエアモニタ																																																																																																																
	・炉内計装区域エアモニタ																																																																																																																		
	・格納容器じんあいモニタ																																																																																																																		
	・格納容器ガスモニタ																																																																																																																		
操作	1.13.2.2(i) e. (g) i. 1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給(原子炉容器への注水中の場合)の操作手順と同様である。																																																																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																													
<div data-bbox="201 494 616 542" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">監視計器一覧(2/14)を再掲</div> <table border="1" data-bbox="100 558 705 790"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計	操作	水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	<div data-bbox="851 510 1243 558" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">監視計器一覧(1/3)を再掲</div> <p style="text-align: center;">第 1.13-2 表 重大事故等対処に係る監視計器 監視計器一覧 (1/3)</p> <table border="1" data-bbox="739 614 1355 790"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>判断基準 水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作 水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水			重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作 水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (27/32)</p> <table border="1" data-bbox="1377 215 1993 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="27" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td rowspan="27" style="vertical-align: top; text-align: center;">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器西側取上げ水位 (広域) ・ 格納容器西側取上げ水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td></td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内核燃料区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td></td> <td>・ 泊管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td></td> <td>・ 補助給水ピット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器西側取上げ水位 (広域) ・ 格納容器西側取上げ水位 (狭域)	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	原子炉格納容器内の放射線量率		・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)		・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内核燃料区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ	電源		・ 泊管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)	操作		・ 補助給水ピット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	<p>【女川】運用の相違 (相違理由①)          【大阪】運用の相違 (相違理由②)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器補助給水流量計																																																												
	操作	水源の確保	・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・復水ピット水位計 ・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT) ・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																													
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																														
1.13.2.1 水源を利用した対応手順 (4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順 a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水																																																																
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																														
	操作 水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順 (2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順 a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																																
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																													
		原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																													
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器西側取上げ水位 (広域) ・ 格納容器西側取上げ水位 (狭域)																																																													
		最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量 ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																													
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率		・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)																																																												
				・ エアロックエリアモニタ ・ 炉内核燃料区域エリアモニタ ・ 格納容器じんあいモニタ ・ 格納容器ガスモニタ																																																												
			電源		・ 泊管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 後志管線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																											
				補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)																																																										
		操作				・ 補助給水ピット水位 ・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/14)を再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-2 表 重大事故等対処に係る監視計器 監視計器一覧 (1/3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">手順書</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="width: 25%;">判断基準 水源の確保</td> <td style="width: 50%;">復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     淡水貯水槽 (No. 1)                      淡水貯水槽 (No. 2)                 </td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順			a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位		操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (28/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="25" style="width: 25%; vertical-align: middle;">(b) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 50%;">                     信号                      原子炉圧力容器内の温度                      原子炉圧力容器内の水位                      原子炉圧力容器への注水量                      原子炉圧力容器内の圧力                      原子炉格納容器内の温度                      原子炉格納容器内の圧力                      原子炉格納容器内の水位                      最終ヒートシンクの確保                      水源の確保                      原子炉格納容器内の放射線量率                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>                     補助給水流量                      蒸気発生器水位 (広域)                      補助給水ピット水位                      格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)                      格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ)                      エアロックエアモニタ                      炉内放射線区域エアモニタ                      格納容器じんあいモニタ                      格納容器ガスモニタ                      電源                      泊幹線 1L 電圧、2L 電圧                      後志幹線 1L 電圧、2L 電圧                      甲母線電圧、乙母線電圧                      6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧                      原子炉補機冷却水供給母管流量                      原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)                      原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量                      原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)                      水源の確保                      補助給水ピット水位                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(b) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 最終ヒートシンクの確保 水源の確保 原子炉格納容器内の放射線量率	操作	補助給水流量 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水ピット水位 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ) エアロックエアモニタ 炉内放射線区域エアモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ 電源 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 甲母線電圧、乙母線電圧 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用) 水源の確保 補助給水ピット水位	<p>【女川】運用の相違 (相違理由①)          【大阪】運用の相違 (相違理由⑥)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																													
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>																																														
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> <li>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ A、B 2 次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>																																														
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																															
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																	
(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順																																																	
a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による送水																																																	
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準 水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																															
	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																	
(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順																																																	
a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																	
(b) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	信号 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 最終ヒートシンクの確保 水源の確保 原子炉格納容器内の放射線量率																																															
	操作	補助給水流量 蒸気発生器水位 (広域) 補助給水ピット水位 格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 格納容器内低レンジエアモニタ (低レンジ) エアロックエアモニタ 炉内放射線区域エアモニタ 格納容器じんあいモニタ 格納容器ガスモニタ 電源 泊幹線 1L 電圧、2L 電圧 後志幹線 1L 電圧、2L 電圧 甲母線電圧、乙母線電圧 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 原子炉補機冷却水供給母管流量 原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用) 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用) 水源の確保 補助給水ピット水位																																															

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(2/14)より抜粋して再掲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">(7) 海水を用いた復水ピットへの補給</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul> </td> </tr> </table>	(7) 海水を用いた復水ピットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(1/3)を再掲</p> <p style="text-align: center;">第 1.13-2 表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧 (1/3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.1 水源を利用した対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>水源の確保 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.13.2.1 水源を利用した対応手順			(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順			a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水			重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位		操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (29/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(e) 首を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>信号</li> <li>原子炉圧力容器内の温度</li> <li>原子炉圧力容器内の水位</li> <li>原子炉圧力容器への注水量</li> <li>原子炉圧力容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の温度</li> <li>原子炉格納容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の水位</li> <li>最終ヒートシンクの確保</li> <li>水源の確保</li> <li>原子炉格納容器内の放射線量率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DCSS作動</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 格納容器内温度</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (広域)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> <li>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</li> <li>・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)</li> <li>・ エアロックエリアモニタ</li> <li>・ 炉内核分裂区域エリアモニタ</li> <li>・ 格納容器じんあいモニタ</li> <li>・ 格納容器ガスモニタ</li> <li>・ 冷却水 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 低圧管線 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 母線 A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順			a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給			(e) 首を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号</li> <li>原子炉圧力容器内の温度</li> <li>原子炉圧力容器内の水位</li> <li>原子炉圧力容器への注水量</li> <li>原子炉圧力容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の温度</li> <li>原子炉格納容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の水位</li> <li>最終ヒートシンクの確保</li> <li>水源の確保</li> <li>原子炉格納容器内の放射線量率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DCSS作動</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 格納容器内温度</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (広域)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> <li>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</li> <li>・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)</li> <li>・ エアロックエリアモニタ</li> <li>・ 炉内核分裂区域エリアモニタ</li> <li>・ 格納容器じんあいモニタ</li> <li>・ 格納容器ガスモニタ</li> <li>・ 冷却水 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 低圧管線 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 母線 A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul>		操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位	<p>【女川】運用の相違 (相違理由①)</p> <p>【大阪】運用の相違 (相違理由⑥)</p>
(7) 海水を用いた復水ピットへの補給		判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																															
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>																																																
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> <li>・No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・A、B 2次系純水タンク水位計 (CRT)</li> <li>・No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</li> </ul>																																																
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																	
1.13.2.1 水源を利用した対応手順																																																			
(4) 淡水貯水槽を水源とした対応手順																																																			
a. 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水																																																			
重大事故等対応要領書「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	水源の確保 復水貯蔵タンク水位																																																	
	操作	水源の確保 淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																			
(2) 補助給水ピットへ水を補給するための対応手順																																																			
a. 可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給																																																			
(e) 首を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給	判断基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号</li> <li>原子炉圧力容器内の温度</li> <li>原子炉圧力容器内の水位</li> <li>原子炉圧力容器への注水量</li> <li>原子炉圧力容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の温度</li> <li>原子炉格納容器内の圧力</li> <li>原子炉格納容器内の水位</li> <li>最終ヒートシンクの確保</li> <li>水源の確保</li> <li>原子炉格納容器内の放射線量率</li> </ul>																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DCSS作動</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 格納容器内温度</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (広域)</li> <li>・ 格納容器内前部サンプ水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> <li>・ 補助給水ピット水位</li> <li>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</li> <li>・ 格納容器内低レンジエリアモニタ (低レンジ)</li> <li>・ エアロックエリアモニタ</li> <li>・ 炉内核分裂区域エリアモニタ</li> <li>・ 格納容器じんあいモニタ</li> <li>・ 格納容器ガスモニタ</li> <li>・ 冷却水 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 低圧管線 1L 電圧, 2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 母線 A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</li> </ul>																																																	
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ピット水位																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(2/14)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> <li>・復水ビット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p> <p style="text-align: center;"><b>泊3号炉との比較対象なし</b></p>	<p>監視計器一覧 (30/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(6) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td>判断基準</td> <td>                     最終ヒートシンクの確保                      水源の確保                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     補助給水流量                      補助給水ビット水位                      2次系純水タンク水位                      補助給水ビット水位                      2次系純水タンク水位                 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>判断基準</td> <td>                     水源の確保                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     2次系純水タンク水位                      ろ過水タンク水位                      2次系純水タンク水位                      ろ過水タンク水位                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順			(2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順			b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給			(6) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保 水源の確保	操作	補助給水流量 補助給水ビット水位 2次系純水タンク水位 補助給水ビット水位 2次系純水タンク水位	(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順			a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 水源の確保	操作	2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位 2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位	<p>【大飯】設備の相違(相違理由①)</p> <p>【女川】記載内容の相違</p> <p>炉型の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p>																						
(5) No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給			判断基準	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> <li>・復水ビット水位計</li> </ul>																																																							
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>																																																										
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 3淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順																																																												
(2) 補助給水ビットへ水を補給するための対応手順																																																												
b. 2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給																																																												
(6) 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	判断基準	最終ヒートシンクの確保 水源の確保 水源の確保																																																										
	操作	補助給水流量 補助給水ビット水位 2次系純水タンク水位 補助給水ビット水位 2次系純水タンク水位																																																										
(3) 原水槽へ水を補給するための対応手順																																																												
a. 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	判断基準	水源の確保 水源の確保																																																										
	操作	2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位 2次系純水タンク水位 ろ過水タンク水位																																																										
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(3/14)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替</td> <td rowspan="2" style="width: 5%;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> <li>・流圧注入流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料取替用水ビット水位計</li> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul> </td> </tr> </table>	(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> <li>・流圧注入流量計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料取替用水ビット水位計</li> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="4">(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書(抜粋ベース)「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書(設備等)「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器の水位</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順				(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書(抜粋ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書(設備等)「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (31/32)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉容器への注水中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器への注水量                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     低圧注入流量                      高圧注入流量                      代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      燃料取替用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      補助給水ビット水位                      電源                      6-A, B母線電圧                      代替非常用発電機電圧、電力、周波数                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)</td> <td>判断基準</td> <td>                     格納容器スプレイ流量                      原子炉格納容器への注水量                      代替格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用)                      代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     燃料取替用水ビット水位                      補助給水ビット水位                      補助給水ビット水位                      電源                      6-A, B母線電圧                      代替非常用発電機電圧、電力、周波数                 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器への注水量                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     低圧注入流量                      高圧注入流量                      燃料取替用水ビット水位                      1次系純水タンク水位                      ほう酸タンク水位                      燃料取替用水ビット水位                      1次系純水タンク水位                      ほう酸タンク水位                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順			(1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え			a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 水源の確保	操作	低圧注入流量 高圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 補助給水ビット水位 電源 6-A, B母線電圧 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	格納容器スプレイ流量 原子炉格納容器への注水量 代替格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保	操作	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 補助給水ビット水位 電源 6-A, B母線電圧 代替非常用発電機電圧、電力、周波数	(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え			a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 水源の確保	操作	低圧注入流量 高圧注入流量 燃料取替用水ビット水位 1次系純水タンク水位 ほう酸タンク水位 燃料取替用水ビット水位 1次系純水タンク水位 ほう酸タンク水位	<p>【大飯】記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p>
(3) 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替			判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> <li>・流圧注入流量計</li> </ul>																																																							
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																										
	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料取替用水ビット水位計</li> <li>・復水ビット水位計</li> <li>・No. 2淡水タンク水位計(CRT)</li> </ul>																																																									
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順																																																												
(1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え																																																												
非常時操作手順書(抜粋ベース)「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																																									
		原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度																																																									
非常時操作手順書(設備等)「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位																																																									
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順																																																												
(1) 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え																																																												
a. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉容器への注水中の場合)	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 水源の確保																																																										
	操作	低圧注入流量 高圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 補助給水ビット水位 電源 6-A, B母線電圧 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																										
b. 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え(原子炉格納容器内のスプレイ中の場合)	判断基準	格納容器スプレイ流量 原子炉格納容器への注水量 代替格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(A用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 水源の確保																																																										
	操作	燃料取替用水ビット水位 補助給水ビット水位 補助給水ビット水位 電源 6-A, B母線電圧 代替非常用発電機電圧、電力、周波数																																																										
(2) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え																																																												
a. 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え	判断基準	原子炉圧力容器への注水量 水源の確保																																																										
	操作	低圧注入流量 高圧注入流量 燃料取替用水ビット水位 1次系純水タンク水位 ほう酸タンク水位 燃料取替用水ビット水位 1次系純水タンク水位 ほう酸タンク水位																																																										
<p>監視計器一覧 (3/14)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替</td> <td>判断基準</td> <td>                     原子炉圧力容器内への注水量                      水源の確保                 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>                     余熱除去流量計                      高圧注入流量計                      燃料取替用水ビット水位計                      ほう酸タンク水位計                      1次系純水タンク水位計(CRT)                      燃料取替用水ビット水位計                      ほう酸タンク水位計                      1次系純水タンク水位計(CRT)                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等			(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保	操作	余熱除去流量計 高圧注入流量計 燃料取替用水ビット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT) 燃料取替用水ビット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT)																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ビットへの供給に係る手順等																																																												
(1) 燃料取替用水ビットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量 水源の確保																																																										
	操作	余熱除去流量計 高圧注入流量計 燃料取替用水ビット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT) 燃料取替用水ビット水位計 ほう酸タンク水位計 1次系純水タンク水位計(CRT)																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(1/14)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 30%; text-align: center;">(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">最終ヒートシンクの確保</td> <td style="width: 40%;">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </table>	(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替	判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計		水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)		操作	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(3/3)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">非常時操作手順書 (微修正ベース) 「水位確保」等</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 25%;">原子炉格納容器内の温度</td> <td style="width: 45%;">サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉格納容器の温度</td> <td>サブプレッションプール水温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器の水位</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </table>	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え				非常時操作手順書 (微修正ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度	非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度			原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位			水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (32/32)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 10%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> <tr> <td colspan="3">1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (2) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td>最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位</td> </tr> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (2) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え			a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位	
(1) 復水ビットからNo. 3淡水タンクへの水源切替		判断基準	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																									
		水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																										
	操作	水源の確保	・ 復水ビット水位計 ・ No. 3淡水タンク水位計 (CRT)																																										
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (1) 高圧炉心スプレイ系の水源の切替え																																													
非常時操作手順書 (微修正ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉格納容器内の温度	サブプレッションプール水温度																																										
非常時操作手順書 (設備別) 「高圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	操作	原子炉格納容器の温度	サブプレッションプール水温度																																										
		原子炉格納容器の水位	圧力抑制室水位																																										
		水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																											
1.13.2.3 水源を切り替えるための対応手順 (2) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプの水源の切替え																																													
a. 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	判断基準	最終ヒートシンクの確保 ・ 補助給水流量																																											
	操作	水源の確保 ・ 補助給水ビット水位 ・ 2次系純水タンク水位																																											

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
第1.13.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備			第1.13-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				第1.13.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備				【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
対象条文	供給対象設備	給電元	対象条文	供給対象設備	供給元		対象条文	供給対象設備	給電元		
【1.13】重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	【1.13】 重大事故等の取束に必要となる水の供給手順等	計測用電源 (復水貯蔵タンク水位)	設備	母線	【1.13】 重大事故等時に必要となる水の供給手順等	原子炉格納容器スプレイ設置弁	設備	母線	
	A 高压注入ポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線			常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系			常設代替交流電源設備	B2-2 原子炉コントロールセンター	
	B 高压注入ポンプ	4-3 (4) B 非常用高压母線		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	非常用交流電源設備		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	A 充てんポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
	B 充てんポンプ	4-3 (4) B 非常用高压母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	C 充てんポンプ	3-3 (4) A2 非常用低圧母線							可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
				3-3 (4) B2 非常用低圧母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整					
	A 格納容器スプレイポンプ	4-3 (4) A 非常用高压母線		非常用交流電源設備	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整		代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整			
	A 加圧器逃がし弁	A2 ソレノイド分電盤							非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ兼圧調整	
	B 加圧器逃がし弁	B2 ソレノイド分電盤		格納容器スプレイポンプ兼圧調整	格納容器スプレイポンプ兼圧調整	格納容器スプレイポンプ兼圧調整		格納容器スプレイポンプ兼圧調整			



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>※3 1次系循環水タンク及びほうろくタンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次系循環水タンク</li> <li>・1次系補給水ポンプ</li> <li>・ほうろくタンク</li> <li>・ほうろくポンプ</li> </ul> <p>※4 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給 （追加設備としてタンク設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次系循環水タンク</li> <li>・1次系補給水ポンプ</li> <li>・燃料取扱用水ピット</li> </ul> <p>※5 1次系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給 （追加設備として燃料取扱用水ピット設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次系循環水タンク</li> <li>・1次系補給水ポンプ</li> </ul> <p>※6 N1、3系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給 （追加設備として燃料取扱用水ピット設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N1、3系循環水タンク</li> <li>・使用済燃料ピットポンプ</li> </ul> <p>※7 N1、N2、2系循環水タンクから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N1、2系循環水タンク</li> </ul> <p>※8 燃料取扱用水ピットから燃料取扱用水ピットへの供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料取扱用水ピット</li> </ul> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> </div> </div> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (3/5)</p>			<p>【大阪】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析（5 / 5）</p>			<p>記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊は、使用済燃料ピットへの注水機能、炉心注水機能、格納容器スプレイ機能のFT図を1.13.1図(1/2)に記載している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、掲載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (1/5)</p>		<p style="text-align: center;">第1.13.1図 機能喪失原因対策分析 (2/2)</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・対応手段を緑枠とした。</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-2図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ (タイプ1) による送水 (原子炉建屋北側接続の場合) 概要図</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

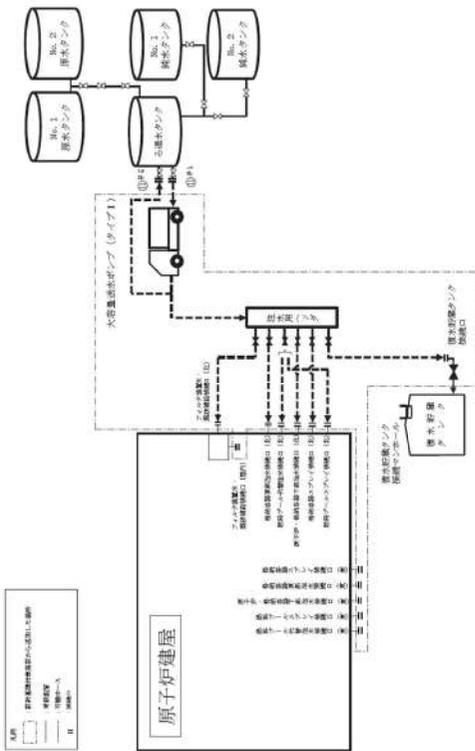
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>備考</p> <p>②, ③, ④ ⑩ ⑦, ⑧ ⑪ ⑫ ⑬, ⑭</p>	<p>第 1.13-3 図 淡水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による送水タイムチャート</p> <p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	 <p>第1.13-4図 送水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水概要図 （原子炉建屋北側接続の場合）</p> <table border="1" data-bbox="1243 534 1310 1045"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	弁名称	①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）	①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>
操作手順	弁名称								
①#1	ろ過水タンク排用設備停止弁（大容量送水ポンプ用）								
①#2	ろ過水タンク非常用圧力調整停止弁（大容量送水ポンプ用）								

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

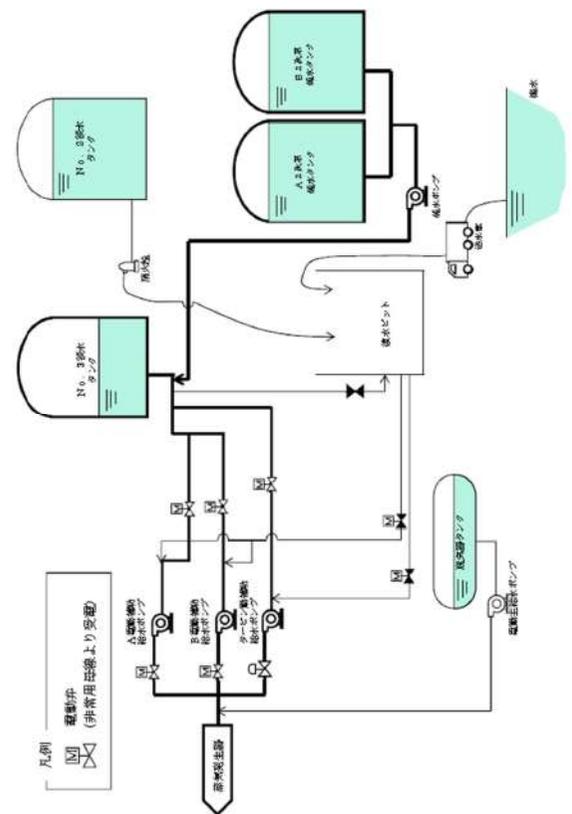
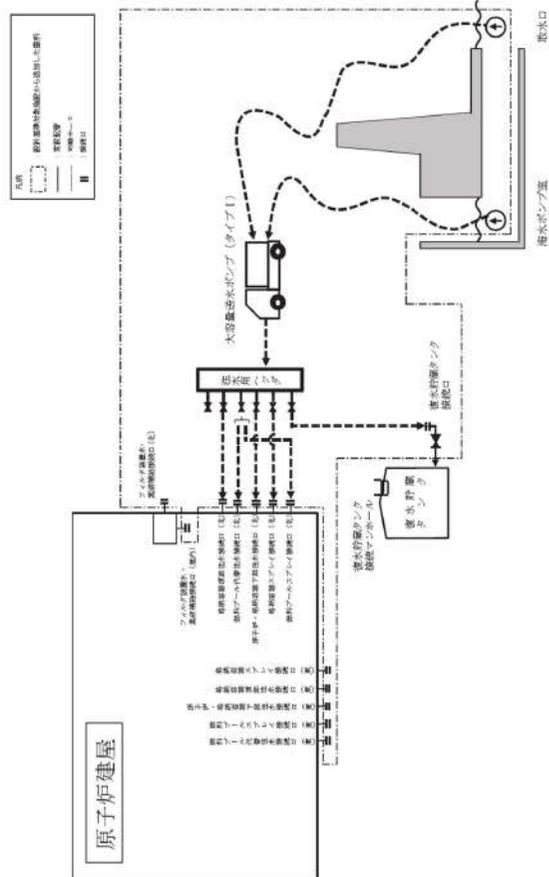
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">350分 淡水タンクからの淡水の送水開始</p> <p style="text-align: center;">※1：大容量送水ポンプ（タイプI）及びホースの設置場所は新1号機エリア、第2号機エリア、第3号機エリア及び第4号機エリア、保管場所は第1号機エリアから第4号機エリア、第5号機エリア及び第6号機エリア                  ※2：緊急時対応用として、第3号機エリアから淡水タンクまでの移動時間を想定した移動時間及び大容量送水ポンプ（タイプI）の設置準備を考慮した作業時間                  ※3：大容量送水ポンプ（タイプI）の稼働準備を考慮した作業時間                  ※4：大容量送水ポンプ（タイプI）の稼働準備を考慮した作業時間                  ※5：ホースの敷設準備を考慮した作業時間                  ※6：送水用ヘッダの運転準備を考慮した作業時間</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">女川2号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">【女川】 記載方針の相違 (相違理由②)</div>

第 1.13-5 図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による送水タイムチャート

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1133図 A、B 2次蒸気純水タンクからNo. 3 純水タンクへの補給 配管系統</p>	 <p>第1.13-6図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）概要図              （原子炉建屋北側接続の場合）</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】                  設備の相違（相違理由②）</p> <p>【女川】                  記載方針の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="728 438 1366 678"> </div> <div data-bbox="728 678 1366 742"> <p>第1.13-7図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（1/2）                      （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> </div>	<div data-bbox="1366 766 2004 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      （相違理由②）</p>
	<div data-bbox="728 805 1366 1045"> </div> <div data-bbox="728 1045 1366 1109"> <p>第1.13-8図 海水水源とした大容量海水ポンプによる送水（各種注水）タイムチャート（2/2）                      （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> </div>		

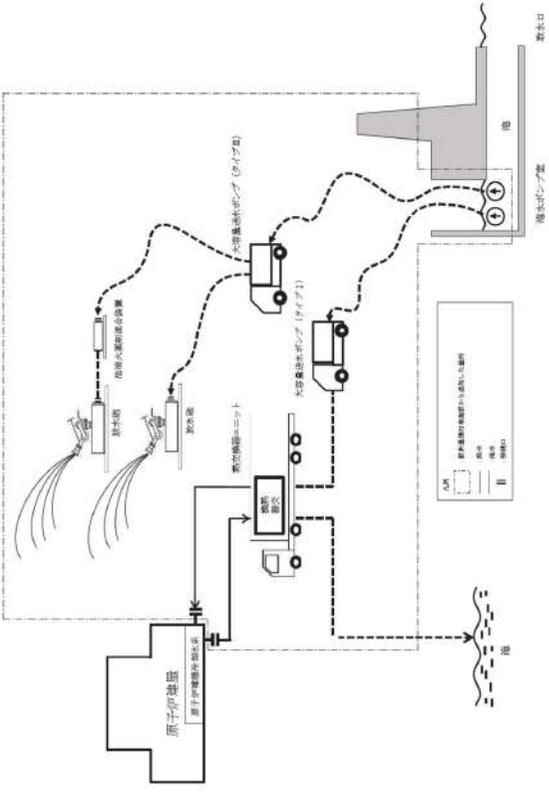
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.13-9図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（1/2） （取水口から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">                 女川2号炉との比較対象なし             </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第1.13-10図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）概要図（2/2） （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>図 1.13-11 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（1/2）          （取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p>	<p>【女川】              記載方針の相違              （相違理由②）</p>	
<p>手順の項目</p> <p>重大事故時対応要領A～C</p> <p>重大事故時対応要領D～F</p>	<p>要員（数）</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>相違理由</p>	
<p>海を水源とした大容量送水ポンプ（取水口から海水を取水する場合（山側ルート））</p> <p>【陸路ルートシナシナ（掘削）への代替輸送】</p>	<p>※1：大容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び4号保管エリア、第3保管エリア及び5号保管エリア</p> <p>※2：緊急時対応所から第1保管エリアまでの移動時間を想定した移動時間を考慮した稼働時間を示した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>※3：大容量送水ポンプ（タイプ1）が稼働開始として、第1保管エリアから取水口までを想定した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>※4：ホースの搬送準備を考慮した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>※5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の稼働準備を考慮した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>※6：熱交換機ユニットの稼働準備として、第1保管エリアから原子炉建屋敷内までを想定した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>※7：熱交換機ユニットの稼働準備を考慮して想定した稼働時間と余裕を見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p>	

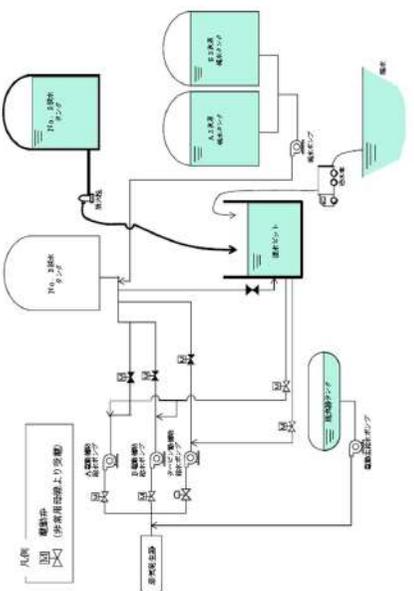
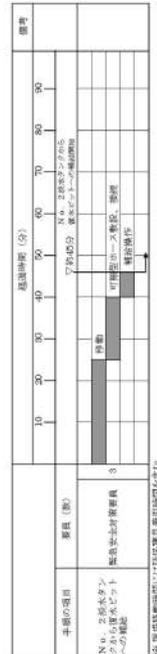
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">485分</p> <p style="text-align: center;">原子炉冷却材供給系取水による              補給冷却水確保</p> <p>備考              ②b, ③, ④              ⑤              ⑥              ⑦              ⑧              ⑨              ⑩</p>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">                 女川2号炉との比較対象なし             </div> <p style="text-align: center;">第 1.13-12 図 海を水源とした大容量送水ポンプによる送水（各種供給）タイムチャート（2/2）              （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	<p>【女川】                  記載方針の相違                  （相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>図11.13.6 No. 3熱水タンクから復水ピットへの供給 標準系図</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>図11.13.7 No. 2熱水タンクから復水ピットへの供給 タイムチャート</p> </div> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                 大飯3/4号炉との比較対象なし             </div>	<p>【大飯】                  設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR 固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 347 638 1241" style="border: 2px solid black; height: 560px; width: 237px;"></div> <div data-bbox="645 347 683 925" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 17px; height: 362px; display: inline-block; transform: rotate(90deg); transform-origin: left top;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="689 443 721 1152" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">                     第1.13.8図 No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給 ホース敷設ルート                 </div>		<div data-bbox="1429 767 1944 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         大飯3 / 4号炉との比較対象なし                     </div>	<div data-bbox="2011 751 2163 831" style="color: red; font-size: small;">                         【大飯】 設備の相違(相違理由③)                     </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

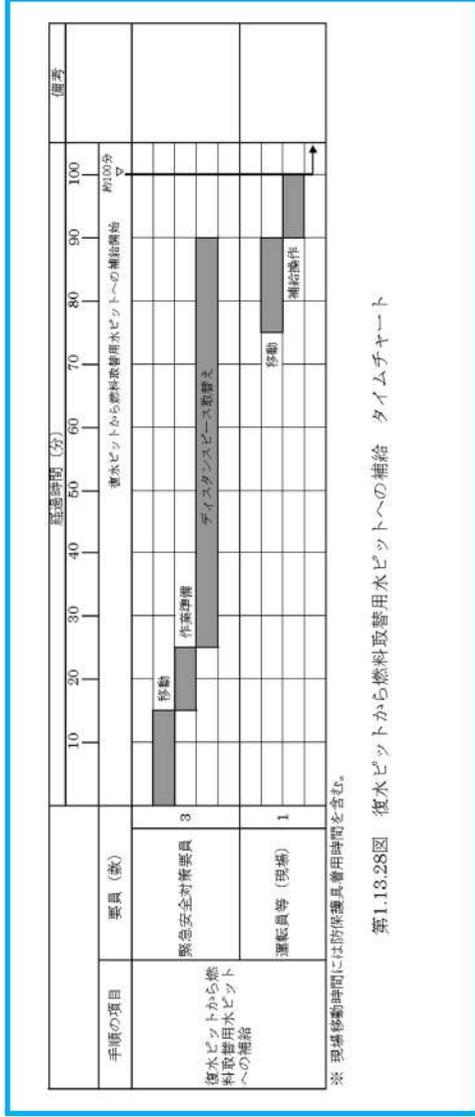
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第113-27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1-13-13図 淡水貯水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による淡水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.2図 原水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	<p>【大阪】                  設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を組づけ</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

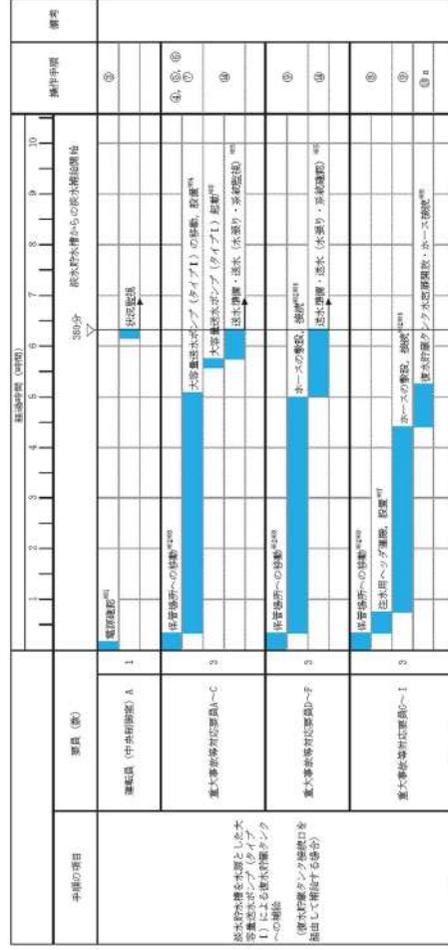
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、記載順序入替え】



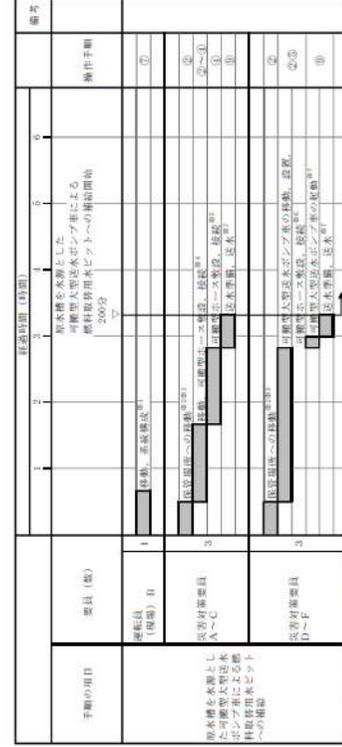
第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-14図 復水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート(1/2)

泊発電所3号炉



第1.13.3図 復水貯水槽を水源とした大容量送水ポンプ(タイプ1)による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート

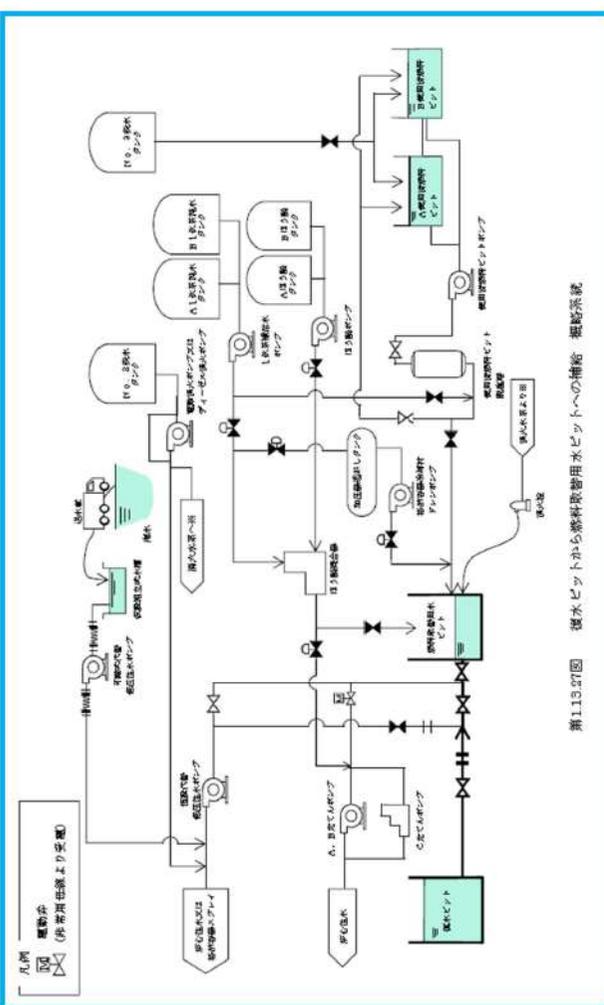
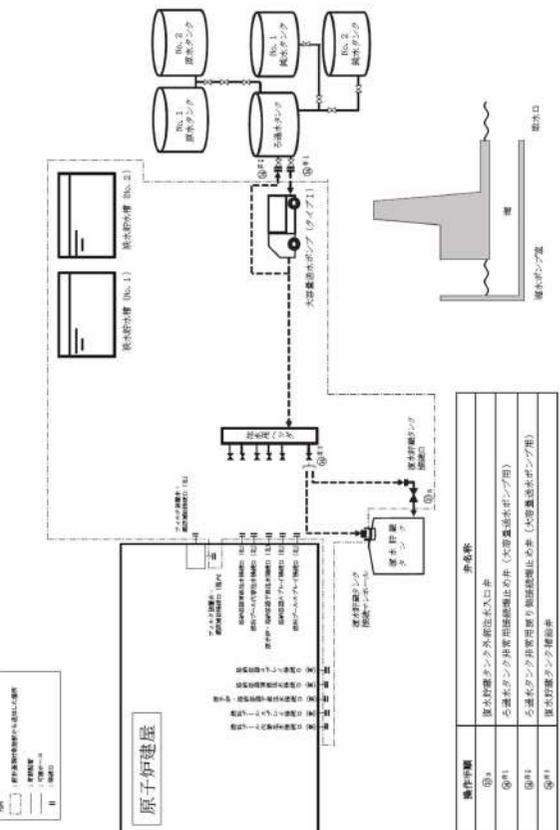
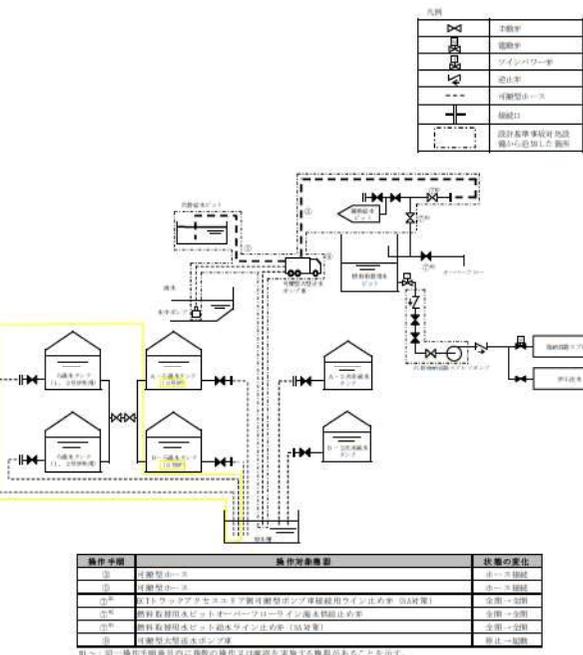
燃料取扱替用水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大阪】  
設備の相違(相違理由⑥)
- 【大阪】  
記載方針の相違(女川審査実績の反映)
- ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

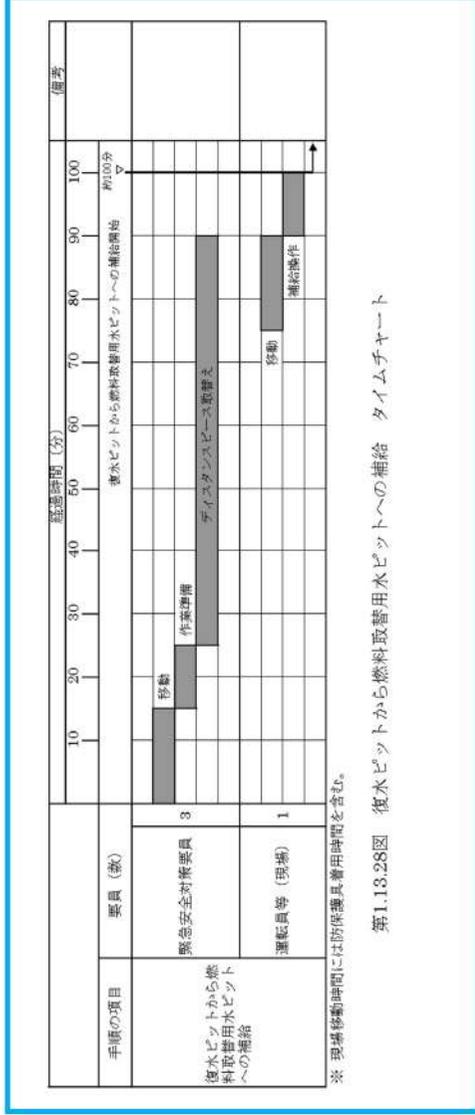
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、再掲】</p>  <p>第1113.27図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.10-16図 淡水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプI）による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.13.4図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】              設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

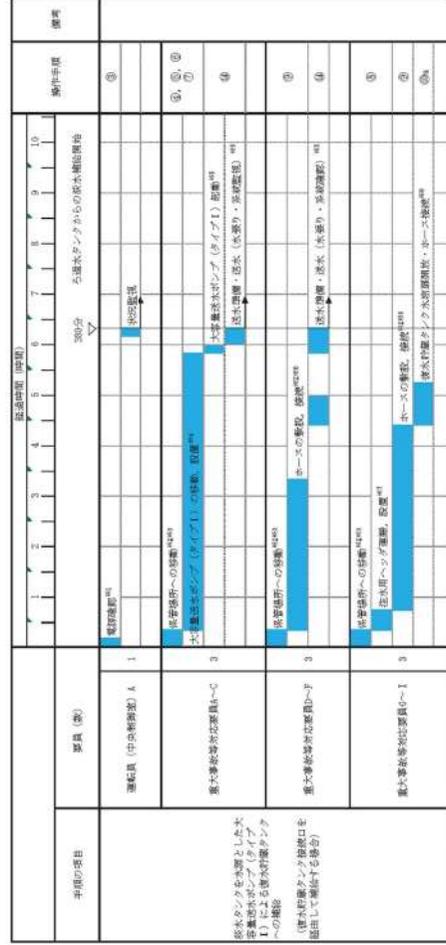
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



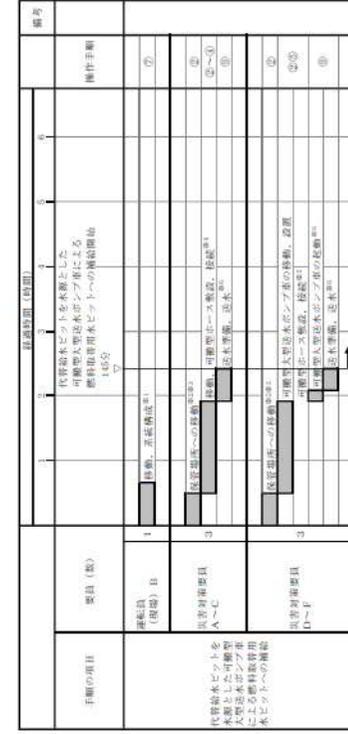
第1.13.28図 復水ピットから燃料取扱暫用水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



第1.13-17図 淡水タンクを水源とした大容積タンク（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/2）  
 （復水貯蔵タンク接続口を經由して補給する場合）

泊発電所3号炉



第1.13.5図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱暫用水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大阪】  
 設備の相違（相違理由⑥）
- 【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>手順の項目</p> <p>運転員（中央制御室）A 1</p> <p>運転員（中央制御室）B 1</p> <p>重大事故等対応要員A-C 3</p> <p>重大事故等対応要員D-F 3</p> <p>重大事故等対応要員G-I 3</p> <p>※1：中央制御室での操縦及び監視は1名が担当する                  ※2：本容量送水ポンプ（タイプ1）及びホースの設置場所は運転員が担当する                  ※3：緊急停止ポンプ（タイプ1）及び緊急停止ポンプ（タイプ1）の設置場所は運転員が担当する                  ※4：大容量送水ポンプ（タイプ1）の設置場所は運転員が担当する                  ※5：大容量送水ポンプ（タイプ1）の設置場所は運転員が担当する                  ※6：ホースの緊急停止ポンプ（タイプ1）の設置場所は運転員が担当する                  ※7：注水用ヘッダの緊急停止ポンプ（タイプ1）の設置場所は運転員が担当する                  ※8：設計内容を考慮して指定した作業時間に余裕を見込んで作業する</p>	<p>図 1.13-18 図 送水タンクを水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による送水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/2）                  （送水貯蔵タンク操縦マンホールを經由して補給する割合）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

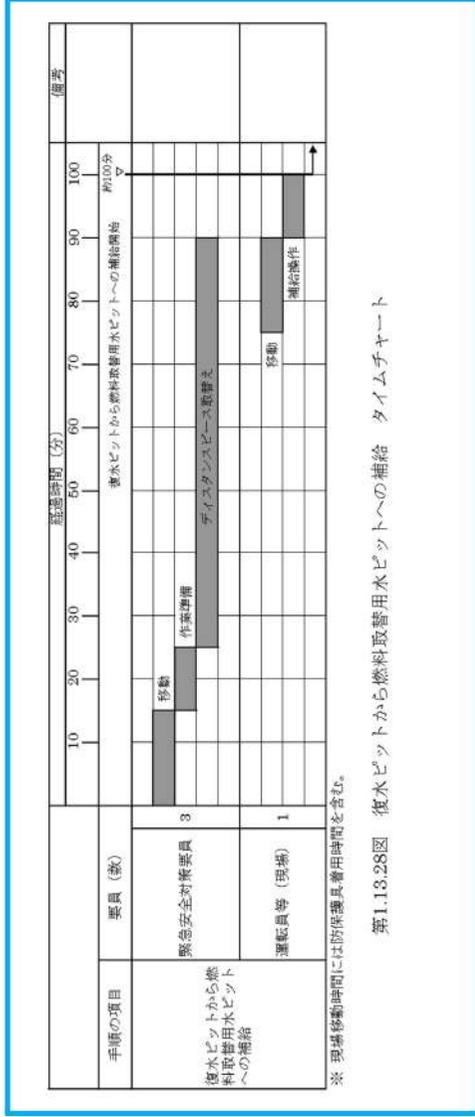
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、再掲】</p> <p>第113.27図 海水ピットから燃料油代替用海水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>第1.13-19図 海を水源とした大容量送水ポンプ(タイプI)による海水貯蔵タンクへの補給概要図</p>	<p>第1.13.6図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料油代替用海水ピットへの補給 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 957 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>起動・停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>起動・停止</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>燃料油タンク水位監視</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>燃料油タンク</td> <td>燃料油タンク水位監視</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>燃料油代替用海水ピット</td> <td>燃料油代替用海水ピット水位監視</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>燃料油代替用海水ピット</td> <td>燃料油代替用海水ピット水位監視</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>可搬型大型送水ポンプ</td> <td>停止・起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	起動・停止	②	可搬型ポンプ	起動・停止	③	可搬型ポンプ	燃料油タンク水位監視	④	燃料油タンク	燃料油タンク水位監視	⑤	燃料油代替用海水ピット	燃料油代替用海水ピット水位監視	⑥	燃料油代替用海水ピット	燃料油代替用海水ピット水位監視	⑦	可搬型大型送水ポンプ	停止・起動	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・凡例の記載内容充実</li> <li>・概要図と操作内容を組づけ</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
①	可搬型ポンプ	起動・停止																									
②	可搬型ポンプ	起動・停止																									
③	可搬型ポンプ	燃料油タンク水位監視																									
④	燃料油タンク	燃料油タンク水位監視																									
⑤	燃料油代替用海水ピット	燃料油代替用海水ピット水位監視																									
⑥	燃料油代替用海水ピット	燃料油代替用海水ピット水位監視																									
⑦	可搬型大型送水ポンプ	停止・起動																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

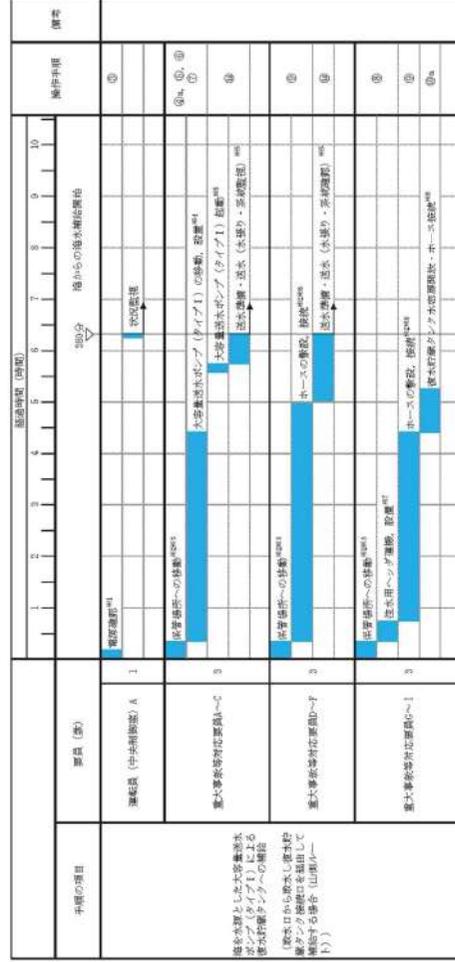
大阪発電所3/4号炉

【比較のため、再掲】



第1.13.28図 復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

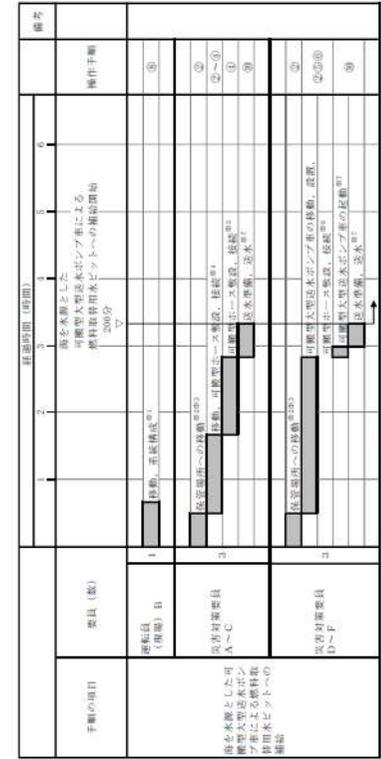
女川原子力発電所2号炉



※1：注水設備稼働中の状況確認及び緊急連絡の準備  
 ※2：緊急連絡の準備  
 ※3：緊急連絡の準備  
 ※4：緊急連絡の準備  
 ※5：緊急連絡の準備  
 ※6：緊急連絡の準備  
 ※7：注水ポンプの稼働確認  
 ※8：注水ポンプの稼働確認

第1.13-20図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（1/4）  
 （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合（山側ルート））

泊発電所3号炉



※1：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※2：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※3：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※4：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※5：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※6：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認  
 ※7：中央制御室から燃料取替用水ピットの稼働確認

第1.13.7図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート

- 【大阪】  
設備の相違（相違理由⑥）
- 【大阪】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）
- ・タイムチャート  
と操作手順番号を紐づけ
- ・補足の充実
- ・備考欄の追加

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.13-21 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山椒4ート））</p>	<p>図 1.13-21 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山椒4ート））</p>	<p>図 1.13-21 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（2/4）                  （取水口から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合（山椒4ート））</p>	
<p>図 1.13-22 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-22 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（3/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続口を越えて補給する場合）</p>	
<p>図 1.13-23 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>	<p>図 1.13-23 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプ1）による復水貯蔵タンクへの補給タイムチャート（4/4）                  （海水ポンプ室から取水し復水貯蔵タンク接続マンホールを越えて補給する場合）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 1029 907 1364" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⬜：設計基準対象施設から追加した箇所</li> <li>—：常設配管</li> <li>---：可搬ホース</li> <li>⊥：接続口</li> </ul> </div> <div data-bbox="963 191 1310 1380" style="text-align: center;"> <p>復水貯蔵タンク              復水貯蔵タンク              化学消防自動車              耐震性防火水槽              耐震性防火水槽              復水貯蔵タンク              復水貯蔵タンク              接続マンホール              接続口</p> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13-24 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復水貯蔵タンクへの補給概要図</p>		

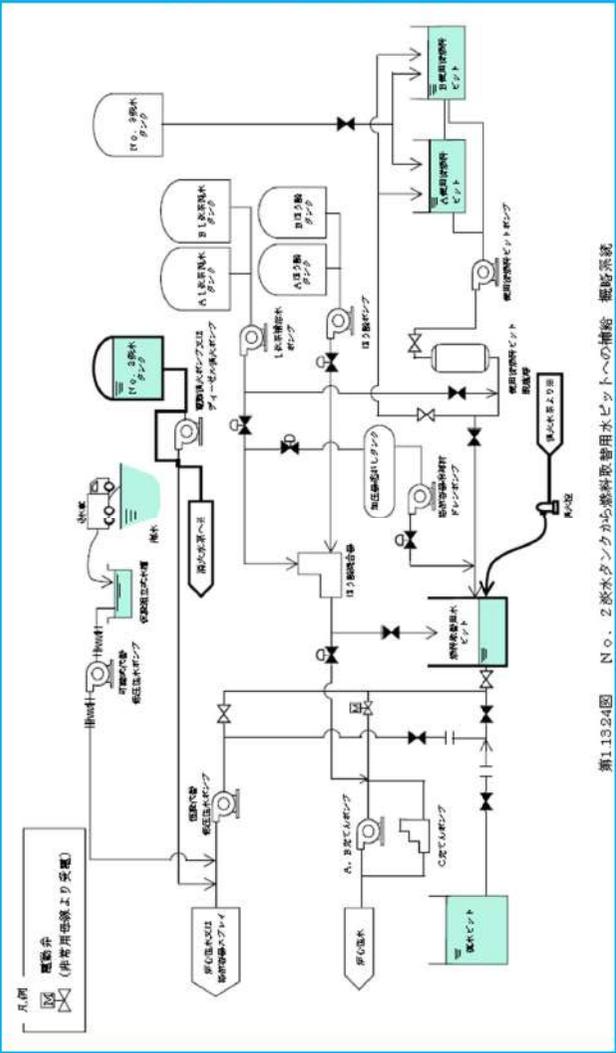
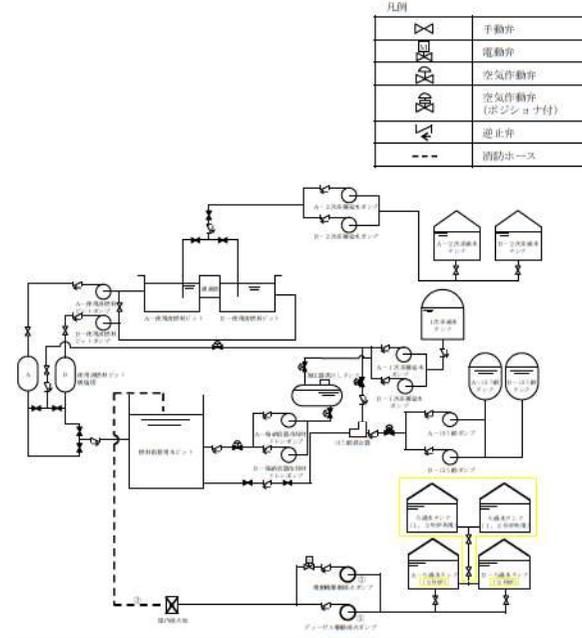
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>65分 耐震性防火水槽からの補給開始</p> <p>電源確認<sup>※1</sup> 状況監視 化学消防自動車への移動<sup>※2</sup> 化学消防自動車の移動・設置<sup>※4</sup> ホースの敷設・接続<sup>※5</sup> 化学消防自動車の起動<sup>※6</sup> 送水（水車・流量調整）<sup>※6</sup></p> <p>要員（数）                  運転員（中央制御室）A 1                  初期消火要員（消防車隊）A-E 5</p> <p>手順の項目                  耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧用水供給</p> <p>備考                  ③                  ④、⑤                  ⑥</p> <p>第 1.13-25 図 耐震性防火水槽を水源とした化学消防自動車による復旧用水供給タイムチャート</p>	<p>女川2号炉との比較対象なし</p>	<p>【女川】                  設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第11324図 No. 2 放水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 概要系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1400 1013 1982 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>消防ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>電動機駆動消火ポンプ<sup>※</sup></td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ<sup>※</sup></td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：どちらか1台を起動する。</p> <p>第1.13.8図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	消防ホース	ホース接続	⑤	電動機駆動消火ポンプ <sup>※</sup>	停止→起動		ディーゼル駆動消火ポンプ <sup>※</sup>	停止→起動	<p>【大阪】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）                      ・凡例の記載内容充実                      ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                      記載内容の相違                      ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化													
①	消防ホース	ホース接続													
⑤	電動機駆動消火ポンプ <sup>※</sup>	停止→起動													
	ディーゼル駆動消火ポンプ <sup>※</sup>	停止→起動													

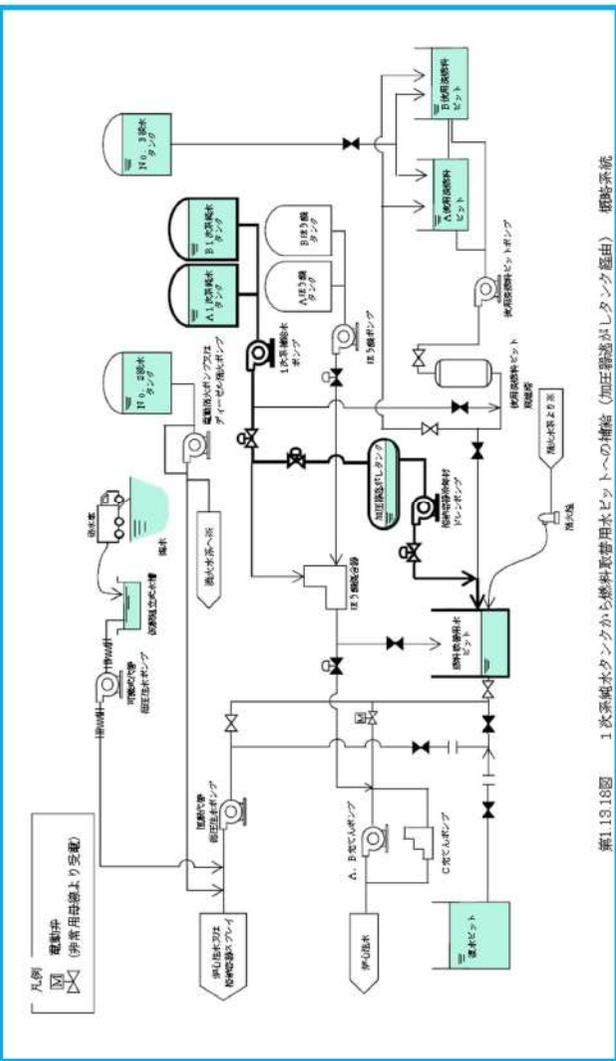
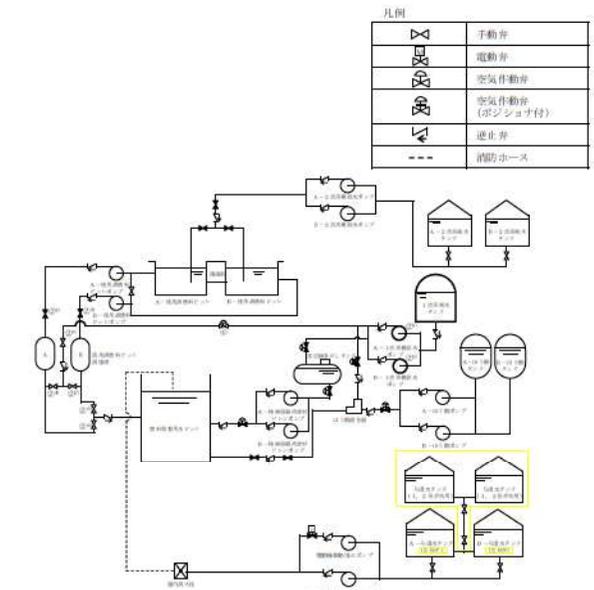
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.25図 No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※：現場移動時間には消防備具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第 1.13.9 図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又は、ディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の稼働開始の稼働時間に見込んだ時間              ※2：機器の稼働時間及び動作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ                  ・補足の充実                  ・備考欄の追加</p> <p>【女川】記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>前11.13.18図 1次系統水タンクから燃料取替用水ビットへの補給（加圧確認がしタンク経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 933 1960 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>21</sup></td> <td>A-1 一次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>22</sup></td> <td>B-1 一次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>23</sup></td> <td>A-使用済燃料ビット取込機入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>24</sup></td> <td>B-使用済燃料ビット取込機入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>25</sup></td> <td>使用済燃料ビット取込機浄洗弁</td> <td>調整位置確認</td> </tr> <tr> <td>②<sup>26</sup></td> <td>A-使用済燃料ビット取込機浄洗弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>27</sup></td> <td>B-使用済燃料ビット取込機浄洗弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>28</sup></td> <td>A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>29</sup></td> <td>B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>取込機 補給水止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>②<sup>1</sup>：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>21</sup>	A-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>22</sup>	B-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>23</sup>	A-使用済燃料ビット取込機入口弁	全開→全閉	② <sup>24</sup>	B-使用済燃料ビット取込機入口弁	全開→全閉	② <sup>25</sup>	使用済燃料ビット取込機浄洗弁	調整位置確認	② <sup>26</sup>	A-使用済燃料ビット取込機浄洗弁	全開→全閉	② <sup>27</sup>	B-使用済燃料ビット取込機浄洗弁	全開→全閉	② <sup>28</sup>	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉	② <sup>29</sup>	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉	③	取込機 補給水止め弁	全開→全閉	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
② <sup>21</sup>	A-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② <sup>22</sup>	B-1 一次系補給水ポンプ	停止→起動																																		
② <sup>23</sup>	A-使用済燃料ビット取込機入口弁	全開→全閉																																		
② <sup>24</sup>	B-使用済燃料ビット取込機入口弁	全開→全閉																																		
② <sup>25</sup>	使用済燃料ビット取込機浄洗弁	調整位置確認																																		
② <sup>26</sup>	A-使用済燃料ビット取込機浄洗弁	全開→全閉																																		
② <sup>27</sup>	B-使用済燃料ビット取込機浄洗弁	全開→全閉																																		
② <sup>28</sup>	A-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉																																		
② <sup>29</sup>	B-SFPフィルタ出口燃料取替用水ビット水浄化戻りライン切替弁	全開→全閉																																		
③	取込機 補給水止め弁	全開→全閉																																		

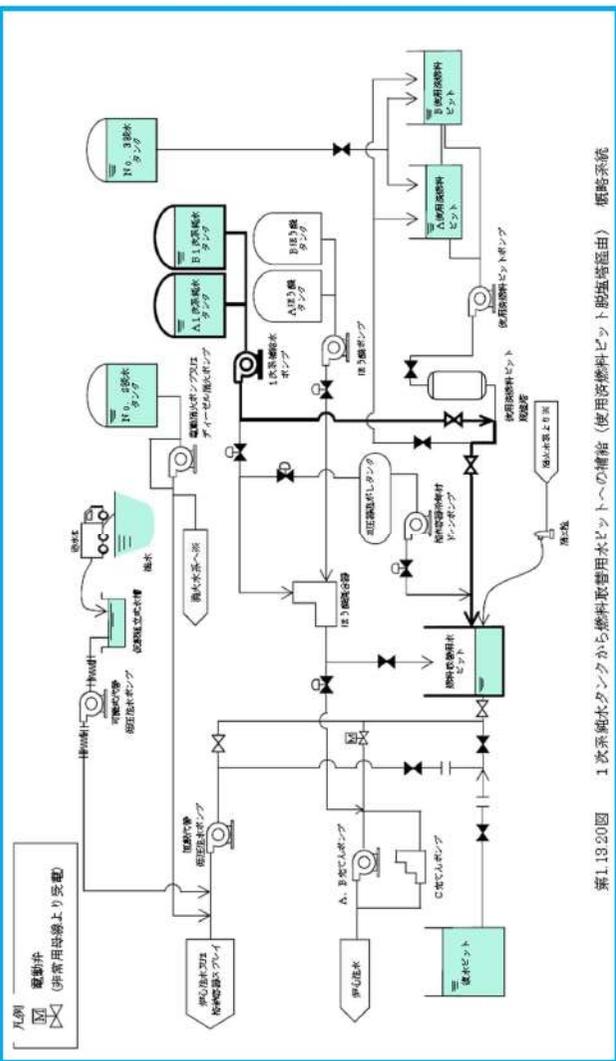
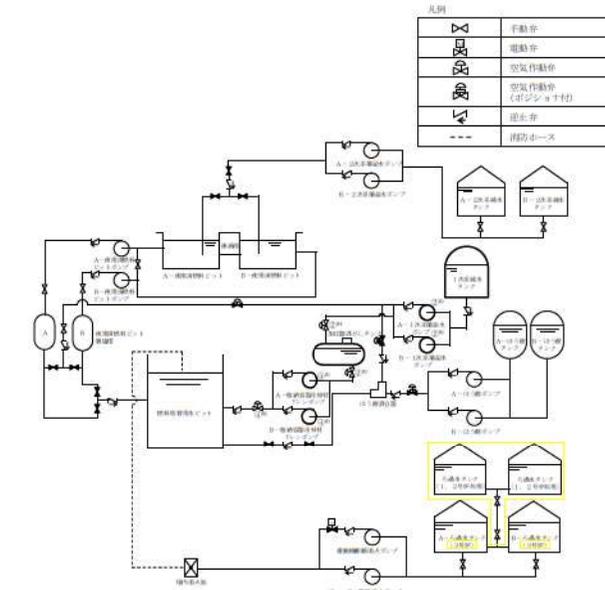
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.19図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器速がしタンク経由） タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防塵器具着脱時間を含む。</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.11図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間              ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間              ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ              ・補足の充実              ・備考欄の追加</p> <p>【女川】              記載内容の相違              ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.20図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 965 1971 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>1</sup></td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2</sup></td> <td>B-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>3</sup></td> <td>加圧器逃がしタンクドレン弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>4</sup></td> <td>加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>5</sup></td> <td>A-格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>6</sup></td> <td>格納容器冷却材ドレンポンプ出口の1内線開閉弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>7</sup></td> <td>D-格納容器冷却材ドレンポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>表1～1同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機能があることを示す。</p> <p>第 1.13.12 図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>1</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>2</sup>	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>3</sup>	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉	② <sup>4</sup>	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉	② <sup>5</sup>	A-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	② <sup>6</sup>	格納容器冷却材ドレンポンプ出口の1内線開閉弁	全開→全閉	② <sup>7</sup>	D-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																									
② <sup>1</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② <sup>2</sup>	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																									
② <sup>3</sup>	加圧器逃がしタンクドレン弁	全開→全閉																									
② <sup>4</sup>	加圧器逃がしタンク補給水ライン止め弁	全開→全閉																									
② <sup>5</sup>	A-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									
② <sup>6</sup>	格納容器冷却材ドレンポンプ出口の1内線開閉弁	全開→全閉																									
② <sup>7</sup>	D-格納容器冷却材ドレンポンプ	停止→起動																									

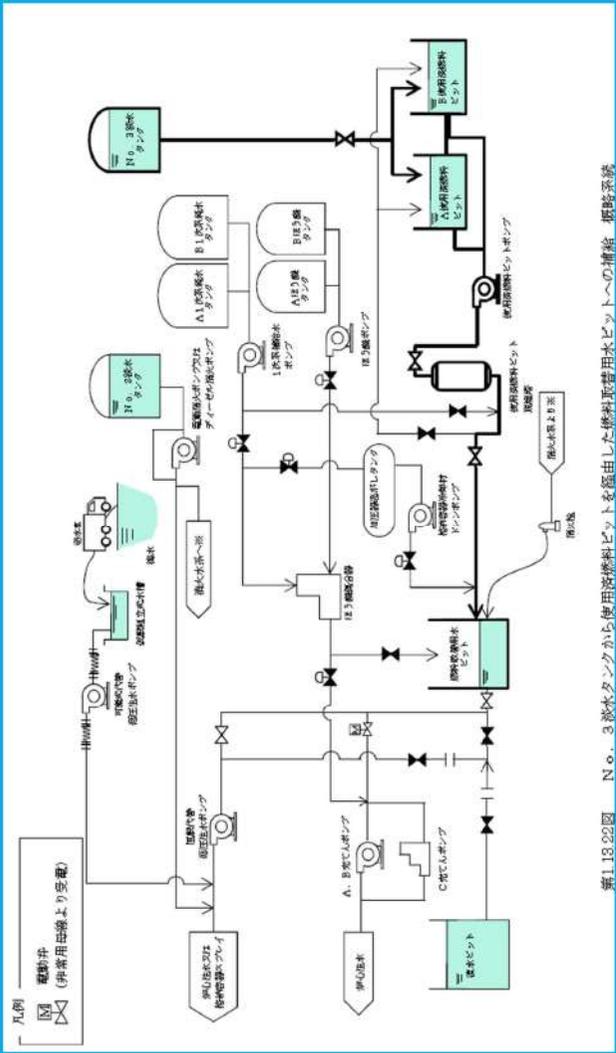
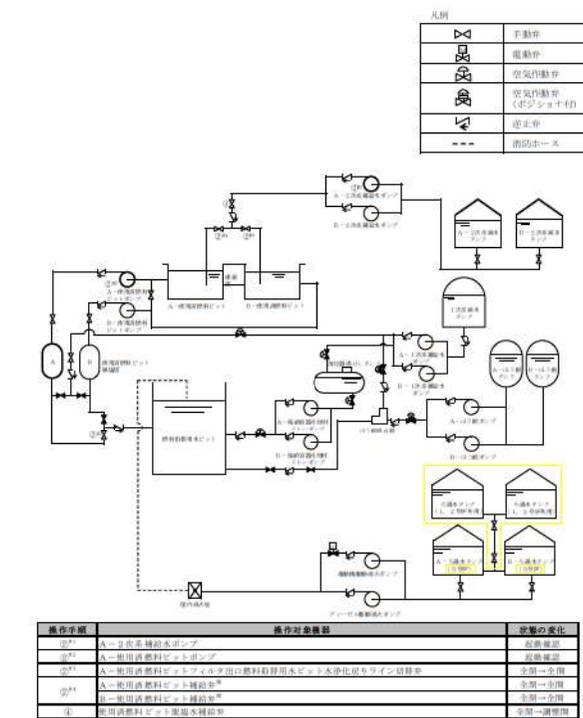
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には対応機具着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.21図 1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由） タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.13図 1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ                  ・補足の充実                  ・備考欄の追加</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

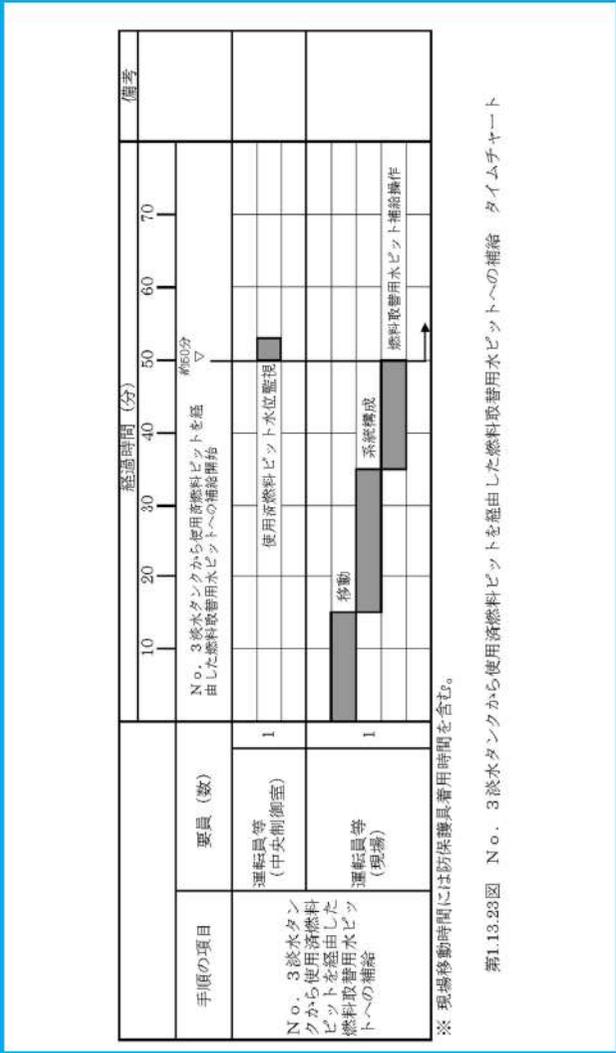
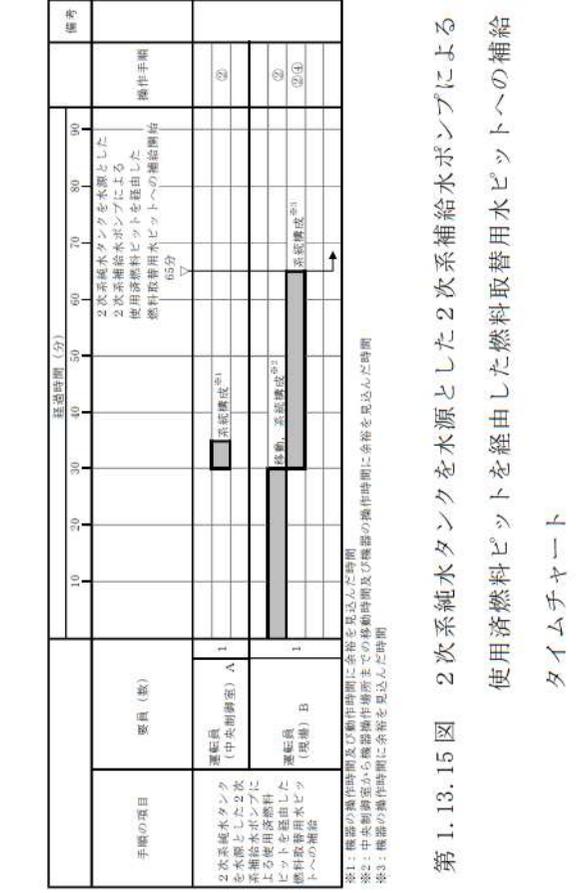
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.25図 No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 981 1960 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①*</td> <td>A-2次系補給水ポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプより燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>A-使用済燃料ピット補給弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>使用済燃料ピット燃焼水補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.14図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①*	A-2次系補給水ポンプ	起動確認	②*	A-使用済燃料ピットポンプ	起動確認	③*	A-使用済燃料ピットポンプより燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替	全閉→全開	④*	A-使用済燃料ピット補給弁*	全閉→全開	⑤	使用済燃料ピット燃焼水補給弁	全閉→全開	<p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】              記載内容の相違              ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																			
①*	A-2次系補給水ポンプ	起動確認																			
②*	A-使用済燃料ピットポンプ	起動確認																			
③*	A-使用済燃料ピットポンプより燃料取替用水ピットへ浄化処理ライン切替	全閉→全開																			
④*	A-使用済燃料ピット補給弁*	全閉→全開																			
⑤	使用済燃料ピット燃焼水補給弁	全閉→全開																			

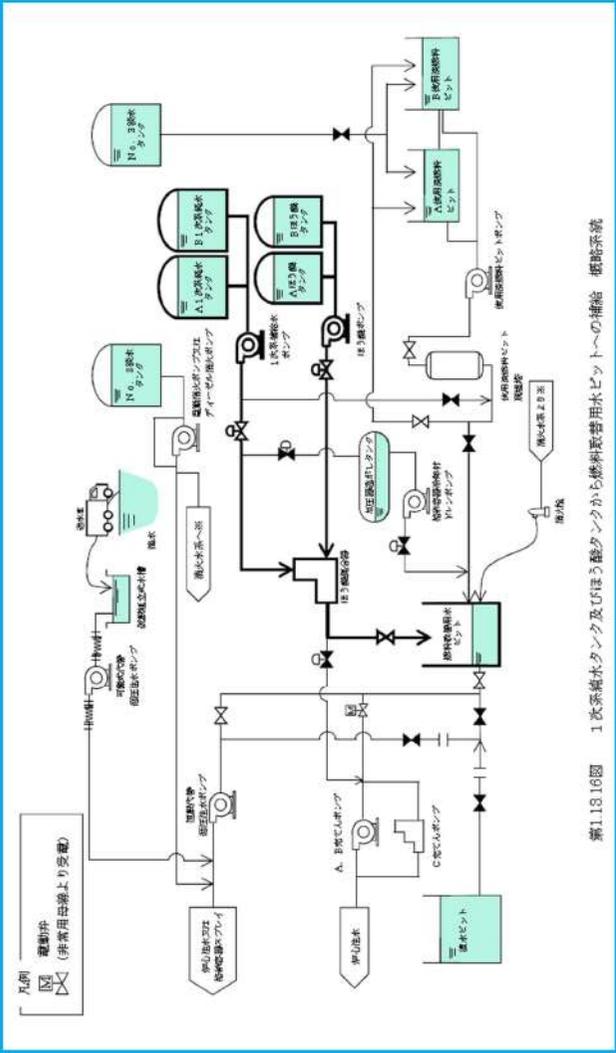
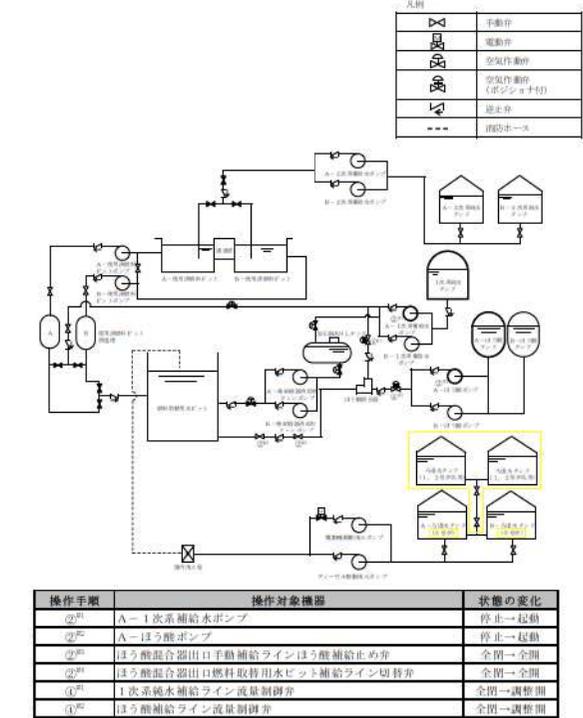
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p> <p>第1.13.23図 No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>※1：機器の操作時間及び動作時間と余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の動作時間と余裕を見込んだ時間 ※3：機器の操作時間と余裕を見込んだ時間</p> <p>第1.13.15図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.16図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1411 949 1948 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>注</sup></td> <td>A-1次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②<sup>注</sup></td> <td>A-びほう酸ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③<sup>注</sup></td> <td>びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>注</sup></td> <td>びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>注</sup></td> <td>1次系純水補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>注</sup></td> <td>びほう酸補給ライン流量制御弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>注～：同一操作手順号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>注</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	② <sup>注</sup>	A-びほう酸ポンプ	停止→起動	③ <sup>注</sup>	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開	④ <sup>注</sup>	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開	⑤ <sup>注</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	⑥ <sup>注</sup>	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開	<p>【大阪】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）                      ・凡例の記載内容充実                      ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                      記載内容の相違                      ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
① <sup>注</sup>	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																						
② <sup>注</sup>	A-びほう酸ポンプ	停止→起動																						
③ <sup>注</sup>	びほう酸混合器出口手動補給ラインびほう酸補給止め弁	全閉→全開																						
④ <sup>注</sup>	びほう酸混合器出口燃料取替用水ビット補給ライン切替弁	全閉→全開																						
⑤ <sup>注</sup>	1次系純水補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						
⑥ <sup>注</sup>	びほう酸補給ライン流量制御弁	全閉→調整開																						

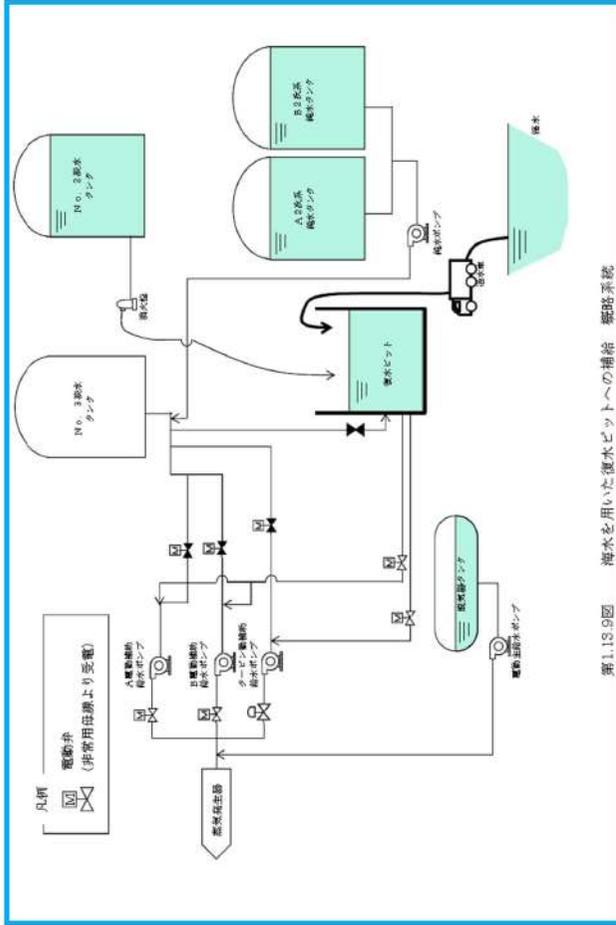
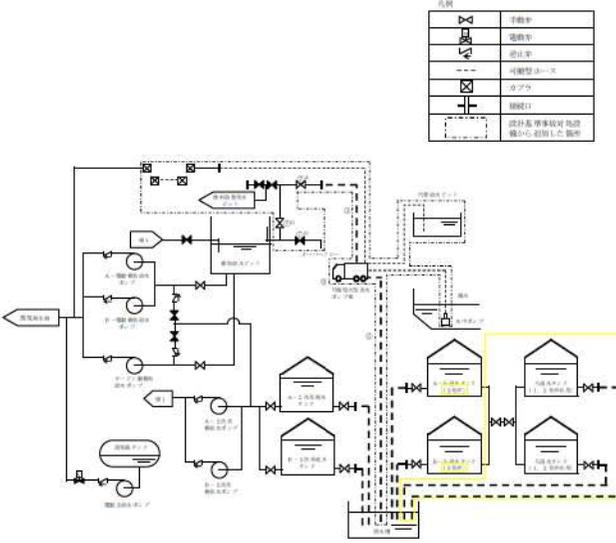
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防護員着脱時間を含む。</p> <p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>第1.13.17図 1次系純水タンク及びびほう酸タンクを水源とした1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1467 965 1937 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の变化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>※1</sup></td> <td>可搬型可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>※1</sup></td> <td>補助給水ビットローライズ給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>※1</sup></td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.18図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の变化	①	可搬型ホース	ホース接続	②	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>※1</sup>	可搬型可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	④ <sup>※1</sup>	補助給水ビットローライズ給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑤ <sup>※1</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の变化																						
①	可搬型ホース	ホース接続																						
②	可搬型ホース	ホース接続																						
③ <sup>※1</sup>	可搬型可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
④ <sup>※1</sup>	補助給水ビットローライズ給水用止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑤ <sup>※1</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
海水を用いた復水ピットへの補給	緊急安全対策要員 5									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>※ 現場移動時間には防犯保護具着用時間を含む。</p>										

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>										

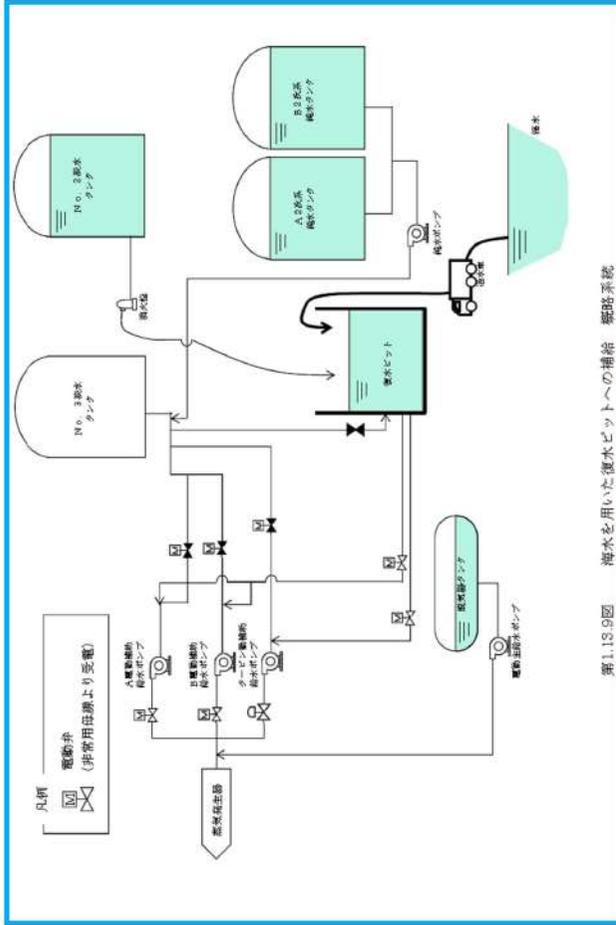
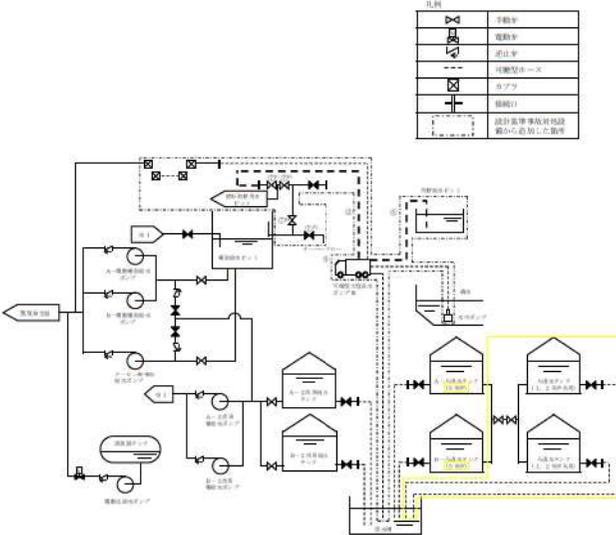
泊発電所3号炉		経過時間(時間)								備考
手順の項目	要員(数)	1	2	3	4	5	6	7	8	
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給準備	運転員(2名) B									
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原水槽からの送水準備	送水作業員 A~C									
可搬型大型送水ポンプ車の送水準備	送水作業員 D~F									

第1.13.19図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 タイムチャート

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた復水ビットへの補給 緊急系統</p>	<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.13.20図 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p style="text-align: center;">【比較のため、再掲】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.9図 海水を用いた海水ビットへの補給 概略系統</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.26図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給概要図</p>	<table border="1" data-bbox="1456 973 1926 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>③<sup>※</sup></td> <td>海水車輪可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>※</sup></td> <td>補助給水ビットローライン給水用止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>※</sup></td> <td>補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.13.22図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働	②	可搬型ポンプ	ポンプ停止	③ <sup>※</sup>	海水車輪可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④ <sup>※</sup>	補助給水ビットローライン給水用止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤ <sup>※</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働																						
②	可搬型ポンプ	ポンプ停止																						
③ <sup>※</sup>	海水車輪可搬型ポンプ車接続用ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
④ <sup>※</sup>	補助給水ビットローライン給水用止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
⑤ <sup>※</sup>	補助給水ビット給水ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																						
⑥	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>【比較のため、再掲】</p>						<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の 反映） ・タイムチャート と操作手順番号 を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>	
<p>手順の項目</p> <p>海水を用いた復水ピットへの補給</p>	<p>要員（数）</p> <p>緊急安全対策要員 5</p>	<p>手順の項目</p> <p>海水を用いた大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給</p> <p>（取水口から海水を取水する場合）</p>	<p>要員（数）</p> <p>重大事故等対応要員A～C 3</p> <p>重大事故等対応要員D～F 3</p> <p>重大事故等対応要員G～I 3</p>	<p>手順の項目</p> <p>海水を用いた大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給</p> <p>（取水口から海水を取水する場合）</p>	<p>要員（数）</p> <p>運転員（4名） 1</p> <p>緊急対策要員 A～C 3</p> <p>緊急対策要員 D～F 3</p>	<p>備考</p> <p>270分 海からの海水補給開始</p> <p>②a, ③, ④</p> <p>⑧</p> <p>⑤</p> <p>⑧</p> <p>⑤</p>	<p>備考</p> <p>270分 海からの海水補給開始</p> <p>②a, ③, ④</p> <p>⑧</p> <p>⑤</p> <p>⑧</p> <p>⑤</p>
<p>※ 現場移動時間には防保保護具着用時間を含む。</p>		<p>※1：大容量送水ポンプ（タイプII）の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第4保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア、第5保管エリア及び第6保管エリア、第7保管エリア及び第8保管エリア</p> <p>※2：緊急時対応要員A～Cは、第1保管エリアから取水口までの移動時間を想定した移動時間及び大容量送水ポンプ（タイプII）の設置位置を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※3：大容量送水ポンプ（タイプII）の起動準備として、第1保管エリアから取水口までの移動時間を想定した移動時間及び大容量送水ポンプ（タイプII）の設置位置を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※4：大容量送水ポンプ（タイプII）の起動準備として、第1保管エリアから取水口までの移動時間を想定した移動時間及び大容量送水ポンプ（タイプII）の設置位置を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※5：ホースの搬送準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p>		<p>※1：中核設備室から機器室までの移動時間及び機器室の稼働時間を見込んだ時間</p> <p>※2：可搬型大容量送水ポンプの保管場所は510a倉庫、車庫エリア、2号炉東側エリア(a)及び2号炉東側エリア(b)、3号炉東側エリア(a)及び3号炉東側エリア(b)、3号炉東側エリア(c)及び3号炉東側エリア(d)、3号炉東側エリア(e)及び3号炉東側エリア(f)、3号炉東側エリア(g)及び3号炉東側エリア(h)、3号炉東側エリア(i)及び3号炉東側エリア(j)、3号炉東側エリア(k)及び3号炉東側エリア(l)、3号炉東側エリア(m)及び3号炉東側エリア(n)、3号炉東側エリア(o)及び3号炉東側エリア(p)、3号炉東側エリア(q)及び3号炉東側エリア(r)、3号炉東側エリア(s)及び3号炉東側エリア(t)、3号炉東側エリア(u)及び3号炉東側エリア(v)、3号炉東側エリア(w)及び3号炉東側エリア(x)、3号炉東側エリア(y)及び3号炉東側エリア(z)</p> <p>※3：ホース搬送準備として、510a倉庫、車庫エリアから取水口までの移動時間を想定した移動時間及び大容量送水ポンプの設置位置を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※4：可搬型ホースの搬送準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※5：可搬型ホースの搬送準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※6：可搬型大容量送水ポンプの搬送準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p> <p>※7：可搬型大容量送水ポンプの搬送準備を考慮した作業時間に見込んだ時間</p>			

第1.13.10図 海水を用いた復水ピットへの補給 タイムチャート

第 1.13-27 図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（1/2）  
（取水口から海水を取水する場合）

第 1.13.28 図 海を水源とした可搬型大容量送水ポンプによる

補助給水ピットへの補給 タイムチャート

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>手順の項目                  海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給                  （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p> <p>要員（数）                  重大事故等対応要員A～C 3                  重大事故等対応要員D～F 3                  重大事故等対応要員G～I 3</p> <p>備考                  ②b, ③, ④                  ⑤                  ⑥</p>	<p>第 1.13-28 図 海を水源とした大容量送水ポンプ（タイプII）による淡水貯水槽への補給タイムチャート（2/2）                  （海水ポンプ室から海水を取水する場合）</p>	
	<p>※1：大容量送水ポンプ（タイプII）の保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア及び第3保管エリア、ホースの保管場所は第1保管エリア、第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリア</p> <p>※2：緊急時対応要員は第3保管エリアまでの移動を想定した移動時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>※3：設計状況を考慮して想定した作業時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>※4：大容量送水ポンプ（タイプII）の稼働時間として、第2保管エリアから海水ポンプ室までを想定した移動時間及び大容量送水ポンプ（タイプII）設置前後の稼働を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>※5：大容量送水ポンプ（タイプII）設置前後の稼働を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間</p> <p>※6：ホース搬送前後の稼働を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p> <p>第1.13.4図 No. 3淡水タンクから復水ビットへの補給 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" data-bbox="1489 1029 1960 1077"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A～2次系補給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>補助給水ビット配給水補給ライン逆戻り弁</td> <td>全開→調整閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.24図 2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A～2次系補給水ポンプ	停止→起動	②	補助給水ビット配給水補給ライン逆戻り弁	全開→調整閉	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化										
①	A～2次系補給水ポンプ	停止→起動										
②	補助給水ビット配給水補給ライン逆戻り弁	全開→調整閉										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">第1.13.5図 No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。</p> </div>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.13.25図 2次系純水タンクを水源とした2次系補助給水ポンプによる補助給水ピットへの補給 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間には余裕を見込んだ時間              ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ              ・補足の充実              ・備考欄の追加</p> <p>【女川】              記載内容の相違              ・炉型の相違による対応手段の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																		
<div data-bbox="201 766 616 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="840 766 1254 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1377 406 1993 933"> </div> <div data-bbox="1422 933 1926 1141"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">③</td> <td>A-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2次系純水タンク排水弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-ろ過水タンクアロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-ろ過水タンクアロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">⑤</td> <td>A-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-1ろ過水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-2次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-2次系純水タンク排水弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>A-ろ過水タンクアロー弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>B-ろ過水タンクアロー弁*</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉→全開	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉→全開	A-2次系純水タンク排水弁	全閉→全開	B-2次系純水タンク排水弁	全閉→全開	A-ろ過水タンクアロー弁	全閉→全開	B-ろ過水タンクアロー弁	全閉→全開	④	可搬型ホース	ホース接続	可搬型ホース	ホース接続	⑤	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開	A-2次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	B-2次系純水タンク排水弁*	全閉→全開	A-ろ過水タンクアロー弁*	全閉→全開	B-ろ過水タンクアロー弁*	全閉→全開	<p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																			
③	A-1ろ過水タンク排水弁	全閉→全開																																			
	B-1ろ過水タンク排水弁	全閉→全開																																			
	A-2次系純水タンク排水弁	全閉→全開																																			
	B-2次系純水タンク排水弁	全閉→全開																																			
	A-ろ過水タンクアロー弁	全閉→全開																																			
	B-ろ過水タンクアロー弁	全閉→全開																																			
④	可搬型ホース	ホース接続																																			
	可搬型ホース	ホース接続																																			
⑤	A-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	B-1ろ過水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	A-2次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	B-2次系純水タンク排水弁*	全閉→全開																																			
	A-ろ過水タンクアロー弁*	全閉→全開																																			
	B-ろ過水タンクアロー弁*	全閉→全開																																			

第 1.13.26 図 2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給概要図

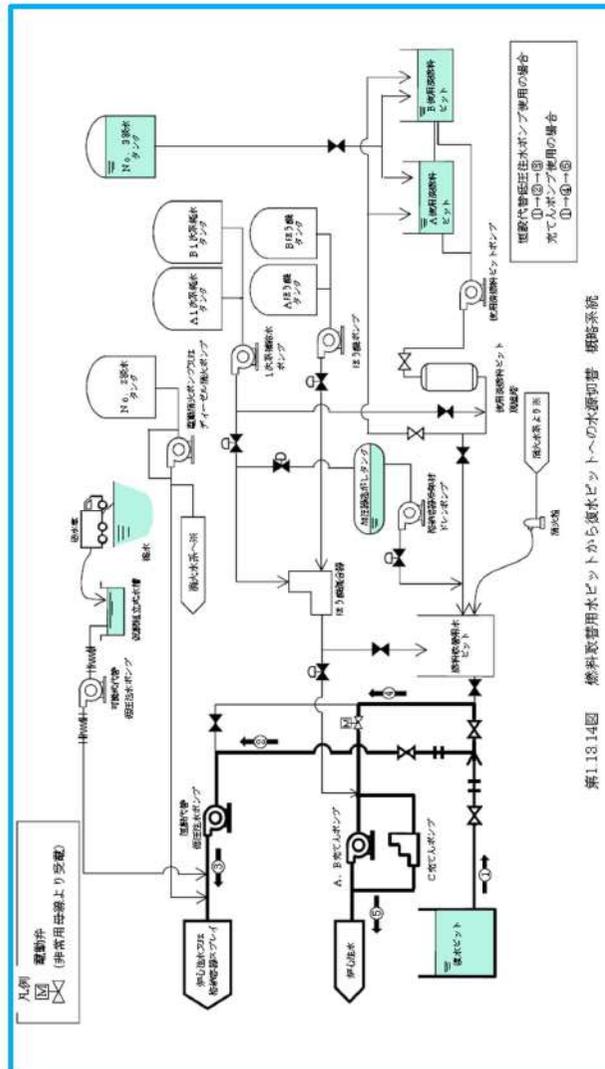
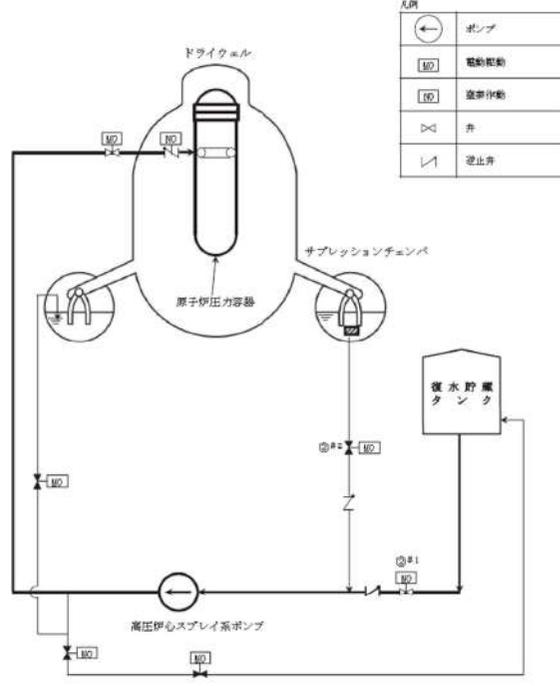
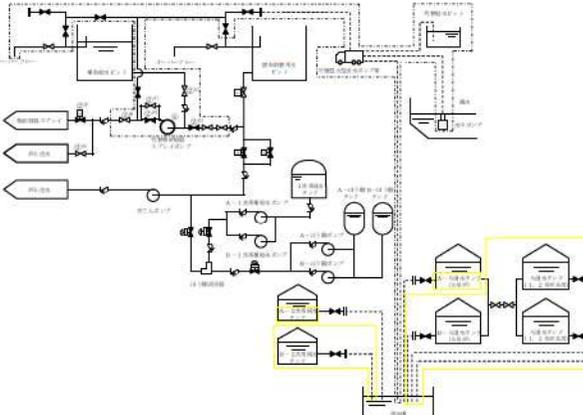
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.13.27 図 2 次系純水タンク又はろ過水タンクからの原水槽への補給 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13-14図 燃料取替用水ビットから復水ビットへの水源切替 概略系統</p>	 <p>第1.13-29図 高圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水時の水源の切替 概略図</p> <table border="1" data-bbox="918 1053 1187 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②#1</td> <td>HPCS ポンプ CST 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>HPCS ポンプ S/C 吸込弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p>	操作手順	弁名称	②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁	②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁	 <p>第1.13.28図 燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの切替え（原子炉容器への注水中の場合） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 997 1937 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ吐出口/外部隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ補助給水ビット挿入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ入口/排水止り止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ接続パイプ止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤#</td> <td>同一全開後上流側管出口隔離弁スプレイ水注入ライン止め弁 (193号機)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ出口/燃料取替スプレイ取替弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ出口/炉心注水取替弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧#</td> <td>燃料取替スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～10：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#	燃料取替スプレイポンプ吐出口/外部隔離弁	全閉→全開	②#	燃料取替スプレイポンプ補助給水ビット挿入口止め弁	全開→全閉	③#	燃料取替スプレイポンプ入口/排水止り止め弁	全開→全閉	④#	燃料取替スプレイポンプ接続パイプ止め弁	全開→全閉	⑤#	同一全開後上流側管出口隔離弁スプレイ水注入ライン止め弁 (193号機)	全開→全閉	⑥#	燃料取替スプレイポンプ出口/燃料取替スプレイ取替弁	全開→全閉	⑦#	燃料取替スプレイポンプ出口/炉心注水取替弁	全閉→全開	⑧#	燃料取替スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																			
②#1	HPCS ポンプ CST 吸込弁																																			
②#2	HPCS ポンプ S/C 吸込弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①#	燃料取替スプレイポンプ吐出口/外部隔離弁	全閉→全開																																		
②#	燃料取替スプレイポンプ補助給水ビット挿入口止め弁	全開→全閉																																		
③#	燃料取替スプレイポンプ入口/排水止り止め弁	全開→全閉																																		
④#	燃料取替スプレイポンプ接続パイプ止め弁	全開→全閉																																		
⑤#	同一全開後上流側管出口隔離弁スプレイ水注入ライン止め弁 (193号機)	全開→全閉																																		
⑥#	燃料取替スプレイポンプ出口/燃料取替スプレイ取替弁	全開→全閉																																		
⑦#	燃料取替スプレイポンプ出口/炉心注水取替弁	全閉→全開																																		
⑧#	燃料取替スプレイポンプ	停止→起動																																		

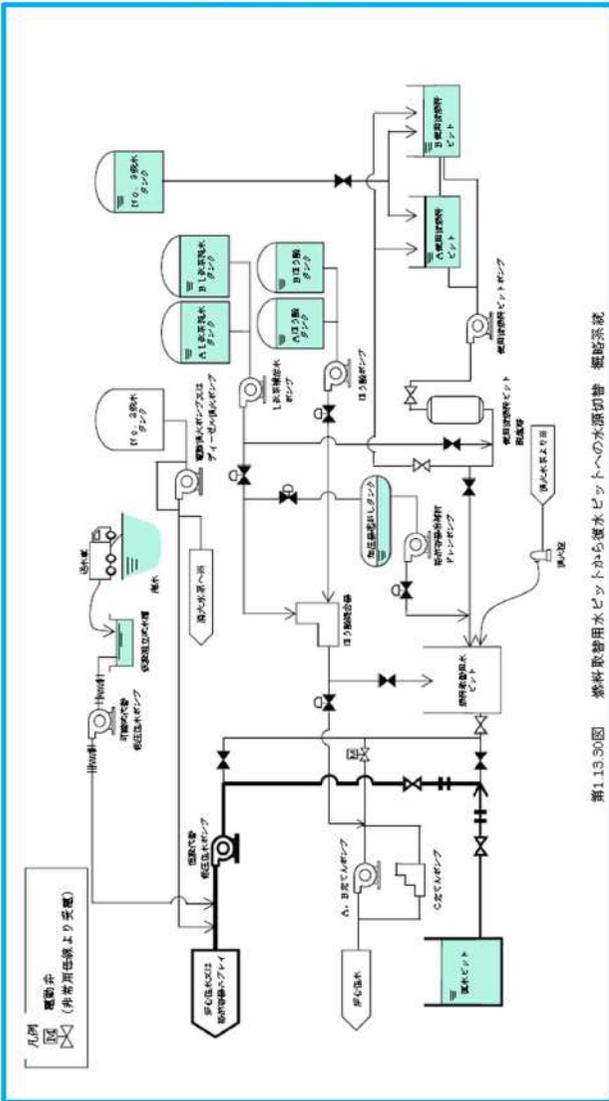
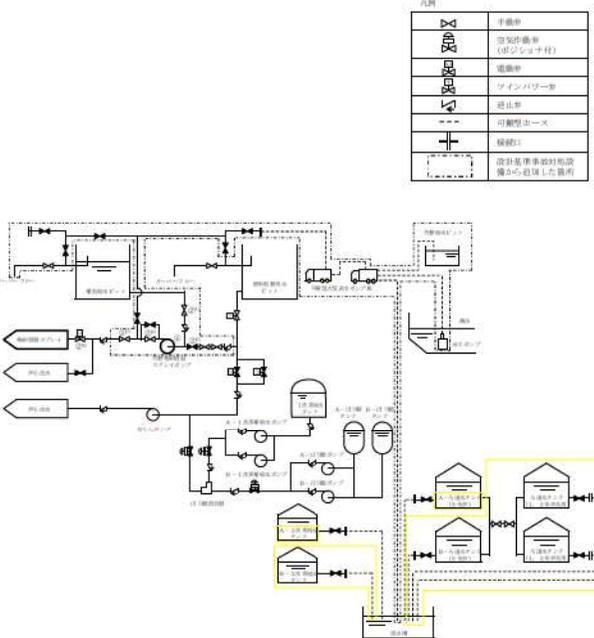
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <p style="text-align: center;">第1.13.15図 燃料取扱替用ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には対応課員専用時間を含む。</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13-30 図 高圧炉心スプレイス系による原子炉圧力容器への注水時の水源の切替えタイムチャート</p> <p>※1：機器の稼働時間及び動作時間と余裕を見込んだ時間              ※2：中央制御室から機器稼働場所までの移動時間及び機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間</p>	<p style="text-align: center;">第 1.13.29 図 燃料取扱替用ピットから補助給水ピットへの切替え              (原子炉容器への注水中の場合) タイムチャート</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ              ・補足の充実              ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替 概略系統</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="1444 1013 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>同一格納容器スプレイ冷身器出口C/B水機隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.30図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え              （原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合） 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全閉→全開	②	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	全開→全閉	③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉	④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開	⑤	同一格納容器スプレイ冷身器出口C/B水機隔離弁	全開→全閉	⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】                  記載内容の相違                  ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①	代替格納容器スプレイポンプ補助給水ピット投入口止め弁	全閉→全開																						
②	代替格納容器スプレイポンプ入口テスト用止め弁	全開→全閉																						
③	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全閉																						
④	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→調整開																						
⑤	同一格納容器スプレイ冷身器出口C/B水機隔離弁	全開→全閉																						
⑥	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

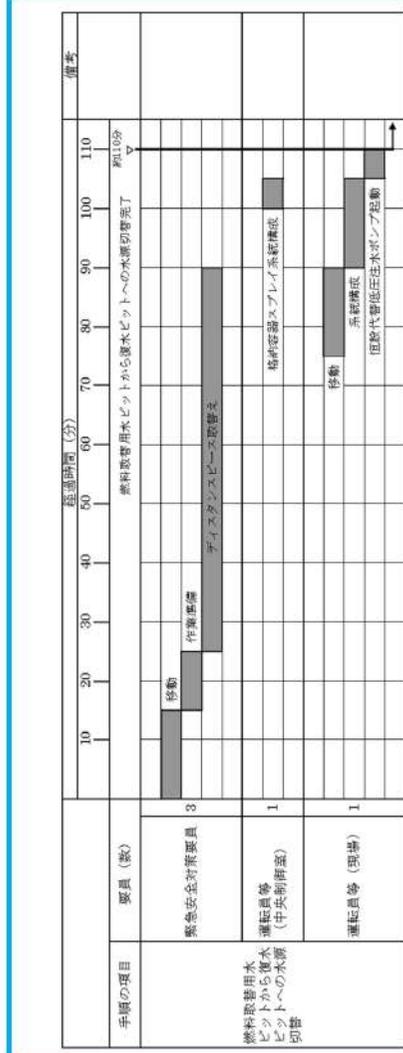
大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、記載順序入替え】



第1.13.31図 燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替 タイムチャート

泊3号炉との比較対象なし

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考
		10	50	
燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え(原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合)	運転員(中央制御室) A	1	燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え 30分	操作手順
	運転員(現場) B	1	移動	②
	災害対策要員 A	1	系統構成※1 系統構成※2 代替格納容器スプレイポンプ起動※1	③ ④

※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間

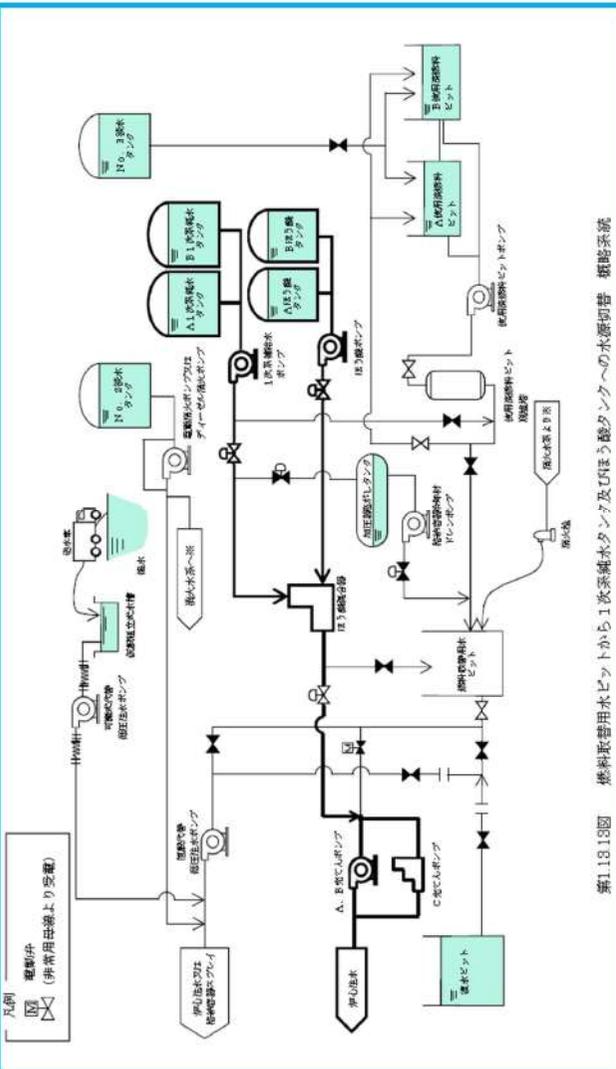
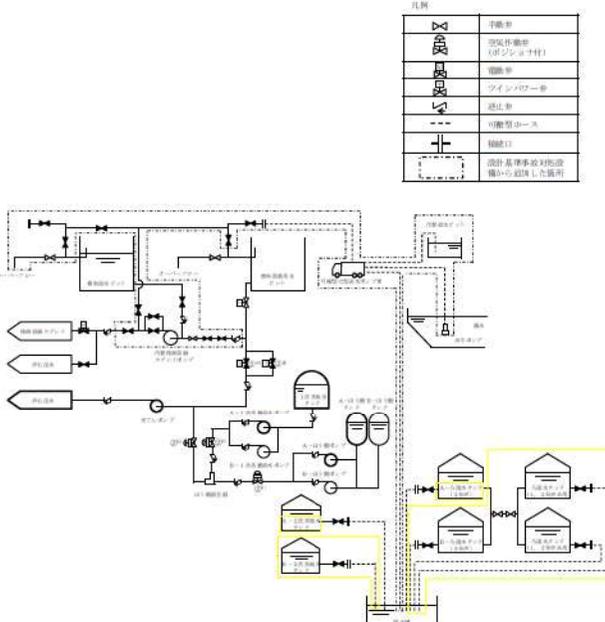
第 1.13.31 図 燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え  
 (原子炉格納容器内へのスプレイ中の場合) タイムチャート

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・タイムチャートに操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

【女川】  
 記載内容の相違  
 ・炉型の相違による対応手段の相違

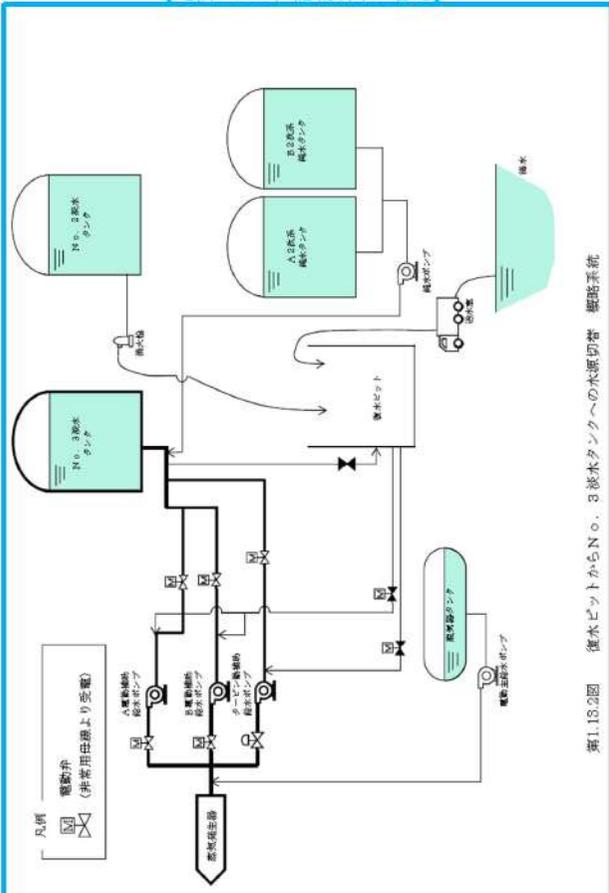
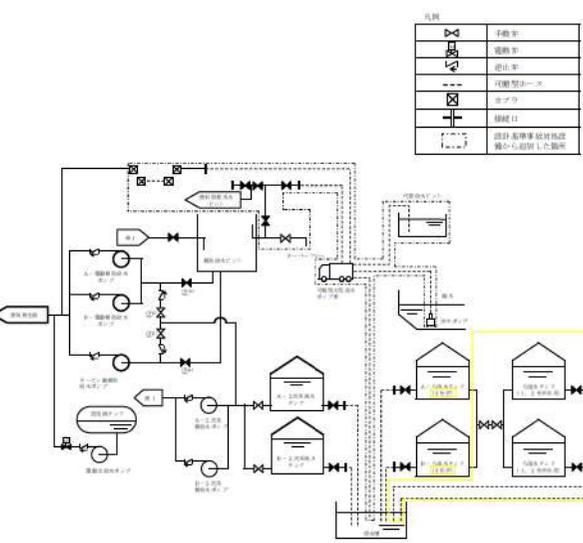
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>  <p>第1.13.19図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替 概略系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>凡例</p> <table border="1"> <tr><td>手動弁</td></tr> <tr><td>緊急電源用 (B7シミュレータ)</td></tr> <tr><td>逆止弁</td></tr> <tr><td>ツインフロー弁</td></tr> <tr><td>逆止弁</td></tr> <tr><td>可動型ボール弁</td></tr> <tr><td>開閉口</td></tr> <tr><td>設計基準を超過した設備</td></tr> <tr><td>設計基準を超過した設備</td></tr> </table> <p>① ほう酸タンクへの切替え 概要図</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>※</sup></td> <td>ほう酸補給ライン直戻制御弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>※</sup></td> <td>1次系純水補給ライン直戻制御弁</td> <td>全閉→調整閉</td> </tr> <tr> <td>③<sup>※</sup></td> <td>体積制御タンク出口側補給弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>※</sup></td> <td>蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>※</sup></td> <td>蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.13.32図 燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの切替え 概要図</p>	手動弁	緊急電源用 (B7シミュレータ)	逆止弁	ツインフロー弁	逆止弁	可動型ボール弁	開閉口	設計基準を超過した設備	設計基準を超過した設備	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>※</sup>	ほう酸補給ライン直戻制御弁	全閉→調整閉	② <sup>※</sup>	1次系純水補給ライン直戻制御弁	全閉→調整閉	③ <sup>※</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開	④ <sup>※</sup>	蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全閉→全開	⑤ <sup>※</sup>	蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全閉→全開	<p>相違理由</p> <p>【大阪】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】          記載内容の相違          ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
手動弁																														
緊急電源用 (B7シミュレータ)																														
逆止弁																														
ツインフロー弁																														
逆止弁																														
可動型ボール弁																														
開閉口																														
設計基準を超過した設備																														
設計基準を超過した設備																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
① <sup>※</sup>	ほう酸補給ライン直戻制御弁	全閉→調整閉																												
② <sup>※</sup>	1次系純水補給ライン直戻制御弁	全閉→調整閉																												
③ <sup>※</sup>	体積制御タンク出口側補給弁	全閉→全開																												
④ <sup>※</sup>	蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A	全閉→全開																												
⑤ <sup>※</sup>	蒸てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B	全閉→全開																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、記載順序入替え】</p>  <p>第1.13.32図 復水ピットからNo.3 凝水タンクへの水源切替 概要系統</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <table border="1" data-bbox="1478 973 1948 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>注</sup></td> <td>タービン動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>注</sup></td> <td>入、日一電動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>注</sup></td> <td>補助給水ピット電動補助給水ポンプ操出弁弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>注</sup></td> <td>補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ操出弁弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.13.33図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>注</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁	全閉→全開	② <sup>注</sup>	入、日一電動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁	全閉→全開	③ <sup>注</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ操出弁弁	全閉→全開	④ <sup>注</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ操出弁弁	全閉→全開	<p>相違理由</p> <p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を組づけ</p> <p>【女川】              記載内容の相違              ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																
① <sup>注</sup>	タービン動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁	全閉→全開																
② <sup>注</sup>	入、日一電動補助給水ポンプ2次系凝水タンクライン入口弁	全閉→全開																
③ <sup>注</sup>	補助給水ピット電動補助給水ポンプ操出弁弁	全閉→全開																
④ <sup>注</sup>	補助給水ピットタービン動補助給水ポンプ操出弁弁	全閉→全開																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="844 770 1254 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="1480 327 1727 1265" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順の項目</th> <th style="width: 30%;">要員（数）</th> <th style="width: 30%;">経過時間（分）</th> <th style="width: 10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">40分 ▽</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運転員（現場）B</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p> </div>	手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考	電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分 ▽	②	運転員（現場）B	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、中央制御室のみの操作についても、タイムチャートを整理する。</p> <p style="color: green;">【女川】 記載内容の相違 ・炉型の相違による対応手段の相違</p>
手順の項目	要員（数）	経過時間（分）	備考									
電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1	40分 ▽	②									
	運転員（現場）B											
<div data-bbox="1787 368 1888 1268" style="border: none;"> <p>第1.13.34図 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え タイムチャート</p> </div>												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 470 1892 1236" style="border: 2px solid black; width: 230px; height: 480px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1892 518 1937 1228" style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">                     第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給ホース敷設ルート図 (1/2)                 </div> <div data-bbox="1948 518 1982 901" style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">                     □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2011 718 2161 805" style="font-size: 10px;"> <b>【大阪】</b>                      設備の相違(相違理由⑥)                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1406 347 1832 1225" style="border: 2px solid black; width: 190px; height: 550px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1870 422 1899 1248" style="font-size: small;">第1.13.35図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p data-bbox="1915 880 1944 1114" style="font-size: small;">ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <div data-bbox="1953 833 1982 890" style="border: 1px solid black; width: 13px; height: 36px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1960 386 1989 1114" style="font-size: x-small;">：特許みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2020 753 2163 833" style="font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

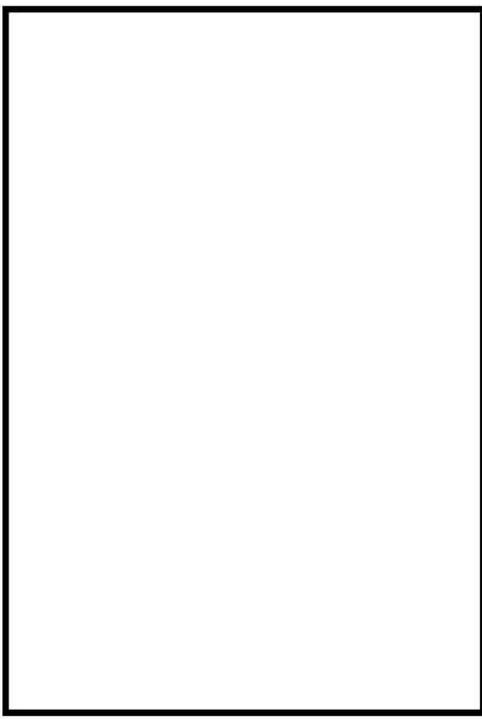
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 419 1883 1161" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p data-bbox="1899 451 1928 1217" style="font-size: small;">第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替管取水ピットへの補給ホース敷設ルート図(1/2)</p> <p data-bbox="1966 416 1995 1094" style="font-size: small;">□：枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 754 2163 831" style="font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.36図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱用給水ピットへの補給ホース敷設ルート図(2/2)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 422 1877 1165" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                         第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取扱替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図（1/3）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1415 363 1834 1222" style="border: 2px solid black; width: 150px; height: 500px; margin: 0 auto;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                         第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（2/3）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p style="color: red; font-size: small;">【大阪】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1375 453 1861 1163" style="border: 2px solid black; height: 445px; width: 217px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1899 491 1995 1134" style="font-size: small; margin-top: 10px;">                         第1.13.37図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給 ポース敷設ルート図 (3/3)  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span>：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </p>	<p data-bbox="2018 751 2163 831" style="font-size: small;">                         【大阪】                          設備の相違(相違理由⑥)                     </p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="107 391 649 1257" style="border: 2px solid black; height: 543px; width: 242px;"></div> <div data-bbox="649 406 683 949" style="font-size: 8px; text-align: center;">                     特開みの範囲は機器に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <div data-bbox="683 470 712 1209" style="font-size: 10px;">                     第1.13.26図 No.2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート                 </div>		<div data-bbox="1384 518 1899 1197" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="1915 478 1982 1252" style="font-size: 10px;">                     第1.13.38図 ろ過水タンクを水源とした電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給 ホース敷設ルート図                 </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 414 1892 1173" style="border: 2px solid black; height: 475px; width: 220px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="1899 438 1960 1050" style="font-size: small; text-align: center;">                     第1.13.39図 原水層を水源とした可搬型大口径送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図(1/2)                 </div> <div data-bbox="1966 430 1993 861" style="font-size: x-small; text-align: center;">                     □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2011 750 2161 829" style="color: red; font-size: small;">                     【大阪】                      設備の相違(相違理由④)                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1402 379 1816 1214" style="border: 2px solid black; width: 185px; height: 523px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="1854 533 1883 1174" style="font-size: small;">第1.13.39図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピット</p> <p data-bbox="1892 756 1919 1053" style="font-size: small;">への給給 ホース敷設ルート図 (2/2)</p> <p data-bbox="1946 427 1973 884" style="font-size: small;">□：特命の内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="2018 751 2163 831" style="font-size: small;">【大飯】 設備の相違(相違理由④)</p>

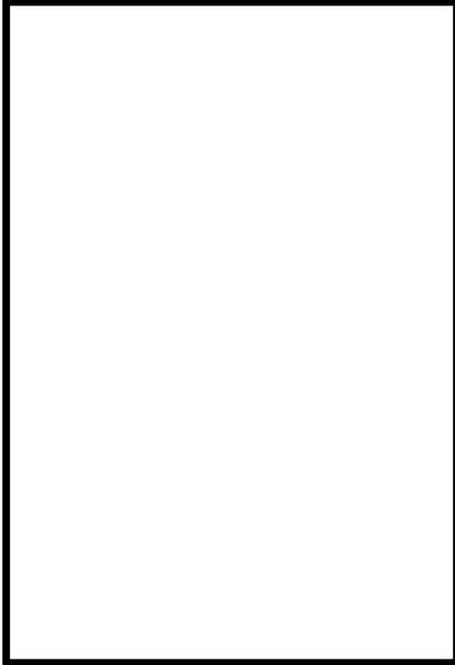
灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <p style="font-size: small; text-align: right;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/2)</p> <p style="font-size: x-small; text-align: right;">□：枠囲みの内容は機器情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違(相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

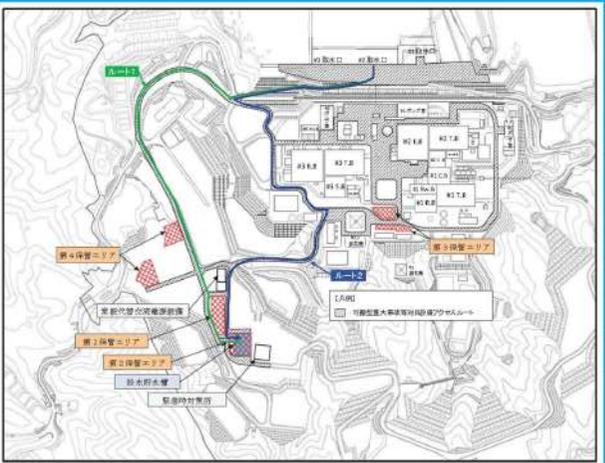
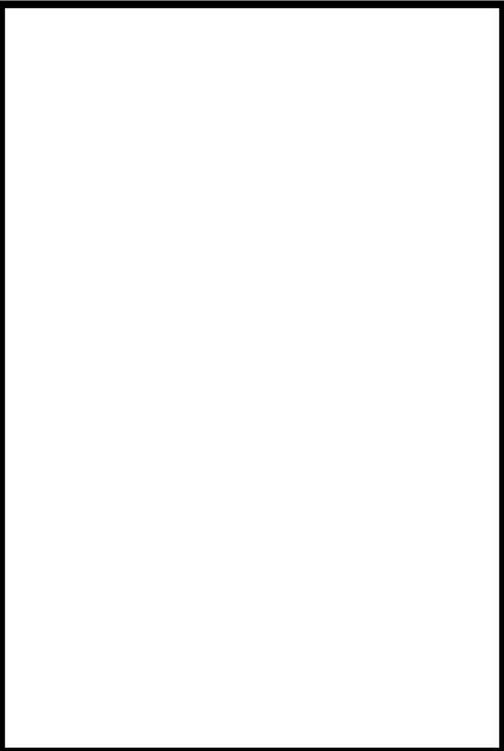
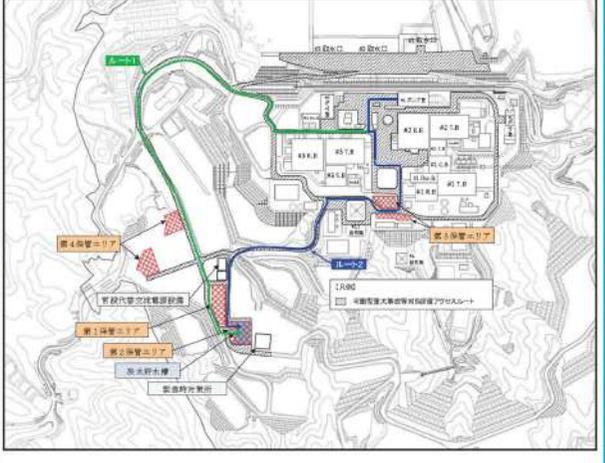
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>		<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">第1.13.40図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図（2/2） □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違（相違理由④）</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

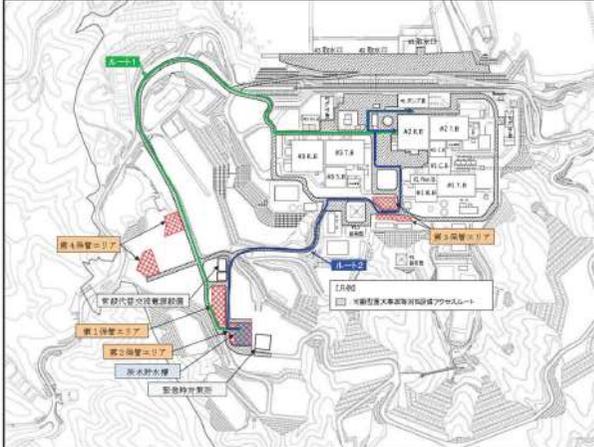
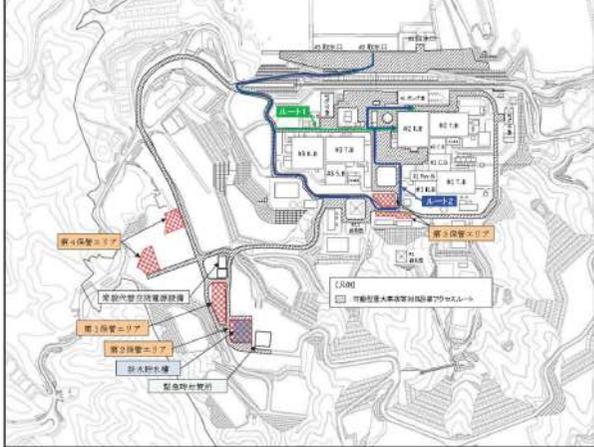
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (1/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第 1.13-33 図 海から淡水貯水水槽ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (2/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (3/2)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第 1.13-34 図 海から淡水貯水水槽ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた淡水ピットへの補給 ホース敷設ルート (4/2)</p>			<p>第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (1/3)                  ※：作図みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center; color: blue;">【比較のため、記載順序入替え】</p> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">  <p style="text-align: center;">第 1.13-35 図 淡水貯水槽から各種注水ルート図</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (5/22)</p>			
<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.13-36 図 海から各種注水ルート図 (1/2) (取水口取水)</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>	
<p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (6/22)</p>			
<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (7/22)</p>			<p style="font-size: x-small;">第 1.13.41 図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (2/3)</p> <p style="font-size: x-small;">□：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (8/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>【比較のため、記載順序入れ替え】</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (9/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13-37図 海から各種注水ルート図 (2/2) (海水ポンプ室取水)</p>		
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (10/22)</p>			
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11回 3号炉 海水を用いた深井水ピットへの補給 ホース敷設ルート (11/22)</p>			

第1.13.41図 海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給 ホース敷設ルート図 (3/3)

※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 145 645 408" style="border: 2px solid black; height: 165px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 411 640 427" style="font-size: 8px;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 472 613 488" style="font-size: 8px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</div> <div data-bbox="174 496 645 759" style="border: 2px solid black; height: 165px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 767 640 783" style="font-size: 8px;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 791 613 807" style="font-size: 8px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (13/22)</div> <div data-bbox="174 815 645 1078" style="border: 2px solid black; height: 165px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1086 640 1102" style="font-size: 8px;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 1110 613 1126" style="font-size: 8px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (14/22)</div> <div data-bbox="174 1134 645 1398" style="border: 2px solid black; height: 165px; width: 210px;"></div> <div data-bbox="315 1406 640 1422" style="font-size: 8px;">※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="181 1430 613 1445" style="font-size: 8px;">第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</div>		<div data-bbox="1451 743 1928 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                 大飯3 / 4号炉との比較対象は                  泊3号炉の第1.13.41図参照             </div>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (16/22)</p>			
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (17/22)</p>		<p>大飯3 / 4号炉との比較対象は 泊3号炉の第1.13.41図参照</p>	
 <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (18/22)</p>			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (19/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (20/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (21/22)</p>			
 <p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			
<p>第1.13.11図 4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 ホース敷設ルート (22/22)</p>		<p>大飯 3 / 4号炉との比較対象は 泊 3号炉の第 1.13.41 図参照</p>	

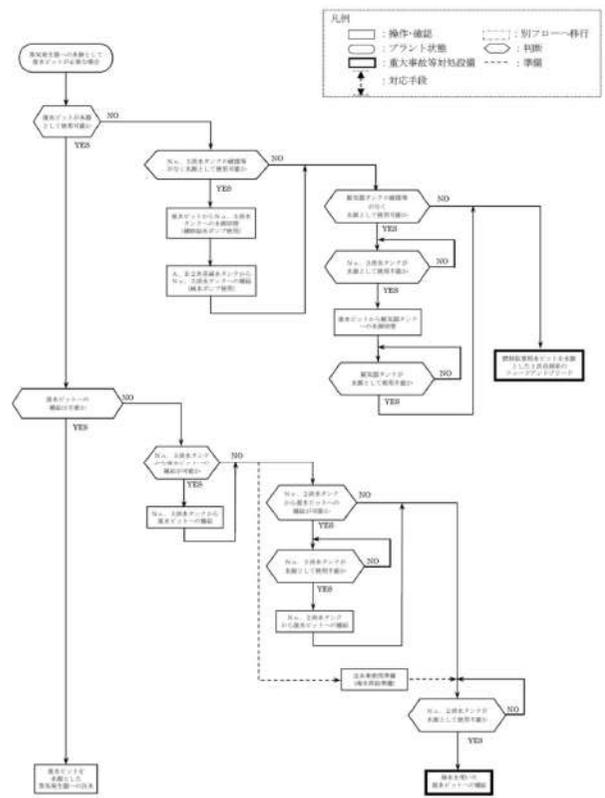
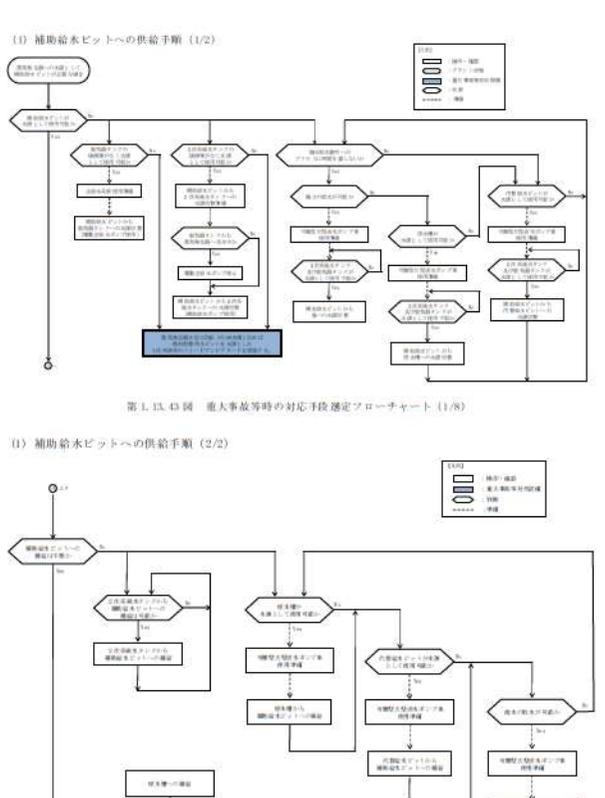
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1384 432 1906 1198" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1912 312 1980 1171" style="font-size: small; position: absolute; right: 0; top: 0;">                     第1.13.42図 2次系補水タンク又はろ過水タンクを水源とした原水槽への補給 ポース敷設ルート図                      □：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2013 751 2161 831" style="font-size: small;">                     【大阪】                      設備の相違（相違理由⑤）                 </div>

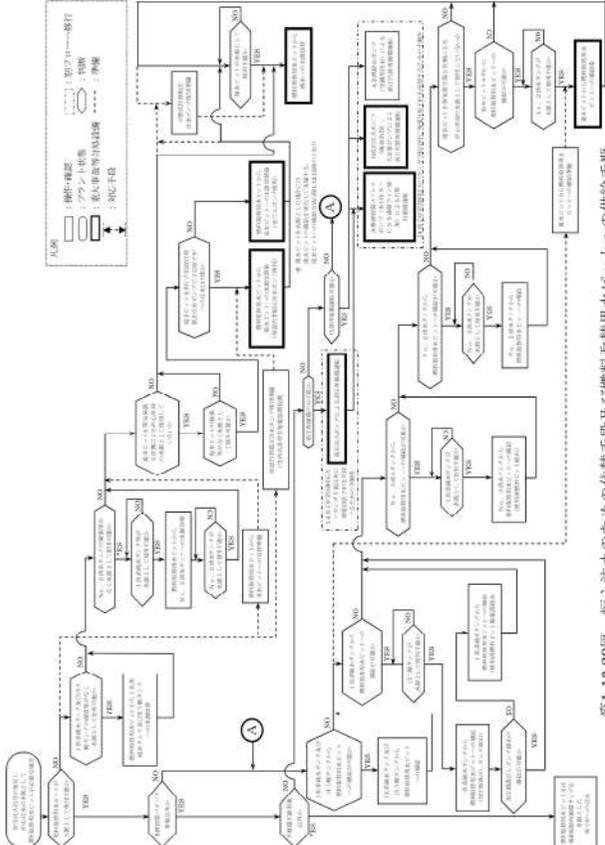
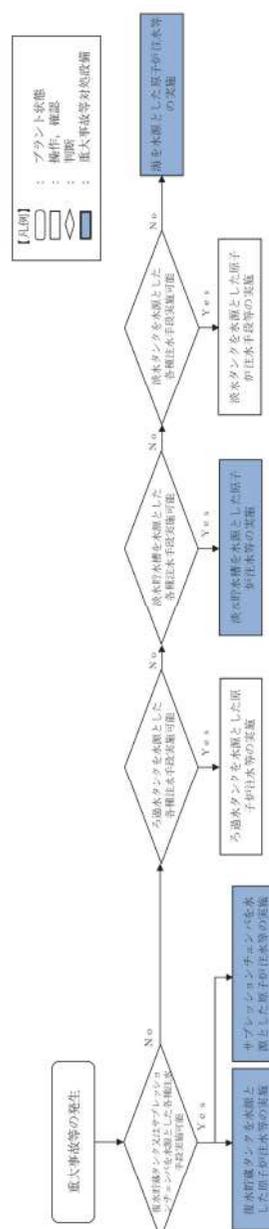
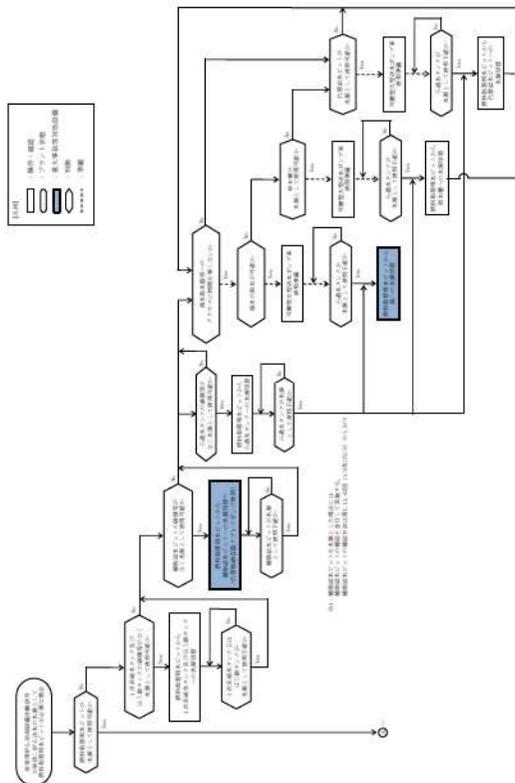
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.13.12図 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ビットへの供給手順</p>		 <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (1/8)</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (2/8)</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.29図 炉心注水のための代替手段及び燃料取扱普通水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.13-31図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種注水用）</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(2) 炉心注水時における燃料取扱普通水ピットへの補給手順 (1/3)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は                      大阪3/4号炉の第1.13.29図参照                 </div>	<div data-bbox="750 311 1310 1276"> <p>【凡例】                  □ プラント状態                  ○ 操作、確認                  ◇ 判断                  ● 重大事故等対応設備</p> </div>	<div data-bbox="1377 486 1960 1220"> <p>【凡例】                  □ 操作、確認                  ○ 操作、確認                  ◇ 判断                  ● 重大事故等対応設備</p> </div>	<p>相違理由</p> <div data-bbox="2004 726 2161 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大阪】                      記載方針の相違                      （女川審査実績の反映）</p> </div>

第1.13-32図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（各種補給用）

(2) 炉心注水時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (2/3)

第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/8)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

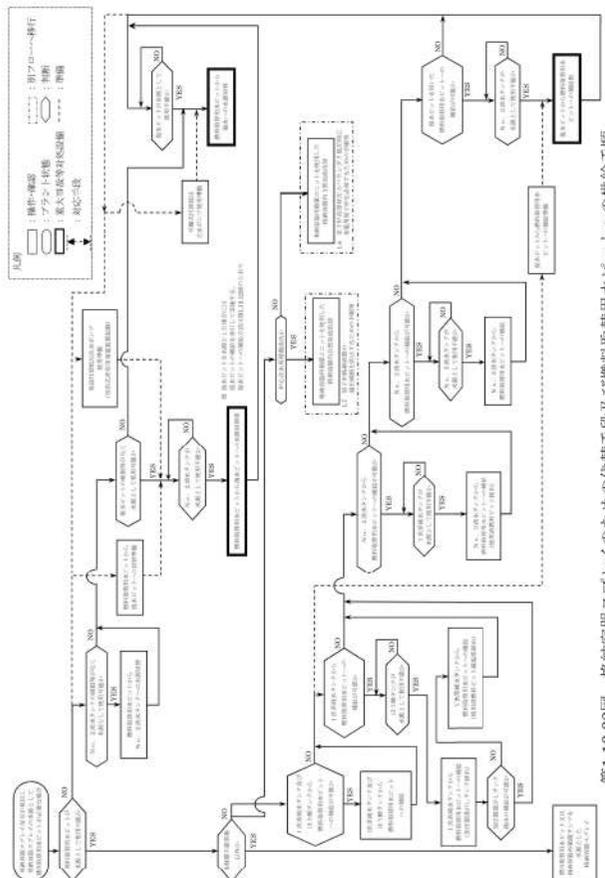
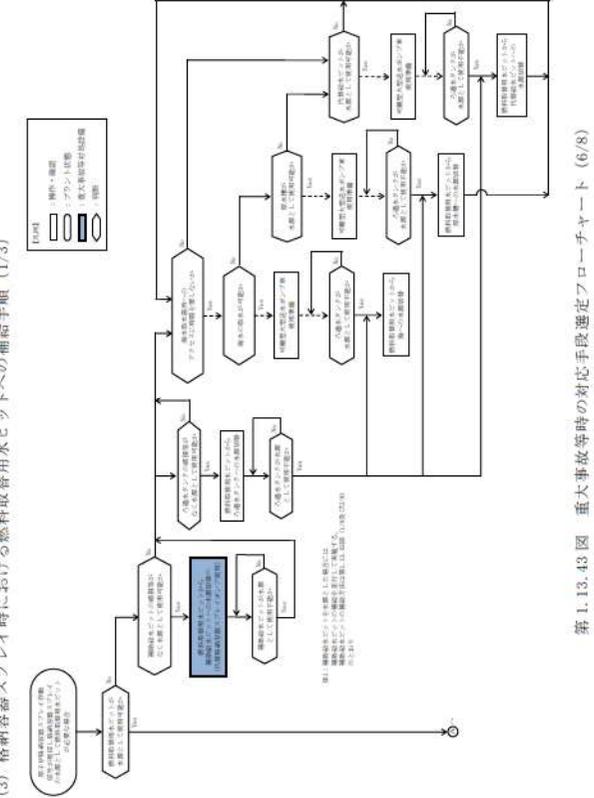
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 438 1937 1173" style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;">             1.4.43 (2) 炉心注水時における燃料取替用ヒートへの補給手順 (3/3)              1.4.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (5/8)         </p> </div>	<div data-bbox="2011 754 2161 834" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <span style="color: red;">【大阪】</span>                      設備の相違(相違理由⑥)                 </div>

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.13.32図 格納容器スプレイのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給手順</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (1/3)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="134 742 683 845" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     泊3号炉との比較対象は                      大飯3/4号炉の第1.13.32図参照                 </div>		<div data-bbox="1377 414 1915 1181"> <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取扱替用水への補給手順 (2/3)</p> <p>第1.13.43図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (7/8)</p> </div>	<div data-bbox="2004 718 2172 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【大飯】                      記載方針の相違                      （女川審査実績の                      反映）</p> </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、  
BWR固有の設備や対応手段であり、  
泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="136 743 680 842" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p>泊3号炉との比較対象は 大飯3 / 4号炉の第 1.13.32 図参照</p> </div>		<div data-bbox="1377 430 1960 1173" style="text-align: center;"> <p>(3) 格納容器スプレイ時における燃料取替用水ピットへの補給手順 (3/3)</p> </div> <p>第 1.13.43 図 重大事故等時の対応手段選定フローチャート (8/8)</p>	<p>【大飯】 設備の相違(相違理由⑥)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				泊発電所3号炉				相違理由
【比較のため女川の添付資料1.13.1を掲載】				添付資料1.13.1				添付資料1.13.1-(1)
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/6)				審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)				【女川】 ・PWR と BWR に対する要求事項相違による附番の相違 ・審査基準の改正による記載内容の相違 【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
技術的能力審査基準 (1.13)	番号	設置許可基準規則 (56 条)	技術基準規則 (71 条)	番号	設置許可基準規則 (五十六条)	技術基準規則 (七十一条)	番号	
【本文】 発電用原子炉設置者において、設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	【本文】 設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備を設けなければならない。	⑧	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるものにより、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。 一 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対処するために必要な量の水を貯留できるものとする。 二 その貯留された水を、想定される重大事故等に対処するために必要な設備に供給できるものとする。	【本文】 発電用原子炉施設には、次に掲げるものにより、想定される重大事故等に対処するための水源として必要な量の水を貯留するための設備を設けなければならない。 一 設計基準事故の収束に必要な水を貯留するものについては、当該設計基準事故及び想定される重大事故等に対処するために必要な量の水を貯留できるものとする。 二 その貯留された水を、想定される重大事故等に対処するために必要な設備に供給できるものとする。	⑦	
【解釈】 1 「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	—	【解釈】 1 第56条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	【解釈】 1 第71条に規定する「設計基準事故の収束に必要な水源とは別に、重大事故等の収束に必要となる十分な量の水を有する水源を確保することに加えて、発電用原子炉施設には、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備に対して重大事故等の収束に必要な十分な量の水を供給するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	—	【解釈】 1 第56条に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	【解釈】 1 第56条に規定する「必要量の水」とは、第2項に規定する「海その他の水源」から取水された水が重大事故等に対処するために必要な設備に供給されるまでの間、当該重大事故等に対処するために必要な量の水をいう。	—	
a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できる手順等を整備すること。	②	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	a) 想定される重大事故等の収束までの間、十分な量の水を供給できること。	⑨	—	—	⑩	
b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	③	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	b) 複数の代替水源（貯水槽、ダム又は貯水池等）が確保されていること。	⑩	—	—	⑪	
c) 海を水源として利用できること。	④	c) 海を水源として利用できること。	c) 海を水源として利用できること。	⑪	—	—	⑫	
d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑤	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	d) 各水源からの移送ルートが確保されていること。	⑫	—	—	⑬	
e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑥	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	e) 代替水源からの移送ホース及びポンプを準備しておくこと。	⑬	—	—	—	
f) 水の供給が中断することがないよう、水源の切替え手順等を定めること。	⑦	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	f) 原子炉格納容器を水源とする再循環設備は、代替再循環設備等により、多重性又は多様性を確保すること。(PWR)	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

【比較のため女川の添付資料 1.13.2 を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/6)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	所要時間 対応人数
女川発電所 （女川発電所3号炉）	海水貯留タンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	女川発電所 （女川発電所3号炉）	ろ過水タンク	既設	—
	高圧代替注水系統（高圧代替注水ポンプ）	既設	—		ろ過水系統（ろ過水ポンプ）	既設	—
	原子炉隔離時冷却系（原子炉隔離時冷却ポンプ）	既設	—		—	—	—
	高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	既設	—				
	残留熱除去系（残留熱除去ポンプ）	既設	—				
	低圧代替注水系統（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	低圧代替注水系統（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
	原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—				
原子炉隔離時冷却系（既設）（海水移送ポンプ）	既設	—					
女川発電所 （女川発電所4号炉）	サブプレッションタンク	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	—	—	—	
	高圧炉心スプレー系（高圧炉心スプレー系ポンプ）	既設	—				
	残留熱除去系（残留熱除去ポンプ）	既設	—				
	低圧炉心スプレー系（低圧炉心スプレー系ポンプ）	既設	—				
	代替注水系統（代替注水ポンプ）	既設	—				

※1：本文中【解釈】1 b)項を満足するための代替注水源（措置）

泊発電所 3号炉

添付資料 1.13.1-(2)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策								
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 新設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考			
燃料取扱 機用 水ピラ ットを 本機と した対 応	燃料取扱機用海水ピラット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	ろ過水タンク	ろ過水タンク	既設	—	—	自主対策とする理由は本文参照			
	ろ過水ポンプ	既設			電動機駆動消火ポンプ	既設	—	—				
	高圧注入ポンプ	既設			ディーゼル駆動消火ポンプ	既設	—	—				
	代替格納容器スプレーポンプ	既設			1 水 系 と 結 合 し た タ ン ク を	1次系給水タンク	既設	—		—	自主対策とする理由は本文参照	
	日一格納容器スプレーポンプ	既設				1次系補給水ポンプ	既設	—		—		
	格納容器スプレーポンプ	既設				2 水 系 と 結 合 し た タ ン ク を	2次系給水タンク	既設		—		—
	全熱除去ポンプ	既設					2次系補給水ポンプ	既設		—		—
	燃料取扱機用海水ポンプ	既設			—	水 製 安 置 タ ン ク と 結 合 し た タ ン ク を	既設	—		—	自主対策とする理由は本文参照	
	—	—			—		—	—		—		
	補助給水 ピラット を 本機と した対 応	補助給水ピラット			既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	—	既設		—	—	自主対策とする理由は本文参照
電動補給水ポンプ		既設	—	—								
タービン駆動補給水ポンプ		既設	—	—								
直結給水用高圧ポンプ		既設	—	—								

【女川】  
設備の相違による  
対応手段の相違

【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料 1.13.2 は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		相違理由				
【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】		添付資料1.13.1-(4)						
審査基準、基準規則と対処設備との対応表（4/6）		審査基準、基準規則と対処設備との対応表（4/8）						
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）		■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）						
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	既設 可 可	解釈 対応番号	備考
女川	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	①②③④⑤⑥⑦	-	格納容器内循環ポンプ	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧	-
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設			圧入格納容器スプレイポンプ	既設		
	ホース延長回収車	既設			A～高圧注入ポンプ	既設		
	貯留槽	既設			可搬型大車送水ポンプ車	新設		
	取水口	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	新設		
	取水船	既設			可搬型ホース・接続口	既設		
	海水ポンプ車	既設			非常用取水設備	既設		
	ホース・注水用ヘッド・接続口	既設			燃料補給設備	既設 新設		
	燃料補給設備	既設			余熱除去ポンプ	既設		
	圧入代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設			高圧注入ポンプ	既設		
	原子炉格納容器代替スプレイポンプ車（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設			格納容器スプレイポンプ	既設		
	原子炉格納容器下置注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設						
	原子炉格納容器吊注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設						
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設						
	燃料プール代替注水系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口等）	既設						
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイズル等）	既設						
	燃料プールのスプレイ系（可搬型）（大容量送水ポンプ（タイプ1）、ホース延長回収車、ホース・注水用ヘッド・接続口、スプレイズル等）	既設						
	原子炉格納容器取水系（大容量送水ポンプ（タイプ1）、熱交換ユニット、ホース延長回収車、ホース・送熱用ヘッド・接続口等）	既設						
	大容量送水ポンプ（タイプ2）	既設						
	ホース延長回収車	既設						
取水船	既設							
ホース	既設							
送水用車両適合装置	既設							
燃料補給設備	既設							

※1：本文中【解釈】1)h)項を満足するための代替注水源（措置）

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>【比較のため女川の添付資料 1.13.2 を掲載】</p> <p>審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>対応 手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可設</th> <th>所要時間</th> <th>対応人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">はう給水注入系貯蔵タンク</td> <td>はう給水注入系貯蔵タンク</td> <td>既設</td> <td rowspan="2">①②③④</td> <td rowspan="2">-</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">300分</td> <td rowspan="2">7名</td> <td rowspan="2">自主対策設備とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>はう給水注入系（はう給水注入系ポンプ）</td> <td>既設</td> <td>純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">清水貯水槽（清水貯水タンク）</td> <td>清水貯水槽（No. 1）</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> <td rowspan="10">-</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">300分</td> <td rowspan="10">7名</td> <td rowspan="10">自主対策設備とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>清水貯水槽（No. 2）</td> <td>既設</td> <td>純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>大容量送水ポンプ（タイプ1）</td> <td>既設</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>ホース延長回収車</td> <td>既設</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプ1）</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>ホース・送水用ヘッド・接続口</td> <td>既設</td> <td>ホース延長回収車</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>補給水系・配管・弁</td> <td>既設</td> <td>ホース・送水用ヘッド・接続口</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>清水貯蔵タンク</td> <td>既設</td> <td>補給水系 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td>ろ過水系 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>給排水処理設備配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>清水貯蔵タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">清水貯蔵タンク</td> <td>大容量送水ポンプ（タイプ1）</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> <td rowspan="10">-</td> <td>耐震性貯水本槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">145分</td> <td rowspan="10">7名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>ホース延長回収車</td> <td>既設</td> <td>化学消防自動車</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>ホース・送水用ヘッド・接続口</td> <td>既設</td> <td>ホース</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>補給水系・配管・弁</td> <td>既設</td> <td>清水貯蔵タンク</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>清水貯蔵タンク</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：本文表【解釈】1 b)項を満足するための代替水源（措置）</p>	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	所要時間	対応人数	備考	はう給水注入系貯蔵タンク	はう給水注入系貯蔵タンク	既設	①②③④	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照	はう給水注入系（はう給水注入系ポンプ）	既設	純水タンク	常設	清水貯水槽（清水貯水タンク）	清水貯水槽（No. 1）	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照	清水貯水槽（No. 2）	既設	純水タンク	常設	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	ろ過水タンク	常設	ホース延長回収車	既設	大容量送水ポンプ（タイプ1）	可設	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設	ホース延長回収車	可設	補給水系・配管・弁	既設	ホース・送水用ヘッド・接続口	常設	清水貯蔵タンク	既設	補給水系 配管・弁	常設	燃料補給設備	既設	ろ過水系 配管・弁	常設			給排水処理設備配管・弁	常設			清水貯蔵タンク	常設	清水貯蔵タンク	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	耐震性貯水本槽	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照	ホース延長回収車	既設	化学消防自動車	可設	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設	ホース	可設	補給水系・配管・弁	既設	清水貯蔵タンク	既設	清水貯蔵タンク	既設			貯留槽	既設			取水口	既設			取水路	既設			取水ポンプ	既設			燃料補給設備	既設			<p>添付資料 1.13.1-(5)</p> <p>審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (5/8)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解釈 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可設</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> <td rowspan="10">-</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">200分</td> <td rowspan="10">7名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>新設</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>ホース延長・回収車（送水専用）</td> <td>新設</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>新設</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用初心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td>既設</td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>既設</td> <td>ホース延長・回収車（送水専用）</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>非常用初心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給</td> <td>代替給水ビット</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> <td rowspan="10">-</td> <td>代替給水ビット</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">145分</td> <td rowspan="10">7名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>ホース延長・回収車（送水専用）</td> <td>可設</td> <td>ホース延長・回収車（送水専用）</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>非常用初心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td>非常用初心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>常設</td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料取替用水ビットによる ろ過水タンクへの補給</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td> <td rowspan="10">-</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">30分</td> <td rowspan="10">2名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> <td>燃料取替用水ビット</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>電動機駆動消防ポンプ</td> <td>常設</td> <td>電動機駆動消防ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル駆動消防ポンプ</td> <td>常設</td> <td>ディーゼル駆動消防ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>消防コース</td> <td>可設</td> <td>消防コース</td> <td>可設</td> </tr> <tr> <td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給	燃料取替用水ビット	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照	可搬型大型送水ポンプ車	新設	ろ過水タンク	常設	ホース延長・回収車（送水専用）	新設	2次系純水タンク	常設	可搬型ホース・接続口	新設	燃料取替用水ビット	常設	非常用初心冷却設備 配管・弁	既設	可搬型大型送水ポンプ車	可設	非常用取水設備	既設	可搬型ホース・接続口	可設	燃料補給設備	既設	ホース延長・回収車（送水専用）	可設			非常用初心冷却設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設			燃料補給設備	常設	可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給	代替給水ビット	常設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	代替給水ビット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照	燃料取替用水ビット	常設	燃料取替用水ビット	常設	可搬型大型送水ポンプ車	可設	可搬型大型送水ポンプ車	可設	可搬型ホース・接続口	可設	可搬型ホース・接続口	可設	ホース延長・回収車（送水専用）	可設	ホース延長・回収車（送水専用）	可設	非常用初心冷却設備 配管・弁	常設	非常用初心冷却設備 配管・弁	常設	燃料補給設備	常設	燃料補給設備	常設													燃料取替用水ビットによる ろ過水タンクへの補給	ろ過水タンク	常設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	ろ過水タンク	常設	30分	2名	自主対策とする理由は本文参照	燃料取替用水ビット	常設	燃料取替用水ビット	常設	電動機駆動消防ポンプ	常設	電動機駆動消防ポンプ	常設	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設	消防コース	可設	消防コース	可設	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	常用電源設備	常設	常用電源設備	常設									<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の比較対象となる添付資料 1.13.2 は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>
重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																								
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	所要時間	対応人数	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
はう給水注入系貯蔵タンク	はう給水注入系貯蔵タンク	既設	①②③④	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	はう給水注入系（はう給水注入系ポンプ）	既設			純水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
清水貯水槽（清水貯水タンク）	清水貯水槽（No. 1）	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	ろ過水タンク	常設	300分	7名	自主対策設備とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	清水貯水槽（No. 2）	既設			純水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設			ろ過水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ホース延長回収車	既設			大容量送水ポンプ（タイプ1）	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			ホース延長回収車	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	補給水系・配管・弁	既設			ホース・送水用ヘッド・接続口	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	清水貯蔵タンク	既設			補給水系 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	燃料補給設備	既設			ろ過水系 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					給排水処理設備配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					清水貯蔵タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
清水貯蔵タンク	大容量送水ポンプ（タイプ1）	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	耐震性貯水本槽	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	ホース延長回収車	既設			化学消防自動車	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ホース・送水用ヘッド・接続口	既設			ホース	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	補給水系・配管・弁	既設			清水貯蔵タンク	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	清水貯蔵タンク	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	貯留槽	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	取水口	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	取水路	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	取水ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	燃料補給設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																																										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																								
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給	燃料取替用水ビット	既設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			ろ過水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ホース延長・回収車（送水専用）	新設			2次系純水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	可搬型ホース・接続口	新設			燃料取替用水ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	非常用初心冷却設備 配管・弁	既設			可搬型大型送水ポンプ車	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	非常用取水設備	既設			可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	燃料補給設備	既設			ホース延長・回収車（送水専用）	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					非常用初心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					燃料補給設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
可搬型大型送水ポンプ車による ろ過水タンクへの補給	代替給水ビット	常設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	代替給水ビット	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	燃料取替用水ビット	常設			燃料取替用水ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	可搬型大型送水ポンプ車	可設			可搬型大型送水ポンプ車	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	可搬型ホース・接続口	可設			可搬型ホース・接続口	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ホース延長・回収車（送水専用）	可設			ホース延長・回収車（送水専用）	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	非常用初心冷却設備 配管・弁	常設			非常用初心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	燃料補給設備	常設			燃料補給設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
燃料取替用水ビットによる ろ過水タンクへの補給	ろ過水タンク	常設	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	-	ろ過水タンク	常設	30分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	燃料取替用水ビット	常設			燃料取替用水ビット	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	電動機駆動消防ポンプ	常設			電動機駆動消防ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	ディーゼル駆動消防ポンプ	常設			ディーゼル駆動消防ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	消防コース	可設			消防コース	可設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	給水処理設備 配管・弁	常設			給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	常用電源設備	常設			常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/6)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設 設置</th> <th>施設 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設 設置</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川 1号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 2号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 2号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 3号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女川 3号炉</td> <td>減水貯水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="4">女川 4号炉</td> <td>減水貯水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッシャチェンバ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>サブプレッシャチェンバ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> <td>高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> <td>高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 4号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 5号炉</td> <td>大飯重水炉ポンプ（タイフーン）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース超長距離管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> <td>コース</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.1）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> <td>減水貯水罐（No.2）※1</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> <td>貯留槽</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> <td>取水口</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女川 5号炉</td> <td>減水貯水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="4">女川 6号炉</td> <td>減水貯水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サブプレッシャチェンバ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>サブプレッシャチェンバ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> <td>高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替取水器（代替取水ポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> <td>代替取水器（代替取水ポンプ）</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：本文【解釈】1)h)項を満足するための代替取水器（措置）</p>	重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				対応手段	機器名称	施設 設置	施設 対応番号	対応手段	機器名称	施設 設置	備考	女川 1号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 2号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		コース超長距離管	施設		コース超長距離管	施設		コース	施設		コース	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		貯留槽	施設		貯留槽	施設		取水口	施設		取水口	施設		燃料補給設備	施設		女川 2号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 3号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		コース超長距離管	施設		コース超長距離管	施設		コース	施設		コース	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		貯留槽	施設		貯留槽	施設		取水口	施設		取水口	施設		燃料補給設備	施設		女川 3号炉	減水貯水タンク	施設		女川 4号炉	減水貯水タンク	施設		サブプレッシャチェンバ	施設		サブプレッシャチェンバ	施設		高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	施設		女川 4号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 5号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		コース超長距離管	施設		コース超長距離管	施設		コース	施設		コース	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.1）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		減水貯水罐（No.2）※1	施設		貯留槽	施設		貯留槽	施設		取水口	施設		燃料補給設備	施設		女川 5号炉	減水貯水タンク	施設		女川 6号炉	減水貯水タンク	施設		サブプレッシャチェンバ	施設		サブプレッシャチェンバ	施設		高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）	施設		高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）	施設		代替取水器（代替取水ポンプ）	施設		代替取水器（代替取水ポンプ）	施設		<p>添付資料1.13.1-(6)</p> <p>審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)</p> <p>■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設 設置</th> <th>施設 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>施設 設置</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">女川 1号炉</td> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 2号炉</td> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加圧器誘がしタンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>加圧器誘がしタンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビットを本館とした</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビットを本館とした</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>液体廃棄物処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 2号炉</td> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 3号炉</td> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池液電駆動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>所内常設蓄電池液電駆動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>2次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>2次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>使用済燃料ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビットポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>使用済燃料ビットポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 3号炉</td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 4号炉</td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 4号炉</td> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 5号炉</td> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">女川 5号炉</td> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td rowspan="10">女川 6号炉</td> <td>非常用交流電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系減水タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸タンク</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> <td>燃料取替用本ビット</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>1次系補給水ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> <td>ほう酸ポンプ</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備 配管</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> <td>常用電動設備</td> <td>施設</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				対応手段	機器名称	施設 設置	施設 対応番号	対応手段	機器名称	施設 設置	備考	女川 1号炉	1次系減水タンク	施設		女川 2号炉	1次系減水タンク	施設		燃料取替用本ビット	施設		燃料取替用本ビット	施設		1次系補給水ポンプ	施設		1次系補給水ポンプ	施設		加圧器誘がしタンク	施設		加圧器誘がしタンク	施設		燃料取替用本ビットを本館とした	施設		燃料取替用本ビットを本館とした	施設		1次系補給水タンク	施設		1次系補給水タンク	施設		1次系補給水ポンプ	施設		1次系補給水ポンプ	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		液体廃棄物処理設備 配管・弁	施設		液体廃棄物処理設備 配管・弁	施設		女川 2号炉	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		女川 3号炉	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		常用電動設備	施設		常用電動設備	施設		非常用交流電動設備	施設		非常用交流電動設備	施設		所内常設蓄電池液電駆動設備	施設		所内常設蓄電池液電駆動設備	施設		燃料取替用本ビット	施設		燃料取替用本ビット	施設		2次系減水タンク	施設		2次系減水タンク	施設		2次系補給水ポンプ	施設		2次系補給水ポンプ	施設		使用済燃料ビット	施設		使用済燃料ビット	施設		使用済燃料ビットポンプ	施設		使用済燃料ビットポンプ	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		女川 3号炉	常用電動設備	施設		女川 4号炉	常用電動設備	施設		1次系減水タンク	施設		1次系減水タンク	施設		ほう酸タンク	施設		ほう酸タンク	施設		燃料取替用本ビット	施設		燃料取替用本ビット	施設		1次系補給水ポンプ	施設		1次系補給水ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		常用電動設備	施設		常用電動設備	施設		女川 4号炉	非常用交流電動設備	施設		女川 5号炉	非常用交流電動設備	施設		1次系減水タンク	施設		1次系減水タンク	施設		ほう酸タンク	施設		ほう酸タンク	施設		燃料取替用本ビット	施設		燃料取替用本ビット	施設		1次系補給水ポンプ	施設		1次系補給水ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		常用電動設備	施設		常用電動設備	施設		女川 5号炉	非常用交流電動設備	施設		女川 6号炉	非常用交流電動設備	施設		1次系減水タンク	施設		1次系減水タンク	施設		ほう酸タンク	施設		ほう酸タンク	施設		燃料取替用本ビット	施設		燃料取替用本ビット	施設		1次系補給水ポンプ	施設		1次系補給水ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		ほう酸ポンプ	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		化学体積制御設備 配管・弁	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		非常用炉心冷却設備 配管	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		給水処理設備 配管・弁	施設		常用電動設備	施設		常用電動設備	施設		<p>相違理由</p> <p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>																																																															
重大事故等対処設備を用いた対応手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
対応手段	機器名称	施設 設置	施設 対応番号	対応手段	機器名称	施設 設置	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
女川 1号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 2号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース超長距離管	施設			コース超長距離管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース	施設			コース	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.1）※1	施設			減水貯水罐（No.1）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.2）※1	施設			減水貯水罐（No.2）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	貯留槽	施設			貯留槽	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	取水口	施設			取水口	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料補給設備	施設		燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
女川 2号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 3号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース超長距離管	施設			コース超長距離管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース	施設			コース	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.1）※1	施設			減水貯水罐（No.1）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.2）※1	施設			減水貯水罐（No.2）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	貯留槽	施設			貯留槽	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	取水口	施設			取水口	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 3号炉	減水貯水タンク	施設		女川 4号炉	減水貯水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	サブプレッシャチェンバ	施設			サブプレッシャチェンバ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	施設			高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	施設			高圧中心キャブライズ（高圧中心キャブライズポンプ）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 4号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設		女川 5号炉	大飯重水炉ポンプ（タイフーン）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース超長距離管	施設			コース超長距離管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	コース	施設			コース	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.1）※1	施設			減水貯水罐（No.1）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	減水貯水罐（No.2）※1	施設			減水貯水罐（No.2）※1	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	貯留槽	施設			貯留槽	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	取水口	施設			取水口	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	取水口	施設			取水口	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料補給設備	施設			燃料補給設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 5号炉	減水貯水タンク	施設		女川 6号炉	減水貯水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	サブプレッシャチェンバ	施設			サブプレッシャチェンバ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）	施設			高圧代替取水器（高圧代替取水ポンプ）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	代替取水器（代替取水ポンプ）	施設			代替取水器（代替取水ポンプ）	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
対応手段	機器名称	施設 設置	施設 対応番号	対応手段	機器名称	施設 設置	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
女川 1号炉	1次系減水タンク	施設		女川 2号炉	1次系減水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビット	施設			燃料取替用本ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水ポンプ	施設			1次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	加圧器誘がしタンク	施設			加圧器誘がしタンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビットを本館とした	施設			燃料取替用本ビットを本館とした	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水タンク	施設			1次系補給水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水ポンプ	施設			1次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化学体積制御設備 配管・弁	施設			化学体積制御設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	給水処理設備 配管・弁	施設			給水処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	液体廃棄物処理設備 配管・弁	施設			液体廃棄物処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 2号炉	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		女川 3号炉	燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	常用電動設備	施設			常用電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	非常用交流電動設備	施設			非常用交流電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	所内常設蓄電池液電駆動設備	施設			所内常設蓄電池液電駆動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビット	施設			燃料取替用本ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	2次系減水タンク	施設			2次系減水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	2次系補給水ポンプ	施設			2次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料ビット	施設			使用済燃料ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用済燃料ビットポンプ	施設			使用済燃料ビットポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	給水処理設備 配管・弁	施設			給水処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設		燃料取扱設備及び貯蔵設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
女川 3号炉	常用電動設備	施設		女川 4号炉	常用電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系減水タンク	施設			1次系減水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸タンク	施設			ほう酸タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビット	施設			燃料取替用本ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水ポンプ	施設			1次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸ポンプ	施設			ほう酸ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化学体積制御設備 配管・弁	施設			化学体積制御設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	非常用炉心冷却設備 配管	施設			非常用炉心冷却設備 配管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	給水処理設備 配管・弁	施設			給水処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	常用電動設備	施設			常用電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 4号炉	非常用交流電動設備	施設		女川 5号炉	非常用交流電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系減水タンク	施設			1次系減水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸タンク	施設			ほう酸タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビット	施設			燃料取替用本ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水ポンプ	施設			1次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸ポンプ	施設			ほう酸ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化学体積制御設備 配管・弁	施設			化学体積制御設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	非常用炉心冷却設備 配管	施設			非常用炉心冷却設備 配管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	給水処理設備 配管・弁	施設			給水処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	常用電動設備	施設			常用電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
女川 5号炉	非常用交流電動設備	施設		女川 6号炉	非常用交流電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系減水タンク	施設			1次系減水タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸タンク	施設			ほう酸タンク	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	燃料取替用本ビット	施設			燃料取替用本ビット	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1次系補給水ポンプ	施設			1次系補給水ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ほう酸ポンプ	施設			ほう酸ポンプ	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化学体積制御設備 配管・弁	施設			化学体積制御設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	非常用炉心冷却設備 配管	施設			非常用炉心冷却設備 配管	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	給水処理設備 配管・弁	施設			給水処理設備 配管・弁	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	常用電動設備	施設			常用電動設備	施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉		相違理由																																																																																																																						
	添付資料1.13.1-(7)																																																																																																																								
	審査基準、基準規則と対応設備との対応表 (7/8) ■：重大事故等対応設備    □：重大事故等対応設備（設計基準拡張）																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 可種</th> <th>必要時間内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">200分</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">7名</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次系純水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr><td>補助給水ビット</td><td>常設</td></tr> <tr><td>可種型大型送水ポンプ車</td><td>可種</td></tr> <tr><td>可種型ホース・接続口</td><td>可種</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td><td>可種</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>非常用取水設備</td><td>既設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>既設</td></tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>補助給水ビット</td> <td>既設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">145分</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">7名</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次系純水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr><td>補助給水ビット</td><td>常設</td></tr> <tr><td>可種型大型送水ポンプ車</td><td>可種</td></tr> <tr><td>可種型ホース・接続口</td><td>可種</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td><td>可種</td></tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管</td><td>常設</td></tr> <tr><td>燃料補給設備</td><td>常設</td></tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top; font-size: small;">可種型大型送水ポンプ車による供給</td> <td>補助給水ビット</td> <td>常設</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">25分</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">2名</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>2次系純水ポンプ</td><td>常設</td></tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>常用電源設備</td><td>常設</td></tr> <tr><td>原水槽</td><td>常設</td></tr> <tr><td>ろ過水タンク</td><td>常設</td></tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top; font-size: small;">ろ過水タンクからの供給</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top; font-size: small;">ろ過水タンクからの供給</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">180分</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">3名</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>可種型ホース</td><td>可種</td></tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td><td>可種</td></tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td><td>常設</td></tr> <tr><td>原水槽</td><td>常設</td></tr> <tr><td>2次系純水タンク</td><td>常設</td></tr> </tbody> </table>		重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 可種	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照	ろ過水タンク	常設	2次系純水タンク	常設	補助給水ビット	常設	可種型大型送水ポンプ車	可種	可種型ホース・接続口	可種	ホース延長・回収車（送水車用）	可種	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	既設	非常用取水設備	既設	燃料補給設備	既設	可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	原水槽	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照	ろ過水タンク	常設	2次系純水タンク	常設	補助給水ビット	常設	可種型大型送水ポンプ車	可種	可種型ホース・接続口	可種	ホース延長・回収車（送水車用）	可種	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設	燃料補給設備	常設	可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	2次系純水タンク	常設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	常設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照	2次系純水ポンプ	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	常用電源設備	常設	原水槽	常設	ろ過水タンク	常設	ろ過水タンクからの供給	ろ過水タンク	常設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	ろ過水タンクからの供給	ろ過水タンク	常設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照	可種型ホース	可種	ホース延長・回収車（送水車用）	可種	給水処理設備 配管・弁	常設	原水槽	常設	2次系純水タンク	常設	
重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																					
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 可種	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																
可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	原水槽	常設	200分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																
	ろ過水タンク	常設																																																																																																																							
	2次系純水タンク	常設																																																																																																																							
	補助給水ビット	常設																																																																																																																							
	可種型大型送水ポンプ車	可種																																																																																																																							
	可種型ホース・接続口	可種																																																																																																																							
	ホース延長・回収車（送水車用）	可種																																																																																																																							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																							
	2次冷却設備（補助給水設備）配管	既設																																																																																																																							
	非常用取水設備	既設																																																																																																																							
燃料補給設備	既設																																																																																																																								
可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	既設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	原水槽	常設	145分	7名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																
	ろ過水タンク	常設																																																																																																																							
	2次系純水タンク	常設																																																																																																																							
	補助給水ビット	常設																																																																																																																							
	可種型大型送水ポンプ車	可種																																																																																																																							
	可種型ホース・接続口	可種																																																																																																																							
	ホース延長・回収車（送水車用）	可種																																																																																																																							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																							
	2次冷却設備（補助給水設備）配管	常設																																																																																																																							
	燃料補給設備	常設																																																																																																																							
可種型大型送水ポンプ車の水取とした。可種型大型送水ポンプ車による供給	2次系純水タンク	常設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	可種型大型送水ポンプ車による供給	補助給水ビット	常設	25分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																
	2次系純水ポンプ	常設																																																																																																																							
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																							
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																							
	常用電源設備	常設																																																																																																																							
	原水槽	常設																																																																																																																							
	ろ過水タンク	常設																																																																																																																							
ろ過水タンクからの供給	ろ過水タンク	常設	① ② ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	ろ過水タンクからの供給	ろ過水タンク	常設	180分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																
	可種型ホース	可種																																																																																																																							
	ホース延長・回収車（送水車用）	可種																																																																																																																							
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																							
	原水槽	常設																																																																																																																							
	2次系純水タンク	常設																																																																																																																							

【女川】  
設備の相違による  
対応手段の相違

【大飯】  
記載方針の相違  
（女川審査実績の  
反映）

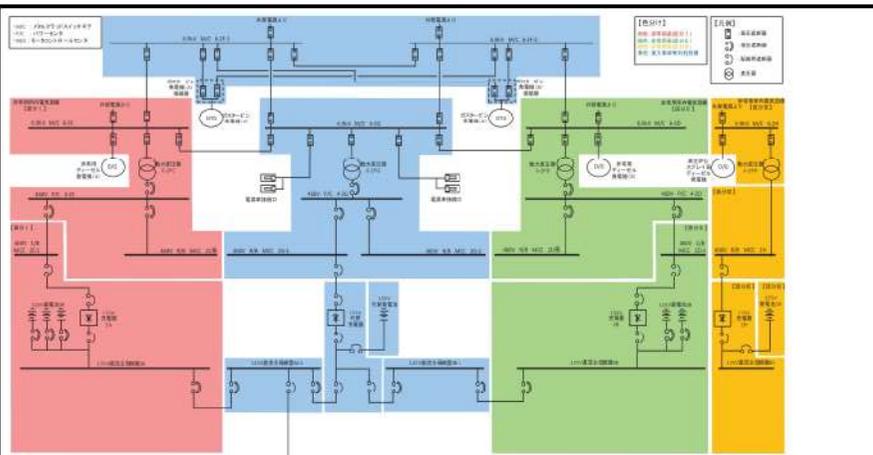
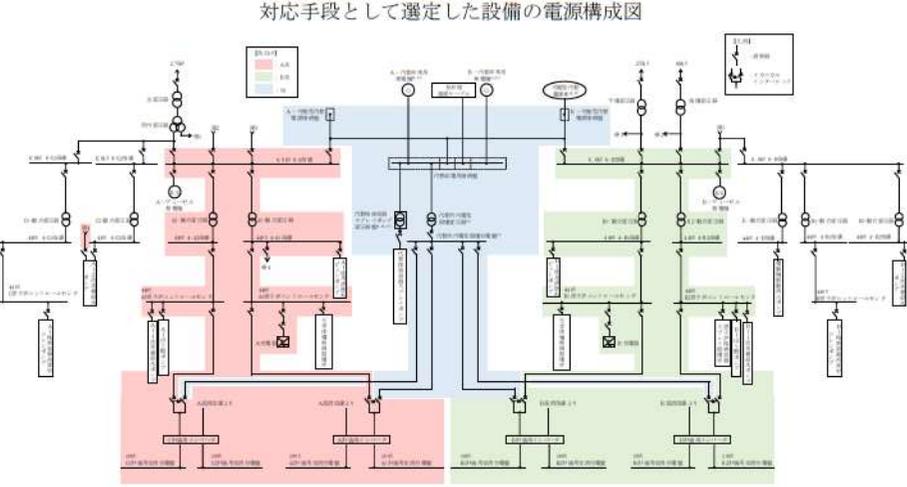
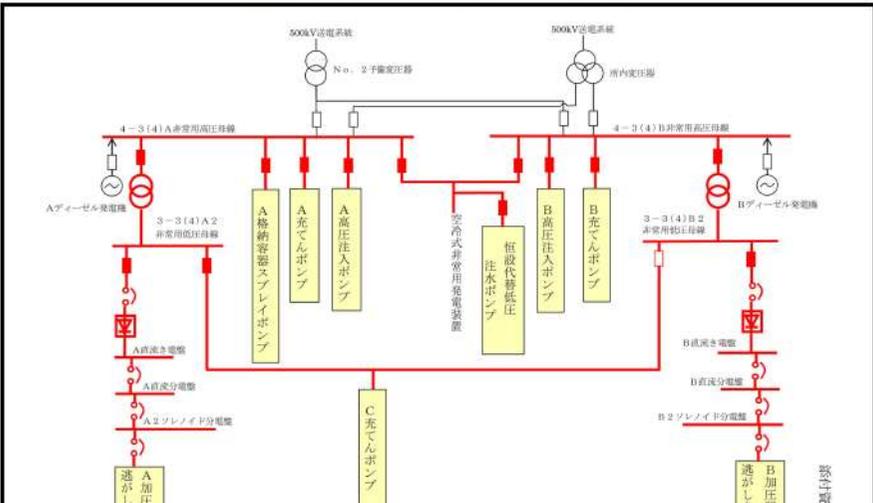
- ・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																
添付資料1.13.1-(8) 審査基準，基準規則と対処設備との対応表（8/8） ■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計標準拡張）																																																																																																																																		
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段																																																																																																																																		
自主対策																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設新設</th> <th>解説 対応番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）</td> <td>燃料取扱用本ピット</td> <td>既設</td> <td rowspan="13">① ③ ⑤ ⑥ ⑦</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>原子炉容器</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>代替所内電気設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>燃料取扱用本ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>スプレインゾル</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>スプレイリング</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>代替所内電気設備</td> <td>既設新設</td> </tr> <tr><td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設新設	解説 対応番号	燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）	燃料取扱用本ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦	補助給水ピット	既設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設新設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設新設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設新設	原子炉容器	既設	1次冷却設備	既設	非常用交流電源設備	既設新設	常設代替交流電源設備	既設新設	可搬型代替交流電源設備	既設新設	代替所内電気設備	既設新設	燃料取扱用本ピット	既設	補助給水ピット	既設	代替格納容器スプレイポンプ	新設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設新設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設新設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設新設	スプレインゾル	既設	スプレイリング	既設	原子炉格納容器	既設	非常用交流電源設備	既設新設	常設代替交流電源設備	既設新設	可搬型代替交流電源設備	既設新設	代替所内電気設備	既設新設	-	-	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設可搬</th> <th>必要時間内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）</td> <td>燃料取扱用本ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="13">10分</td> <td rowspan="13">1名</td> <td rowspan="13">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>1次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>ほう酸タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>1次系補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>ほう酸ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>充てんポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>再生熱交換器</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>化学体積制御設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>常川電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設可搬</td> </tr> <tr><td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td rowspan="13">電機補助給水ポンプ</td> <td>補助給水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="13">40分</td> <td rowspan="13">2名</td> <td rowspan="13">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>電動補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設可搬</td> </tr> <tr><td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設可搬	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）	燃料取扱用本ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照	1次系純水タンク	常設	ほう酸タンク	常設	1次系補助給水ポンプ	常設	ほう酸ポンプ	常設	充てんポンプ	常設	再生熱交換器	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	化学体積制御設備 配管・弁	常設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	1次冷却設備	常設	原子炉容器	常設	常川電源設備	常設	非常用交流電源設備	常設	常設代替交流電源設備	常設可搬	所内常設蓄電池式直流電源設備	常設	電機補助給水ポンプ	補助給水ピット	常設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照	2次系純水タンク	常設	電動補助給水ポンプ	常設	タービン動補助給水ポンプ	常設	2次冷却設備（給水設備）配管	常設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	蒸気発生器	常設	非常用交流電源設備	常設	常設代替交流電源設備	常設可搬	所内常設蓄電池式直流電源設備	常設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の比較対象となる添付資料1.13.2は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>
対応手段	機器名称	既設新設	解説 対応番号																																																																																																																															
燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）	燃料取扱用本ピット	既設	① ③ ⑤ ⑥ ⑦																																																																																																																															
	補助給水ピット	既設																																																																																																																																
	代替格納容器スプレイポンプ	新設																																																																																																																																
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設新設																																																																																																																																
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設新設																																																																																																																																
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設新設																																																																																																																																
	原子炉容器	既設																																																																																																																																
	1次冷却設備	既設																																																																																																																																
	非常用交流電源設備	既設新設																																																																																																																																
	常設代替交流電源設備	既設新設																																																																																																																																
	可搬型代替交流電源設備	既設新設																																																																																																																																
	代替所内電気設備	既設新設																																																																																																																																
	燃料取扱用本ピット	既設																																																																																																																																
補助給水ピット	既設																																																																																																																																	
代替格納容器スプレイポンプ	新設																																																																																																																																	
2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設新設																																																																																																																																	
非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設新設																																																																																																																																	
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設新設																																																																																																																																	
スプレインゾル	既設																																																																																																																																	
スプレイリング	既設																																																																																																																																	
原子炉格納容器	既設																																																																																																																																	
非常用交流電源設備	既設新設																																																																																																																																	
常設代替交流電源設備	既設新設																																																																																																																																	
可搬型代替交流電源設備	既設新設																																																																																																																																	
代替所内電気設備	既設新設																																																																																																																																	
-	-	-	-																																																																																																																															
対応手段	機器名称	常設可搬	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																																																																																																													
燃料取扱用本ピットから補助給水タンクへ（取水）	燃料取扱用本ピット	常設	10分	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																													
	1次系純水タンク	常設																																																																																																																																
	ほう酸タンク	常設																																																																																																																																
	1次系補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																
	ほう酸ポンプ	常設																																																																																																																																
	充てんポンプ	常設																																																																																																																																
	再生熱交換器	常設																																																																																																																																
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																
	化学体積制御設備 配管・弁	常設																																																																																																																																
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																
	1次冷却設備	常設																																																																																																																																
	原子炉容器	常設																																																																																																																																
	常川電源設備	常設																																																																																																																																
非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																	
常設代替交流電源設備	常設可搬																																																																																																																																	
所内常設蓄電池式直流電源設備	常設																																																																																																																																	
電機補助給水ポンプ	補助給水ピット	常設	40分	2名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																													
	2次系純水タンク	常設																																																																																																																																
	電動補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																
	タービン動補助給水ポンプ	常設																																																																																																																																
	2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																
	給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																
	蒸気発生器	常設																																																																																																																																
	非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																
	常設代替交流電源設備	常設可搬																																																																																																																																
	所内常設蓄電池式直流電源設備	常設																																																																																																																																

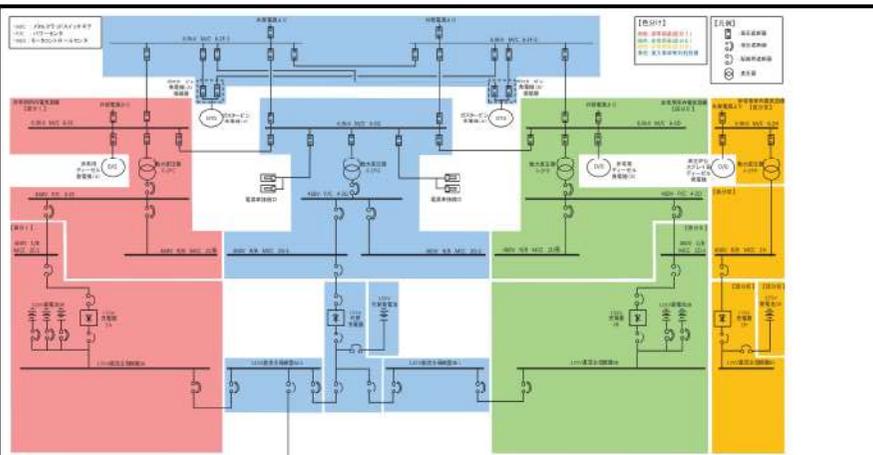
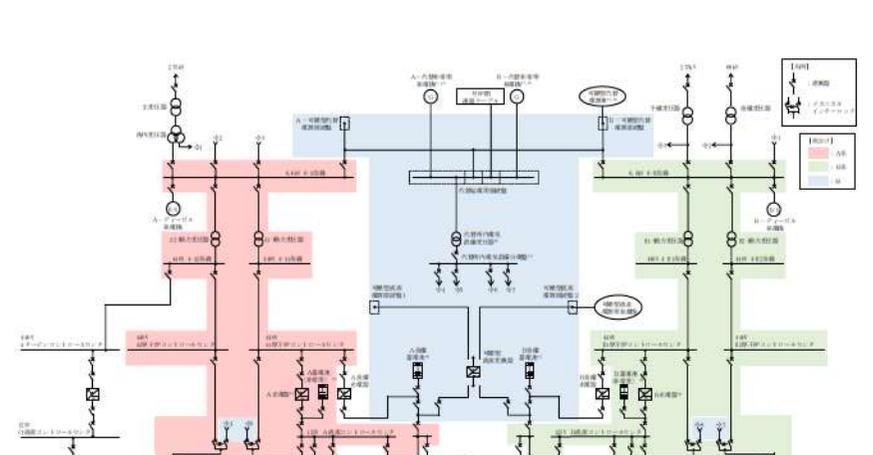
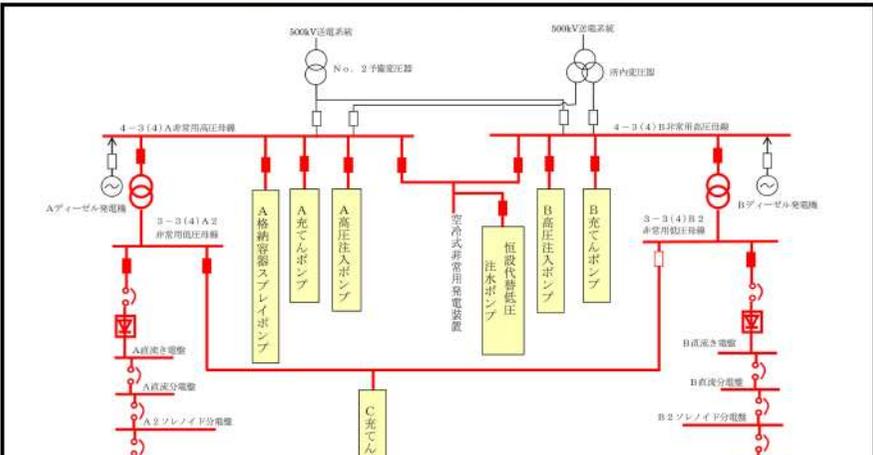
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料1.13.2を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.13.2-(1)</p> <p>対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p>第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>※：常設代替交流電源設備の主要設備              ◎：稼働代替交流電源設備の主要設備              ○：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】                  設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は交流と直流で分割</li> <li>・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</li> </ul>
<p>【比較のため大飯の添付資料1.13.1を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		

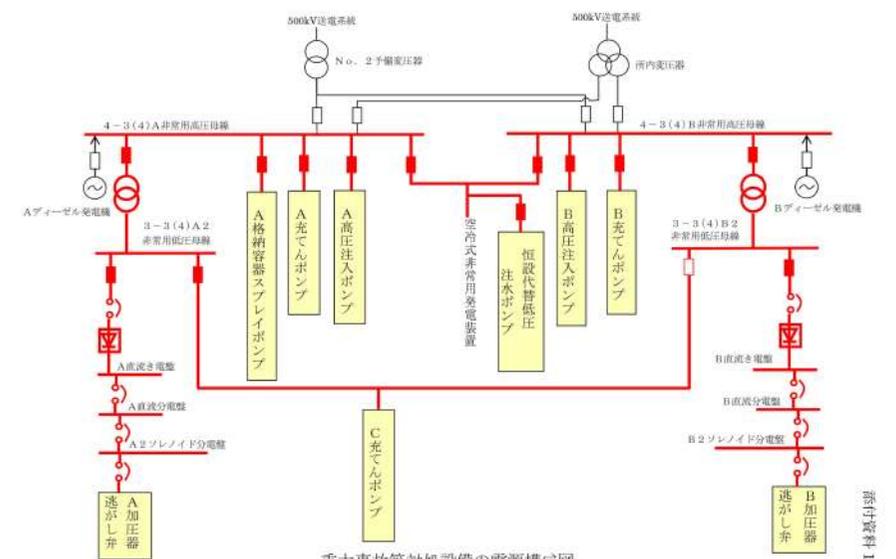
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>大飯発電所 3 / 4号炉</p> <p>【比較のため女川の添付資料 1.13.2 を掲載】</p>  <p>第1図 対応手段として選定した設備の電源構成</p> <p>添付資料 1.13.2</p>	<p>泊発電所 3号炉</p> <p>添付資料 1.13.2-(2)</p>  <p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>※1：常設代替交流電源設備の主要設備                  ※2：可搬型代替交流電源設備の主要設備                  ※3：代替用内電気設備の主要設備                  ※4：所内設置電式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】                  設備の相違による電源構成の相違</p>
<p>【比較のため大飯の添付資料 1.13.1 を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>		<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は交流と直流で分割</li> <li>・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p>添付資料 1.13.1</p>	<p>比較表 p 1.13-540 から p 1.13-541 にて比較</p>	



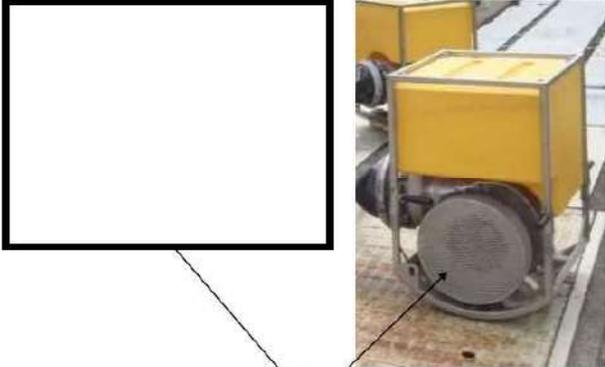
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.13.3						添付資料1.13.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設／可搬	耐震性	容量	揚程	台数	記載表現の相違 （女川審査実績の反映） ・多様性拡張設備から自主対策設備に変更。 ・設備名称のため中央及び現場手動操作の記載を削除  設備の相違（相違理由①）
N o. 3 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	2基	
電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約140m <sup>3</sup> /h	約950m	2台	タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約115m <sup>3</sup> /h	約900m	1台	
タービン動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約250m <sup>3</sup> /h	約950m	1台	電動補助給水ポンプ	常設	Sクラス	約90m <sup>3</sup> /h	約900m	2台	
A、B 2次系純水タンク	常設	Cクラス	8,500m <sup>3</sup>	—	2基	代替給水ピット	常設	Cクラス	約473m <sup>3</sup>	—	1基	
純水ポンプ	常設	Cクラス	約220m <sup>3</sup> /h	約140m	3台	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m <sup>3</sup> /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m <sup>3</sup>	—	1基	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m <sup>3</sup>	—	2基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m <sup>3</sup> /h	約620m	1台	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	4基	
N o. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	8,000m <sup>3</sup>	—	1基	燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	約2,000m <sup>3</sup>	—	1基	
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m <sup>3</sup> /h	83m	1台	2次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	265m <sup>3</sup> /h	92m	2台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m <sup>3</sup> /h	55m	1台	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m <sup>3</sup>	—	1基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m <sup>3</sup>	—	2基	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m <sup>3</sup> /h	80m	2台	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m <sup>3</sup>	—	2基	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m <sup>3</sup>	—	2基	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h	72m	2台	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h	80m	2台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	138m	1台	
A、B 充てんポンプ	常設	Sクラス	約45m <sup>3</sup> /h	1,770m	2台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	133m	1台	
C 充てんポンプ	常設	Sクラス	約14m <sup>3</sup> /h	—	1台	使用済燃料ピットポンプ	常設	Bクラス	約550m <sup>3</sup> /h	75m	2台	
加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	51m <sup>3</sup>	—	1基	加圧器逃がしタンク	常設	Bクラス	約37m <sup>3</sup>	—	1基	
格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	90m	2台	格納容器冷却材ドレンポンプ	常設	Bクラス	23m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
使用済燃料ピットポンプ	常設	Bクラス	約546m <sup>3</sup> /h	60m	2台							
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基							
格納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基							
A 余熱除去ポンプ	常設	Sクラス	約1,020m <sup>3</sup> /h	約91m	1台							
ポンプ車	可搬	—	120m <sup>3</sup> /h	85m	1台							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、<b>炉心冷却</b>、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を<b>送水車</b>で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、<b>大容量ポンプ</b>を使用して海水を原子炉補機冷却水系に通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、<b>送水ポンプ</b>及び<b>送水ホース</b>には影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプ吸込み部 (送水車)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 水中ポンプ吸込み部 (大容量ポンプ)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">海水取水時の異物管理について</p> <p>重大事故等時には、<b>発電用原子炉の冷却</b>、格納容器スプレイを実施するが、水源である常設設備は水量が有限であるため、取水路等から海水を<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>で常設設備等に供給を実施する。また、原子炉補機冷却機能が喪失した場合は、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>を使用して海水を原子炉補機冷却水系へ通水する。</p> <p>その他使用済燃料ピットへの供給、原子炉格納容器への放水等、取水路等から取水する水の使用用途は多岐に渡る。</p> <p>津波等の自然災害の影響により、取水箇所至瓦礫等の漂流物が浮遊又は水底に堆積していることが懸念されるが、水中ポンプの吸込み部に設置されているストレーナによって、メッシュより大きな異物の混入は防止される。また、ストレーナのメッシュより小さな異物が海水と同時に取水されたとしても、水中ポンプ、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>及び<b>可搬型ホース</b>には影響なく、規定の流量や送水機能は維持が可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 水中ポンプの吸込み部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ストレーナ</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>② 可搬型大型送水ポンプ車の吸込み部（水中ポンプからのホース接続部）</p> </div>	<p>記載表現の相違              (女川審査実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.5</p> <p>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</p> <p>【水源切替操作】</p> <p>1. 操作概要 補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替準備のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P. 10. 3m, T.P. 24. 8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 40分 操作時間 (訓練実績等) : 21分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。 操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。 連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div data-bbox="1169 986 1485 1225" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 24. 8m)</p> </div> <div data-bbox="1543 986 1854 1225" style="text-align: center;">  <p>補助給水ピット水源切替 系統構成 (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>設備の相違 (相違理由⑩)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊3号炉の補助給水ピットから2次系純水タンクへの水源切替え操作は現場作業を伴うため, 操作の成立性について記載している。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた復水ピットへの補給</p> <p>【No. 3淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      No. 3淡水タンクを水源とした、復水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名/ユニット                      操作時間(想定): 15分                      操作時間(実績): 8分(現場移動時間を含む。)</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.6</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      2次系純水タンクを水源とした、2次系補給水ポンプによる補助給水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名                      操作時間(想定) : 25分                      操作時間(訓練実績等): 12分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は、各水源から復水ピットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>泊は、各水源から補助給水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。(伊方3号炉と同様)</li> </ul> <p>設備の相違(相違理由①)</p> <p>記載方針の相違(女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業場所の追加</li> <li>以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。(女川と同様)</li> <li>放射線防護具着用時間を含めていることを記載。(伊方、玄海と同様)</li> <li>以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div data-bbox="320 507 795 826" data-label="Image"> </div> <p>復水ピット補給弁開操作                  (原子炉周辺建屋 E.L.+26.0m)</p>	<p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1335 531 1688 798" data-label="Image"> </div> <p>補助給水ピット供給                  ライン系統構成                  (周辺補機棟 T.P. 24.8m)</p>	<p>記載表現の相違                  (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス性を移動経路と記載する。</li> <li>・建屋内照明消灯時でもアクセス可能であることを記載。</li> <li>・アクセスルート上に支障となる設備がないことを記載。</li> <li>・防護具は必要に応じて着用する記載としている。</li> <li>・連絡手段の記載充実。</li> <li>・以降、同様の相違理由は省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由															
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(2)</p> <p>【No. 2淡水タンクから復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      No. 2淡水タンクから復水ピットへ補給するため、消火栓から復水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：45分                      作業時間（実績）：35分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <table border="1" data-bbox="309 786 844 912"> <thead> <tr> <th>号炉</th> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>屋内消火栓～復水ピット入口扉</td> <td>45m</td> <td>40A</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="385 933 553 1061"></div> <div data-bbox="602 933 768 1061"></div> <div data-bbox="385 1098 553 1225"></div> <div data-bbox="602 1098 768 1225"></div> <div data-bbox="385 1270 553 1398"></div> <div data-bbox="602 1270 768 1398"></div> </div>	号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由③）</p>
号炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数													
3号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													
4号炉	屋内消火栓～復水ピット入口扉	45m	40A	3本													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="439 746 689 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.10.3m        屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="436 746 689 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1429 178 1617 201" style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</div> <table border="1" data-bbox="1137 201 1906 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 600m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150A</td> <td>約 12 本×1 系統 約 5 本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1393 391 1644 577" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1272 592 1765 635" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1207 663 1462 850" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 868 1464 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1572 663 1827 850" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1570 868 1830 890" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1209 935 1462 1121" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 1137 1464 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1568 927 1834 1129" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1597 1137 1807 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 12 本×1 系統 約 5 本×1 系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 12 本×1 系統 約 5 本×1 系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="436 746 689 801" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟T.P.40.3m, T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間(想定) : 40分        操作時間(訓練実績等): 20分(現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具(全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等)を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。        連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1339 965 1680 1220" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ピットへの補給        系統構成        (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p>	<p>設備の相違(相違理由④)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="439 767 689 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.7-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要        2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所        屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数           ：3名        作業時間（想定）     ：180分        作業時間（訓練実績等）：135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性   ：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p>	<p style="color: red; font-size: small;">設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="398 778 730 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.33.1m        屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1128 177 1897 300" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1384 384 1641 580" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1339 592 1682 655" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1205 675 1462 863" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 879 1462 903" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150 A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1570 675 1827 863" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1570 879 1827 903" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150 A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1205 959 1462 1147" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1205 1171 1462 1262" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div data-bbox="1563 951 1827 1155" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1592 1171 1805 1238" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 762 683 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.8-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                  代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 40分                  操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから，建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また，アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また，作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり，事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し，防護具（全面マスク，個人線量計，ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり，容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも，携行型通話装置を使用し，確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 967 1673 1206" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから                  補助給水ピットへの補給系統構成                  （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.5-(3)</p> <p>【海水を用いた復水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      海水を復水ピットに補給するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：5名/ユニット                      作業時間（想定）：3.4時間                      作業時間（実績）：3.4時間以内（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      なお、建屋への入口扉は2箇所からアクセス可能であり、これが両方とも使用できない場合でも、十分に距離のある別の入口扉からアクセス可能である。建屋入口扉の配置を「建屋入口扉へのアクセス箇所」に示す。                      また、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。</p> <p>作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：送水車の水中ポンプの設置要領は、他の水中ポンプ設置と同等であり、作業は実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要                      海水を補助給水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。海水取水箇所へ水中ポンプを設置し、可搬型大型送水ポンプ車へ接続する。</p> <p>2. 作業場所                      周辺補機棟T.P.33.1m、T.P.10.3m                      屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：6名                      作業時間（想定）：200分                      作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                      移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。                      屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。                      また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。                      海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違                      ・大飯は添付資料 1.5.6 ので水中ポンプ設置の記載をしている。                      泊は各添付資料にて記載する。                      記載内容は同様である。                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>運用の相違                      ・泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載内容の相違                      ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>設備の相違                      ・泊は結合金具式である。（女川同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p data-bbox="369 159 761 183">建屋入口扉へのアクセス箇所（3号炉の例）</p> <div data-bbox="145 199 985 670" style="border: 2px solid black; height: 295px; width: 375px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="403 678 985 710" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 260px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="1377 774 1646 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉				相違理由											
3号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約48本	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table>				敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統
			敷設ルート						敷設長さ	ホース口径	本数									
			海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口						約 400m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 8本×1系統 約 5本×1系統									
	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統																
	150mm																			
	200mm																			
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約47本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約39本																
			150mm																	
			200mm																	
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約300m	100mm	約17本																	
		150mm																		
		200mm																		
4号炉	海水ポンプ室前～復水ピット (背面道路経由)	約1,550m	100mm	約43本																
			150mm																	
			200mm																	
	古見橋付近～復水ピット (背面道路経由)	約1,450m	100mm	約42本																
			150mm																	
			200mm																	
	放水路ピット～復水ピット (中央道路経由)	約1,100m	100mm	約37本																
			150mm																	
200mm																				
放水路ピット～復水ピット (D/G室前経由)	約700m	100mm	約25本																	
		150mm																		
		200mm																		



① 送水車外観



② 可搬型ホース接続 (接続前)



③ 可搬型ホース接続 (接続後)



④ 復水ピット入口扉



⑤ 可搬型ホース～復水ピット

②、③の写真はイメージ



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外)



ホース延長・回収車（送水車用）による  
可搬型ホース敷設  
(屋外)



可搬型ホース（150 A）接続前



可搬型ホース（150 A）接続後



可搬型大型送水ポンプ車の設置  
ポンプ車周辺のホース敷設  
(屋外)



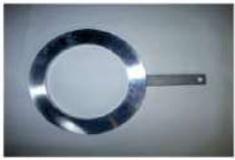
海水取水箇所への水中ポンプ設置  
(屋外)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.9-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                  海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 40分                  操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動，放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト，懐中電灯等を携行していることから，建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また，アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また，作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり，事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し，防護具（全面マスク，個人線量計，ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性 : 通常行う弁操作と同じであり，容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも，携行型通話装置を使用し，確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 976 1675 1219" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給                  系統構成                  （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p style="color: red;">運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は可搬型ホースを給水ラインに接続後，系統構成を実施する必要がある。                  （伊方3号炉同様）</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.6</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから代替水源への水源切替</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（ディスタンスピース接続）】</p> <p>1. 作業概要                      燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア                              (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ ディスタンスピース取替え                              (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ ペンテングホース接続                              (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料1.13.10</p> <p style="text-align: center;">燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの切替え                      (原子炉容器への注水・原子炉格納容器内へのスプレイ)</p> <p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（炉心注水））】</p> <p>1. 操作概要                      炉心注水のため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      [恒設代替低圧注水ポンプの水源とする場合]                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）                      [充てんポンプの水源とする場合]                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：26分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携帯していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ピット水源切替え系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<p>【燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      燃料取替用水ピットから補助給水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P.10.3m、T.P.17.8m                      原子炉補助建屋T.P.10.3m、T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      (1) 原子炉容器への注水時                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      (2) 原子炉格納容器内へのスプレイ時                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：23分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携帯していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携帯して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携帯型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット                      水源切替系統構成                      (周辺補機棟 T.P.17.8m)</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。</li> <li>泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替（系統構成（格納容器スプレイ））】</p> <p>1. 操作概要                      格納容器スプレイのため、燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（実績）：27分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="248 791 521 997"> </div> <div data-bbox="600 791 873 997"> </div> </div> <p>① 燃料取替用水ピット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> <p>② 燃料取替用水ピット水源切替系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、炉心注水が恒設代替低圧注水ポンプ又は充てんポンプで操作時間が異なるため、炉心注水及び格納容器スプレイで別の添付資料を作成している。</li> <li>・泊は、代替格納容器スプレイポンプのみであるため、原子炉容器への注水及び原子炉格納容器スプレイで共通の成立性を記載する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

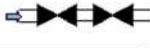
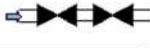
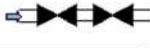
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.7</p> <p>復水ピットから燃料取替用水ピット間の<b>ディスタンスピースの必要性及び取替え作業の確実性</b>について</p> <p>復水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため<b>ディスタンスピース</b>による隔離を選択した。</p> <p><b>【ディスタンスピースの必要性】</b></p> <p>○復水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として<b>信頼性の高いディスタンスピースを設置することにより</b>、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【ディスタンスピース取替え作業の確実性】</b></p> <p>○ディスタンスピース取替え作業は、一般的なガスケット取替え作業と同様であるため、<b>適切な工具を使用すれば、容易かつ確実に作業が可能である</b>。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、<b>ダブルチェックにより確実に実施可能である</b>。</p> <p>○さらに、<b>訓練用モックアップ（新設）又は実機によるディスタンスピース取替え作業及び系統構成作業について、定期的な訓練を実施し、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める</b>。</p> <p>1. <b>ディスタンスピースの必要性</b></p> <p>復水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として<b>信頼性の高いディスタンスピースを設置した</b>。</p> <p>バルブによる隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、<b>ディスタンスピースは物理的障壁として信頼性が高く、2次側への放射性物質の混入による汚染拡大を確実に防止可能であり、通常時の管理区域の区分設定を厳格に管理できる</b>。</p> <p>PWRプラントには、設計思想として、<b>放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する配管は設けない</b>。ただし、一部機器の洗浄ラインやポンプのシール水ラインについては、<b>放射性物質を含む系統と接続しているものの、非放射性側の系統圧力を高くすることで、放射性物質の漏えい防止を図っている</b>。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.11</p> <p>補助給水ピットから燃料取替用水ピット間の<b>接続配管</b>について</p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離については、「隔離の信頼性」及び「作業の確実性」についての検討を行った。また、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクについて検討した結果、漏えいのリスクを抑えるため<b>直列に2個設置した隔離弁</b>による隔離を選択した。</p> <p><b>【補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離】</b></p> <p>補助給水ピットと燃料取替用水ピットの接続は、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、放射性物質が管理区域外へ漏えいすることへのリスクを排除するために、物理的障壁として<b>直列に2個設置した隔離弁</b>により、非管理区域と管理区域の確実な分離管理を可能としている。</p> <p><b>【切替えの容易性】</b></p> <p>運転員が実施する弁操作による系統構成作業は、<b>通常時に行う弁操作と同様であるため、容易かつ確実に実施可能である</b>。また、系統構成作業については、手順書を整備しており、<b>確実に実施可能である</b>。</p> <p>さらに、系統構成作業について、定期的な訓練を実施するとともに、<b>通常時に行う弁操作経験を積むことにより、確実な作業が行われるよう技能維持及び向上に努める</b>。</p> <p>1. <b>補助給水ピットと燃料取替用水ピットとの隔離</b></p> <p>補助給水ピット（純水内包）と燃料取替用水ピット（ほう酸水内包：放射性物質含む。）の接続については、放射性物質を含む系統と含まない系統を接続する構成であり、管理区域と非管理区域を厳格に隔離し漏えいリスクを排除するため、物理的障壁として<b>隔離弁を直列に2個設置した</b>。</p> <p>弁による隔離では誤操作やシートリークの懸念があるが、<b>直列に2個設置した隔離弁で隔離し、通常時開閉操作をしないことから異物の噛み込みによるシートリークが発生する可能性が極めて小さいこと及び施錠管理をすることで誤操作を防止できることから、ディスタンスピース及びスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できると考えている</b>。</p>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

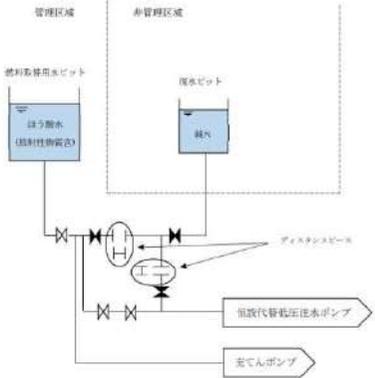
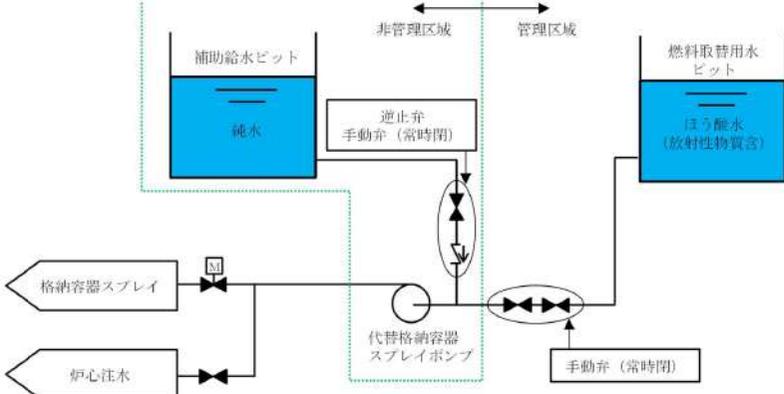
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p>(1) 放射性物質を含む配管と含まない配管との接続に対する設計上の考慮                  泊3号炉の既設設備における放射性物質を含む系統と放射性物質を含まない系統が接続している場合の隔離は、以下の通りとしている。</p> <p>①放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統に導く配管                  放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管については、放射性物質が放射性物質を含まない系統に逆流することを防止するため、逆止弁を設置し隔離する設計としていることから、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」（以下「技術基準」という。）第三十条について満足している。</p> <table border="1" data-bbox="1220 446 1836 798"> <thead> <tr> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則</th> <th>実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。</td> <td>第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red;">既設の系統における同様な例との比較を以下に示す。</p> <table border="1" data-bbox="1097 901 1960 1133"> <thead> <tr> <th></th> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>逆流防止の系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">既設の例*</td> <td>蓄圧タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統（窒素ガス）</td> <td>窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用</td> <td>4.9MPa/132℃</td> <td>逆止弁および空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>加圧器逃がしタンク</td> <td>原子炉補給水系統（1次系純水）</td> <td>加圧器逃がしタンク減圧用</td> <td>0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃</td> <td>逆止弁 空気作動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>体積制御タンク</td> <td>気体廃棄物処理系統等（水素ガス）</td> <td>水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用</td> <td>0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃</td> <td>逆止弁 手動弁（1個）</td> </tr> <tr> <td>今回設置</td> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>補助給水ビット側逆止弁および手動弁（1個）</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*：他にも、タンク等へに補給（2次系純水）およびカバーガス（窒素ガス等）等の例が多数ある。</small></p>	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈	(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。		放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成	既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）	今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	補助給水ビット側逆止弁および手動弁（1個）	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由②）</p>
実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈																																	
(逆止め弁) 第三十条 放射性物質を含む一次冷却材を内包する容器若しくは管又は放射性廃棄物を処理する設備（排気筒並びに第四十条及び第四十三条に規定するものを除く。第四十七条において同じ。）へ放射性物質を含まない流体を導く管には、逆止め弁を設けなければならない。ただし、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない流体を導く管に逆流するおそれがない場合は、この限りでない。	第30条（逆止め弁） 1 第30条に規定する「逆流するおそれがない場合」とは、直接接続されていない場合、又は十分な圧力差を有している場合をいう。																																	
	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	逆流防止の系統構成																													
既設の例*	蓄圧タンク	気体廃棄物処理系統（窒素ガス）	窒素ガスポンプによる蓄圧タンク加圧及びカバーガスの供給用	4.9MPa/132℃	逆止弁および空気作動弁（1個）																													
	加圧器逃がしタンク	原子炉補給水系統（1次系純水）	加圧器逃がしタンク減圧用	0.7MPa/170℃ 1.4MPa/65℃	逆止弁 空気作動弁（1個）																													
	体積制御タンク	気体廃棄物処理系統等（水素ガス）	水素ガスポンプによる体積制御タンク加圧用	0.5MPa/95℃ 0.98MPa/50℃	逆止弁 手動弁（1個）																													
今回設置	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	補助給水ビット側逆止弁および手動弁（1個）																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>②放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管</p> <p>泊3号炉の既設の系統には、上記の例とは逆に、非常時に放射性物質を含む流体を放射性物質を含まない系統に導く配管として、燃料取替用水ピットから原子炉補機冷却水サージタンクに補給する配管がある。この場合は、放射性物質を含む流体が放射性物質を含まない系統に誤って漏れいすることを防止するため、直列に2個設置した隔離弁で隔離を行っている。</p> <table border="1" data-bbox="1093 323 1946 443"> <thead> <tr> <th>放射性物質を含む系統の機器名称</th> <th>放射性物質を含まない系統（流体）</th> <th>用途</th> <th>放射性物質を含まない系統の圧力/温度</th> <th>系統構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ピット</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水系統</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給</td> <td>1.4MPa/95℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>0.98MPa/65℃</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイライン</td> <td>補助給水ライン</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ試験用</td> <td>0MPa/95℃</td> <td>燃料取替用水ピット側手動弁（3個）</td> </tr> </tbody> </table> <p>代替格納容器スプレイポンプの入口配管である燃料取替用水ピットと補助給水ピットが接続されている重大事故等対処設備の配管も、上記と同様に放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管であることから、逆止弁を設けるとともに、手動弁1個を常時閉止することとしており、「技術基準」第三十条について満足している。さらに、燃料取替用水ピット側の配管に直列に2個設置した隔離弁を常時閉止することで、ディスタンスピースやスプールピースによる隔離と同等の信頼性が確保できる。</p> <table border="1" data-bbox="1102 767 1957 1166"> <thead> <tr> <th></th> <th>ディスタンスピース</th> <th>手動弁</th> <th>スプールピース</th> <th>フレキシブル配管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概要図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>隔離の信頼性</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏れ管理を行うことで信頼性を向上できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> <td>物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作業性</td> <td>作業内容</td> <td>ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>半操作（2箇所）</td> <td>スプールピース取替作業 半操作（2箇所）</td> <td>カブラ取替作業 半操作（2箇所）</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作のみであり、作業性に優れる</td> <td>半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> <td>半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る</td> </tr> <tr> <td>評価結果</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成	燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁	0.98MPa/65℃	手動弁	代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）		ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管	概要図					隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏れ管理を行うことで信頼性を向上できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ取替作業 半操作（2箇所）	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る	評価結果	○	◎	○	○	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
放射性物質を含む系統の機器名称	放射性物質を含まない系統（流体）	用途	放射性物質を含まない系統の圧力/温度	系統構成																																														
燃料取替用水ピット	原子炉補機冷却水系統	原子炉補機冷却水サージタンクへの非常時の補給	1.4MPa/95℃	手動弁																																														
			0.98MPa/65℃	手動弁																																														
代替格納容器スプレイライン	補助給水ライン	代替格納容器スプレイポンプ試験用	0MPa/95℃	燃料取替用水ピット側手動弁（3個）																																														
	ディスタンスピース	手動弁	スプールピース	フレキシブル配管																																														
概要図																																																		
隔離の信頼性	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	経常時閉鎖操作がなく、結果として異物の噛み込みによるリークが発生する可能性が極めて小さいこと。直列に2個設置した隔離弁で隔離し漏れ管理を行うことで信頼性を向上できることから、2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能	物理的隔離により2次側への放射性物質の流入による汚染拡大や放出を確実に防止可能																																														
作業性	作業内容	ディスタンスピース取替作業 半操作（2箇所）	半操作（2箇所）	スプールピース取替作業 半操作（2箇所）	カブラ取替作業 半操作（2箇所）																																													
	評価	半操作に加えてディスタンスピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作のみであり、作業性に優れる	半操作に加えてスプールピース取替作業が必要のため、手動弁より劣る	半操作に加えてカブラ取替作業が必要のため、手動弁より劣る																																													
評価結果	○	◎	○	○																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p data-bbox="465 113 667 135">大飯発電所3/4号炉</p> <div data-bbox="309 146 810 651" style="border: 2px solid black; height: 316px; width: 224px;"></div> <p data-bbox="322 671 745 687">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（1/2）</p> <div data-bbox="501 703 1012 735" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>  <p data-bbox="353 1257 770 1273">復水ピットから燃料取替用水ピット間ディスタンスピース設置箇所（2/2）</p>	<p data-bbox="1451 113 1592 135">泊発電所3号炉</p> <div data-bbox="1106 156 1957 751" style="border: 2px solid black; height: 373px; width: 380px;"></div> <p data-bbox="1256 762 1794 785">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（1/2）</p>  <p data-bbox="1256 1241 1794 1264">補助給水ピットから燃料取替用水ピット間弁設置箇所（2/2）</p> <div data-bbox="1384 1279 1951 1311" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p data-bbox="2002 767 2141 815">設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

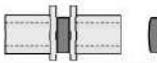
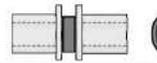
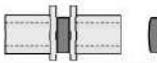
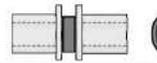
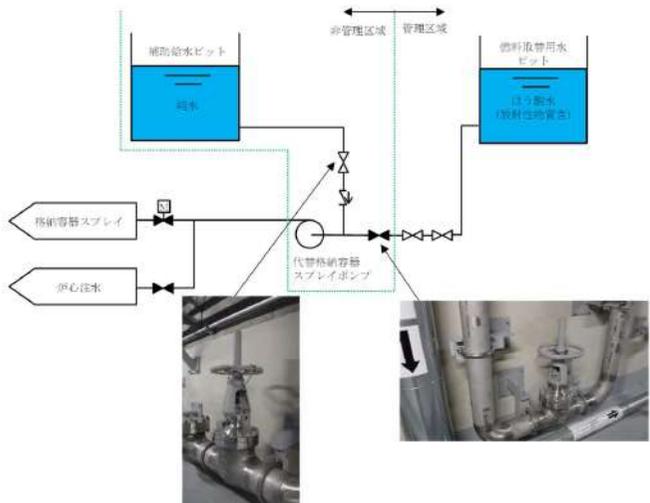
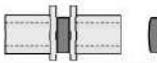
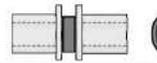
泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p data-bbox="1070 140 1964 225">(2) 放射性物質を含む配管と含まない配管の隔離に用いる弁の施設管理          放射性物質を含まない流体を放射性物質を含む系統へ導く配管に設置する逆止弁等の施設管理は以下のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1093 268 1948 501"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>系統圧力/温度</th> <th>対象隔離弁</th> <th>隔離弁名称内容</th> <th>頻度(回/定期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">既設の例</td> <td rowspan="2">加圧タンク 薬液ガスライン</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加圧配管がしタンク 1次系補給水ライン</td> <td>空気作動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td></td> <td>1/6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">化学体積調節タンク 水素ガスライン</td> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(ゴムダイヤフラム弁)</td> <td>分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)</td> <td>1/7</td> </tr> <tr> <td>逆止弁(リフト式)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン</td> <td>手動弁(玉形弁)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン</td> <td>逆止弁(スイング式)</td> <td>分解点検 (シート面の写り確認含む。)</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>手動弁(玉形弁)</td> <td>(検討中)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1070 549 1964 633">なお、今回設置する代替格納容器スプレイポンプ入口配管については、上記に加えて、直列に2個設置した隔離弁の間にリーク確認用のドレン配管を設けており、弁を分解点検した場合は、水張り後に漏えい確認を行うこととしている。</p>	系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度(回/定期)	既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	空気作動弁(玉形弁)		1/6	加圧配管がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	逆止弁(スイング式)		1/6	化学体積調節タンク 水素ガスライン	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/20	燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10	手動弁(玉形弁)	(検討中)		<p data-bbox="2000 762 2145 815">設備の相違（相違理由②）</p>
系統	系統圧力/温度	対象隔離弁	隔離弁名称内容	頻度(回/定期)																																										
既設の例	加圧タンク 薬液ガスライン	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																										
		空気作動弁(玉形弁)		1/6																																										
	加圧配管がしタンク 1次系補給水ライン	空気作動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																										
		逆止弁(スイング式)		1/6																																										
	化学体積調節タンク 水素ガスライン	逆止弁(リフト式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																										
		手動弁(ゴムダイヤフラム弁)	分解点検 (ダイヤフラム交換含む。)	1/7																																										
逆止弁(リフト式)		分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/20																																											
燃料冷却用冷却水からの 原子炉補機冷却水サージタンク 補給水ライン	手動弁(玉形弁)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																											
	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																											
今回設置 代替格納容器 スプレイポンプ 入口ライン	逆止弁(スイング式)	分解点検 (シート面の写り確認含む。)	1/10																																											
	手動弁(玉形弁)	(検討中)																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由						
<p>2. ディスタンスピース取替え作業の確実性</p> <p>(1) ディスタンスピース取替え作業</p> <p>ディスタンスピースの取替え作業は、以下のとおり一般的なガスケット取替え作業と同様であり、系統の圧力もかからないため容易に実施することができる。</p> <p>○作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボルト緩め(8本)及びボルト取外し(そのうち4本)</li> <li>②フランジ面間を広げる(シノ使用)</li> <li>③ディスタンスピース及びガスケット取替え(閉止用⇒通水用)</li> <li>④ボルト取付け及びボルト締付け</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ボルト材質はSCM435(クロモリ鋼)であり管理区域内の湿度及び温度が一定の場所に設置されているため腐食の懸念はほとんどなく、また、日常パトロール及び定期的な訓練での取替え作業にて健全性は確認可能である。</p> </div> <p>ディスタンスピース(通水用)及び工具が入った工具箱は、作業場所付近に固縛して備え付け、速やかに取替え作業ができるようにしている。また、工具の員数については日常パトロール等で確認している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px;">通常時</th> <th style="padding: 2px;">使用時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">ディスタンスピース (閉止用)</td> <td style="padding: 2px;">ディスタンスピース (通水用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">    </div> </div>	通常時	使用時	ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)			<p>2. 切替えの容易性</p> <p>(1) 水源切替え操作</p> <p>弁操作は、通常時に行う運転操作と同様であり、容易に実施することができる。</p> <p>操作内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①燃料取替用水ビットから補助給水ビットへの水源切替として、補助給水ビット側の入口止め弁を「開」とする。</li> <li>②燃料取替用水ビット側の入口止め弁を「閉」とする。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>設備の相違(相違理由②)</p>
通常時	使用時							
ディスタンスピース (閉止用)	ディスタンスピース (通水用)							
								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																		
<p>(2) 工具の最適性</p> <p>○ボルト緩め及び締付け工具（作業①、④）</p> <p>ボルトの緩め及び締付け作業を実施するためには、一般工具である片ロメガネレンチ及びソケットレンチが最適である。</p> <table border="1" data-bbox="268 300 828 466"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>作業時間（緩め）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ</td> <td>5分</td> <td>・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 481 555 619"> <p>片ロメガネレンチ(30mm)</p> </div> <div data-bbox="560 481 857 619"> <p>ソケットレンチ(30mm)</p> </div> </div> <p>○フランジ面間を広げる工具（作業②）</p> <p>シノは、フランジ面に接着し押し広げることにより、セッティング及び取外しが可能であり、一般工具であるシノで確実かつ信頼性の高い作業が可能である。</p> <table border="1" data-bbox="257 794 857 960"> <thead> <tr> <th>工具</th> <th>原理</th> <th>作業時間（セッティング、面間広げ）</th> <th>作業性</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シノ</td> <td>上流側と下流側のフランジの面間を広げる</td> <td>2分</td> <td>・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="302 992 586 1109"> <p>シノ付きラチェット(30mm)</p> </div>	工具	作業時間（緩め）	作業性	評価	・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎	工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価	・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎	<div data-bbox="1393 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     比較対象なし                 </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>
工具	作業時間（緩め）	作業性	評価																	
・片ロメガネレンチ ・ソケットレンチ	5分	・一般工具であり、確実にボルトの緩め及び締付け作業ができる。	◎																	
工具	原理	作業時間（セッティング、面間広げ）	作業性	評価																
・シノ	上流側と下流側のフランジの面間を広げる	2分	・一般工具であり、確実に面間を広げる作業ができる。	◎																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉				泊発電所 3号炉		相違理由
(3) ディスタンスピースの検討						
概略図	分離型		一体型			
取替要領	閉止用を引き抜き、通水用を差し込む。		閉止用と通水用をつなげて、引き抜いて方向を変えて差し込む。	閉止用と通水用をつなげて、ボルトを支点に回すことで取替え作業を実施。	配管上にバーを設置し、そこを支点に回すことで取替え作業を実施。	
設備面	一体でないため紛失の恐れ有。ただし、通水側は保管しているため傷がつくおそれは少ない。	△ 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損の恐れ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 重量が重くなり、ボルトにかかる負担が大きく、ボルト損傷の可能性大。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	× 地震時につなぎの部分にかかる応力が大きく破損のおそれ有。また、通水側が露出しているため傷がつくおそれ有。	×	
作業性	取替えはガスケットを含み2分程度。 ボルトは 8 本中 4 本は取り外さない。	◎ 引き抜いて差し込む作業は変わらないが、重量が重く、作業性が悪いため作業時間は長くなる。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルト2本を除き取外す必要があるためトータルの作業時間はほとんど変わらない。	× 取替えは時間短縮されるが、取替え時、ボルトを全て取外す必要があるためトータルの作業時間は長くなる。	×	
評価	◎		×	×	×	
<p>ディスタンスピースの形状について検討を行った結果、閉止用と通水用とを分離しておくことが、取替えの作業性及び取替え時間に関して最適であることを確認した。</p>						
比較対象なし					設備の相違（相違理由②）	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(4) ディスタンスピース取替え作業の訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ディスタンスピースの訓練用モックアップを新規に製作した。</li> <li>○今後、訓練用モックアップの使用も含めて、重大事故等対策要員が年1回以上の頻度で訓練を実施し、習熟度の向上及び確実な作業の技能維持を図る。</li> </ul> <div data-bbox="340 304 645 703" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="331 726 705 753">ディスタンスピース訓練用モックアップ</p> <div data-bbox="595 767 779 815" data-label="Text"> <p>写真はイメージ</p> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2000 762 2150 815">設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>[参考] 作業詳細</p> <p>① 燃料取替用水ピット側閉止用ディスタンスピース締付けボルト緩め及び取外し。(8本中上部4本抜き取り)</p> <p>a. 取替え前のフランジ面間寸法測定</p> <div data-bbox="286 263 875 710"> <p>燃料取替用水補給ライン</p> <p>作業箇所</p> <p>閉止板</p> <p>フランジ</p> <p>幅目安:220mm</p> <p>測定した値は記録すること</p> <p>フランジ間幅値の測定</p> <p>直尺(150mm)</p> <p>直尺を用いてフランジの上下左右の4点で幅値を測定し記録してください。</p> <p>記録した値は、ディスタンスピース取り付け時のボルト締め付けの際に参考値として使用する。</p> </div> <p>b. 片口メガネレンチ及びソケットレンチにてボルト緩め</p> <div data-bbox="264 829 855 1276"> <p>閉止板を取外すのでボルトナットを全て緩めます。</p> <p>メガネレンチで一方を固定し、ソケットレンチでナットを緩める。</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを取り外す。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方を固定</p> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 比較対象なし             </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>② ディスタンスピース（閉止用）及びガスケット取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部より抜き出す。</li> </ul> 		
<p>③ ディスタンスピース（通水用）及びガスケット取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フランジ上部から挿入し、ボルト上部に乗せるだけで位置決め完了。（シート面を傷つけないよう注意する。）</li> </ul> 	<div data-bbox="1391 762 1641 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>④ 締付けボルト取付け及び締付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>締付けボルト取付け（8本中上部4本取付け）</li> <li>片締めにならないよう対角に締め付ける。</li> </ul> <div data-bbox="264 247 853 694" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボルトをフランジに取付け、ガスケットの圧縮率に注意しながらナットを締める。</p>  <p>ボルトナットの取付け</p> <p>ソケットレンチ(30mm)でボルトナットを締める。</p> <p>メガネレンチ(30mm)で一方のナットを固定する。</p> <p>ボルト締め付け時は、手順で記録した値を参考にする。また、そのフランジ部幅がガスケット圧縮率の規定値を満たしていることを直尺で確認する。</p> <p>フランジ幅確認値              裏り側...目標22.0mm              (21.5mm~22.5mm)</p> </div>	<div data-bbox="1391 762 1641 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                 比較対象なし             </div>	<p>設備の相違（相違理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.8-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替水源を用いた燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：20分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.12</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした 1次系補給水ポンプ及びほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とし、ほう酸混合器を使用した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）)</p> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段をまとめて記載している。</li> <li>・泊は、各水源から燃料取替用水ピットへの補給手段ごとに添付資料を作成している。（伊方3号炉と同様）</li> <li>・以下、添付資料1.13.12～19まで同様の相違であるため相違理由を省略する。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため、下段の添付資料 1.13.8-(3)を再掲</p> <p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.13</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット浄化ラインを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.17.8m                      周辺補機棟T.P.24.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：55分                      操作時間（訓練実績等）：33分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる 補給系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1次系補給水ポンプによる補給 (原子炉補助建屋 T.P.17.8m)</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(2)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（加圧器逃がしタンク経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（実績）：47分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.14</p> <p style="text-align: center;">1次系純水タンクを水源とした1次系補給水ポンプによる 加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、加圧器逃がしタンクを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P.17.8m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（訓練実績等）：17分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (周辺補機棟 T.P.17.8m（中間床）)</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(3)</p> <p>【1次系純水タンクから燃料取替用水ピットへの補給（使用済燃料ピット脱塩塔経由）】</p> <p>1. 操作概要                      1次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピット脱塩塔を経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：70分                      操作時間（実績）：55分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット                      補給ライン系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>添付資料1.13.13にて比較</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(4)</p> <p>【No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 操作概要                      No. 3淡水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：50分                      操作時間（実績）：38分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 〔原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m〕</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.15</p> <p style="text-align: center;">2次系純水タンクを水源とした2次系補給水ポンプによる 使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 操作概要                      2次系純水タンクを水源とし、使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P.24.8m、T.P.10.3m（中間床）                      原子炉補助建屋T.P.17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：65分                      操作時間（訓練実績等）：42分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 〔周辺補機棟 T.P. 10.3m（中間床）〕</p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(5)</p> <p>【No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給】</p> <p>1. 作業概要                      No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、消火栓から燃料取替用水ピットまで可搬型ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：45分                      作業時間（実績）：36分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>作業性：可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.16</p> <p style="text-align: center;">ろ過水タンクを水源とした                      電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>1. 作業概要                      ろ過水タンクから燃料取替用水ピットへ補給するため、屋内から燃料取替用水ピットまで消防ホースを敷設し補給する。</p> <p>2. 作業場所                      周辺補機棟T.P.40.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：1名                      作業時間（想定）：30分                      作業時間（訓練実績等）：14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備または携行して作業を行う。</p> <p>作業性：消防ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉				相違理由
号 炉	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	消防ホース敷設箇所				
3号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	
4号炉	屋内消火栓～ 燃料取替用水ピット	60m	40A	4本	屋内消火栓（HC-64）～ 燃料取替用水ピット	約 10m	65A	1本	
 ① 消火栓接続口（常時接続）					 消火ポンプ起動 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）				 消火栓接続口（常時接続）
 ② 消火栓～可搬型ホース施設					 消防ホース（40A）接続前				 消防ホース（40A）接続後
 ③ 可搬型ホース（40A）接続口					 ろ過水タンクによる補給 （周辺補機棟 T.P. 40.3m）				
 ④ 可搬型ホース（40A）接続後									
 ⑤ 燃料取替用水ピット入口扉									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(1)</p> <p style="text-align: center;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        原水槽水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。原水槽へ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.10.3m        屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1422 177 1615 197" style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</div> <table border="1" data-bbox="1135 199 1901 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口</td> <td>約600m×1系統 約50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約12本×1系統 約5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1391 389 1637 576" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1265 587 1758 635" style="text-align: center;"> <p>ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1202 660 1456 850" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1198 863 1458 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1568 660 1821 850" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1563 863 1823 888" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> <div data-bbox="1202 932 1456 1121" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1193 1131 1464 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> </div> <div data-bbox="1559 925 1827 1131" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1585 1131 1800 1203" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車10m接続口	約600m×1系統 約50m×1系統	150A	約12本×1系統 約5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間（想定） : 40分        操作時間（訓練実績等） : 20分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1675 1203" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">原水槽から補助給水ビットへの補給        系統構成        （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.17-(3)</p> <p>【原水槽への補給】</p> <p>1. 作業概要        2次系純水タンク又はろ過水タンクの移送ラインに可搬型ホースを接続し、移送することにより原水槽への補給を行う。</p> <p>2. 作業場所        屋外（2次系純水タンク又はろ過水タンク周辺及び原水槽周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数           ：3名        作業時間（想定）       ：180分        作業時間（訓練実績等）：135分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性   ：可搬型ホースは、人力で運搬・敷設が可能な仕様であり、フランジ接続により容易かつ確実に接続可能である。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ろ過水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2次系純水タンクからの補給（屋外） （作業風景は類似作業）</p> </div> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要        代替給水ピット水を燃料取替用水ピットに補給するための可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等を設置する。代替給水ピットへ吸管を挿入する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.33.1m        屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 145分        作業時間（訓練実績等）: 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1137 199 1899 300" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口</td> <td>約 150m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1384 391 1639 587" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1205 667 1460 858" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1572 667 1827 858" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1205 938 1460 1129" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置代替給水ビットへの吸管挿入（屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div data-bbox="1563 930 1832 1137" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口	約 150m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 3.3m 接続口	約 150m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 3 本×1 系統 約 5 本×1 系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.18-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要                      代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 40分                      操作時間（訓練実績等） : 14分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性 : 通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1675 1203" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替給水ピットから                      補助給水ピットへの補給系統構成                      （周辺補機棟 T.P. 17.8m）</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(1)</p> <p style="text-align: center;">海を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>【可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要        海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を行うため、可搬型大型送水ポンプ車の設置、海水取水箇所への水中ポンプ設置、可搬型ホース等の敷設等を行い、補給する。</p> <p>2. 作業場所        周辺補機棟T.P.33.1m, T.P.10.3m        屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間        必要要員数 : 6名        作業時間（想定） : 200分        作業時間（訓練実績等）: 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性        移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。        なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。        作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。        屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。        海水取水箇所に吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。        連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1144 193 1890 424"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 8本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 501 1453 687"> <p data-bbox="1160 699 1496 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1568 501 1816 687"> <p data-bbox="1523 699 1859 767">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 786 1453 973"> <p data-bbox="1205 991 1453 1011">可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1568 786 1816 973"> <p data-bbox="1568 991 1816 1011">可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1205 1056 1453 1243"> <p data-bbox="1205 1259 1453 1327">可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設（屋外）</p> </div> <div data-bbox="1568 1056 1816 1243"> <p data-bbox="1552 1259 1836 1302">海水取水箇所への水中ポンプ設置（屋外）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統	<p data-bbox="2000 751 2141 799">設備の相違（相違理由⑥）</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 8本×1 系統 約 5本×1 系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150 A	約 9本×2 系統 約 11本×1 系統 約 5本×1 系統											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.19-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要        海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ピットへの補給を実施するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所        周辺補機棟 T.P. 40.3m, T.P. 17.8m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間        必要要員数 : 1名        操作時間 (想定) : 40分        操作時間 (訓練実績等) : 20分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性        移動経路: ヘッドライト, 懐中電灯等を携行していることから, 建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また, アクセスルート上に支障となる設備はない。        作業環境: 事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また, 作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり, 事故環境下においても作業可能である。        操作は汚染の可能性を考慮し, 防護具 (全面マスク, 個人線量計, ゴム手袋等) を装備又は携行して作業を行う。        操作性 : 通常行う弁操作と同じであり, 容易に操作可能である。        連絡手段: 事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも, 携行型通話装置を使用し, 確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1352 963 1675 1203" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">海から補助給水ピットへの補給        系統構成        (周辺補機棟 T.P. 17.8m)</p>	<p>設備の相違 (相違理由⑥)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(6)</p> <p><b>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（ディスタンスピース接続）】</b></p> <p>1. 作業概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給準備のために、補給ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：90分                      作業時間（実績）：58分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に作業可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 作業エリア (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③ ディスタンスピース取替え (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.8-(7)</p> <p>【復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給のための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（実績）：18分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="257 758 526 957"> </div> <div data-bbox="593 758 862 957"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="268 957 526 1029"> <p>① 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> <div data-bbox="604 957 862 1029"> <p>② 燃料取替用水ピット 補給ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.9</p> <p style="text-align: center;">1 次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>大飯 3号炉及び 4号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等</p> <p>(6) 1次系純水タンク及びびほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損発生時減圧継続、高圧及び低圧再循環運転不能において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1 次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉及び格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に原子炉及び格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉等への注水を継続しつつ、蒸気発生器 2 次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による 1 次冷却系減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏洩の程度（漏洩量）によらず、比較的小流量（約 30m<sup>3</sup>/h）である 1 次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【比較のため高浜 3 / 4号炉の添付資料 1.13.9 の抜粋を掲載】</p> <p>一方、格納容器バイパス事象以外の事故（LOCA 等）については、燃料取替用水タンク水が格納容器再循環サンプに溜まり、基本的には再循環への切り替えが期待できるため格納容器バイパス事象ほどの緊急性はないものの、再循環切替失敗に対するリスクを考慮すると補給操作は事故対応上も考慮すべきである。運転員の事故対応の優先順位等も考慮し、事象や事故の規模（冷却材の漏洩量等）に関係なく対応できるよう「燃料取替用水タンクの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合」を補給の判断基準として取り込んでいる。</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.20</p> <p style="text-align: center;">1 次系純水タンク及びびほう酸タンクから 燃料取替用水ピットへの補給について</p> <p>重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給については、事故進展に伴う再循環運転への移行の可否により判断することとしている。</p> <p>泊 3号炉において、重大事故等発生時における燃料取替用水ピットへの補給の判断基準及び理由は以下のとおりである。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【燃料取替用水ピットへの補給に係る記載抜粋】</p> <p>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</p> <p>(1) 燃料取替用水ピットへ水を補給するための対応手順</p> <p>e. 1次系補給水ポンプ及びびほう酸ポンプによる燃料取替用水ピットへの補給</p> <p>(1) 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉容器への注水中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合、1次冷却材喪失事象（大破断）が発生し安全注入及び蓄圧注入動作を確認した場合、インターフェイスシステムLOCA、蒸気発生器伝熱管破損時又は再循環運転による炉心注水不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> <p>格納容器スプレイ中に燃料取替用水ピットの水位が低下し、補給が必要であることを確認した場合又は原子炉格納容器内へのスプレイ中の再循環運転不能時において、1次系純水タンク及びびほう酸タンクの水位が確保され、使用できることを確認できた場合。</p> </div> <p>1 次冷却材喪失事故等設計基準事故において、燃料取替用水ピットを水源として原子炉容器及び原子炉格納容器へ注水した後、燃料取替用水ピットが再循環切替水位に達すれば、格納容器再循環サンプを水源とした再循環運転に切り替え、継続的に発電用原子炉及び原子炉格納容器内の冷却を行うが、格納容器バイパス事象（IS-LOCA、SGTR）においては、燃料取替用水ピット水を注水しても、漏えい箇所が原子炉格納容器外であることから、格納容器再循環サンプが再循環可能水位まで達しない可能性が高いため、燃料取替用水ピットへの補給により、原子炉容器等への注水を継続しつつ、蒸気発生器 2 次側からの冷却や加圧器逃がし弁等による原子炉冷却材圧カバウンダリの減圧により事故収束を図る必要がある。また、何らかの原因により再循環運転ができない事象が発生した場合にも、燃料取替用水ピットへの補給により原子炉容器等への注水を継続し、代替炉心注水等により事故収束を図る必要がある。このように再循環運転への移行ができない事象については燃料取替用水ピットへの補給を判断する上で重要な要素であり、燃料取替用水ピットへの補給を判断する基準として設定している。（事故による漏えいの程度（漏えい量）によらず、比較的小流量（約 30m<sup>3</sup>/h）である 1 次系純水タンク及びびほう酸タンクであっても有効と判断）</p>	<p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>記載表現の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【大飯】 運用の相違（相違理由⑦）</p> <p>【高浜】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
添付資料1.13.10		添付資料1.13.21-(1)		
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表		水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (1/5)		記載方針の相違 (女川審査実績の 反映) ・各手段構成の相 違による相違。
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文 番号 手順名称	1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文 番号 手順名称	
復水ピットへの供給に係る手順等 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)のための代替手段及び 海水を用いた復水ピットへの供給	復水ピットからNo. 3 淡水タンクへの水源切替	1.13	本条文中で整備	燃料取替用水ピットを水源とした発電用原子炉を本臨界にするための原子炉容器へのほう酸水注入
	A、B 2次系純水タンクからNo. 3 淡水タンクへの補給	1.13	本条文中で整備	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	復水ピットから脱気器タンクへの水源切替	1.2	電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための原子炉容器への注水
	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.2	1次冷却系のフィードアンドブリード	1.1 ほう酸水注入
	No. 3 淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.2 1次冷却系のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却
	No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.3 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧
	海水を用いた復水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリの減圧
炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水 ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットからNo. 2 淡水タンクへの水源切替	1.4	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.4	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	No. 3 淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13	本条文中で整備	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
燃料取替用水ピットを水源とした対応手順	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	燃料取替用水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	燃料取替用水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	燃料取替用水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	補助給水ピットを水源とした発電用原子炉を本臨界にするための蒸気発生器への注水	1.1	原子炉出力抑制(自動)	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	補助給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2	原子炉出力抑制(手動)	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	補助給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3	50直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	補助給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	補助給水ピットを水源とした最終セードシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5	現場手動操作によるタービン動補助給水ポンプの機能回復	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	ろ過水タンクを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	1.4	代替交直流電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
	ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水
ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7	現場手動操作によるタービン動補助給水ポンプの機能回復	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	
ろ過水タンクを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8	代替交直流電源設備による電動補助給水ポンプの機能回復	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	
ろ過水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	1.11	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1.4 1次冷却系のフィードアンドブリードによる原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の原子炉容器への注水	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
1.13 手順名称			水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (2/5)			
1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		1.13 手順名称	詳細手順を整備する条文		
	番号	手順名称		番号	手順名称	
燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等	燃料取替用水ピットからNo. 2淡水タンクへの水源切替	1.6 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレー	代替給水ピットを水源とした対応手順	代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違
	燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	燃料取替用水ピットから海水への水源切替	1.6 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレー		代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	
	1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	1次系純水タンクから加圧器逃がしタンク経由の補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
	1次系純水タンクから使用済燃料ピット脱塩塔経由の補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットを経由した燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	
	No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレー/ズルによる使用済燃料ピットへのスプレー	
	復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給	1.13 本条文中整備		代替給水ピットを水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレー/ズルによる大気への放射性物質の拡散抑制	
水源とした再循環運転に係る手順等	高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	1.4 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	原水槽を水源とした対応手順	原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時の蒸気発生器への注水	1.2 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・各手段構成の相違による相違
	A格納容器スプレーポンプ (R H R S - C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転	1.4 A格納容器スプレーポンプ (R H R S - C S S 連絡ライン使用) による代替再循環運転		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための蒸気発生器への注水	1.3 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
	B高圧注入ポンプ (海水冷却)、大容量ポンプによる高圧代替再循環運転	1.4 B高圧注入ポンプ (海水冷却) による高圧代替再循環運転		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の原子炉容器への注水	1.4 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	
	A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転	1.4 A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による低圧代替再循環運転		原水槽を水源とした原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の蒸気発生器への注水	1.4 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
使用済燃料ピットへの水の供給時に係る手順等	No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11 No. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための蒸気発生器への注水	1.5 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水		
	No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11 No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (船内消火栓) No. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水 (船外消火栓)	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の冷却	1.6 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー		
	ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11 ポンプ車によるNo. 3淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした原子炉格納容器内の除熱	1.7 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー		
	ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11 ポンプ車によるNo. 2淡水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした原子炉格納容器下部への注水	1.8 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水		
	1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	1.11 1次系純水タンクから使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした使用済燃料ピットへの注水/スプレー	1.11 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレー/ズルによる使用済燃料ピットへのスプレー		
	海水から使用済燃料ピットへの注水	1.11 海水から使用済燃料ピットへの注水	原水槽を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型スプレー/ズルによる大気への放射性物質の拡散抑制		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		泊発電所 3号炉		相違理由
1.13 手順名称		添付資料1.13.21-(3)		
詳細手順を整備する条文		水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (3/5)		
番号	手順名称	番号	手順名称	
1.11	送水車による使用済燃料ピット又は原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）へのスプレー	1.11	1次系補給水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	
1.12	送水車及びスプレーヘッドによる大気への拡散抑制	1.11	1次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	
1.11	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による原子炉周辺建屋（貯蔵槽内燃料体等）への放水	1.11	2次系補給水タンクを水源とした使用済燃料ピットへの注水	
1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による大気への拡散抑制	1.11	2次系補給水ポンプによる使用済燃料ピットへの注水	
1.12	大容量ポンプ（放水砲用）及び放水砲による格納容器及びアニュラス部への放水	1.2	駆動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
		1.3	駆動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
		1.4	駆動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
		1.5	駆動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	
		1.2	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
		1.3	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
		1.4	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による原子炉容器への注水	
		1.4	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
		1.5	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	
		1.6	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
		1.7	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による原子炉格納容器内へのスプレー	
		1.8	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による原子炉格納容器下部への注水	
		1.11	雨水を用いた可稼働大貫送水ポンプ車による使用済燃料ピットへの注水	
		1.5	原子炉補機冷却海水ポンプ及び原子炉補機冷却海水ポンプによる補機冷却水確保	

記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・各手段構成の相違による相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																							
添付資料1.13.21-(4)																																																									
水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (4/5)																																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 287 1534 319">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" data-bbox="1534 287 1937 319">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1086 319 1534 335"></th> <th data-bbox="1534 319 1579 335">番号</th> <th data-bbox="1579 319 1937 335">詳細名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1086 335 1176 550" rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">海を水源とした対応手順</td> <td data-bbox="1176 335 1534 367">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却</td> <td data-bbox="1534 335 1579 367">1.5</td> <td data-bbox="1579 335 1937 367">可搬型大流量海水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 367 1534 454">海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却</td> <td data-bbox="1534 367 1579 454">1.5</td> <td data-bbox="1579 367 1937 454">可搬型大流量海水ポンプ車によるA-補機用空気圧縮機への補機冷却水(海水) 通水 可搬型大流量海水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水) 通水 補機冷却水(可搬型大容量海水送水ポンプ車)による余熱除去ポンプを用いた代替中心冷却</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 454 1534 518">海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制</td> <td data-bbox="1534 454 1579 518">1.12</td> <td data-bbox="1579 454 1937 518">可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 518 1534 550">海を水源とした航空機燃料火災への応急処置</td> <td data-bbox="1534 518 1579 550">1.12</td> <td data-bbox="1579 518 1937 550">可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への応急処置</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 550 1176 670" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水線ほうし醗た対応手順</td> <td data-bbox="1176 550 1534 670">ほう醗タンクを水源とした発電用原子炉を主電源とするための原子炉容器へのほう醗水注入</td> <td data-bbox="1534 550 1579 670">1.1</td> <td data-bbox="1579 550 1937 670">ほう醗水注入</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 670 1176 805" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">格納容器と置いた再循環手順</td> <td data-bbox="1176 670 1534 702">格納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転</td> <td data-bbox="1534 670 1579 702">1.4</td> <td data-bbox="1579 670 1937 702">高圧注入ポンプによる高圧内循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 702 1534 742">格納容器内循環ポンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転</td> <td data-bbox="1534 702 1579 742">1.6</td> <td data-bbox="1579 702 1937 742">格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 742 1534 805">格納容器内循環ポンプを水源とした代替再循環運転</td> <td data-bbox="1534 742 1579 805">1.4</td> <td data-bbox="1579 742 1937 805">B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 可搬型大流量海水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 805 1176 933" rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">燃料の取替対応手順</td> <td data-bbox="1176 805 1534 829">可搬型大流量海水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 805 1579 829">1.13</td> <td data-bbox="1579 805 1937 829">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 829 1534 853">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 829 1579 853">1.13</td> <td data-bbox="1579 829 1937 853">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 853 1534 877">1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 853 1579 877">1.13</td> <td data-bbox="1579 853 1937 877">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 877 1534 901">2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 877 1579 901">1.13</td> <td data-bbox="1579 877 1937 901">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1086 933 1176 1045" rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水補助供給手順</td> <td data-bbox="1176 933 1534 989">可搬型大流量海水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 933 1579 989">1.13</td> <td data-bbox="1579 933 1937 989">本条文中整備</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1176 989 1534 1045">2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給</td> <td data-bbox="1534 989 1579 1045">1.13</td> <td data-bbox="1579 989 1937 1045">本条文中整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	詳細名称	海を水源とした対応手順	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.5	可搬型大流量海水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大流量海水ポンプ車によるA-補機用空気圧縮機への補機冷却水(海水) 通水 可搬型大流量海水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水) 通水 補機冷却水(可搬型大容量海水送水ポンプ車)による余熱除去ポンプを用いた代替中心冷却	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制	海を水源とした航空機燃料火災への応急処置	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への応急処置	水線ほうし醗た対応手順	ほう醗タンクを水源とした発電用原子炉を主電源とするための原子炉容器へのほう醗水注入	1.1	ほう醗水注入	格納容器と置いた再循環手順	格納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧内循環運転	格納容器内循環ポンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ	格納容器内循環ポンプを水源とした代替再循環運転	1.4	B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 可搬型大流量海水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	燃料の取替対応手順	可搬型大流量海水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	水補助供給手順	可搬型大流量海水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備	<p>記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・各手段構成の相違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																																																							
		番号	詳細名称																																																						
海を水源とした対応手順	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための格納容器内自然対流冷却	1.5	可搬型大流量海水ポンプ車を用いたC、D-格納容器内循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却																																																						
	海を水源とした最終ヒートシンクへ熱を輸送するための代替補機冷却	1.5	可搬型大流量海水ポンプ車によるA-補機用空気圧縮機への補機冷却水(海水) 通水 可搬型大流量海水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水) 通水 補機冷却水(可搬型大容量海水送水ポンプ車)による余熱除去ポンプを用いた代替中心冷却																																																						
	海を水源とした大気への放射性物質の拡散抑制	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車及び放水砲による大気への放射性物質の拡散抑制																																																						
	海を水源とした航空機燃料火災への応急処置	1.12	可搬型大容量海水送水ポンプ車、放水砲及び泡混合設備による航空機燃料火災への応急処置																																																						
水線ほうし醗た対応手順	ほう醗タンクを水源とした発電用原子炉を主電源とするための原子炉容器へのほう醗水注入	1.1	ほう醗水注入																																																						
格納容器と置いた再循環手順	格納容器内循環ポンプを水源とした再循環運転	1.4	高圧注入ポンプによる高圧内循環運転																																																						
	格納容器内循環ポンプを水源とした格納容器スプレイ再循環運転	1.6	格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイ																																																						
	格納容器内循環ポンプを水源とした代替再循環運転	1.4	B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 可搬型大流量海水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転																																																						
燃料の取替対応手順	可搬型大流量海水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	1次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
水補助供給手順	可搬型大流量海水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						
	2次系補給水ポンプによる補助給水ビットへの補給	1.13	本条文中整備																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																											
	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.21-(5)</p> <p style="text-align: center;">水の供給手順のうち詳細手順を整備する条文一覧表 (5/5)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">1.13 手順名称</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">詳細手順を整備する条文</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 70%;"></th> <th style="width: 5%;">番号</th> <th style="width: 15%;">手順名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">水の 補給 水 槽 へ の 給 水 手 順</td> <td>2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給</td> <td>1.13</td> <td>本文文で整備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え</td> <td>燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）</td> <td>1.13</td> <td>本文文で整備</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）</td> <td>1.13</td> <td>本文文で整備</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ほ う ろ 過 タ ン ク へ の 切 替 え</td> <td>燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほうろ過タンクへの切替え</td> <td>1.13</td> <td>本文文で整備</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">タ ー ビ ン 動 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え</td> <td>電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え</td> <td>1.13</td> <td>本文文で整備</td> </tr> </tbody> </table>	1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文				番号	手順名称	水の 補給 水 槽 へ の 給 水 手 順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備	燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）	1.13	本文文で整備	ほ う ろ 過 タ ン ク へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほうろ過タンクへの切替え	1.13	本文文で整備	タ ー ビ ン 動 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1.13	本文文で整備	<p style="text-align: center;">記載方針の相違                  （女川審査実績の                  反映）                  ・各手段構成の相                  違による相違。</p>
1.13 手順名称		詳細手順を整備する条文																											
		番号	手順名称																										
水の 補給 水 槽 へ の 給 水 手 順	2次系純水タンク又はろ過水タンクから原水槽への補給	1.13	本文文で整備																										
燃 料 取 替 用 水 ビ ツ ト へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉容器への注水時の場合）	1.13	本文文で整備																										
	燃料取替用水ビツトから補助給水ビツトへの切替え（原子炉格納容器内へのスプレイ時の場合）	1.13	本文文で整備																										
ほ う ろ 過 タ ン ク へ の 切 替 え	燃料取替用水ビツトから1次系純水タンク及びほうろ過タンクへの切替え	1.13	本文文で整備																										
タ ー ビ ン 動 補 給 水 ボ ン プ の 切 替 え	電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の水源の切替え	1.13	本文文で整備																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉					泊発電所 3号炉					相違理由	
添付資料 1.13.11-(1)					添付資料 1.13.22-(1)						
各タンク等配置図及び仕様					各タンク等配置図及び仕様						
<p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）、炉心注水、格納容器スプレー及び使用済燃料ピットへの注水に使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>重大事故等時に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）、原子炉容器への注水、原子炉格納容器内への注水・スプレー及び使用済燃料ピットへの注水・スプレーに使用する各タンク等の配置、容量及び用途を以下のとおり示す。</p>					<p>記載内容の相違                      ・基準改正による相違                      記載表現の相違                      （女川審査実績の反映）</p> <p>設備の相違（相違理由④⑤）</p>	
No.	タンク等名称	容量	分類	用途	No.	タンク等名称	容量	分類	用途		
				SA時					通常時		
1	No. 2 淡水タンク※	8,000m <sup>3</sup>	淡水	・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・消火水供給 ・淡水供給	1	A-1 炉心注水タンク <span style="color: red;">1.3.9.91</span>	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・蒸水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給
2	No. 3 淡水タンク※		2次系純水	・蒸気発生器注水 ・復水ピット補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給	2	B-1 炉心注水タンク <span style="color: red;">1.3.9.92</span>	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・蒸水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給
3	A 2次系純水タンク	8,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・No. 3 淡水タンク補給	・2次系補給水供給	3	A-2 炉心注水タンク (1, 2号炉共用)	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・蒸水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給
4	B 2次系純水タンク					4	B-2 炉心注水タンク (1, 2号炉共用)	約1,500m <sup>3</sup>	淡水	・蒸水補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・消火水供給 ・淡水供給
5	3号炉 脱気器タンク	約600m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水	5	A-2 2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・蒸水補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給
6	4号炉 脱気器タンク					6	B-2 2次系純水タンク	約1,500m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・蒸水補給 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・2次系補給水供給 ・使用済燃料ピット補給
7	A 1次系純水タンク	328m <sup>3</sup>	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給	7	脱気器タンク	約400m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水	・蒸気発生器注水
8	B 1次系純水タンク					8	1次系純水タンク	約500m <sup>3</sup>	1次系純水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
9	3号炉 Aほう酸タンク	約100m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給	9	A-ほう酸タンク	約40m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
10	3号炉 Bほう酸タンク					10	B-ほう酸タンク	約40m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水 ・燃料取替用水ピット補給	・原子炉補給水供給 ・燃料取替用水ピット補給
11	4号炉 Aほう酸タンク					11	燃料取替用水ピット	約2,000m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・格納容器スプレー、 格納容器スプレー、 使用済燃料ピットスプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給
12	4号炉 Bほう酸タンク					12	補助給水ピット	約500m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・格納容器下部注水 ・代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー	・蒸気発生器注水
13	3号炉 燃料取替用水ピット	約2,900m <sup>3</sup>	ほう酸水	・炉心注水、代替炉心注水 ・格納容器スプレー、代替格納容器スプレー	・炉心注水 ・格納容器スプレー ・使用済燃料ピット補給	13	A-日水槽	約4,000m <sup>3</sup>	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給
14	4号炉 燃料取替用水ピット	約2,100m <sup>3</sup>				14	B-日水槽	約3000m <sup>3</sup>	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	・淡水供給
15	3号炉 復水ピット	約1,200m <sup>3</sup>	2次系純水	・蒸気発生器注水 ・炉心注水、代替炉心注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給	・蒸気発生器注水	15	代替給水ピット	約473m <sup>3</sup>	淡水	・蒸気発生器注水 ・補助給水ピット補給 ・代替炉心注水 ・格納容器下部注水 ・代替格納容器スプレー ・燃料取替用水ピット補給 ・使用済燃料ピット注水 ・使用済燃料ピットスプレー	—
16	4号炉 復水ピット										

※ 1号炉および2号炉建設時にNo.1～3 淡水タンクとして運用開始したが、その後、No.2、3 淡水タンクを純水タンクとして使用することになり、新規制基準下の溢水対策として現在の運用としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="174 178 860 734" style="border: 2px solid black; height: 348px; width: 306px;"></div> <div data-bbox="929 603 952 746" style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; top: 378px;">添付資料 1.13.11-(2)</div> <div data-bbox="322 823 703 855" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 170px;">各タンク等配置図及び仕様（2 / 4）</div> <div data-bbox="114 855 974 1286" style="border: 2px solid black; height: 270px; width: 384px;"></div> <div data-bbox="136 1294 562 1315" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: 190px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div> <div data-bbox="1003 1262 1025 1406" style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 10px; bottom: 10px;">添付資料 1.13.11-(3)</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 165" style="text-align: right;">添付資料1. 13. 22-(2)</div> <div data-bbox="1146 217 1877 695" style="border: 2px solid black; height: 300px; width: 326px;"></div> <div data-bbox="1146 719 1877 1318" style="border: 2px solid black; height: 375px; width: 326px;"></div> <div data-bbox="1402 1390 1966 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: 252px;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	<div data-bbox="2002 405 2141 456" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（3 / 4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.22-(3)</p> 	
<p style="text-align: center;">各タンク等配置図及び仕様（4 / 4）</p>  <p style="text-align: center;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.11-(6)</p>  <p style="text-align: center;">[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉 添付資料 1.13.12-(1)	泊発電所 3号炉 添付資料 1.13.23-(1)	相違理由																																																														
<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等の収束に必要となる水の供給手順のうち、蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）に使用する復水ビット及び炉心注水、格納容器スプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順の内、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、復水ビット及び燃料取替用水ビットは、上部点検扉を開放し可搬型ホースを導く。</p> <table border="1" data-bbox="136 534 981 699"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(2)</td> </tr> <tr> <td>海水を用いた復水ビットへの補給</td> <td>送水車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td>1.13.12-(3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>送水車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>ツイスター金具</td> <td>1.13.12-(5)</td> </tr> <tr> <td>No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>消火栓と可搬型ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td>1.13.12-(7)</td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)	海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)		送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)	No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)	<p>可搬型ホース接続口の配置</p> <p>重大事故等時に必要となる水の供給手順等のうち、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）に使用する補助給水ビット及び原子炉容器への注水、原子炉格納容器内へのスプレイに使用する燃料取替用水ビットへの補給手順のうち、可搬型ホースを敷設する供給手順について、可搬型ホースの接続口を示す。</p> <p>なお、建屋入口は、通用扉を開放し可搬型ホースを引き込む。                  また、ろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時は、アクセスドアを開放し消防ホースを導く。                  原水槽、代替給水ビット又は海水を用いた補助給水ビット又は燃料取替用水ビットへの補給時は、可搬型ホースを代替給水・注水配管接続口へ接続する。</p> <table border="1" data-bbox="1088 555 1944 1029"> <thead> <tr> <th>手順名</th> <th>接続口</th> <th>接続方式</th> <th>添付資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> <td rowspan="4">1.13-7-(1) 1.13-17-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>2次系純水タンクと可搬型ホース接続</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">1.13-8-(1) 1.13-18-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="4">1.13-9-(1) 1.13-19-(1)</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）</td> <td>ねじ込み式</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ろ過水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">1.13-16</td> </tr> <tr> <td>可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給</td> <td>屋内消火栓と消防ホース接続</td> <td>差込み式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順名	接続口	接続方式	添付資料	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	1.13-16	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	差込み式		<p>記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準改正による相違</li> </ul> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、No. 2 淡水タンク及び海水による補給は扉を開放して直接各ビットに補給する。</li> <li>・泊3号炉はろ過水タンクから燃料取替用水ビットへの補給時のみ扉を開放して直接補給するが、その他補給手順は、可搬型ホースを補給配管に接続することで補給可能。（伊方3号炉同様）</li> </ul>
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																													
No. 2 淡水タンクから復水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(2)																																																													
海水を用いた復水ビットへの補給	送水車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13.12-(3)																																																													
	送水車と可搬型ホース接続（送水側）	ツイスター金具	1.13.12-(5)																																																													
No. 2 淡水タンクから燃料取替用水ビットへの補給	消火栓と可搬型ホース接続	差込み式	1.13.12-(7)																																																													
手順名	接続口	接続方式	添付資料																																																													
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による補助給水ビットへの補給	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式	1.13-7-(1) 1.13-17-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続																																																														
	ろ過水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続																																																														
原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	2次系純水タンクと可搬型ホース接続	フランジ接続	1.13-8-(1) 1.13-18-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																														
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	1.13-9-(1) 1.13-19-(1)																																																													
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（取水側）	ねじ込み式																																																														
	可搬型大型送水ポンプ車と可搬型ホース接続（送水側）	結合金具接続																																																														
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車10m接続口接続	結合金具接続																																																														
ろ過水タンクを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による燃料取替用水ビットへの補給	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続	1.13-16																																																													
	可搬型ホースと可搬型大型送水ポンプ車30m接続口接続	結合金具接続																																																														
ろ過水タンクを水源とした電動駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる燃料取替用水ビットへの補給	屋内消火栓と消防ホース接続	差込み式																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

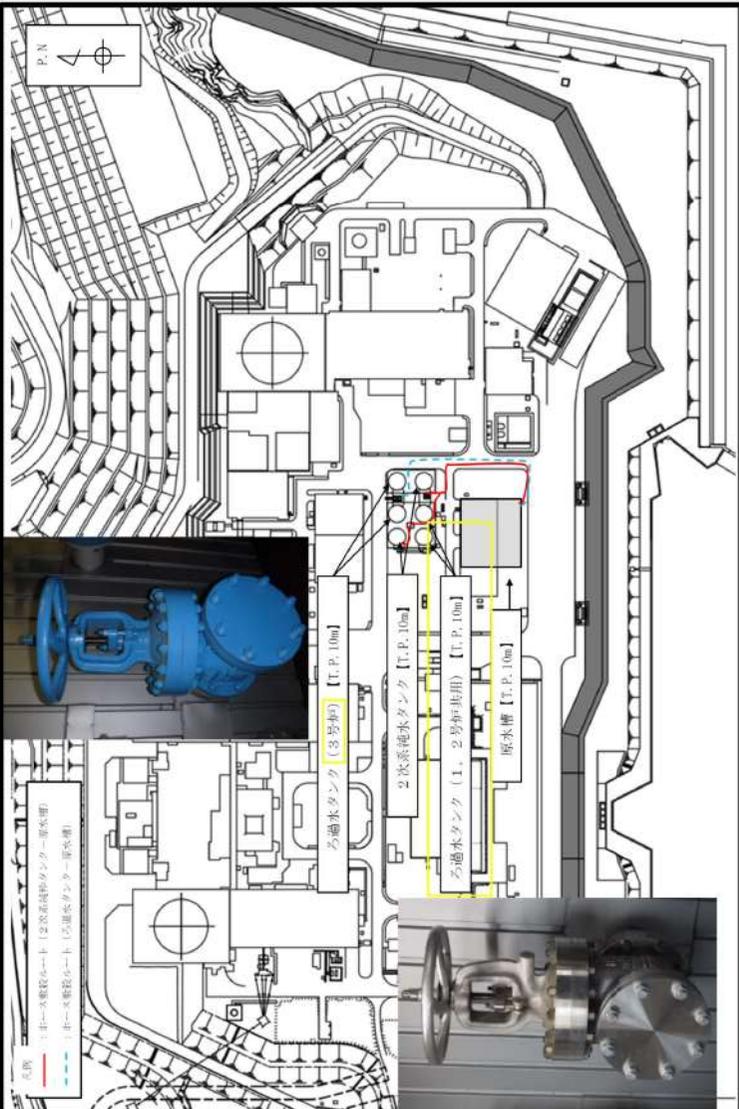
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 164" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(2)</div> <div data-bbox="1084 277 1756 1283" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1800 268 1921 1066" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)  <div data-bbox="1872 794 1899 879" style="border: 1px solid black; width: 10px; height: 10px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2002 751 2141 799" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(3)</p> <div data-bbox="1182 300 1709 1390" style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div> <div data-bbox="1727 288 1859 1082" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">原水槽から補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)</p> <div data-bbox="1809 815 1839 903" style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(4)</p>  <p style="text-align: right; border: 1px solid yellow; padding: 5px;">ろ過水タンク又は2次系純水タンクから原水槽への補給</p>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="432 762 685 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(5)</p> <div data-bbox="1048 252 1787 1353" style="border: 2px solid black; height: 690px; margin: 10px 0;"></div> <div data-bbox="1809 292 1951 1157" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/2)                      枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 836" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 165" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(6)</div> <div data-bbox="1061 256 1823 1369" style="border: 2px solid black; height: 697px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1845 288 1951 1123" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     代替給水ピットから補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/2)                      枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<div data-bbox="2002 767 2141 820" style="color: red;">設備の相違（相違理由④⑥）</div>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(2)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; text-align: center;">                 可搬型ホース接続口配置図                  No. 2 淡水タンクから復水ピットへの補給             </div> <div style="position: absolute; right: 5px; top: 50%; transform: translateY(-50%); font-size: small;">                 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。             </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">                 比較対象なし             </div>	<p style="font-size: small; color: red;">設備の相違（相違理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(3)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div> <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 50px; top: 300px;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給 (1 / 2)</p>	<p style="text-align: center;">添付資料1. 13. 23-(7)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: 20px auto; height: 600px;"></div> <div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;">                     海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(1/3)                      枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p style="color: red;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(4)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 300px; height: 700px; margin: 0 auto;"></div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース接続口配置図 3号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2/2）</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 50px; margin: 10px auto; text-align: center;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<p style="text-align: center;">添付資料1.13.23-(8)</p> <div style="border: 2px solid black; width: 250px; height: 700px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 2px solid yellow; width: 150px; height: 50px; margin: 10px auto; text-align: center;">                     海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(2/3)                      〇 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	<p style="text-align: center;">設備の相違（相違理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

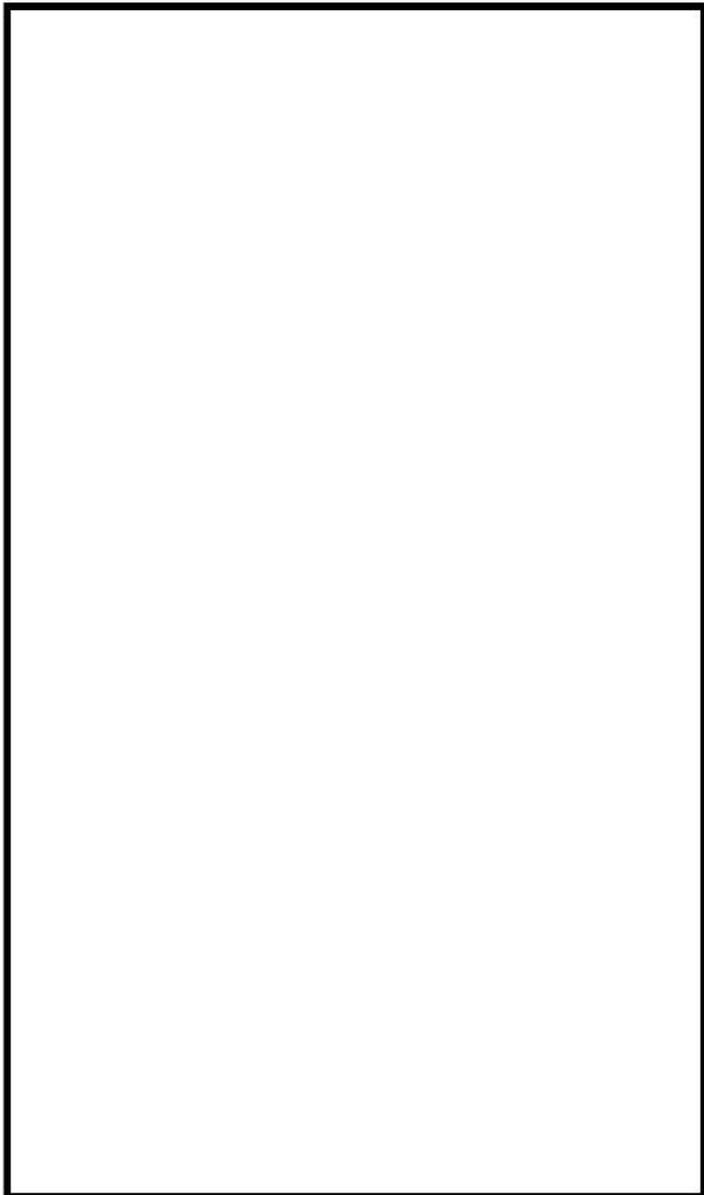
1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="434 778 685 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div data-bbox="1787 140 1973 162" style="text-align: right;">添付資料1.13.23-(9)</div> <div data-bbox="1059 272 1809 1374" style="border: 2px solid black; height: 690px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1827 252 1944 1098" style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     海水を用いた補助給水ピット又は燃料取替用水ピットへの補給(3/3)  <div data-bbox="1895 810 1921 903" style="border: 1px solid black; width: 12px; height: 58px; display: inline-block; margin: 0 auto;"></div>                     枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                 </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

添付資料 1.13.12-(5)

可搬型ホース接続口配置図  
4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（1/2）



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

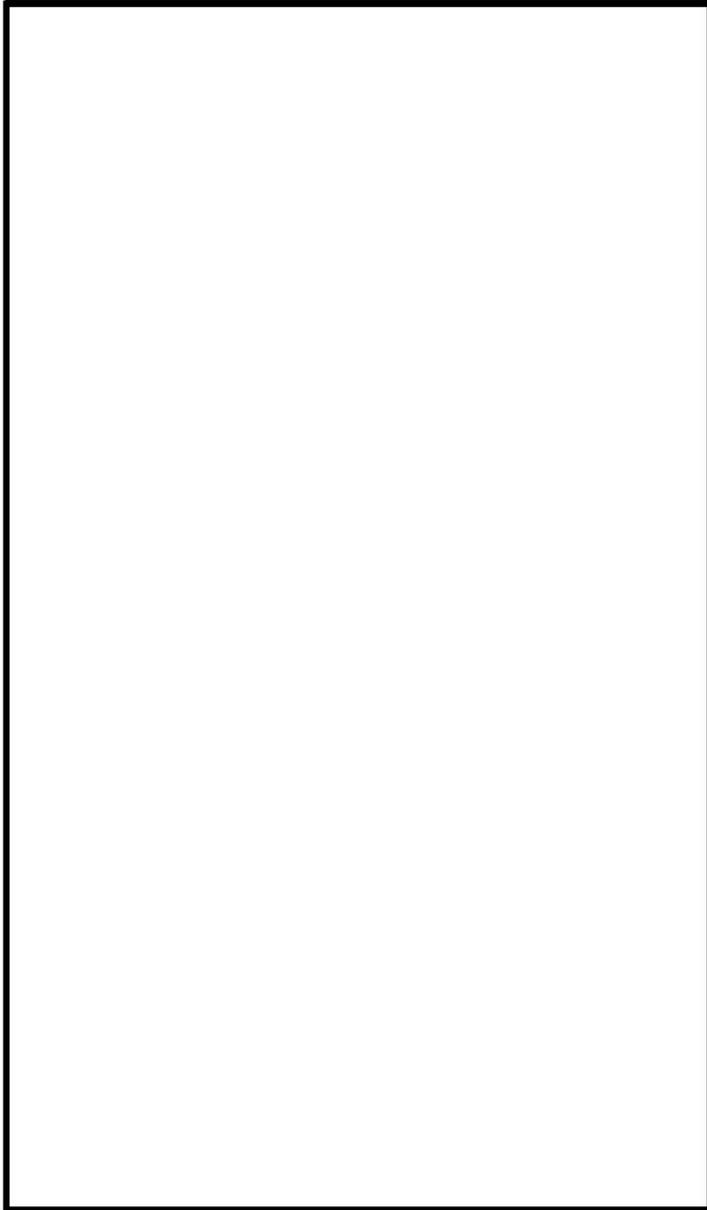
比較対象なし

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

添付資料 1.13.12-(6)

可搬型ホース接続口配置図  
4号炉 海水を用いた復水ピットへの補給（2/2）



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

比較対象なし

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.12-(7)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; text-align: center;">                 可搬型ホース接続口配置図                  No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給             </div> <div style="position: absolute; bottom: 5px; right: 5px; width: 100%; text-align: right;">                 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。             </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.23-(10)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; left: 5px; width: 100%; text-align: center;">                 可搬型ホース接続口配置図                  No. 2淡水タンクから燃料取替用水ピットへの補給             </div> <div style="position: absolute; bottom: 5px; right: 5px; width: 100%; text-align: right;">                 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 1em; height: 1em; vertical-align: middle;"></span> </div> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.13.13</p> <p style="text-align: center;">復水ピットへの海水補給手段の多重性について</p> <p>復水ピットへの海水補給については、復水ピット入口扉にアクセスできない場合においても、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプのテストラインに可搬型ホースを接続することで補給できる。具体的な補給手段について、以下に記載する。</p> <p>1. 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの復水ピット補給              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインに可搬型ホースを接続することで、復水ピット入口扉にアクセスすることなく復水ピットへの補給を実施する。              なお、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインについては、設計基準地震動により機能を喪失しない設計とする。</p> <div data-bbox="253 555 860 734" data-label="Diagram"> </div> <p>2. 作業時間について              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインからの補給作業時間については、復水ピット入口扉よりアクセスし補給する場合と同じ約3.4時間と想定しており、有効性評価における復水ピットを水源とするタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水時の復水ピット枯渇までの約18.7時間までに補給が可能であり、注水を継続することができる。              蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所（3号炉の例）を「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について」に示す。</p>	<div data-bbox="1384 762 1637 815" data-label="Text"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、海水を復水ピットに補給し、復水ピットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ピットに補給する手順であるため、復水ピットへの海水補給について多重性を考慮している。</li> <li>泊3号炉は、燃料取替用水ピットに補助給水ピットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプテストラインへの可搬型ホース接続作業場所について（3号炉の例）</p> <div data-bbox="136 209 981 679" style="border: 2px solid black; height: 295px; width: 377px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="412 683 981 715" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<div data-bbox="1384 762 1637 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         比較対象なし                     </div>	<p>設備の相違（相違理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、海水を復水ビットに補給し、復水ビットから水頭圧を利用した重力注水により燃料取替用水ビットに補給する手順であるため、復水ビットへの海水補給について多重性を考慮している。</li> <li>・泊3号炉は、燃料取替用水ビットに補助給水ビットを経由せず直接海水を補給可能であるため、多重性を考慮していない。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																												
<p style="text-align: center;">大飯 3 / 4号炉比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">【比較のため女川の添付資料 1.13.4 を掲載】</p> <p style="text-align: center;">添付資料 1.13.4</p> <p style="text-align: center;">解釈一覧</p> <p style="text-align: center;">操作手順の解釈一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>操作手順記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> <td>(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持</td> <td>・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m<sup>3</sup>未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m<sup>3</sup>以上となった場合</td> </tr> </tbody> </table>	手順	操作手順記載内容	解釈	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m <sup>3</sup> 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m <sup>3</sup> 以上となった場合	<p style="text-align: center;">添付資料 1.13.24</p> <p style="text-align: center;">解釈一覧</p> <p style="text-align: center;">1. 判断基準の解釈一覧(1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>判断基準記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順</td> <td>(1) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>1. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）</td> <td>原水罐水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td>(2) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>2. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）</td> <td>原水罐水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>(a) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>1. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）</td> <td>代用給水ポンプ水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td>(b) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>2. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）</td> <td>代用給水ポンプ水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>(a) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>1. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）</td> <td>5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td>(b) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>2. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）</td> <td>5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）</td> <td>1次蒸餾水タンク水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td>(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）</td> <td>1次蒸餾水タンク水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）</td> <td>1次蒸餾水タンク水位の目録による確認</td> </tr> <tr> <td>(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給</td> <td>2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）</td> <td>1次蒸餾水タンク水位の目録による確認</td> </tr> </tbody> </table>	手順	判断基準記載内容	解釈	1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	原水罐水位の目録による確認	(2) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	原水罐水位の目録による確認	3. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	(a) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	1. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	代用給水ポンプ水位の目録による確認	(b) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	2. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	代用給水ポンプ水位の目録による確認	4. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	(a) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認	(b) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認	5. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認	(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認	6. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認	(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認	<p style="text-align: center;">記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p style="text-align: center;">【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。</li> <li>・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。</li> </ul>
手順	操作手順記載内容	解釈																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m <sup>3</sup> 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m <sup>3</sup> 以上となった場合																																												
手順	判断基準記載内容	解釈																																												
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	原水罐水位の目録による確認																																											
	(2) 燃料取扱用ボットによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 原水罐を本拠とした可動型大気送水ポンプ車による燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	原水罐水位の目録による確認																																											
3. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	(a) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	1. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	代用給水ポンプ水位の目録による確認																																											
	(b) 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	2. 代用給水ポンプを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	代用給水ポンプ水位の目録による確認																																											
4. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	(a) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認																																											
	(b) 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 5. 電動機駆動式ポンプ又はディーゼル駆動式ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	5. 電動機駆動式ポンプ水位の目録による確認																																											
5. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認																																											
	(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給	2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認																																											
6. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	(a) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	1. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内の圧水中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認																																											
	(b) 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給	2. 1次蒸餾水タンクを本拠とした2次蒸餾給水ポンプによる燃料取扱用ボットへの供給（原子炉貯留内のスプレイ中の場合）	1次蒸餾水タンク水位の目録による確認																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

大飯 3 / 4号炉比較対象なし

【比較のため女川の添付資料 1.13.4 を掲載】

添付資料 1.13.4

解釈一覧

操作手順の解釈一覧

手順	操作手順記載内容	解釈
1.13.2.2 水源へ水を補給するための対応手順	(1) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順 復水貯蔵タンクの水位を維持	・補給開始：復水貯蔵タンクを水源とした原子炉注水等を実施しており、復水貯蔵タンク水位が 1600 m <sup>3</sup> 未満となった場合 ・補給停止：復水貯蔵タンク水位 2700m <sup>3</sup> 以上となった場合

1. 判断基準の解釈一覧(2/2)

手順	判断基準記載内容	解釈
(1) 以上より水源へ水を補給するための対応手順	(a) 2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプ等の水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
	(b) 2次系復水ポンプを稼働して2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプ等の水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
(2) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンク及びはう離タンクを水源とした1次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	1次系復水ポンプ及びはう離タンクの水圧が確保 1次系復水ポンプ水圧が30%以上、はう離タンク水圧が2%以上
	(b) 復水貯蔵タンク及びはう離タンクを水源とした2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプ及びはう離タンクの水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が30%以上、はう離タンク水圧が2%以上
(3) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクを水源とした1次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	1次系復水ポンプの水圧が確保 1次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
	(b) 復水貯蔵タンクを水源とした2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプの水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
(4) 復水貯蔵タンクへ水を補給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクを水源とした1次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	1次系復水ポンプの水圧が確保 1次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
	(b) 復水貯蔵タンクを水源とした2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプの水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
(5) 以上より水源へ水を補給するための対応手順	(a) 復水貯蔵タンクを水源とした1次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	1次系復水ポンプの水圧が確保 1次系復水ポンプ水圧が9.010m以上
	(b) 復水貯蔵タンクを水源とした2次系復水ポンプによる復水貯蔵タンクへの供給	2次系復水ポンプの水圧が確保 2次系復水ポンプ水圧が9.010m以上

記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違  
 ・女川は、判断基準の記載にて解釈が必要な内容がないため整理していない。  
 ・泊は、判断基準の記載に解釈が必要な記載があり、操作手順に解釈が必要な記載がないための相違。



泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SAT114-9 r.8.0
提出年月日	令和5年6月30日

## 泊発電所3号炉

「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の  
重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を  
実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」  
に係る適合状況説明資料  
比較表

### 1.14 電源の確保に関する手順等

令和5年6月  
北海道電力株式会社



枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>比較結果等を取りまとめた資料</b>			
<b>1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)</b>			
<b>1-1) 設計方針・運用・体制等を変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由</b>			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>c. 当社が自主的に変更したもの : 下記2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防潮堤変更に伴うアクセスルート見直しによる燃料補給のアクセスルート図の変更。【例：比較表 p 1.14-170】</li> <li>・重大事故等対策の有効性評価「想定事故1」及び「想定事故2」における発電所内で確保すべき燃料の評価結果により、発電所内で保有する燃料に更なる余裕を確保するよう、既存のディーゼル発電機燃料油貯油槽に加え新たに燃料タンク（SA）を設置し、50kL程度の燃料を追加で確保する。</li> </ul>			
<b>1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由</b>			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの : 下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料構成は、炉型が同じである大飯3/4号炉の対応手段及び操作手順の参照を基本とした上で、配管・弁の流路等を含めた設備の選定方針、文章構成や表現については、女川2号炉の審査実績を反映している。また、各図面においても、女川2号炉の審査実績を踏まえた資料構成や記載の充実化等の見直しを行っている。</li> </ul> <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの : なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの : なし</p>			
<b>1-3) バックフィット関連事項</b>			
なし			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>2. 大飯3/4号炉まとめ資料との比較結果の概要</b></p> <p><b>2-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</b></p>			
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
①	<p>【外部電源から非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・77kV送電線による代替電源（交流）からの給電（第2優先）</li> </ul>	<p>【外部電源から非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後備変圧器によるメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電（第2優先）</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、500kV送電系以外に外部電源である77kV送電系からNo.1予備変圧器を経由して非常用高圧母線へ給電する手段があり、他号炉や外部電源の状況確認に時間を要するものの中央制御室にて遮断器を投入することで、容易に給電することが可能なことから、空冷式非常用発電装置が使用できない場合の第2優先として使用する。</li> <li>・泊3号炉は、275kV送電系以外に外部電源である66kV送電系から受電可能な後備変圧器を経由して非常用高圧母線へ給電する手段があり、常設設備による対応手段のため短時間で給電が可能であることから、代替非常用発電機が使用できない場合の第2優先として使用する。</li> <li>・設備は相違するが、主系統以外の外部電源から給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。</li> </ul>
②	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第3優先）</li> </ul>	<p>—</p> <p>（大飯3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、500kV送電系から受電するNo.2予備変圧器1次側の遮断器を切り離し、3～4号炉間のNo.2予備変圧器2次側の遮断器を各々接続することにより他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第2優先と比較して長いことから第3優先として使用する。</li> <li>・泊3号炉は、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間電力融通による代替電源（交流）を給電する対応手段として、開閉所設備を使用した手段と号炉間連絡ケーブルを使用した手段を整備している。（別の対応手段にて比較するためここでは比較していない。）</li> <li>・設備は相違するが、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間融通により給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。</li> </ul>
③	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第4優先）</li> </ul>	<p>【号炉間電力融通設備により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1号又は2号炉～3号炉）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開閉所設備を使用したメタクラ A 系又はメタクラ B 系受電（第5優先）</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表 p 1.14-11）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、77kV送電系から受電するNo.1予備変圧器1次側の遮断器を切り離し、3～4号炉間のNo.1予備変圧器2次側の遮断器を各々接続することにより他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第3優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第4優先として使用する。</li> <li>・泊3号炉は、1号又は2号炉のディーゼル発電機から開閉所設備を経由して3号炉の非常用高圧母線へ給電する手段があり、受電準備のため屋外 T.P. 85m にある開閉所まで移動し遮断器操作等を行う必要があり給電までに要する準備時間が第4優先（次項）と比較して長いことから第5優先で使用。</li> <li>・設備は相違するが、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの号炉間電力融通により給電する機能に相違はなく、自主対策設備による対応手段の相違。</li> </ul>

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p><b>2-1) 設備の相違</b>（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
④	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（3号～4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第5優先）</li> </ul>	<p>【号炉間電力融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1/2号～3号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系及びメタクラB系受電（第4優先）</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）大飯】（例：比較表 p. 1.14-10）</p> <p>【設計方針の相違（自主対策設備）泊】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯 3/4号炉は、供給元と供給先の非常用高圧母線に接続される号機間融通用高圧ケーブル接続盤へ号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を接続し、他号炉（3号炉に対しては4号炉、4号炉に対しては3号炉）のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第4優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第5優先として使用する。また、恒設ケーブルが使用できない場合の予備ケーブルを配備しており、電路への接続作業等の準備時間に時間を要することから第7優先で使用使用する。</li> <li>大飯 3/4号炉は、複数ユニットとしての申請であり、3号炉と4号炉間にて号機間融通を行う場合の供給元のディーゼル発電機、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）及び号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による給電を重大事故等対処設備による対応手段として整備している。</li> <li>泊 3号炉では、代替給電用接続盤へ号炉間連絡ケーブルを接続し、1号又は2号炉のディーゼル発電機から3号炉の非常用高圧母線へ給電する手段があり、第5優先である開閉所設備を使用した号炉間電力融通による代替電源（交流）からの給電に比べて準備に要する時間が短いことから第4優先としている。また、号炉間連絡ケーブル及び開閉所設備が使用できない場合の給電手段として、号炉間連絡予備ケーブルを配備しており、電路への接続作業等の準備時間に時間を要することから第6優先で使用使用する。</li> <li>泊 3号炉は、単独ユニットとしての審査となるため、号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルのように1号又は2号炉の電源に期待する設備は自主対策設備としており、設計方針は伊方3号炉と同様。</li> </ul>				
⑤	<p>【号機間融通により非常用高圧母線へ代替電源（交流）を給電する手段（1/2号～3/4号）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>号機間電力融通恒設ケーブル（1,2号～3,4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電（第6優先）</li> </ul>	<p>— （大飯 3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（多様性拡張設備）】（例：比較表 p. 1.14-10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯 3/4号炉は、1/2号炉と3/4号炉の非常用高圧母線に接続される号機間融通用高圧ケーブル接続盤へ号機間電力融通恒設ケーブル（1,2号～3,4号）を接続し、1号炉又は2号炉のディーゼル発電機から非常用高圧母線へ給電する手段があり、給電までに要する準備時間が第5優先と比較して長いこと及び対応要員が多いことから第6優先として使用する。</li> <li>泊 3号炉は、単独ユニットとしての審査となるため、号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルのように1号又は2号炉の電源に期待する設備は自主対策設備としており、設計方針は伊方3号炉と同様。</li> </ul>				

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p><b>2-1) 設備の相違</b>（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑥	<p>【可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源車による代替電源（交流）からの給電（第7優先）</li> </ul>	<p>【可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電（第3優先）</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的に長いことから、第7優先で使用する。</li> <li>泊3号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等時の初期の負荷を賄えるため、1号又は2号炉ディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊3号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第3優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、第1優先の代替非常用発電機が使用できないと判断した時点で準備作業を開始する。なお、第2優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。</li> <li>優先順位は異なるが、重大事故等対処設備である可搬型代替電源設備により代替電源（交流）を給電する機能に相違なし。</li> </ul>				
⑦	<p>【常設の蓄電池により代替電源（直流）を給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池（安全防護系用）</li> </ul>	<p>【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蓄電池（非常用）</li> <li>後備蓄電池</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-13）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、蓄電池（安全防護系用）のみで全交流動力電源喪失後24時間にわたり直流電源による給電が可能であり、蓄電池（安全防護系用）は「代替電源（直流）」に位置づけている。</li> <li>泊3号炉は、蓄電池（非常用）と後備蓄電池を併せて24時間にわたり直流母線へ給電する設備設計であり、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。また、女川審査実績を反映し、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池を「所内常設蓄電式直流電源設備」と位置づけている。</li> </ul>				
⑧	<p>【可搬型直流電源設備により代替電源（直流）を給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替電源（交流）による給電に使用する設備</li> <li>可搬式整流器</li> </ul>	<p>【可搬型代替直流電源設備による給電する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>可搬型直流電源用発電機</li> <li>可搬型直流変換器</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-15）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、代替電源（交流）からの給電手段により非常用高圧母線へ給電し、可搬式整流器を介して直流母線へ給電が可能。</li> <li>泊3号炉では、非常用高圧母線を経由することなく、直流母線へ直接給電可能な直流電源専用の交流発電機である可搬型直流電源用発電機を配備しており、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。</li> <li>泊3号炉は、所内常設蓄電式直流電源設備である後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合には、可搬型代替直流電源設備専用の発電機及び電路を使用する可搬型代替直流電源設備により直流電源を供給する。（伊方3号炉と同様）</li> </ul>				

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p><b>2-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</b></p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑨	<p>【空冷式非常用発電装置等へ補給する燃料を備蓄する設備及び燃料の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料油貯蔵タンク</li> <li>重油タンク</li> <li>空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機の燃料は<b>重油</b></li> </ul>	<p>【代替非常用発電機等へ補給する燃料を備蓄する設備及び燃料の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</li> <li>燃料タンク (SA)</li> <li>代替非常用発電機、可搬型代替電源車及びディーゼル発電機の燃料は<b>軽油</b></li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14, 23）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、燃料補給に用いる設備として燃料油貯蔵タンク及び重油タンクにより、有効性評価における7日間の重大事故等対応が可能な備蓄量（重油）を確保している。</li> <li>大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機の燃料に重油を使用する。また、設備によって使用する燃料が重油と軽油で異なるため、文章中に「燃料（重油）」又は「燃料（軽油）」と記載し、燃料補給を行う設備ごとに燃料の種類を明確にしている。</li> <li>泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）にて7日間の重大事故等対応が可能な備蓄量（軽油）を確保する方針である。必要な燃料を軽油のみで確保する方針は女川2号炉と同様。</li> <li>泊3号炉は使用する燃料が軽油のみであることから「1.14.2.4 燃料の補給手順」の冒頭に「燃料は軽油」と記載し、以降の記載は省略している。</li> </ul>				
⑩	<p>— （泊3号炉との比較対象なし）</p>	<p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げに使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-19）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉はタンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段を整備して、燃料補給するための複数のルートを確認している。</li> <li>泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽からタンクローリーへ燃料を汲み上げる手段として、タンクローリー付きの給油ポンプにより汲み上げる手段と燃料油移送ポンプを使用して汲み上げる手段の2つの手段を整備することにより、代替非常用発電機等へ燃料補給するための複数ルートでの給油手段を確認している（詳細は、技術的能力1.14まとめ資料「添付1.14.12」参照）。可搬型タンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段に加えて、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により、複数ルートでの給油手段を確認しているのは美浜3号炉と同様。</li> </ul>				
⑪	<p>【1号又は2号炉からの号機間融通時の条件】</p> <p>「号機間電力融通」については、1号炉又は2号炉の安全性を損ねる恐れがあるため、「1号炉又は2号炉の号機間融通は以下の状態」である場合に限定している。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル発電機が2台健全</li> <li>供給元が低温停止中の場合はディーゼル発電機1台が健全</li> </ul>	<p>【1号又は2号炉からの号炉間電力融通時の条件】</p> <p>「号炉間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号炉間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。」</p>	<p>【設計方針の相違（多様性拡張設備）】（例：比較表 p 1.14-12, 13）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号機間融通において、供給元のプラント運転状態に応じて、号機間融通を行う条件（要求する健全ディーゼル発電機の台数）が異なる。（1台又は2台）</li> <li>泊3号炉は、1号又は2号炉からのディーゼル発電機による号炉間電力融通において、ディーゼル発電機は2台が健全である場合に限定しており、伊方3号炉と同様。</li> <li>設計方針は相違するが、自主対策設備による対応手段の相違。</li> </ul>				

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>2-1) 設備の相違</b> （以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
⑫	<p>【代替所内電気設備から恒設代替低圧注水ポンプへの給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空冷式非常用発電装置（又は電源車）</li> <li>代替所内電気設備変圧器</li> </ul>	<p>【代替所内電気設備から代替格納容器スプレイポンプへの給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替非常用発電機（又は可搬型代替電源車）</li> <li>代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉の代替所内電気設備は、代替所内電気設備変圧器を経由し恒設代替低圧注水ポンプに給電する。</li> <li>泊3号炉は、代替所内電気設備変圧器とは別に代替格納容器スプレイポンプ専用の変圧器を設置し、代替格納容器スプレイポンプへ給電する。代替注水で使用するポンプについて専用の変圧器を設置しているプラントは泊以外にないが、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤と代替所内電気設備変圧器盤に機能的な相違はない。</li> <li>設備構成は相違するが、代替炉心注水等を行う常設重大事故等対処設備へ給電する機能に相違なし。</li> </ul>	
⑬	<p>【代替所内電気設備から非常用直流母線への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空冷式非常用発電装置（又は電源車）</li> <li>代替所内電気設備変圧器</li> <li>代替所内電気設備分電盤</li> <li>可搬式整流器</li> </ul>	<p>—</p> <p>（大飯3/4号炉との比較対象なし）</p>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、代替所内電気設備分電盤から可搬式整流器を経由して、非常用直流母線への給電が可能であることから、交流電源から直流電源への変換に用いる可搬式整流器を整備している。</li> <li>泊3号炉の代替所内電気設備は、非常用直流母線への給電はできないが、重大事故等対処設備である可搬型直流電源用発電機を用いた手段により、非常用直流母線への給電が可能であり、設計方針は川内1/2号炉及び伊方3号炉と同様。</li> </ul>	
⑭	<p>【充電器による直流電源の給電に伴う蓄電池室の換気手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央制御室にて蓄電池室排気ファンを起動する。</li> </ul>	<p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>【充電器による直流電源の給電に伴う安全系蓄電池室の換気手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。</li> </ul>	<p>【設計方針の相違】（例：比較表p 1.14-65）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、中央制御室にて蓄電池室排気ファンの起動が可能。</li> <li>泊3号炉は、現場にて蓄電池室排気ファンを運転するためのダンパの開処置が必要であり、ダンパの開処置終了後、現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。（川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉と同様。）</li> </ul>	
⑮	<p>【代替所内電気設備への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替所内電気設備への給電に使用する「電源車」は多様性拡張設備</li> </ul>	<p>【代替所内電気設備への給電に使用する設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代替所内電気設備への給電に使用する「可搬型代替電源車」は重大事故等対処設備</li> </ul>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-18）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉の代替所内電気設備への給電に使用する電源車は、「空冷式非常用発電装置が使用できない場合に、有効性評価「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失及びRCPシールLOCAが発生する事故」においてアンユラス空気浄化系を約60分以内に準備する想定としているのに対し、電源車の着手及び移動並びに起動作業に約90分要するものの、放射性物質放出を抑制する手段として有効」とし、多様性拡張設備としている。</li> <li>泊3号炉は、有効性評価「外部電源喪失時に非常用所内交流電源が喪失し、原子炉補機冷却機能の喪失する事故」では、アンユラス空気浄化ファンを事象発生から約24時間後に起動する想定としているのに対し、可搬型代替電源車を使用した代替所内電気設備による給電手段の場合であっても、事象発生から約24時間後に、アンユラス空気浄化ファンの起動が可能なることから、可搬型代替電源車も重大事故等対処設備としている。（川内1/2号炉と同様。）</li> </ul>	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川2号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>2-2) 運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</b>				
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	<p>【空冷式非常用発電装置等への燃料補給の手順着手の判断基準】</p> <p>「空冷式非常用発電装置、電源車及びディーゼル発電機を運転した場合において、各発電機の燃料が規定油量以上あることを確認した上で運転開始後、燃料補給作業着手時間に達した場合。」</p>	<p>【ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給の手順着手の判断基準】</p> <p>可搬型タンクローリー給油ポンプにより補給する場合</p> <p>「重大事故等の対処に必要となる代替非常用発電機、可搬型代替電源車、可搬型直流電源用発電機、可搬型大容量海水送水ポンプ車、可搬型大型送水ポンプ車及び緊急時対策用発電機を使用する場合。」</p>	<p>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-91）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯 3/4 号炉は、燃料補給が必要となる設備の燃料枯渇時間及び燃料補給の準備に要する作業時間を考慮し、その設備の燃料が枯渇する前に燃料補給が開始できるよう、燃料補給作業着手時間を設定し、着手時間となれば準備を開始する手順としている。</li> <li>泊 3 号炉では、燃料補給が必要となるすべての設備に係る燃料補給準備について、その設備を使用する場合に準備を開始する手順としている。この作業着手の考え方は女川と同様。</li> <li>手順着手の判断基準が異なるが、設備の燃料が枯渇する前に燃料を補給できることに相違なし。</li> </ul>	
②	代替電源（交流）による給電手段の優先順位	代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位	<p>【運用の相違】例：比較表 p 1.14-106, 107)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯 3/4 号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的長いことから、第 6 優先で使用する。その他の給電手段については、短時間かつ容易に給電できる手段を優先的に実施できる優先順位としている。</li> <li>泊 3 号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等発生時の初期の負荷を賄えるため、1 号又は 2 号炉のディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊 3 号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第 3 優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、代替非常用発電機が使用できない場合に準備作業を開始する。なお、第 2 優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。</li> </ul>	

※ 相違点を強調する箇所を下線部に示す。

※ 本比較結果の概要において、設備を比較する場合は、女川 2 号炉の審査実績により追加した配管・弁等の記載は省略している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2-3) 記載方針の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</p>			
No.	大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
①	<p>【「1.14.1 (2) d.手順等」の記載】                  これらの手順は、<u>発電所対策本部長<sup>※3</sup>、当直課長、運転員等<sup>※4</sup>及び緊急安全対策要員<sup>※5</sup></u>の対応として全交流動力電源喪失の対応手順等に定める（第1.14.1表～第1.14.3表）。                  ※3 <u>発電所対策本部長：重大事故等発生時における発電所原子力防災管理者及び代行者をいう。</u>                  ※4 <u>運転員等：運転員及び重大事故等対策要員のうち当直課長の指示に基づき運転対応を実施する要員をいう。</u>                  ※5 <u>緊急安全対策要員：重大事故等対策要員のうち発電所対策本部長の指示に基づき対応する運転員等以外の要員をいう。</u></p>	<p>【「1.14.1 (2) d.手順等」の記載】                  これらの手順は、<u>発電所対策本部長<sup>※3</sup>、発電課長（当直）、運転員、災害対策要員及び運転班員の対応として、事象の判別を行う運転手順等、全交流動力電源喪失時における対応手順等、炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順及び余熱除去系統異常の対応手順に定める（第1.14.1表）。</u>                  ※3 <u>発電所対策本部長：重大事故等発生時における原子力防災管理者及び代行者をいう。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大飯3/4号炉は、技術的能力1.0にて整理する要員の名称以外に「運転員等」という名称を使用していることから、要員名称の定義を記載している。（例：比較表p 1.14-19,20）</li> <li>泊3号炉は、技術的能力1.0にて整理する要員の名称を記載している場合、改めて要員名称の定義は記載しないこととしている。泊3号炉の要員名称の定義を記載しない方針は、伊方3号炉と同様である。</li> </ul>
<p>※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>2-4) 記載表現、設備名称等の相違（以下については、相違理由を省略する）</b>			
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
・空冷式非常用発電装置	・代替非常用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・タンクローリー	・可搬型タンクローリー	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・燃料油貯蔵タンク	・ディーゼル発電機燃料油貯槽	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-8）	
・電源車	・可搬型代替電源車	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-9）	
・室温	・作業環境の周囲温度	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-32）	
・電源車（緊急時対策所用）	・緊急時対策所用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・可搬型バッテリー（加圧器逃がし弁用）	・加圧器逃がし弁操作用バッテリー	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-17）	
・可搬型バッテリー（炉外核計装盤、放射線監視盤）	・可搬型バッテリー（炉外核計装装置用、放射線監視装置用）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-17）	
・号機間電力融通	・号炉間電力融通	・手順書名称の相違（例：比較表 p 1.14-12）	
・全交流動力電源喪失の対応手順	・全交流動力電源喪失時における対応手順	・手順書名称の相違（例：比較表 p 1.14-20）	
・恒設代替低圧注水ポンプ	・代替格納容器スプレイポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-81）	
・計装用電源	・計装用インバータ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-81）	
・定期検査	・定期事業者検査	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-32）	
・号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）	・号炉間連絡ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-40）	
・多様性拡張設備	・自主対策設備	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-3）	
・号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）	・号炉間連絡予備ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-40）	
・空冷式非常用発電装置受電しゃ断器	・SA用代替電源受電遮断器A系 ・SA用代替電源受電遮断器B系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-29）	
・携帯照明	・照明	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-35）	
・通信設備	・通信連絡設備	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-35）	
・蓄電池室	・A安全系蓄電池室及びB安全系蓄電池室	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-65）	
・タンクローリー給油ポンプ	・可搬型タンクローリー給油ポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-93）	
・不要直流負荷の切離し	・不要な直流負荷切離し	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-64）	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>2-5) 相違識別の省略（以下については、各対応手順の共通の相違理由のため、本文中の相違識別と相違理由は省略する）</b>			
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
<p>【「操作手順」の対応要員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当直課長</li> <li>・運転員等</li>   <li>・緊急安全対策要員</li> <li>・発電所対策本部長</li> </ul>	<p>【「操作手順」の対応要員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電課長（当直）</li> <li>・運転員</li> <li>・1号及び2号炉発電課長（当直）</li> <li>・1号及び2号炉運転員</li> <li>・災害対策要員</li> <li>・発電所対策本部長</li> <li>・運転班員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応要員、要員名称の相違</li> <li>・泊3号炉の本審査項目で整理する操作手順は、発電課長（当直）の指示により主に運転員と災害対策要員で対応するが、ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給については、発電所対策本部長の指示により災害対策要員が対応する。（例：比較表p 1.14-89～91）なお、手順着手は主に発電課長（当直）が判断し、発電所対策本部長へ作業開始を依頼するが、可搬型タンクローリーから各機器への補給については、発電所対策本部長が手順着手を判断する。（例：比較表p 1.14-92～93）</li> <li>・泊3号炉のように、可搬型 SA 設備を取り扱う災害対策要員に対して発電課長（当直）の指示により対応する体制としている点では、伊方3号炉も同様であり、伊方3号炉は発電所災害対策本部の設置まで、発電所災害対策本部要員も当直長の指揮下にて初動対応を行う体制としている。</li> <li>・大飯3/4号炉の要員名称の定義については「記載方針の相違①」にて整理する。</li> <li>・大飯3/4号炉の本審査項目で整理する操作手順は、当直課長の指示により運転員等が対応する作業と、発電所対策本部長の指示により緊急安全対策要員が対応する作業があり、手順着手の判断についても、当直課長が判断する手順と、発電所対策本部長が判断する手順がある。（例：比較表p 1.14-89～93）</li> <li>・操作手順の比較において、これら要員の名称の相違、作業開始指示及び完了報告に関する事項の相違識別は省略する。</li> </ul>	
<p>※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>3. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要</b>				
<b>3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄に No.を記載する）</b>				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】 ・所内常設蓄電式直流電源設備による給電	【所内常設蓄電式直流電源設備による給電で使用する設備】 ・蓄電池（非常用）による直流電源からの給電 ・後備蓄電池による代替電源（直流）からの給電	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14） ・女川2号炉は、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2Bのみで全交流動力電源喪失後24時間にわたり直流電源による給電が可能であり、125V蓄電池2A及び125V蓄電池2Bは、「所内常設蓄電式直流電源設備」として位置付けている。 ・泊3号炉は、蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線へ給電する設備設計であり、設計方針は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。また、女川審査実績を反映し、蓄電池（非常用）及び後備蓄電池を「所内常設蓄電式直流電源設備」と位置付けている。	
②	常設代替直流電源設備による給電で使用する設備 ・125V代替蓄電池 ・250V蓄電池 ・125V代替蓄電池～125V直流主母線盤2A-1及び125V直流主母線盤2B-1電路 ・250V蓄電池～250V直流主母線盤電路	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14） ・女川2号炉では所内常設蓄電式直流電源設備による給電が出来ない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、125V代替蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊3号炉では蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による給電により対応する。蓄電池による給電及び可搬型直流電源設備による給電手段の2手段を整備しているのは大飯や先行PWRと同様。常設蓄電式直流電源設備により24時間の給電を確保し、24時間以内に可搬型直流電源設備より給電を開始する設備構成は、大飯と同様。	
③	・125V代替充電器用電源車接続設備による給電で使用する設備 ・125V代替充電器 ・代替直流電源用切替盤 ・代替直流電源用変圧器 ・電源車 ・電源車～電源車接続口（制御建屋）電路 ・電源車接続口（制御建屋）～125V直流主母線盤2A-1及び125V直流主母線盤2B-1電路 ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁 ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁 ・ホース ・タンクローリ	— （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（自主対策の相違）】（例：比較表 p 1.14-15,16） ・女川2号炉では125V蓄電池2A,2Bによる直流母線給電が出来ない場合かつ電源車から代替所内電気設備を経由し125V充電器へ給電出来ない場合に、電源車を125V代替充電器用電源車接続設備に接続し125V代替充電器へ給電する手段を整備している。 ・泊3号炉では蓄電池（非常用）と後備蓄電池による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器による給電により対応する。蓄電池による給電及び可搬型直流電源設備による給電手段の2手段を整備しているのは大飯や先行PWRと同様。	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</b>				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
④	iii. 号炉間電力融通設備による給電  なお、号炉間電力融通ケーブル（常設）は3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設し、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は屋外の保管エリアに配備する。	iv. 号炉間電力融通設備による給電  なお、号炉間連絡ケーブルは代替給電用接続盤1～代替給電用接続盤4、代替給電用接続盤4～代替給電用接続盤3及び代替給電用接続盤2～代替給電用接続盤3の間にあらかじめ敷設し、号炉間連絡予備ケーブルは屋外の保管エリアに配備する。	【設計方針の相違（自主対策設備）】（例：比較表p 1.14-10） ・女川2号炉の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設しており、常時接続状態となっていることから、中央制御室からの遮断器の操作により給電可能な設計である。 ・泊3号炉の号炉間連絡ケーブルは、あらかじめ敷設しているが、ケーブルは切り離しており、ケーブルの接続作業が必要である。号炉間電力融通設備による給電の際に、ケーブルの接続作業を実施する設計としては、大飯と同様。	
⑤	— (泊3号炉との比較対象なし)	(1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの補給	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-19） ・泊3号炉では可搬型設備への燃料補給の手段として、可搬型タンクローリーによりディーゼル発電機燃料油貯油槽から直接燃料を汲み上げる手段と、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により複数ルートでの給油手段を確保している。 ・上記手段に加え、燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーにより、燃料を汲み上げる手段を整備する方針である。 ・可搬型タンクローリーへ直接燃料を汲み上げる手段に加えて、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて燃料を汲み上げる手段により、複数ルートでの給油手段を確保しているのは美浜3号炉と同様。	
⑥	・ガスタービン発電設備軽油タンク ・ガスタービン発電設備燃料油移送ポンプ ・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁	— (女川2号炉との比較対象なし)	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表p 1.14-8） ・女川2号炉はガスタービン発電機専用の軽油タンクを設置しており、ガスタービン発電機への燃料補給は、軽油タンクから移送ポンプにて自動補給される。 ・泊3号炉はディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリーへ汲み上げた燃料を代替非常用発電機へ補給する。 ・泊3号炉は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク（SA）による複数のタンクで燃料を確保する。複数のタンクで燃料を確保する方針は、女川2号炉及び大飯3/4号炉を含む先行プラントと同様。また、泊3号炉の燃料タンク（SA）で確保する燃料油量については、同様にSA対応用として追設した伊方3号炉の軽油タンクと同等である。 ・可搬型タンクローリーで燃料補給する手段は、大飯3/4号炉を含む先行PWRと同様。	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p><b>3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</b></p>							
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑦	a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【125V 充電器による直流電源の給電に伴う DC125V バッテリー室の換気手順】  運転員（中央制御室）Aは、計測制御電源室（A）室換気空調系及び計測制御電源室（B）室換気空調系のCSを「入」とし、	a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電 【充電器による直流電源の給電に伴う安全系蓄電池室の換気手順】  ・現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。	【設計方針の相違】（例：比較表 p 1.14-65） ・女川3号炉は、蓄電池充電時の水素ガス滞留防止のために必要となる計測制御電源室（A）室換気空調系及び計測制御電源室（B）室換気空調系の起動を中央制御室で実施可能。 ・泊3号炉は、現場にて蓄電池室排気ファンを運転するためのダンパの開処置が必要であり、ダンパの開処置終了後、現場にて蓄電池室排気ファンを起動する。（川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉と同様。）				
⑧	常設代替直流電源設備による給電で使用する設備（250V 系統） ・250V 蓄電池 ・250V 充電器 ・250V 蓄電池及び250V 充電器～250V 直流主母線盤回路 ・電源車接続口（原子炉建屋）～250V 直流主母線盤回路	—  （女川2号炉との比較対象なし）	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14,15） ・女川2号炉では、直流駆動低圧注水系ポンプ等へ給電するための設備を設けている。250V 蓄電池は、有効性評価の全交流電源喪失シナリオへの対応のために設置する直流駆動低圧注水系ポンプへ電源を供給する設備であり、先行他社にない設備である。				
⑨	可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備（配管・弁・電路は除く） ・125V 代替蓄電池 ・250V 蓄電池 ・125V 代替充電器 ・250V 充電器 ・電源車 ・軽油タンク ・ガスタービン発電設備軽油タンク ・タンクローリ	可搬型代替直流電源設備による給電で使用する設備（配管・弁・電路は除く） ・可搬型直流電源用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク（SA） ・可搬型タンクローリ ・可搬型直流変換器	【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】（例：比較表 p 1.14-14,15） ・女川2号炉は可搬型代替直流電源設備に常設代替直流電源設備（125V 代替充電器及び250V 充電器）も含めた設備構成としており、可搬型代替交流電源設備の電源車と可搬型代替直流電源設備の蓄電池を充電する125V 代替充電器及び250V 充電器を使用する。 ・泊3号炉では、非常用高圧母線を経由することなく、直流母線へ直接給電可能な直流電源専用の交流発電機である可搬型直流電源用発電機を配備しており、設備構成は川内1/2号炉、伊方3号炉及び玄海3/4号炉と同様。 ・泊3号炉は、所内常設蓄電式直流電源設備である後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合には、伊方と同様に可搬型代替直流電源設備専用の発電機及び電路を使用し可搬型代替直流電源設備により直流電源を供給する手段を整備する。（伊方3号炉と同様）				
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<b>3-1) 設備の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</b>							
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由				
⑩	代替所内電気設備による給電で使用する設備 ・ガスタービン発電機接続盤 ・緊急用高圧母線 2F 系, 2G 系 ・緊急用動力変圧器 2G 系 ・緊急用低圧母線 2G 系 ・緊急用交流電源切替盤 2G 系, 2C 系, 2D 系 ・非常用高圧母線 2C 系, 2D 系	代替所内電気設備による給電で使用する設備 ・代替非常用発電機 ・ディーゼル発電機燃料油貯油槽 ・燃料タンク (SA) ・可搬型タンクローリー ・代替所内電気設備変圧器 ・代替所内電気設備分電盤 ・代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 ・可搬型代替電源車	<b>【設計方針の相違（重大事故等対処設備）】</b> （例：比較表 p 1.14-17, 18） ・女川2号炉は緊急用母線や変圧器等の電路を代替所内電気設備として整備している。 ・泊3号炉は代替非常用発電機又は可搬型代替電源車と専用の変圧器、分電盤等の電源、電路及び燃料補給に使用する設備を代替所内電気設備として整備している。これら使用する設備や代替所内電気設備により給電対象とする設備の整理方針は、大飯3/4号炉と同様。				
⑪	・号炉間電力融通ケーブル（常設）、（可搬型）を使用した3号炉の非常用ディーゼル発電機によるパワーセンタ2G系及びモータコントロールセンタ2G系受電	— （女川2号炉との比較対象なし）	<b>【設計方針の相違（自主対策設備）】</b> （例：比較表 p 1.14-82） 自主対策の相違 ・女川2号炉では代替所内電気設備による対応手段として、自主対策設備である号炉間融通ケーブルを使用した号炉間融通により代替所内電気設備である2G系母線へ給電する手順を整備している。 ・泊3号炉では代替所内電気設備による対応手段として、号炉間電力融通による交流の給電手段は整備していないが、女川と同様に重大事故等対処設備である代替非常用発電機及び可搬型代替電源車により給電する手順を整備している。（女川は、ガスタービン発電機及び電源車）。 ・号炉間電力融通設備以外の代替非常用発電機及び可搬型代替電源車による給電手段を整備しているのは、川内1/2号炉、高浜1/2号炉、高浜3/4号炉、大飯3/4号炉及び美浜3号炉と同様。				
⑫	発電用原子炉及び使用済燃料プールの冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要となるメタクラ2C系及びメタクラ2D系の電源を復旧する。	発電用原子炉の冷却、原子炉格納容器内の冷却及び除熱に必要となるメタクラA系及びメタクラB系の電源を復旧する。	<b>【設計方針の相違】</b> （例：比較表 p 1.14-21） ・女川2号炉は、使用済燃料プールの除熱に使用する設備である、燃料プール冷却浄化系ポンプ及び燃料プール冷却浄化系弁を常設代替電源設備又は可搬型代替電源設備から給電する設計である。 ・泊は3号炉は、使用済燃料ピットの除熱に使用する設備に関し、常設代替電源設備又は可搬型代替電源設備から給電対象の設備は無い。（大飯と同様）				
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>3-2) 運用の相違</b> （以下については、相違理由欄にNo.を記載する）				
No.	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
①	代替交流電源設備による非常用所内電気設備への給電の優先順位	代替交流電源設備による非常用所内気源設備への給電の優先順位	<p>【運用の相違】例：比較表p 1.14-106, 107)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川2号炉の電源車は、必要とされる監視設備や中央制御室空調設備等を維持するための最低限必要な負荷へ給電できる電源であること及び給電までに要する準備時間が比較的長いことから、第4優先で使用する。号炉間電力融通設備使用した給電手段については、短時間かつ容易に給電できることから、ガスタービン発電機による給電が確認できない場合、号炉間電力融通設備である号炉間電力融通ケーブル（常設）を優先順位2とし、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を優先順位3としている。</li> <li>・泊3号炉の可搬型代替電源車は、代替非常用発電機よりも容量が小さいが重大事故等発生時の初期の負荷を賄えるため、1号又は2号炉のディーゼル発電機からの電力融通よりも、泊3号炉の設備である可搬型代替電源車による給電を第3優先で使用する。可搬型代替電源車による給電は準備に時間を要することから、第1優先の代替非常用発電機が使用できない場合に準備作業を開始する。なお、第2優先である後備変圧器による給電と可搬型代替電源車による給電を準備する要員は、それぞれ別の要員で対応することから、並行で準備作業を開始する。</li> </ul>	
※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<b>3-3) 記載表現、設備名称の相違（以下については、相違理由を記載しない）</b>			
女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	備考	
・ガスタービン発電機	・代替非常用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-1）	
・タンクローリ	・可搬型タンクローリ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-2）	
・軽油タンク	・ディーゼル発電機燃料油貯油槽	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-2）	
・電源車	・可搬型代替電源車	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-1）	
・号炉間電力融通ケーブル（常設）	・号炉間連絡ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-10）	
・号炉間電力融通ケーブル（可搬型）	・号炉間連絡予備ケーブル	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-10）	
・電源車	・可搬型直流電源用発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-16）	
・メタクラ 2C	・メタクラ A系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-1）	
・メタクラ 2D	・メタクラ B系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-1）	
・125V 直流主母線盤 2A	・A 直流母線	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-2）	
・125V 直流主母線盤 2B	・B 直流母線	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-2）	
・使用済燃料プール	・使用済燃料ピット	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-5）	
・非常用ディーゼル発電機	・ディーゼル発電機	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-6）	
・非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク	・ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-6）	
・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ	・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-6）	
・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁	・ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-7）	
・非常用高圧母線 2C系	・非常用高圧母線（6-A）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-7）	
・非常用高圧母線 2D系	・非常用高圧母線（6-B）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-7）	
・原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却海水設備）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-7）	
・電源車接続口（原子炉建屋）電路	・可搬型代替電源接続盤電路	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-9）	
・125V 充電器 2A	・A 充電器	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・125V 充電器 2B	・B 充電器	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・125V 蓄電池 2A	・蓄電池（非常用）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・125V 蓄電池 2B	・蓄電池（非常用）	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-13）	
・大容量送水ポンプ（タイプ I）	・可搬型大型送水ポンプ車	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-19）	
・大容量送水ポンプ（タイプ II）	・可搬型大容量海水送水ポンプ車	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-19）	
・非常時操作手順書（設備別）、非常時操作手順書（徴候ベース）及び重大事故等対応要領書	・「事象の判別を行う運転手順等」、「全交流動力電源喪失時における対応手順等」、「炉心の著しい損傷が発生した場合の対応手順」及び余熱除去系統異常の対応手順	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-20）	
・モータコントロールセンタ	・コントロールセンタ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-27）	
・パワーセンタ 2C系	・パワーコントロールセンタ A系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-26）	
・パワーセンタ 2D系	・パワーコントロールセンタ B系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-27）	
・モータコントロールセンタ 2C系	・コントロールセンタ A系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-28）	
・モータコントロールセンタ 2D系	・コントロールセンタ B系	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-28）	
・非常用所内電気設備	・非常用電源設備	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-82）	
・車両付ポンプ	・可搬型タンクローリ給油ポンプ	・設備名称の相違（例：比較表 p 1.14-93）	
・必要な負荷以外の切離し	・不要な直流負荷切離し	・記載表現の相違（例：比較表 p 1.14-62）	

※ 相違点を強調する箇所を下線部にて示す。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 交流電源喪失時の対応手段及び設備</p> <p>b. 直流電源喪失時の対応手段及び設備</p> <p>c. 所内電気設備機能喪失時の対応手段及び設備</p> <p>d. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による給電手順等</p> <p>(1) 空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(2) 77kV送電線による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(3) No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(4) No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(5) 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>(8) 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p>	<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替交流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替所内電気設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備</p> <p>(a) 燃料補給設備による補給</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電</p> <p>b. 号炉間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電</p>	<p>1.14 電源の確保に関する手順等</p> <p style="text-align: center;">&lt;目次&gt;</p> <p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替交流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備</p> <p>b. 代替電源（直流）による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替直流電源設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>c. 代替所内電気設備による対応手段及び設備</p> <p>(a) 代替所内電気設備による給電</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>d. 燃料補給のための対応手段及び設備</p> <p>(a) 燃料補給設備による補給</p> <p>(b) 重大事故等対処設備</p> <p>e. 手順等</p> <p>1.14.2 重大事故等時の手順</p> <p>1.14.2.1 代替電源（交流）による対応手順</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電</p> <p>a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>b. 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>c. 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 記載方針の相違                      ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】 記載方針の相違                      ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【女川】 記載方針の相違                      ・泊は重大事故等対処設備のみを整備している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違(女川実績の反映)                      ・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】 記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>(4) No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(6) 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(7) 電源車による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(8) 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による代替電源（交流）からの給電</p> <p>(9) 優先順位</p>	<p>1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順</p> <p>(1) 代替直流電源設備による給電</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>b. 常設代替直流電源設備による給電</p> <p>c. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>d. 125V 代替充電器用電源車接続設備による給電</p> <p>(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保</p> <p>a. 常設直流電源喪失時の 125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2B 受電</p>	<p>d. 開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>1.14.2.2 代替電源（直流）による対応手順</p> <p>(1) 代替直流電源設備による給電</p> <p>a. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>b. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>(2) 常設直流電源喪失時の遮断器用制御電源確保</p> <p>a. 常設直流電源喪失時のA直流母線及びB直流母線受電</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)                      ・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)                      ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>
<p>1.14.2.2 代替電源（直流）による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池（安全防護系用）による代替電源（直流）からの給電</p> <p>(2) 可搬式整流器による代替電源（直流）からの給電</p> <p>(3) 優先順位</p>	<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順</p> <p>(1) 代替所内電気設備による給電</p> <p>a. ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンタ 2G 系及びモータコントロールセンタ 2G 系給電</p>	<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による対応手順</p> <p>(1) 代替所内電気設備による給電</p> <p>a. 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p>	<p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)                      ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑫、⑬）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【大飯】目次構成の相違(女川実績の反映)                      ・泊は 1.14.2.6 にて整理しており、泊の記載場所で比較する。</p>
<p>1.14.2.3 代替所内電気設備による給電手順等</p> <p>(1) 代替所内電気設備による交流及び直流の給電（空冷式非常用発電装置）</p> <p>(2) 代替所内電気設備による交流及び直流の給電（電源車）</p> <p>(3) 優先順位</p>	<p>1.14.2.4 燃料の補給手順</p> <p>(1) 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの補給</p> <p>(2) タンクローリから各機器への補給</p>	<p>1.14.2.4 燃料の補給手順</p> <p>(1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク（SA）から可搬型タンクローリへの補給</p> <p>(2) 可搬型タンクローリから各機器への補給</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p>
<p>1.14.2.4 燃料の補給手順等</p> <p>(1) 空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給</p>			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.14.1 重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表</p> <p>添付資料 1.14.2 多様性拡張設備仕様</p> <p>添付資料 1.14.3 空冷式非常用発電装置による交流電源からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.11 電源車による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.4 交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <p>添付資料 1.14.6 77kV送電線による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.7 No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.8 No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.9 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.12 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.10 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.11 電源車による交流電源からの給電</p>	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>(2) 非常用直流電源設備による給電</p> <p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>(2) 代替電源（直流）による対応手段</p> <p>添付資料 1.14.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.14.2 重大事故対策の成立性</p> <p>1. ガスタービン発電機又は電源車によるメタクラ2C系及びメタクラ2D系受電</p> <p>2. 号炉間電力融通ケーブルを使用したメタクラ2C系又はメタクラ2D系受電</p>	<p>1.14.2.5 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 非常用交流電源設備による給電</p> <p>1.14.2.6 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>(1) 代替電源（交流）による対応手段</p> <p>(2) 代替電源（直流）による対応手段</p> <p>添付資料 1.14.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表</p> <p>添付資料 1.14.2 自主対策設備仕様</p> <p>添付資料 1.14.3 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車によるメタクラA系及びメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.4 交流電源給電負荷積上げ表</p> <p>添付資料 1.14.5 後備変圧器によるメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.6 号炉間連絡ケーブル又は号炉間連絡予備ケーブルを使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・泊は、自主対策設備の仕様について添付資料に整理しており、多様性拡張設備の仕様について添付資料に整理している大飯と同様。</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>・泊の添付資料の名称については、本文の手順書名称と合わせ、項目ごとに記載した。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由①)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.8 No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブルを使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.12 号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を使用した号機間融通による交流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.13 不要直流負荷① 切離し操作</p> <p>添付資料 1.14.14 不要直流負荷① 切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.15 不要直流負荷② 切離し操作</p> <p>添付資料 1.14.16 不要直流負荷② 切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.17 可搬式整流器による直流電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.18 代替所内電気設備による電源からの給電</p> <p>添付資料 1.14.19 タンクローリーによる燃料補給操作</p> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p>	<p>3. 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <p>添付資料 1.14.4 必要な直流負荷以外の切離しリスト</p> <p>4. 常設代替直流電源設備による給電</p> <p>5. 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>6. 125V 代替充電器用電源車接続設備による給電</p> <p>7. ガスタービン発電機、号炉間電力融通ケーブル又は電源車によるパワーセンタ 2G 系及びモータコントロールセンタ 2G 系給電</p> <p>8. 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリーへの補給</p> <p>9. タンクローリーから各機器及びガスタービン発電設備軽油タンクへの補給</p> <p>添付資料 1.14.3 ガスタービン発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト</p> <p>添付資料 1.14.4 必要な直流負荷以外の切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.5 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p>	<p>添付資料 1.14.7 開閉所設備を使用したメタクラA系又はメタクラB系受電</p> <p>添付資料 1.14.8 所内常設蓄電式直流電源設備による給電</p> <p>添付資料 1.14.9 不要直流負荷の切離しリスト</p> <p>添付資料 1.14.10 可搬型代替直流電源設備による給電</p> <p>添付資料 1.14.11 代替非常用発電機又は可搬型代替電源車による代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤及び代替所内電気設備分電盤給電</p> <p>添付資料 1.14.12 ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)から可搬型タンクローリーへの補給</p> <p>添付資料 1.14.13 可搬型タンクローリーから各機器への補給</p> <p>添付資料 1.14.14 代替非常用発電機による受電時の自動起動防止及び切離し対象負荷リスト</p> <p>添付資料 1.14.15 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <p>添付資料 1.14.16 重大事故等時における燃料補給に係る複数ルートの確保について</p> <p>添付資料 1.14.17 解釈一覧              1. 弁番号及び弁名称一覧</p>	<p>・下段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑧）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑫、⑬）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑩）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>・上段の泊の記載箇所にて比較する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>・泊は、各対応手段の「手順着手の判断基準」及び「操作手順」に対する具体的な目標値や設定値等の定量的な解説、「操作手順」の系統構成等に対する具体的な操作対象機器について添付資料に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p>＜要求事項＞</p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合においても炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中において原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するため、代替電源から給電する設備を整備しており、ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p>【要求事項】</p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保する対処設備を整備する。ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>1. 1.4 電源の確保に関する手順等</p> <p>【要求事項】</p> <p>発電用原子炉設置者において、電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中における発電用原子炉内の燃料体（以下「運転停止中原子炉内燃料体」という。）の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p> <p>【解釈】</p> <p>1 「電力を確保するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p> <p>(1) 炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力の確保</p> <p>a) 電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、代替電源により、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、貯蔵槽内燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保するために必要な手順等を整備すること。</p> <p>b) 所内直流電源設備から給電されている24時間内に、十分な余裕を持って可搬型代替交流電源設備を繋ぎ込み、給電が開始できること。</p> <p>c) 複数号機設置されている工場等では、号機間の電力融通を行えるようにしておくこと。また、敷設したケーブル等が利用できない状況に備え、予備のケーブル等を用意すること。</p> <p>d) 所内電気設備（モーターコントロールセンター(MCC)、パワーセンター(P/C)及び金属閉鎖配電盤(メタクラ)(MC)等)は、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも一系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図ること。</p> <p>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な電力を確保する対処設備を整備する。ここでは、この対処設備を活用した手順等について説明する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源喪失及び所内単独運転に失敗した場合には、<b>非常用電源設備により非常用高圧母線及び非常用直流母線へ電力を供給する必要がある。このための設計基準事故対処設備として、ディーゼル発電機及び蓄電池（安全防護系用）を設置している。</b></p> <p>ディーゼル発電機及び蓄電池（安全防護系用）より給電された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備が健全であれば重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14.1図、第1.14.2図）（以下「機能喪失原因対策分析」という。）。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料1.14.1, 1.14.2)</p> <p>重大事故等対処設備の他に、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び<b>多様性拡張設備<sup>※1</sup></b>を選定する。</p> <p>※1 <b>多様性拡張設備</b>：技術基準上のすべての要求事項を満たすことやすべてのプラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、技術的能力審査基準（以下「審査基準」という。）だけでなく、設置許可基準規則第五十七条及び技術基準規則第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、<b>多様性拡張のための設備との関係を明確にする。</b></p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p>	<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源が喪失した場合において、非常用高圧母線及び直流設備へ給電するための設計基準事故対処設備として、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備を設置している。</p> <p>また、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備から供給された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として、非常用所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備のうち、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備が健全であれば、これらを重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置付け重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした（以下「機能喪失原因対策分析」という。）上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14-1図）。</p> <p>重大事故等対処設備の<b>ほか</b>、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び<b>自主対策設備<sup>※1</sup></b>を選定する。</p> <p>※1 <b>自主対策設備</b>：技術基準上の<b>全ての</b>要求事項を満たすことや<b>全ての</b>プラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「技術的能力審査基準」（以下「審査基準」という。）だけでなく、「設置許可基準規則」第五十七条及び「技術基準規則」第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、<b>自主対策設備との関係を明確にする。</b></p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）である非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備が健全であれば重大事故等対処設備として重大事故等の対処に用いる。</p> <p>非常用交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用ディーゼル発電機</li> <li>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機</li> <li>・非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク</li> <li>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク</li> <li>・軽油タンク</li> <li>・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ</li> </ul>	<p>1.14.1 対応手段と設備の選定</p> <p>(1) 対応手段と設備の選定の考え方</p> <p>外部電源喪失及び<b>所内単独運転に失敗した場合において、非常用高圧母線及び直流母線へ給電するための設計基準事故対処設備として、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備を設置している。</b></p> <p>また、非常用交流電源設備及び非常用直流電源設備から供給された電力を各負荷へ分配するための設計基準事故対処設備として非常用所内電気設備を設置している。</p> <p>これらの設計基準事故対処設備のうち、非常用交流電源設備が健全であればこれらを重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置付け重大事故等の対処に用いるが、設計基準事故対処設備が故障した場合は、その機能を代替するために、各設計基準事故対処設備が有する機能、相互関係を明確にした（以下「機能喪失原因対策分析」という。）上で、想定する故障に対応できる対応手段及び重大事故等対処設備を選定する（第1.14.1図）。</p> <p style="text-align: center;">(添付資料1.14.1, 1.14.2)</p> <p>重大事故等対処設備の<b>他に</b>、柔軟な事故対応を行うための対応手段及び<b>自主対策設備<sup>※1</sup></b>を選定する。</p> <p>※1 <b>自主対策設備</b>：技術基準上の<b>すべての</b>要求事項を満たすことや<b>すべての</b>プラント状況において使用することは困難であるが、プラント状況によっては、事故対応に有効な設備。</p> <p>選定した重大事故等対処設備により、「技術的能力審査基準」（以下「審査基準」という。）だけでなく、「設置許可基準規則」第五十七条及び「技術基準規則」第七十二条（以下「基準規則」という。）の要求機能を満足する設備が網羅されていることを確認するとともに、<b>自主対策設備との関係を明確にする。</b></p> <p>(2) 対応手段と設備の選定の結果</p> <p>重大事故等対処設備（設計基準拡張）である非常用交流電源設備が健全であれば重大事故等対処設備として重大事故等の対処に用いる。</p> <p>非常用交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディーゼル発電機</li> <li>・ディーゼル発電機燃料油サービスタンク</li> <li>・ディーゼル発電機燃料油貯油槽</li> <li>・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</li> </ul>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)          【女川】記載表現の相違          ・泊は、大飯及び他PWRと同様に、外部電源喪失に加え所内単独失敗した場合にも給電することを記載している。          【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違          【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)          ・設計基準拡張設備の整理</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び非常用直流母線への直流電源による給電に使用する設備並びに所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因と対応手段の検討及び<b>審査基準</b>、<b>基準規則要求</b>により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備と<b>多様性拡張設備</b>を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、重大事故等対処設備、<b>多様性拡張設備</b>及び整備する手順についての関係を、第 1.14.1 表～第 1.14.3 表に示す。</p> <p>a. 交流電源喪失時の対応手段及び設備                      (a) 対応手段                      ディーゼル発電機の故障により非常用高圧母線への交流電源による給電ができない場合は、代替電源（交流）により非常用高圧母線へ給電する手段がある。</p>	<p>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ                      ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</p> <p>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁                      ・非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路                      ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機～非常用高圧母線 2H 系電路                      ・原子炉補機冷却系</p> <p>非常用直流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。</p> <p>・125V 蓄電池 2A                      ・125V 蓄電池 2B                      ・125V 充電器 2A                      ・125V 充電器 2B                      ・125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路                      ・125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路                      ・125V 蓄電池 2H                      ・125V 充電器 2H                      ・125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H～125V 直流主母線盤 2H 電路</p> <p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び直流設備への直流電源による給電に使用する設備並びに非常用所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因から選定した対応手段及び「審査基準」、「基準規則」からの要求により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備と整備する手順についての関係を第 1.14-1 表に整理する。</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備                      (a) 代替交流電源設備による給電                      設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により非常用高圧母線 2C 系、非常用高圧母線 2D 系及び非常用高圧母線 2H 系への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p>	<p>・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁</p> <p>・ディーゼル発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>・原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却海水設備）</p> <p>機能喪失原因対策分析の結果、設計基準事故対処設備の故障として、非常用高圧母線への交流電源による給電及び直流設備への直流電源による給電に使用する設備並びに非常用所内電気設備の故障を想定する。</p> <p>設計基準事故対処設備に要求される機能の喪失原因から選定した対応手段及び「審査基準」、「基準規則」からの要求により選定した対応手段と、その対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備を以下に示す。</p> <p>なお、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備、対応に使用する重大事故等対処設備及び自主対策設備と整備する手順についての関係を第 1.14.1 表に整理する。</p> <p>a. 代替電源（交流）による対応手段及び設備                      (a) 代替交流電源設備による給電                      設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備の故障により非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）への給電ができない場合は、代替交流電源設備による給電にて炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)                      ・燃料補給に使用する設備及び流路の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)                      ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)                      【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>代替電源（交流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空冷式非常用発電装置</li> <li>・燃料油貯蔵タンク</li> <li>・重油タンク</li> <li>・タンクローリー</li> </ul> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料油貯蔵タンク</li> <li>・重油タンク</li> </ul>	<p>i. 常設代替交流電源設備による給電                      常設代替交流電源設備から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備へ給電する手段がある。</p> <p>常設代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガスタービン発電機</li> <li>・ガスタービン発電設備軽油タンク</li> <li>・タンクローリー</li> <li>・軽油タンク</li> <li>・ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ</li> <li>・ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>・ホース</li> <li>・非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>・ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路</li> <li>・ガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2G 系電路</li> </ul> <p>ii. 可搬型代替交流電源設備による給電                      可搬型代替交流電源設備を代替所内電気設備に接続し、給電する手段がある。                      可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14-2 図に示す。</p>	<p>i. 常設代替交流電源設備による給電                      常設代替交流電源設備から非常用所内電気設備又は代替所内電気設備へ給電する手段がある。</p> <p>常設代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.2 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替非常用発電機</li> <li>・可搬型タンクローリー</li> <li>・ディーゼル発電機燃料油貯槽</li> <li>・燃料タンク (SA)</li> <li>・ホース・接続口</li> <li>・ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁</li> <li>・ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</li> <li>・代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤</li> <li>・代替非常用発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</li> <li>・代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路</li> </ul> <p>ii. 可搬型代替交流電源設備による給電                      可搬型代替交流電源設備を非常用所内電気設備又は代替所内電気設備に接続し、給電する手段がある。                      可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.2 図に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・大飯は、代替電源（交流）による給電で使用する設備をすべてまとめて記載している。                      ・女川と泊は、給電手段ごとに分けた構成としている。</p> <p>【女川】 設備の相違（相違理由⑥）                      【大飯】 記載箇所の相違                      ・泊との比較は後段にて実施する。</p> <p>【大飯】 設備の相違（相違理由⑨）                      【女川】 設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・燃料補給に使用する設備及び流路の記載                      【大飯】 設備の相違（相違理由⑩）                      【女川】 設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【女川】 設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先）                      ・女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。                      ・泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川実績の反映）                      【女川】 設備の相違（相違理由⑩）                      【女川】 設備の相違                      ・女川の可搬型代替交流電源設備は、電源車を電源車接続口へ接続し、代替所内電気設備である緊急用高圧母線 2G 系を受</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため下段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源車</li> </ul> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料油貯蔵タンク</li> <li>重油タンク</li> <li>タンクローリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源車</li> <li>軽油タンク</li> <li>ガスタービン発電設備軽油タンク</li> <li>タンクローリー</li> <li>非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>高圧炉心スプレー系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁</li> <li>ホース</li> <li>電源車～電源車接続口（原子炉建屋）電路</li> <li>電源車接続口（原子炉建屋）～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路</li> <li>電源車接続口（原子炉建屋）～緊急用低圧母線 2G 系電路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可搬型代替電源車</li> <li>ディーゼル発電機燃料油貯油槽</li> <li>燃料タンク（SA）</li> <li>可搬型タンクローリー</li> <li>ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁</li> <li>ホース・接続口</li> <li>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</li> <li>代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤</li> <li>可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路</li> <li>可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</li> <li>可搬型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路</li> <li>iii. 後備変圧器による給電 66kV 送電線から後備変圧器を介して非常用所内電気設備へ給電する手段がある。 後備変圧器による給電で使用する設備は以下のとおり。</li> </ul>	<p>電し、非常用所内電気設備へ給電する。</p> <p>泊は、可搬型代替電源車を可搬型代替電源接続盤に接続し、非常用所内電気設備である非常用高圧母線へ接続する手段と、可搬型代替電源接続盤から代替所内電気設備である代替所内電気設備分電盤及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器分電盤へ接続する手段がある。電路構成の相違であり、必要な負荷へ給電する手段としては相違なし。電路構成については、大飯と同様。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）          【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）          【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・燃料補給に使用する設備の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑩）          【女川】設備の相違（相違理由⑤）          【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先）          ・女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。          ・泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器に給電する。）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）          ・給電に使用する電路の記載          【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・ 77kV送電線</p> <p>・ No. 2予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>・ No. 1予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>・ 号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）</p> <p>・ 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号）</p> <p>・ ディーゼル発電機（他号炉（3号炉及び4号炉の内自号炉を除く。）（以下「他号炉」という。））</p> <p>・ 電源車</p> <p>・ 号機間電力融通恒設ケーブルが使用できない場合を想定して号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）を配備する。</p>	<p>iii. 号炉間電力融通設備による給電</p> <p>号炉間電力融通ケーブルを用いて3号炉の非常用高圧母線から2号炉の緊急用高圧母線までの電路を構築し、3号炉からの給電により、2号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>号炉間電力融通設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14-2図に示す。</p> <p>・ 号炉間電力融通ケーブル（常設）</p> <p>・ 号炉間電力融通ケーブル（可搬型）</p> <p>・ 号炉間電力融通ケーブル（常設）～非常用高圧母線2C系又は非常用高圧母線2D系電路</p> <p>・ 号炉間電力融通ケーブル（可搬型）～非常用高圧母線2C系又は非常用高圧母線2D系電路</p> <p>なお、号炉間電力融通ケーブル（常設）は3号炉の非常用高圧母線と2号炉の緊急用高圧母線間にあらかじめ敷設し、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は屋外の保管エリアに配備する。</p>	<p>単線結線図を第1.14.2図に示す。</p> <p>・ 後備変圧器</p> <p>・ 後備変圧器～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>iv. 号炉間電力融通設備による給電</p> <p>号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルを用いて1号又は2号炉の非常用高圧母線から3号炉の非常用高圧母線までの電路を構築し、1号又は2号炉からの給電により、3号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>号炉間電力融通設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第1.14.2図に示す。</p> <p>・ 号炉間連絡ケーブル</p> <p>・ 号炉間連絡予備ケーブル</p> <p>・ 号炉間連絡ケーブル～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>・ 号炉間連絡予備ケーブル～可搬型代替電源接続盤電路</p> <p>・ 可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</p> <p>なお、号炉間連絡ケーブルは代替給電用接続盤1～代替給電用接続盤4、代替給電用接続盤4～代替給電用接続盤3及び代替給電用接続盤2～代替給電用接続盤3の間にあらかじめ敷設し、号炉間連絡予備ケーブルは屋外の保管エリアに配備する。</p> <p>v. 開閉所設備による給電</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・ 泊との比較は後段の「開閉所設備」にて実施する。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・ 泊との比較は上段の「可搬型代替電源車」にて実施する。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】記載方針の相違</p> <p>・ 女川は、号炉間電力融通ケーブルにより、非常用高圧母線の2C系又は2D系のいずれかの母線に給電する。</p> <p>・ 泊の号炉間連絡ケーブル及び号炉間連絡予備ケーブルは、非常用高圧母線2系統へ給電できる容量があることから「及び」と記載している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <p>・ No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル</p> <p>(b) 重大事故等対処設備と多様性拡張設備                      機能喪失原因対策分析の結果により選定した、代替電源（交流）による給電に使用する空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク、タンクローリー、号機間電力融通恒設ケーブル（3号～4号）、ディーゼル発電機（他号炉）、電源車及び号機間電力融通予備ケーブル（3号～4号）は重大事故等対処設備と位置づける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、審査基準及び基準規則に要求される設備をすべて網羅している。</p>	<p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備                      常設代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、ガスタービン発電機、ガスタービン発電設備軽油タンク、ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電機～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路及びガスタービン発電機～緊急用低圧母線 2G 系電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、電源車、軽油タンク、ガスタービン発電設備軽油タンク、タンクローリ、非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁、ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁、ホース、電源車～電源車接続口（原子炉建屋）電路、電源車接続口（原子炉建屋）～非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系電路及び電源車接続口（原子炉建屋）～緊急用低圧母線 2G 系電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備が全て網羅されている。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.14.1)</p>	<p>開閉所設備を使用し、1号又は2号炉の非常用高圧母線から3号炉の非常用高圧母線までの電路を構築し、1号又は2号炉からの給電により、3号炉の非常用高圧母線を受電する手段がある。</p> <p>開閉所設備による給電で使用する設備は以下のとおり。単線結線図を第 1.14.3 図に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開閉所設備</li> <li>・ 開閉所設備～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路</li> </ul> <p>(b) 重大事故等対処設備と自主対策設備                      常設代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、代替非常用発電機、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ホース・接続口、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤、代替非常用発電機～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路及び代替非常用発電機～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路は、重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>可搬型代替交流電源設備による給電で使用する設備のうち、可搬型代替電源車、ディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク（SA）、可搬型タンクローリー、ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁、ホース・接続口、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤、可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤電路、可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）電路及び可搬型代替電源接続盤～代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤電路は重大事故等対処設備として位置付ける。</p> <p>これらの機能喪失原因対策分析の結果により選定した設備は、「審査基準」及び「基準規則」に要求される設備がすべて網羅されている。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.14.1)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                      【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④、⑨、⑩）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）                      【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先）                      ・ 女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。                      ・ 泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑤）                      【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・ 給電に使用する電路の記載</p> <p>【女川】設備の相違（常設及び可搬型代替交流電源設備の給電先）                      ・ 女川は全交流動力電源喪失時に緊急用高圧母線を介して非常用高圧母線又は緊急用低圧母線に給電する。                      ・ 泊は大飯と同様に全交流動力電源喪失時に非常用高圧母線及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤（大飯は代替所内電気設備変圧器）に給電する。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.14 電源の確保に関する手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>以上の重大事故等対処設備により、ディーゼル発電機が使用できない場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。また、以下の設備はそれぞれに示す理由から多様性拡張設備と位置づける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 77kV送電線 耐震性がないものの、当該電路が健全であれば、他号炉や外部電源の状況確認に時間を要するが、短時間での受電が可能であり、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> <li>・ No. 2 予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全<sup>※2</sup>であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> <li>・ No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全<sup>※2</sup>であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> <li>・ 号機間電力融通恒設ケーブル（1, 2号～3, 4号） 恒設ケーブルを敷設する建屋の耐震性がないものの、1号炉又は2号炉のディーゼル発電機が健全<sup>※2</sup>であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> </ul> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ No. 1 予備変圧器2次側恒設ケーブル 耐震性がないものの、当該電路及び他号炉のディーゼル発電機が健全<sup>※2</sup>であれば、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> </ul> </div> <p>※2 「号機間電力融通」については、他号炉、1号炉又は2号炉の安全性を損ねる恐れがあるため、「他号炉、1号炉又は2号炉の号機間融通は以下の状態」である場合に限定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 供給元が運転中又は高温停止中の場合はディーゼル</li> </ul>	<p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で交流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p> <p>また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路の健全性が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。</li> </ul> <p>【比較のため上段の記載より再掲】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備で使用する設備の耐震性は確保されていないが、3号炉の非常用ディーゼル発電機及び電路の健全性が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。</li> </ul> </div>	<p>以上の重大事故等対処設備により、設計基準事故対処設備の故障で交流電源が喪失した場合においても、炉心の著しい損傷等を防止するために必要な電力を確保できる。</p> <p>また、以下の設備はプラント状況によっては事故対応に有効な設備であるため、自主対策設備として位置付ける。あわせて、その理由を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後備変圧器 耐震性は確保されていないが、当該電路が健全であれば、1号及び2号炉や外部電源の状況確認に時間を要するが、短時間での受電が可能であり、ディーゼル発電機の代替手段として有効である。</li> <li>・ 号炉間電力融通設備 号炉間電力融通設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路の健全性<sup>※2</sup>が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。</li> <li>・ 開閉所設備 開閉所設備による給電で使用する設備の耐震性は確保されていないが、1号又は2号炉のディーゼル発電機及び電路の健全性<sup>※2</sup>が確認できた場合において、重大事故等の対処に必要な電源を確保するための手段として有効である。</li> </ul> <p>※2 「号炉間電力融通」については、1号又は2号炉の安全性を損ねるおそれがあるため、「1号又は2号炉の号炉間電力融通はディーゼル発電機が2台健全」である場合に限定している。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由①) 【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由②)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・ 泊との比較は後段の「開閉所設備」にて実施する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由③)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④) 【女川】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑤)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑥)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑦)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑧)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑨)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑩)</p>